



### Palm Magazine vol.20

Cover .....  
Photo YUASA Tetsuo  
Art Direction MAKI Syuw-zo  
Model CLIE PEG-TJ25  
Nail Art NailBar

#### 巻頭レビュー

## 6 気軽に手軽に「デジタル手帳」 CLIE PEG-TJ25

初めてPalmを使う人もパワーユーザーも納得の、シンプル&パワフルなマシン

## 14 本格派GPS搭載デバイス GARMIN iQue 3600

日本地図は使えるの? 気になるポイントをチェック

## 16 通話もできて、PIMもバッチリ。これはPDAの究極の Samsung SPH-i500

国内では入手できないレア製品を日本語化しちゃいました

#### 緊急レビュー

## 58 こんなPalmを待っていた! Palm Tungsten T3

ワイドハイレス搭載で、縦横表示の切り替えが可能。マルチメディア機能も充実

#### Special

[特集1]

## 18 5つの視点で見つけるベストな1台 Palmで手に入れる快適ライフ

[特集2]

## 62 コレさえ覚えれば、すぐにつながる ワイヤレス通信設定マニュアル

[特集3]

## 74 欲しいものが手に入る 得 Palm系ショップ活用ガイド

#### NEWS

## 49 気になるニュースをピックアップ Information

## 82 ベストBUYへの道しるべ 新製品ハード&ソフトレビュー

### Useful

- 42 最新CLIEの最新活用法  
UX50の横ワイド画面を生かせ！  
ワンランク上のCLIEユーザーを目指す
- 80 CLIE Magazine Plus Palm OS 5搭載デバイスをクロックアップする  
マックユーザーのための
- 90 パームわんわん寺子屋
- 95 パームの達司  
ここから始まるPalmマスターへの道
- 122 基本ソフト1・2・3
- 124 こちらモバイル情報局
- 126 FAQ
- 128 用語辞典
- 130 周辺機器カタログ
- 132 Palmデバイスカタログ

### Variety

- 53 Palm Fan.com オフラインレポート  
Interview
- 54 「Adobe Reader for Palm OS 日本語版」の実力を探る  
ガジェット好きオットの奮闘記
- 57 パーム押し問答
- 60 Palm 新作ゲームコレクション  
本誌スタッフが2カ月間挑戦!!
- 72 ダイエットソフト 体当たりレビュー  
世界のPalmな仲間たち
- 84 Hello! Palm Users
- 96 パーム人名辞典  
CodeWarriorでマスターする
- 96 パームウェア開発テクニック  
いちPalmユーザーからの提言
- 100 PalmReading 待望される超高性能PDA
- 105 Palm Power Voice  
お待ちしております、読者の声

### palmware

- 52 パームウェア対応速報  
使い心地のいいPalmウェアをゲットしたい!
- 86 パームウェア真剣勝負 書籍管理ソフト
- 92 パームウェア教習所
- 106 新着Palmウェアピックアップ
- 108 厳選Palmウェア300

### present

- 56 読者プレゼント
- 102 特別付録CD-ROMの使い方

### CD-ROM Contents

DISC 1

定番ソフト  
Palm Desktop Ver.4.0.1(ウィンドウズ版)  
Ver.4.0(マック版)

体験版  
Adobe Reader for Palm OS 3.0 日本語版  
@irBitwayサンブルコンテンツ  
「できんボーイ」「蹴りたい背中」  
「PocketLingo College-アメリカン・ヘリ  
テイジ・カレッジ英語辞典」  
「本格麻雀 双竜 for CLIE」  
「Quickoffice Premier」ほか

今回の一押しソフト

Crs-Memo  
KsDatebook  
ZLauncher  
Address  
ChkChk  
McPhling  
PEM  
BugMe!  
DBSaver  
BitToggle (日本語版)  
KeyQuick デモ版  
ほか

DISC 2

Palm Magazine 3周年記念  
TimeSlip Palm Magazine  
Palm Magazine vol.1 ~ vol.6  
Palm FAN (2000年9月)  
をPDF化



手帳としての原点に忠実な、戦略的低価格機が登場

# CLIE PEG-TJ25

シンプルなCLIEを求める声が高まる中、PDAの基本に忠実なソニー(株)の新機種「CLIE PEG-TJ25」が、実売価格2万円を切る戦略的価格で登場した。クロック周波数200MHzで動作するARMベースCPU「I.MXL アプリケーションプロセッサ」を搭載し、センタージョグダイヤルを初めて採用した注目の機器だ。

文 なる / 撮影 山崎純子 (Pacia)

## カラフルな6色ボディの新スタンダード機

「CLIE PEG-TJ25」は、2万円というお手ごろな価格と、本体色を6色から選べるカラーバリエーションが目を引くソニー(株)の新機種だ。アルミ製のボディは高級感と堅牢性を兼ね備えており、サイズは、カラー液晶搭載のCLIE中最も薄い11.9ミリを実現。横幅は75.3ミリと若干広がったが、ジョグダイヤルの位置が本体側面から前面中央に移動したため、手のひらで包み込むように持てばしっかりと手になじむ。

「PEG-TJ25」の特徴であるセンタージョグダイヤルは、上下の回転とクリックに加えて、携帯電話ではおなじみの左右ボタンを両サイドに

配置。ジョグダイヤルが中央にあることにより、右利き、左利きによる使い勝手の違いは大幅に緩和された。

ディスプレイは、解像度320×320ドットの透過型カラーTFT液晶を採用。ワイドハイレゾ液晶の採用は見送られた。

底面には、UX50を除くTシリーズ以降と共通のインターフェースコネクタを備えているため、バッテリーアダプター、モバイルコミュニケーションアダプターといった従来の周辺機器が利用できる。また、メモリースティックロットはProに対応し、高速アクセスが可能だ。CPUが変更された影響もあり、メモリースティックの読み書きは、最速のCLIE「UX50」をも凌駕する。ただし、デジカメモジュールやBluetoothアダプターといった従来のメモリース

ティック型周辺機器は利用できない。

OSはPalm OS 5.2.1で、フォントはNX後期以降のラージ、ノーマル、スモールの3サイズ計6種類が使える。日本語入力には、Palm OS標準のグラフィティ2に加え、従来機でも定評がある「Decuma Japanese」を採用。初心者からシンプルなハイレゾ機を好むパワーユーザーまでさまざまなユーザーに対応できる。

気になる点は、従来から据え置かれているユーザーエリア11MBの内蔵メモリー容量と、通常使用で10日となるバッテリー容量だ。しかしこの点も、NXなどのエンターテインメント重視のシリーズに比べ、手帳的な使い方がメインの本機種では問題にはならない。

それでは、デジタル手帳CLIE PEG-TJ25の魅力を見ていこう。

# Exterior

PEG-TJ25は、シンプルなデジタル手帳としての機能をメインに作られており、音楽再生やムービー再生、デジカメといったいわゆるCLIEらしい機能は省略されている。ただし、より高速なアクセスが可能なメモリースティックPro対応の slots を備えるなど、従来より強化された点もある。

## カバー装着部

本体左側面にある2つの穴には、付属のソフトカバーを装着できる。本体色とコーディネートされたオプショナルカバーも販売予定だ



赤外線ポート      メモリースティックスロット



上部に配置され、メモリースティックが出し入れしやすい。メモリースティックProに対応し、CPUの変更も含めNX80Cの2倍近い高速アクセスが可能

**POWER / HOLDスイッチ**  
下にスライドすると電源のオン/オフ、上にスライドするとホールドされ、勝手に電源が入るのを防げる。一体型でホールドの解除を忘れないため使いやすい



**インターフェースコネクター** Tシリーズ以降と同じ規格を採用。通信ケーブルなど従来の周辺機器が利用できる。クレードルは別売で、他機種種のクレードルは本体形状が異なるため使えない



**センタージョグダイヤル** 携帯電話では見慣れたタイプのセンタージョグダイヤル。左右ボタンも配置された。ソフトの対応が今後進めば、Palm社のTungstenで採用されている5Wayナビゲーター同様にかなり使いやすいくなるだろう



リセット穴



NX80C以降に採用されている伸縮タイプのため、若干細く使いにくい。本体裏面にあるリセット穴は、スタイラスの先端で押せる

スタイラス

## 6色のカラーバリエーション



フロスティシルバ



コスモブラック



スノーホワイト



ネオンブルー



チリレッド



フラミンゴピンク

## 基本的なPIM情報をとことん使いこなせる

### 使いやすさが光る付属PIMソフト

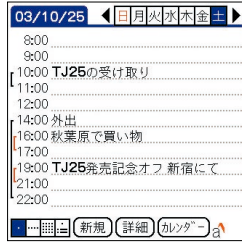
手帳的な使い方がメインのPEG-TJ25にとってはPIMソフトの完成度が重要だ。付属の「予定表」「アドレス」「To Do」「メモ帳」は従来と同じなので、Palm OSとしての使い勝手のよさはそのまま残っている。

NX80C以降に採用された3サイズ6種類のフォントが使えるのも特徴のひとつ。ただしちびん小さなサイズのスモールフォントは、NX73 / 80Cから正式に採用された比較的新しい機能のため、罫線とフォントのサイズが若干ずれて見た目に違和感を覚えるなど、まだ洗練されていない部分がある。

また、Palm OSで正式採用されたカラーテーマが使えるため、本体に合わせてPIMソフトの色を変えられる。手書きメモである「CLIE Memo」や電卓も付属し、本来の「手帳+」としての使い方をするのであれば、標準ソフトでまったく問題なく活用できる。

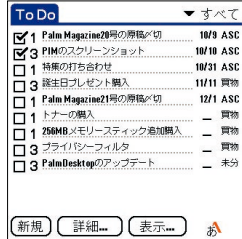
ただし、センタージョグダイヤルは、ある程度チューニングされているものの、基本的には上下ボタンとして機能するだけのため、まだ改良の余地がある。

#### 予定表



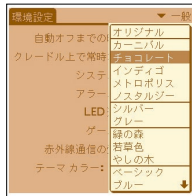
Palm OS標準のスケジュール管理ソフト。同じ時間に重複する予定には、さりげなく赤でタイムバーが付くなど、見やすく使いやすい。週間表示、月間表示、ToDoとの複合表示などもあり、予定の繰り返し設定もできる

#### To Do

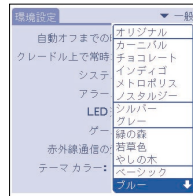


意外に使っている人が少ないTo Do。やらなければならない項目以外にも、発売日を含めた買い物リストなどに使えて便利だ。紙の手帳とは違い、書き捨てにならないので、とにかく思いついたことをどんどん書いていける

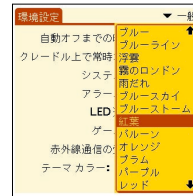
#### カラーテーマの例



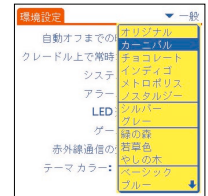
チョコレート



ブルー



紅葉



カーニバル

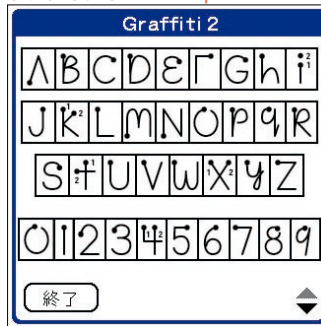
## ふたつのソフトで日本語入力もバッチリ!

### Palm標準のグラフィティ-2と、Decuma Japaneseを搭載

文字入力は、グラフィティと呼ばれる簡略化したアルファベットのような記号をグラフィティエリアに書いて行う。従来のグラフィティはすべての文字を1画で表したが、TJ25で採用するグラフィティ-2では、tやiは2画に変更されたため、若干慣れが必要だ。

そのほか、初心者や読めない文字の入力に効果的な文字入力ソフト「Decuma Japanese」(スウェーデンDecuma AB社開発)も付属する。グラフィティエリア左下の「a」をタップすると、画面に手書き入力エリアが表示される。認識率、速度ともに高速で、軽快に変換できる。入力エリアが画面を覆うため、文書を見渡すには向きだが、手書きで直接漢字を入力できるのは便利だ。また右下の「1」をタップすると、英数モードでDecuma Japaneseが起動する。入力目的によって即座に別モードで起動できるのは魅力的だ。

#### グラフィティ-2 Help



Palm OS標準の文字入力機能。アルファベットに近い記号を手書きすることで、文字を入力可能。グラフィティ-2では、tやiなど一部の文字が2画で入力されるように変更が加わった

#### Decuma Japanese



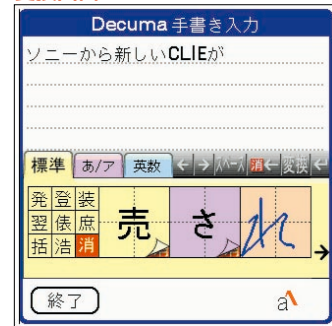
手書きで日本語を入力できる機能。環境設定のDecuma Japaneseの設定画面では、ペンの色や太さ、認識速度などを選択することができる。自分の書き方に合わせて設定を変更しよう

#### グラフィティ設定画面



1ストロークの入力方法は設定を変更できる。旧グラフィティとは大文字を入力する方式が変わり、英字エリアと数字エリアにまたがって入力すると大文字が入力されるようになった

#### 変換画面



認識された文字に合わせてボックスの色が変わるため、ひらがなとカタカナの違いなどは、一目瞭然。また、誤認識しても、ボックスを左下をタップすることで候補一覧が表示される

## PEG-TJ25とパソコンを接続しよう

### 連携して使いこなすには クレードルの購入がお勧め

PEG-TJ25(以下、TJ25)とパソコンのデータを同期したり、PCからTJ25にソフトをインストールすることを「HotSync」と呼ぶ。TJ25でHotSyncを行うには、パソコンに「Palm Desktop」ソフトをインストールしたのち、パソコンとTJ25を付属の専用USBケーブルで接続する必要がある。TJ25がHotSyncできるOSはウィンドウズのみで、マックOSには未対応だ。

TJ25には、ボタンのひと押しでHotSyncできる「クレードル」が付属しないので、HotSync

を行うにはCLIEの電源を入れ、ホーム画面から「HotSync」を起動し、画面中央のHotSyncボタンをタップするという手間がかかる。PCとの一発連携が可能なPalmデバイスのメリットが薄れてしまっているのは残念だ。

TJ25をもっと使いこなすには、別売りのUSBクレードル(予想実売価格5000円)を購入したほうが良いだろう。クレードルを使えば、TJ25を載せてクレードルのHotSyncボタンを押すだけでPCと簡単に同期できる。

なお、TJ25が内蔵するリチウムイオンバッテリーの充電も、前述のケーブルまたはクレードル経由で行う。

### HotSync用のUSBケーブルが付属



パソコンとデータをやり取りする際に使う付属の専用USBケーブル。充電用のプラグアダプターも、このケーブルに接続して使うため、ケーブルの取り回しが面倒だ

## パソコンのデータをCLIEに入れて持ち出そう!

### メモリスティック用 ファイル管理ソフトも付属

「Palm Desktop」ソフトでCLIEとパソコンをHotSync(同期)すると、CLIEとパソコンのどちらで入力したかにかかわらず、双方のPIMデータを常に最新情報に保つことができる。

例えば、パソコンで仕事中にメールで打ち合わせの通知が届いた場合、わざわざCLIEの予定表を立ち上げて手書き入力しなくても、メールの内容をパソコンのPalm Desktopにコピー&ペーストしておけば、次回のHotSync時にCLIEにデータが追加される。反対に、外出先などでCLIEに入力したデータは、HotSyncを行うだけでパソコン上のPalm Desktopに反映されるのだ。

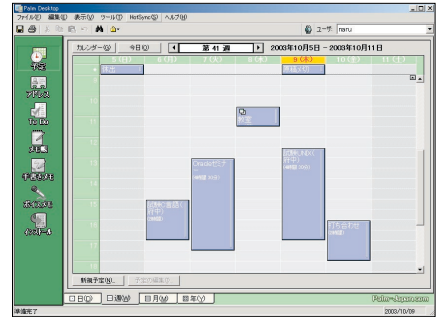
その場でもっとも適した入力機器を選択でき、入力後のデータはパソコン/CLIEともに自動的に最新情報にアップデートされるため、

とても便利な機能だ。

CLIEとパソコン間でデータをやり取りする方法はこれだけではない。メモリスティックにデータをコピーするには、CLIE接続後にパソコンの「DataImport」を起動すれば、CLIEに挿入したメモリスティックをパソコン上のリムーバブルディスクとして利用できる。あとはPCで通常のファイル操作を行うだけで、パソコンからメモリスティックにデータをコピーしたり、メモリスティックのファイルを消去できる。CLIEでメモリスティックのファイル进行操作するには、「CLIE Files」を使おう。

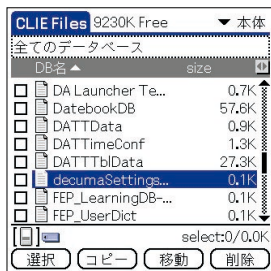
なお、CLIEでは、特定の拡張子のファイルはメモリスティックの決まったフォルダーに保存しなければ利用できないルールがある。この煩雑な分類操作を、拡張子に合わせて自動的に行うのがPC用ソフト「DataExport」だ。一度拡張子を指定すれば、次回からは自動的に振り分けて正しい場所にコピーされる。

### パソコン用「Palm Desktop」



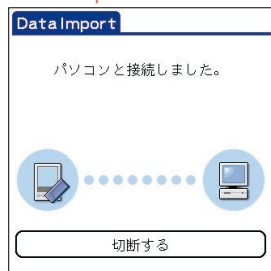
Palmとパソコンのデータを同期させる専用ソフト。パソコン用のスケジュール管理ソフトとしてもシンプルで使いやすい。最新版では、PalmOS 5.2と同様にカラーテーマを変更できるので、自分のCLIEに合わせてみるのもいい

### CLIE Files



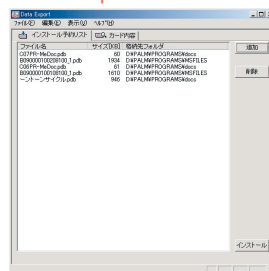
CLIE標準のメモリスティック用のファイル管理ソフト。本体とメモリスティック間のファイルのコピーも簡単にでき、メモリスティック上のZIPファイルの解凍まで可能

### DataImport



CLIE上に差し込んだメモリスティックを、パソコンからリムーバブルメディアとして利用できる。パソコン側にカードリーダーは必要なく、CLIEをカードリーダーとして使える

### DataExport



DataImportでCLIEをパソコンに接続後、DataExportのウィンドウにコピーしたいファイルをドラッグ&ドロップするだけで、適正なフォルダーにコピーできるパソコン用ソフト

### TIPS

ハードリセット後にHotSyncすると調子が悪くなる場合の直し方

新しいソフトをインストールしたあとなど、CLIEの調子が不安定になった場合は、CLIE本体裏面にあるリセット穴をスタイラスの先端で押し、ソフトリセットを実行しよう。それでも解決しない場合は、電源ボタンを下にスライドしながらリセットを押すと、内蔵メモリのデータを全消去するハードリセットが実行できる。大概のトラブルはこれで解消するが、ハードリセット後にHotSyncするとまた調子が悪くなる場合は、以下の手段を試そう。

パソコンのPalm Desktopフォルダー(標準でC:\Program Files\SonyPDA\*)内にあるHotSyncIDのフォルダー(標準でユーザー名の先頭6文字の付いたフォルダー)の「Backup」フォルダーの中身を別の場所に移動し、CLIEをハードリセットする。その後HotSyncを行えば、PIMデータの同期される。対応していないソフトをインストールしてしまった場合には有効な手段なので、覚えておこう。

# Spec & Utility

## CLIEスペック

型名	PEG-TJ25
OS	Palm OS 5日本語版 (ver.5.2.1)
CPU	ARM系i.MXLアプリケーションプロセッサ / 動作周波数200MHz
メモリー(DRAM/ROM)	16MB(ユーザー領域11MB) 16MB USB(HotSync用) 赤外線 IrDA1.2 インターフェース スティックスロット
メモリー (マジックゲート、メモリー)	スティックPro対応
ディスプレイ	バックライト搭載半透過型TFTカラーディスプレイ
その他	ジョグダイヤル、左右ボタン
表示解像度 / 表示色	320×320ドット、6万5536色
外形寸法	幅75.3×高さ110.1×奥行き11.9ミリ (最大突起部含まず)
重さ	約140グラム(スタイラス含む)
電源	リチウムイオンポリマー充電電池(内蔵)
使用可能時間	通常使用時約10日間
ソフトカ ド、プラグアダプ ストールCD-ROM	USB HotSyncケーブル、スタイラス、 主な付属品 パー、ACアダプター、ACコー ター、ハンドストラップ、イン
価格	オープンブライズ(税1万9800円)



**PEGA-UC55**  
パソコンとHotSyncしたり、CLIEを充電するのに便利な専用クレードル。TJ25本体には簡易ケーブルしか付属しないので、必要な場合は別途購入しよう



**PEGA-DC10**  
自動車のシガーライターソケットに差し込んで、CLIEに電源供給を行えるカーバッテリーアダプター。車で移動する機会が多い人には便利



**PEGA-BC10**  
単3アルカリ乾電池4本を、CLIEの外部バッテリーとして利用するためのアダプター。これがあれば、外出先で急にバッテリーが切れそうになっても対応できる

## CLIE付属ソフト対応パソコン環境

対応OS	Windows XP / 2000 / Me / 98SE
CPU	クロック周波数400MHzのPentium II以上 (Pentium III 500MHz以上推奨)
メインメモリー	96MB以上(128MB以上推奨、 Windows XP使用時は256MB以上推奨)
ハードディスク空き容量	200MB以上 (350MB以上推奨)
モニター	800×600ドットでハイカラー以上を推奨
その他	USBポート、CD-ROMドライブ

## 周辺機器表

	型名	価格	おもな特徴
USBクレードル	PEGA-UC55	予想実売価格5000円	パソコンとHotSyncしたり、クリエを充電するためのクレードル
チャリングケース	PEGA-CA33	予想実売価格5000円	本体とコーディネートできる6色を揃えた本革製カバー。ポケット付き
チャリングケース	PEGA-CA23	予想実売価格4000円	持ち運びに便利なベルトクリップ付き。名刺などを収納できるポケットもある
プライバシーフィルター	PEGA-PF40	予想実売価格980円	正面からの見やすさを維持しつつ、左右からの視線を遮断。外光の反射や映り込みも防止
メモリースティックビデオレコーダー	PEGA-VR100K	予想実売価格3万円	単体で動作するメモリースティックビデオレコーダー。ライン入力端子も備える
バッテリーアダプター	PEGA-BC10	実売価格3800円	単3アルカリ乾電池4本を入れて、CLIEの外部バッテリーとして利用できる
カーバッテリーアダプター	PEGA-DC10	実売価格4800円	自動車のシガーライターソケットからCLIEに電源供給を行える
折り畳み式キーボード	PEGA-KB100	実売価格1万2800円	コンパクトなキーボード。テンキー入力モードやショートカット、コマンド機能を搭載
モバイルコミュニケーションアダプター (円)	PEGA-MA15	実売価格1万2800円	携帯電話をつないで通信できる。電話に合わせたケーブルが別途必要(各3000円)
ACアダプター	PEGA-AC10	実売価格3800円	クレードルのない場所で本体や通信アダプターの充電が行える小型ACアダプター
USB HotSyncケーブル	PEGA-HS10	実売価格2800円	旅行時の携帯などに便利な、小型・軽量のUSBケーブル。充電機能はない

## 付属ソフト

カテゴリー	用途・目的	CLIE用 アプリケーション名	所在	パソコン用 アプリケーション名
手書きメモ	記入 / 閲覧 / 保存	CLIE Memo	CLIE本体	-
画像	表示 / 閲覧	CLIE Viewer	CLIE本体	-
	変換	-	-	Image Converter
メモリースティック	データの管理	CLIE Files	CLIE本体	-
	パソコンとの連携	Data Import	CLIE本体	Data Export
時計	アラーム / 世界時計	World Alarm Clock	CLIE本体	-
インターネット	メールの作成 / 編集 / 送受信	CLIE Mail	CLIE本体	-
	パソコンのメールとCLIE Mailの連携	-	-	CLIE Mailコンジット
日本語入力	日本語変換	ATOK for CLIE P200SOC	CLIE本体	-
	日本語変換	Decuma Japanese	CLIE本体	-
ランチャー	アプリケーションの起動	CLIE Launcher	CLIE本体	-

# メモリスティックビデオレコーダーで CLIEでテレビ番組を見よう



「PEGA-VR100K」は、単体でメモリスティックにTV番組を録画できる画期的なCLIE GEARだ。CLIE用の動画を簡単に作成できるこの機器の登場により、「手のひらでビデオ鑑賞」するユーザーが確実に増えるだろう。

## 実売価格3万円を切る CLIE用ビデオ録画機器

「PEGA-VR100K」(以下、VR100K)は、単体でメモリスティックにテレビ録画ができるビデオレコーダーだ。CLIEで再生できるムービーを作成するには、今まではGigaPocket搭載のVAIOを使うか、またはTV録画機能を備えたパソコンで録画後、MPEG形式に変換してメモリスティックにコピーするという手間がかかった。しかしVR100Kの登場により、パソコンを使わなくても手軽にテレビ番組を録画して、CLIEで持ち歩ける。

VR100Kの本体サイズは、幅160×高さ30×奥行き161.3ミリとコンパクトで、付属のスタンドを付ければ縦置きにもできる。本体前面には、各種情報を表示するLCDパネルとメモリスティックスロット、背面にはTVアンテナ接続端子とライン入出力端子を各1つ備える。TVアンテナを接続し、メモリスティックを挿入すれば録画準備は完了だ。あとは本体上部のボタンでチャンネルを選択し、録画ボタンを押せば録画を開始する。VR100Kは録画データをメモリスティックに直接書き出す

ので、録画後はすぐにCLIEで再生できる。録画品質は4種類から選択でき、128MBのメモリスティックに最長130分録画可能だ。クオリティーを気にしなければ、通常の映画を丸ごとメモリスティックに入れて持ち歩くこともできる。

さらに本体背面のライン入力端子にビデオデッキやビデオカメラを接続すれば、今まで録りためた映像をCLIEで再生可能なMoviePlayer形式に変換できるのもメリットだ。これからは家族やペットの写真ではなく、ムービーを持ち歩けるのだ。

CLIE用のソフトは、「MoviePlayer」(動画再生)、「Video Utility」(録画予約)、「TV-Scape」(番組表表示)を用意(図1~3)。「Video Utility」を使えば、通常のビデオ感覚でCLIEから録画予約ができる。「TV-Scape」もVR100Kに対応し、番組表から録画予約データを作成してメモリスティックに転送可能になった。CLIEで録画予約したメモリスティックをVR100Kのスロットに挿入するだけで、予約時間になると自動的に録画が始まる。VR100Kは、CLIEで動画を鑑賞する敷居をぐっと下げる魅力的な製品だ。

### 対応するCLIE一覧表

PEG-UX50、PEG-NX80V、NX73V、NX70V、NX60、PEG-TG50、PEG-NZ90、PEG-TJ25

ソフトウェアのアップデートが必要



図1 VR100KはTV番組を録画するだけでなく、ビデオ入力端子も備えているので、ビデオカメラなどで撮影した家族の動画もメモリスティックに簡単に書き出せる。動画の再生には「MoviePlayer」を使用する



図2 「VideoUtility」は、メモリスティックの残り容量に合わせて録画予約を管理できるVR100K用の総合ソフト。複数の予約データをCLIE本体に保存したり、メモリスティックに転送する機能も備えている

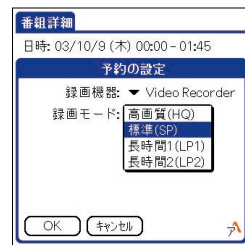


図3 TV番組表を表示するソフト「TV-Scape」には、VideoUtilityの予約データを書き出す機能もある。録画モードの設定や、メモリスティックの容量に合わせた録画予約を簡単に行うことができる

## 主な仕様

型番	PEGA-VR100K	
受信チャンネル	VHR(1~12チャンネル)	UHR(13~62チャンネル)
入出力端子	コンポジットライン入力×1、コンポジットライン出力×1	
カードスロット	メモリスティックスロット(マジックゲート/Pro/デュオ対応)	
録画方式	MPEG4 Simple Profile(映像) MPEG AAC-LC(音声)	
記録フォーマット	モバイルムービー形式(.mqv)	
サイズと重量	幅160×高さ30×奥行き161.3ミリ、約470グラム	
価格	オープンブライズ(予想実売価格約3万円)	

## メモリスティックに保存できる最大録画時間

録画モード	メモリスティック/メモリスティックPro容量			
	128MB	256MB	512MB	1GB
高画質(HQ)	約30分	約60分	約120分	約250分
標準(SP)	約60分	約115分	約220分	約460分
長時間1(LP1)	約130分	約250分	約490分	約1000分
長時間2(LP2)	約130分	約250分	約490分	約1000分

## PEGA-VR100Kの録画モードと録画時間一覧表

録画モード	映像			音声		
	ビットレート	フレームサイズ	フレームレート	ビットレート	入出力	サンプリングレート
高画質(HQ)	384kbps	320×240ドット	15fps	128kbps	ステレオ	24kHz
標準(SP)	218kbps	320×240ドット	15fps	64kbps	ステレオ	24kHz
長時間1(LP1)	96kbps	160×112ドット	15fps	32kbps	モノラル	24kHz
長時間2(LP2)	64kbps	176×144ドット	15fps	64kbps	ステレオ/モノラル	24kHz



本格派GPS搭載デバイス

# GARMIN iQue 3600

米ガーミン社から、GPS機能を内蔵したユニークなPalmデバイス「iQue 3600」が登場した。いままでもCLIE用のGPSモジュールなど、PalmデバイスにGPS機能を付加する周辺機器は存在したが、iQue 3600はGPS製品に定評のある米ガーミン社が、満を持して世に送り出すデバイスである。残念ながら、日本地図および日本語表示は難しいが、同社のGPS技術とPalmがどのように融合しているのか、さっそく紹介しよう。

文 難波茂広、編集部 / 写真 山崎純子 (Pacia) / 協力 株式会社いよねっと



## Palmデバイスとしても魅力的なハード&ソフト構成

「iQue 3600」は、GPS製品に定評のある米ガーミン社が初めて手がけるPalmデバイスだ。その最大の特徴は、本体背面にフリップ式に折り畳むことができるGPSアンテナを搭載していること。アンテナを展開することでGPSからの電波を受信し、GPSシステムにより現在位置を測位する機能を持つ。そのため、本体のサイズはCLIE NXシリーズに似通っているが、GPSアンテナを収納している上部に行くほど厚みが増してくる。

CPUには200MHzの米モトローラ社製ARMプロセッサ「DragonBall MXL」、内蔵メモリーは32MB(ユーザー利用可能域:22.8MB)

を搭載。Palm OS 5.2.1を搭載しているので、グラフィティ-2を採用している。液晶表示は320×480ドットの縦長ワイドハイレゾに対応。CLIE NXシリーズやTungsten T3に似た、320×130ドットの画面に描画されるソフトシルクエリアと320×30ドットのステータスエリアが配置されている。

ソフトシルクエリアは、厳密にはCLIE NXシリーズやTungsten T3とは異なり、Pen Input Managerという方式に対応するものだが、対応アプリケーションではソフトシルク部分の表示/非表示を切り替えることが可能である。表示しているときはソフトグラフィティ-エリアとして利用でき、ほかのマシンではCalc / Keyboardボタンに相当するシルクボタンがルート検索ソフトの「QueRoute」に割り当てられているだけの違いだ。ステータスエリア部分も同社によって拡張されており、左側にはアプリケーション、メニュー、QueRoute、Findの4つの基本ボタン、右側には時計、輝度調節、スピーカー、シルク表示切り替えの操作系ボタンが配され、中央部はGPSのステータス表示を行う部分になっている。

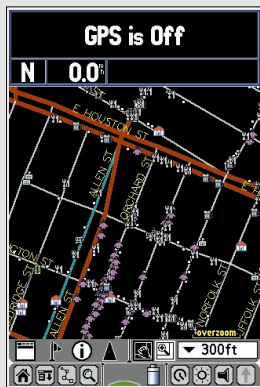
ハードボタンなどのインターフェースは、典

型的なPalmと同じ4つのアプリケーションボタンと上下ボタンを搭載。通常なら「メモ帳」ボタンに相当する4番目のボタンは、「Que Button」となり、同社が独自開発したGPS関連のアプリケーションをボタンを押すごとに切り替えられる。これは、「Prefs」に追加された「Que」の「Que Button」でオンにしたものだけを有効にできる。

左側面には、米ハンドエラ社のデバイスが採用していたのと同じジョグスイッチ式の「Thumb Wheel」と、RECボタン、ESCボタンを搭載。CLIEのジョグダイヤルと同じように利用できるが、対応するアプリケーションはそれほど多くないようだ。

上側面にSD / MMCカードスロット、インターフェースコネクタはpalmOneブランドのデバイスと互換性のあるユニバーサルコネクタを採用している。USBクレードルは、同社独自のスリムデザインのものが付属するが、ユニバーサルコネクタの採用により、palmOneブランドマシン用の周辺機器やアクセサリを利用できる可能性もあるようだ。ちなみに、AC電源アダプターは、USBクレードルから分岐するケーブルに装着できるが、ユニバーサル

### 道路やお店の情報も表示



Que Mapで地図を表示。拡大すれば、道路の名前やお店のアイコンまで表示される。GPSで測位していれば、現在の表示も可能

### オリジナルランチャーも搭載



位置情報を総合的に検索するQueFind。登録したWay Pointや都市の場所、住所、飲食店などの情報を検索できる



アンテナ部分は可動式になっており、使わないときは畳んで収納できる

コネクタのすぐ脇にもコネクタがあり、ACアダプター単独でも装着して充電できる。ACアダプターは非常に軽量で、コンセント部分は折り畳めるものが付属する。ほかに、アラーム用のバイブレーションを搭載している。

ソフトは、同社が開発した「Que」アプリケーション、Palm OSのPIMソフトなどの基本ソフト、CD-ROMから追加インストールするサードパーティー製のソフトの3種類。

Queアプリケーションは、Map、Turns、Trip、GPS、Routes、Find、Tracks、Audio、Clock、Voiceの10個のアプリケーションを搭載。これらQueアプリケーションのおかげで、iQue 3600は単にシンプルなだけのPDAではなく、GPS Receiver、MP3 Player、Voice Recorderとしても利用可能なデバイスに仕上がっている。なお、これらQueアプリケーションは、基本的にワイドハイレゾやThumb Wheelには対応している。

QueGPSは、GPSの測位を行うソフト。GPS天空図に衛星の位置を表示したり、衛星の信号強度や電波の強度情報、測位した位置情報や移動速度、高度、測定精度をリアルタイムで表示する。GPS衛星の電波を受信するまでの時間は、同社のほかのGPSと同じで非常に速く、実際にかかった時間もウォームスタートでは1分以内、コールドスタートでも2分程度で現在地情報の取得が完了したほど。CLIE用のGPSモジュールや他社製のCFカード型GPSとはさすがに性能が違うと感じさせてくれた。なお、GPSアンテナを展開すると自動的にGPS機能がオンとなり、測位が開始されるのもスマートと言えるだろう。QueMapはCD-ROMからインストールした地図を表示するソフト。GPSによる測位が行われると、現在地を地図上に表示できる。このほかGPS関連では、測位したデータをTrack LogやWay Point

に記録したり、地図に含まれる位置情報データベースを基にして店舗や都市の検索を行う、ルート検索が可能だ。

QueAudioは、メモリーカード上(≠Audioのディレクトリー)に記録したMP3/WAV形式のオーディオデータを再生できるプレーヤー。Que Voiceはボイスレコーダーソフトで、内蔵マイクで音声メモを録音できる。位置情報も添付できるので、記録した場所での簡易メモとしても有効に使えるだろう。

Palm OSの基本ソフトも、一部GPSに関連した機能拡張がなされている。AddressはGPS機能で記録したWay Pointを管理するという側面も併せ持ち、DateBookは、各データに「Location(位置情報)」を添付することが可能だ。これらの位置情報が添付されているときは旗のアイコンが表示され、タップするとその場所を地図上に表示する。サードパーティー製ソフトは、palmOneブランドマシンにも付属する電卓ソフトの「powerOne」、Documents to Go 5.0などを収録する。

このように、iQue 3600はGPS機能が意欲的に統合されており、位置情報やルート案内までも手のひらで管理できるのは画期的な機能と言える。ただし、日本を含めたアジアの地図は同社によって用意されておらず、現時点では北米がヨーロッパのいずれかの地図が収録されたバージョンのみの販売だ。iQue 3600の機能を十分に生かすには、地図や位置に関するデータベースが不可欠だ。日本で使用する場合、GPSとしての基本的な測位やWay Point、Track Logの記録は可能だが、せっかくPalm OSが搭載されているのに、測位した情報をその場でビジュアル的に活用できないのは残念である。なお、日本語化については、J-OSは未対応だが、CJKOSを利用することで表示は可能であったことを最後に報告しておきたい。

## GARMIN iQue 3600スペック

OS	Palm OS 5.2.1 (英語版)
CPU	Motorola DragonBall MXL ARM 9 (200MHz)
メモリー	32MB (DRAM)
インターフェース	フリップ式GPSアンテナ、SD/MMCカードスロット、ユニバーサルコネクタ、赤外線、ステレオヘッドホンジャック、内蔵マイク、スピーカー
ディスプレイ	白色LEDバックライト搭載カラー液晶
表示解像度/表示色	320×480ドット、約6万5000色
外形寸法	幅72.1×高さ127×奥行き20.3ミリ(クローズ時、アンテナ部含む)
重さ	161.7g(電池、スタイラス含む)
電池	リチウムイオン電池
主な付属品	USB HotSyncケーブル、電源アダプターほか
<b>GPS部</b>	
チャンネル	パラレル12チャンネル
測位更新時間	毎秒
精度	位置精度 15m、速度 0.05m/秒
DGPS(WAAS)精度	位置精度 3m、速度 0.05/秒
捕捉速度	ウォームスタート 約1分/コールドスタート 約2分

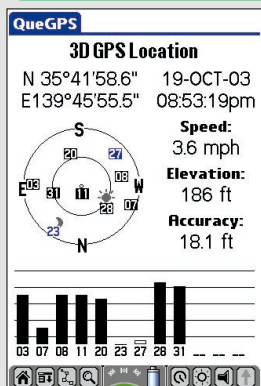
米ガーミン社正規代理店「いいいよねっと」

いいいよねっと  
www.iियो.net



今回、ご協力いただいたいいいよねっとは、日本地図搭載の「eTrex Vista」などを扱う米ガーミン社の正規代理店だ。iQueの日本語化に対する取り組みとしては、米ガーミン社との間で、日本語OSによる提供、またはオーバーレイ方式の両面で検討中だが、発売の可能性自体は未定とのこと。なんらかのアクションがあることに期待したい。

### GPSの測位はQueGPSで



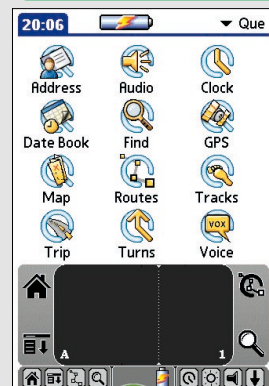
QueGPSによるGPS情報画面。GPS天空図や衛星からの電波の信号強度、測位結果などを表示する

### オーディオ機能も充実



MP3/WAVファイルを再生するQueAudio。標準でオーディオデータの再生にも対応

### ワイドハイレゾに対応したホーム画面



ソフトシルクステータスエリアは、NXやTungsten T3と同じ配置。ステータスエリア中央部は、米ガーミン社独自のGPSステータス表示領域



### 携帯電話として 使えるスマートフォン

SPH-i500(以下i500)は、米国の携帯電話会社「Sprint PCS」で利用できる携帯電話だ。カリフォルニア地区では、8月上旬に販売を開始した。Palm OS 4.1を搭載し、162×176ドット、6万5000色のディスプレイを搭載している。画面の発色は良好で、携帯電話として利用する際の待ち受け画像もきれいに表示される。内蔵メモリーは容量16MB。本体のサイズは、標準バッテリー搭載時で、幅53.34×高さ86.36×奥行き25.4ミリとなっており、日本のカメラ付き携帯電話とさほど変わらない。ただし、重さが147gもあるため、持ったときにずっしりと重さを感じる。



コンパクトなボディの中にPalmデバイスと携帯電話に必要な機能がキッシリと詰め込まれている。スタイラスと赤外線ポートも健在

通話もできて、PIMもバッチリ。これはPDAの究極の姿!?

# Samsung SPH-i500

米Samsung Telecommunications America社が製造している「SPH-i500」は、**クラムシェル型のPalm内蔵携帯電話だ。**

TreoのようにPDAに携帯電話を搭載したというよりは、**携帯電話にPDAを搭載するコンセプトで、普通に携帯電話として使えるサイズおよびデザインとなっている。**  
今回は米国在住の筆者によるi500のファーストインプレッションを紹介しよう。

文 kumaken / 写真 篠原孝志( Pacia)

スタイラスは、本体裏側の左端に収納されている。スタイラスは伸び縮みするタイプで、取り出す際にスタイラスの一部が引っかかり、自動的に伸びた状態で取り出せる。スタイラスには、入力するのに十分な長さがある。その隣には赤外線ポートが組み込まれている。i500を開いたときに赤外線ポートが若干隠れるが、問題なく赤外線通信を行える。米国の携帯電話としては珍しくストラップを付ける穴もある。本体を閉じたときの左上にある「MiTs」と書かれた部分には赤色のLEDが仕込まれてあり、着信があったときや、ショートメッセージが到着したときに光って知らせてくれる。

### 日本語化も問題なし

i500を使う上で問題になるのは日本語の表示だ。そこで、山田達司氏の公開している「J-OS V」(<http://simple-palm.com/>)を利用したところ、あっさり日本語化を行うことができた。また、i500はPalm Desktop 4.1(英語版)としか同期できない。そこで、S.P.C.氏の公開しているPalm Desktop 4.1日本語表示パッチ(<http://www.spc.gr.jp/palm/>)を利用したところ、Palm Desktopを使ったHot Syncも問題なくできるようになった。さっそくいま

で使っていたCLIEのデータを移行させると、これも文字化けなどすることなくデータを移すことができた。辞書の検索や、DOCリーダーやメモ帳での日本語表示も問題ないため、現在、i500は筆者のメインPalmデバイスとして活躍している。

### テキストの表示であれば 十分なWebブラウジング

携帯電話と一体型になっている以上、気になるのが通信の使い勝手である。残念ながらi500にはインターネットの電子メールソフトは標準搭載されていない。しかし、ボイスメールおよびショートメッセージ(SMS)の受信用のソフトは標準搭載されている。ショートメッセージを送信したり、電子メールのやり取りをするには、自分でソフトを探してインストールする必要がある。なお、Sprintのポータルサイトでは、Webメールを利用できるようになっている。本体のメモリーもさほど多くはないので、Webメールを利用したほうが使い勝手がいいだろう。また、i500には「Blazer」というWebブラウザーが搭載されている。SSL通信やCookieをサポートしているため、Blazerを通じてプロバイダーのWebメールにアクセスするこ

### 日本語化も可能



「J-OS V」をインストールしたところ、あっさり日本語化ができた

### Blazerでブラウズ



SSL通信やCookieをサポートしているBlazer

とも可能だ。ただし、i500のCPUはさほど高速ではないため、画像の多いページを表示する時には、1分以上かかる場合がある。また、画像は転送される際に自動的に縮小されてしまうので、地図を見るときといった用途には向かない。そのため、画像を表示しない設定にするか、PDAや携帯電話に特化したページを見るのが無難である。

通信速度は最大144kbpsあるので、テキストベースのページであれば非常に軽快に利用できる。「AOL3.1 for Palm」(\$19.95)でAOLメッセージャーも利用できる。

## 電話との連携がスムーズ

i500の最大の利点は、何とんでも電話として普通に使えることだ。標準バッテリーを搭載した場合、デジタルモードで連続通話4.2時間、待ち受け時間250時間となっており、バッテリーの持続時間も通常使用に十分堪える。電話をかける場合は、Palmのアドレス帳を表示後、相手を選んで「Talk」ボタンを押せばいい。ほかのソフトを利用中でも「Talk」ボタンを押すだけで、電話の着信・発信履歴画面に切り替わり、すぐに電話をかけることができる。それだけではなく、予定表やメモ帳に書かれた電話番号をスタイラスでなぞったあとに、メニューから「Dial」を選択するとその電話番号に電話をかけられるようになっているのも便利である。もちろん待ち受け画面の画像や、着信メロディーもカスタマイズできる。待ち受け画面にはi500を使ってダウンロードした画像を設定できるほか、よく使う電話番号へワンタッチでダイヤルできるショートカットの配置、アナログ時計の表示ができる。着信メロディーは、最初から30種類以上ものメロディーが登録されている。着信メロディーのフォーマットは標準のMIDIを利用しているようだ。

音質は日本の携帯電話にはかなわないが、4和音程度は出ていると思われる。

また、標準で搭載しているソフトは、基本的に画面にタッチしなくても片手で操作できるようになっている。本体左サイドにある「メニューボタン」を押し、「上下」ボタンでメニューを選択し、「OK」ボタンで決定、または「BACK」ボタンでキャンセルが可能。文字を入力する際も、日本の携帯電話と同じく数字キーを使って文章を入力することができるのだ。ボイスメモを取るときは、右側面のボタンを長押しすると自動的に録音が始まるようになっている。これらボタンの配置が絶妙で、たいていの作業が片手で行える。これなら、日本の通勤電車の中でつり革につかまりながら操作することも可能だ。i500は、まさに携帯電話の延長上にある設計だと言えるだろう。

## 実際の生活の中でしばらく使ってみて.....

カリフォルニア州では、ほとんどの人が車を使って移動している。日本と違って電車やバスの中でPalmや携帯電話を使う機会が少ない。筆者自身も携帯電話、Palmの利用頻度が減っていたが、i500を導入してからは、利用頻度が上がっている。中でも利用頻度が高いのは、辞書と単位換算ソフトだ(米国は距離の単位がマイルで、重さの単位がポンドなのでややこしいのだ)。また、アイデアを思い付いたときに素早く取り出し、ボイスメモとして録音する用途にも使っている。今まで携帯とPalmの2台持ち歩いていたものが1台で済むうえ、ポケットに入れて持ち運び、すぐに取り出せる手軽さがうれしい。

その小ささがアダとなって逆に使いにくいのではないかという心配をしていたが、さほど問題は無い。グラフィティーエリアが、画面と切

## SPH-i500スペック

OS	Palm OS 4.1(英語版)
CPU	Motorola Dragonball(66MHz)
メモリー	16MB
インターフェース	シリアルコネクター、赤外線、ヘッドホンジャック
ディスプレイ	TFTカラー液晶
表示解像度/表示色	162×176ドット、6万5000色
外形寸法	幅53.34×高さ86.36×奥行き25.4ミリ(クローズ時、アンテナ部含む)
重さ	147g(電池、スタイラス含む)
電池	リチウムイオン電池
主な付属品	USB HotSyncクレードル 電源アダプターほか

り離されていることが使い勝手を向上させている。もし、グラフィティーエリアが液晶と一体になっていたら、i500は液晶が小さいため、文字を入力する際に手がジャマになって画面の一部が隠されてしまう。グラフィティーエリアを切り離すことによってその問題を解決しているのだ。また、グラフィティーエリアの位置が手に持ったときに手のひらの一番安定する部分にあり、入力スペースは小さいが書きやすい。携帯電話として使う場合も、サイズ、操作感ともに日本の携帯電話と変わらない。

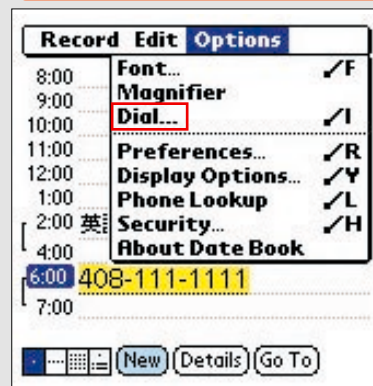
Palm自体の性能としては、一世代前のスペックである。MP3の再生やWebサイトを大量に見ることを求めている人には物足りないかもしれない。しかし、日常生活の中で普通に使っているぶんには十分な機能を持つ。価格は\$599(約7万円)と決して安くはないが、それだけの価値がある。あえて言うならば、日本の携帯電話のようにメガピクセルのデジタルカメラが付いたらまったく文句はない。とはいえ、携帯電話として普通に使えるうえ、Palmが使えるのだ。従来のPDAに携帯電話を搭載するというアプローチではなく、携帯電話が進化してPDAを搭載したのがこのSPH-i500である。ぜひ、日本でも発売してほしいものだ。

### Webメールが使える



Browserを通じてプロバイダーのWebメールにアクセス。日本語表示も可能

### 予定表からすぐ通話



電話番号を選び、「Dial」を選択すると、その電話番号に電話をかけられる

### 左サイド



### 右サイド



わざわざ画面をタッチしなくても、片手で操作できるように配置されたボタン類。このあたりは携帯電話の操作性がうまく生かされた結果と言えるだろう

# Palmを手に入れる

5つの視点で見つけるベストな1台



パソコンは重たいし、セットアップも面倒。モバイルを気取るのも、こーう大変だ。



集めた情報におぼれがちなこの頃。あーあの仕事のスケジュール、どこに書いたっけ？



Palmなら片手でラクラク通信。まるでインターネットを身にまとったような気分さ。

いつでもどこでもオンライン  
**バリバリ通信モデル**  
P.20



ボタン1つでアドレスもメモもカンタン参照。おまけに軽いし、こんなに楽しいのかな。

シンプルにカッコよく使う  
**スリム&スマートモデル**  
P.24

# 快適ライフ



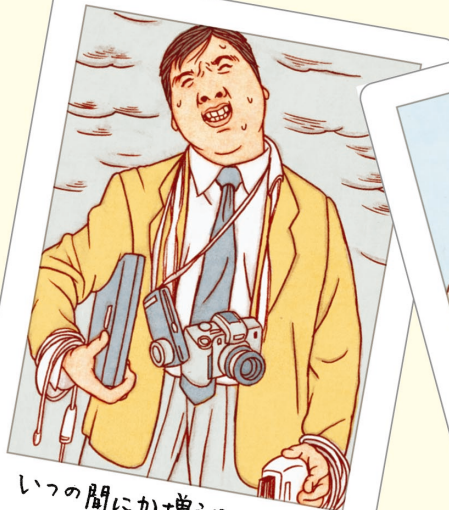
カスタマイズに凝り過ぎて、すっかり遊ぶモードのマイPalm。ビジネスで使うには、ちよっといつうい。



TPOに合わせて外観も変えられるし、機能もソツがない。これならビジネスでも安心だ。

ビジネスもプライベートもこれ1台で  
**バランス型モデル**

P.28



いつの間にか増えたデジタル小物。集めるのは楽しいけど、持ち歩くのは別の話だな。



頼める1台があれば、もう何もいらぬ。有能な俺に万能な相棒。もう無敵だね。

守備範囲の広さが自慢  
**オールインワンモデル**

P.32



Palmもクルマも国産じゃ物足りなくさるってきた。もっと根本から違うモデルが欲しいんだよな。



手の中に世界がパッと広がった！J-O/Sを入れてもいいし、英語のまま使ってみるのも楽しそう。

目指せ！国際派ユーザー  
**英語版モデル**

P.36

自分に合ったPalmを見つけるにはどうしたらいいだろう。  
カタログだけを眺めていても、なかなか考えはまとまらないものだ。  
まずはPalmで実現したい生活を思い描いてみてはどうだろうか。  
ゴールをはっきりとイメージできれば、自ずと手段もわかるはず。  
そうすれば、きっとあなたにふさわしい1台が見えてくる。

文 霜田 憲一 / 八島 伸之 / 藤田 実 /  
難波 茂広 / なる / 編集部  
イラスト 村林 タカノブ

# バリバリ通信モデル

ノートパソコンよりも機動力があって、携帯電話よりも表示内容が豊か -- PDAを使ったインターネット接続の優位性はこのふたつにあるだろう。さらに、豊富な通信方法を備えたCLIEを使えば、状況に合わせてベストな手段をチョイスできる



## 自分の通信スタイルに合ったCLIEを選ぶ

無線LANやBluetoothといったワイヤレス通信技術の確立に後れを取ることなく、Palmデバイスは通信機能を強化してきた。現在では日本語版、英語版を問わずほとんどのデバイスが、インターネット接続機能の充実ぶりをアピールしている。

中でもCLIEは通信機能へのこだわりを明確に打ち出してきた。SシリーズやNシリーズといった初期モデルでは、ジャケット型の携帯電話/PHS端末用モデムアダプターなど、「有線」で「外付け」タイプながらも通信用の周辺機器を用意していた。

このようなCLIEの通信スタイルを一変させた製品のひとつが、メモリスティック型のBluetoothモジュールであり、もうひとつがCLIE NX70V/63で初めて搭載された通信用CFスロットだと言えるだろう。BluetoothモジュールをCLIEに差すことによって、バッグに入れたBluetooth対応の通信機器を経由してインターネットに接続することが可能になった。通信をするたびにアダプターを接続しなくて済むことが、想像以上に快適であることを多くのユーザーに実感させたアイテムだった。また、CLIE NX70V/60の通信CFスロットは、本体に内蔵されたことで製品バリエーションの多いPHSカードをいっそう身近なも

のにした。

そして、現時点で通信を最もスマートに行える機種といえば、CLIE UX50をおいてほかにはないだろう。それまで外付けのモジュールを使って付加していた両機能を、デバイス本体に内蔵したことにより、何の周辺機器も使わずに、環境に応じてふたつのワイヤレス通信を使い分けられるようになったのだ。

なお、CLIEが通信に強いのはハードの進化だけによるものではない。CLIE NX70Vでは、ワイドハイ резо画面のメリットを存分に生かした3種類の表示モードを持つWebブラウザ「NetFront」を搭載したほか、内蔵カメラで撮影した画像をダイレクトにメールに添付し送信できるといった内蔵ソフト間の連携など、ソフトの強化も大きく貢献してきたことは明らかだ。

通信機能の利用頻度を考慮したデバイス選び

通信用端末が多様化してきた今日において、ノートパソコンではなく、Palmデバイスを使って通信を行う意義はどのような点にあるだろうか。やはりパソコンと比べたときの、デバイスの携帯のしやすさが挙げられる。しかし、単に小さくて軽いから便利、というのではない。ポケットからさっと取り出して

Webサイトやメールを読めるということは、それだけ欲しい情報にためらわずにアクセスできるということである。まるで腕時計で時間を確認するような気軽さで、Webサイトやメールの閲覧が可能になったのだ。これは、ケースから取り出して画面を開き、OSを起動するといった一連の手順を踏まなければならないパソコンでは、到底まねのできない軽いフットワークをもたらしてくれる。

このカテゴリーでは、これまでに紹介した通信手段の進化をひと通りなぞることができる新旧のCLIEをピックアップした。特にCLIE UX50は通信用のモデルとしても間違いなく最高峰に位置するモデルだ。しかし、すでに現行モデルから外れてしまったCLIE Nシリーズでも、アダプター類は必要になるものの、普段持ち歩いている携帯電話やPHSカードを使って通信を行うことができる。通信には興味があるが利用頻度がそれほど高くないのであれば、外付けアダプターを利用するデバイスでも問題はないだろう。NX70V/60のように取り外すことのできないCFスロットが付いているよりも、むしろ付けたり外したりできるほうがメリットが大きいかもしれない。通信を意識した機種選びをするならば、まずはインターネットをどの程度利用するか把握しておく -- それが、このカテゴリーから最適なデバイスを選ぶための大切な一要素となるだろう。

「バリバリ通信モデル」基本スペック (下の表で背景がグレーになっているデバイスは、現在は店頭在庫のみの販売となっています)

デバイス名	メーカー名	発売時期	CPU	OS	RAM(MB)	寸法(ミリ)	重さ(グラム)	メモリーカード	画面サイズ
CLIE UX50	ソニー(株)	'03年8月	Handheld Engine	5.2	104	103×86.5×17.9	175	メモリスティック(Pro対応)	480×320
CLIE NX70V	ソニー(株)	'02年10月	PXA250 200MHz	5	16	136.6×72.3×23.5	220	メモリスティック、CF(通信カード専用)	320×480
CLIE NX60	ソニー(株)	'02年10月	PXA250 200MHz	5	16	136.6×72.3×23.5	220	メモリスティック、CF(通信カード専用)	320×480
CLIE N750C	ソニー(株)	'01年9月	DragonBall VZ 33MHz	4.1	8	118.5×71×16.8	160	メモリスティック	320×320
CLIE N700C	ソニー(株)	'00年4月	DragonBall VZ 33MHz	3.5	8	118.5×71×16.8	160	メモリスティック	320×320
CLIE N600C	ソニー(株)	'01年8月	DragonBall VZ 33MHz	4	8	118.5×71×16.8	160	メモリスティック	320×320

基礎編

コンパクトフラッシュ(CF)型PHSデータ通信カードの普及、PHSの定額制コースの登場、PDAの無線LANへの対応などにより、通信するスタイルは大きく変わった。ここでは機種別に最適な通信方法を解説しよう。

## いつでもどこでもオンライン バリバリ通信モデル

まず最初に、機種ごとの最適な使い方をおさえたところで、具体的に利用できる通信機器を解説したい。なぜなら、例えばCLIE NXシリーズの場合は、通信カードスロットでCF型通信カードを利用するときにデバイスドライバーが必要で、ドライバーがなければ物理的に装着できても利用できないからだ。同様に、NシリーズでCF型データ通信カードを利用するときは㈱ハギワラシスCOMの「Communication Card Adapter (HPD-SCCP)」が必要だが、すべてのカードに対応しているわけではない。これらの対応については、表を参照してほしい。

CFカード型データ通信カードについては、NX60 / 70Vが㈱NTTドコモのP-inシリーズの一部の機種に、Nシリーズが128kbpsパケット方式のAirH"とb-mobileに対応しない点に注意が必要だ。それ以外の組み合わせでは動作する。UX50はCFカードスロットを搭載しないためCF型データ通信カードは使えないが、後述するBluetoothモデムアダプターを利用すれば、一部製品でBluetooth通信経由で利用できる。

携帯電話・PHSについては、「モバイルコミュニケーションアダプター」という周辺機器が用意されているNX60 / 70VとNシリーズが対応。どちらもオプションのケーブルを付け替えることで、PDC方式携帯電話、cdma方式携帯電話、㈱NTTドコモのPHS、DDIポケット㈱のH"の4種類の電話機と接続できる。また、表には掲載していないが、「DPC-NRX-SP」(㈱マスター、<http://www.master-corp.co.jp/>)というPHS接続ケーブルを利用すれば、NX60 / 70Vでソフトモデム機能を搭載するDDIポケット㈱のH"電話機(KX-HV210など)の接続も可能だ。通話も通信も1つの端末で利用したい人にお勧めできる。

なお、第3世代携帯電話の㈱NTTドコモのFOMAやボーダフォンのVodafone Global Standard(VGS)は、本体にケーブル接続する周辺機器はないが、これもBluetooth通信で一部の機種には対応できる。

表 「バリバリ通信モデル」の対応通信方法一覧

ジャンル	通信方法	機種		
		CLIE NX60/70V	CLIE UX50	CLIE Nシリーズ
CFカード型C@rd H"/Air H"	CFE-01		×	+2
	CFE-02/RH2000P		×	+2
	AH-N401C/H401C		×	×
	AH-H403C	+1	×	×
CFカード型P-inシリーズ	P-in Comp@ct/m@ster		×	+2
	P-in memory/Free 1P/2PWL	×	×	+2
	P-in Free 1S	+1	×	+2
CFカード型b-mobile	U100C/U50CBb'100-721/Bb'50-721	+1	×	×
	P-in memory/Free 1P/2PWL	×	×	+1+2
携帯電話 / PHS	PDC(NTTドコモ/vodafone)	+4	×	+3
	cdma(au)	+4	×	+3
	W-CDMA(FOMA/VGS)	×	×	×
	PHS	+4	×	+3
無線LAN(IEEE 802.11b)	無線LAN内蔵	×		×
	無線LANカード(PEGA-WL100/110)		×	×
Bluetooth	Bluetooth対応携帯電話 / PHS	+5		+5
	Bluetoothモデムアダプター	+5		+5
赤外線	ICカード公衆電話などの赤外線モデム	+1	+1	+1

\*1 メーカーによる正式な対応は公表されていないが、動作を確認できたもの  
 \*2 ㈱ハギワラシスCOM製「コミュニケーションカードアダプター(HPD-SCCP)」が必要  
 \*3 ソニー製「モバイルコミュニケーションアダプター(PEGA-MA700)」が必要  
 \*4 ソニー製「モバイルコミュニケーションアダプター(PEGA-MA15)」が必要  
 \*5 ソニー製メモリースティック型「Bluetoothモジュール(PEGA-MSB1)」が必要

無線LANへの対応は、UX50が無線LAN機能を内蔵するほか、NX60 / 70VはCFカードスロットに「PEGA-WL110」を装着することで対応。いずれも、SSLとJavaScriptに対応したWebブラウザ「NetFront for CLIE」を搭載し、公衆無線LANサービスのWeb認証も行えるので、ワイヤレススポットを利用すれば、外出先の通信手段として活用できる。

Bluetoothについては、ここで述べた機種はすべて対応可能だ。UX50はBluetooth内蔵、NX60 / 70VとNシリーズはメモリースティックBluetoothモジュール(PEGA-MSB1)を使用する。Bluetooth通信で利用できる携帯電話は、auの「C413S」とau端末用のBluetoothアダプター、そしてボーダフォンの「V-NM701(NOKIA 6650)」、PHSは㈱NTTドコモの「パルディオ633S」のみだが、㈱ハギワラシスCOMのBluetoothモデムアダプター



モバイルコミュニケーションアダプター(PEGA-MA500)、ケーブル差し替えでW-CDMA以外の携帯電話に対応

「B-port II」を利用すれば、㈱NTTドコモのデータ通信カードならBluetoothモデムとして利用できる。これにより、@FreeD対応のP-in FreeシリーズやPCカード型FOMA端末のP2401などがBluetoothで使える。



## 安く通信したい

つなぎ放題のプランでインターネットを利用したいが、利用料金はできるだけ安く抑えたい。しかしAirH<sup>®</sup>の128kbpsパケット方式だと、月額基本料は年間割引を利用して8430円になり、決して安いとは言えない。とにかく安くということであれば、AirH<sup>®</sup>の32kbpsパケット方式や@FreeDを検討してみよう。これらのサービスの月額基本料金は、

年間割引を使えば月額基本料を5000円弱まで抑えることが可能だ。AirH<sup>®</sup>は、現在は128kbpsパケット方式にも対応した端末しか販売されていないが、これは128kbpsパケット方式で契約しなければならない、ということではない。また、さらに月額料金を抑えたいなら、日本通信㈱の「b-mobile」を検討するといいい。料金は先払いなので初期コストは高額だが、32kbpsで昼間限定(7~21時のみ接続可能)の「Bb'50-721」なら1日わずか109円で利用できる。

### AirH<sup>®</sup>端末(AH-H401C)



AirH<sup>®</sup>のつなぎ放題は、32kbpsパケット方式のみを利用できるコースにすれば、月額5000円弱の料金で済む

## 高速な通信をしたい

AirH<sup>®</sup>を使っているが、パフォーマンスが遅くて満足できないという人は、@FreeDに乗り換えてみるのも手だ。AirH<sup>®</sup>と違ってパケット方式ではなく回線交換方式による接続なので、ISDN 64kbpsと遜色ない速度でインターネットに接続できる。ただし、@FreeDは高速移動に弱い、建物の奥でつながらないという㈱NTTドコモのPHSの弱点も抱えてお

り、注意しながら利用しなければならない。また、利用場所はさらに限定されてしまうが、大都市圏では公衆無線LANサービスや、無線LANを開放している飲食店などのワイヤレススポットを利用するのも手だ。無線LANならその上位の回線はブロードバンド回線であることがほとんどなので、PHSとは比べものにならない体感速度でWebブラウジングが可能。CLIEで接続する場合、平均400kbps程度の速度が得られ、PHSの数倍から10倍も速いことになる。

### @FreeD端末 (P-in Free 1S)



回線交換式の64kbpsで接続する@FreeDなら、AirH<sup>®</sup>のようなもたつきもなく、キビキビとした動作で通信が可能だ

## バッテリーを持たせたい

AirH<sup>®</sup>の128kbpsパケット方式や@FreeDの64kbps通信は比較的、消費電流が高く、Palmデバイスで長時間使っているとすぐにバッテリー切れしてしまう心配がある。もちろん、実際にデータを送受信するときだけ接続し、こまめに切断していればバッテリーの持ちもよくなるが、せっかくのつなぎ放題なのでできれば気にせず使いたい。

それならば、接続時に通信速度を遅く設定するといいい。例えば、AirH<sup>®</sup>のAH-N401Cでは、128kbpsパケット通信時の消費電流は約190mAだが、32kパケット通信時は約105mAしか流れない。同様に、@FreeD対応のP-in Free 1Sは、64kbps通信時の122mAに対して、32kbps通信時は89mAで済む。AirH<sup>®</sup>を32kbpsパケット通信で接続するには電話番号の末尾に「##61」を、@FreeDを32kbps通信で接続する場合は「#3201」をそれぞれ付加すればいい。



@FreeDを32kbpsで使いたいときは、「環境設定」の「ネットワーク」で、電話番号の末尾に「#3201」というコマンドを付け足す

## 手持ちの携帯やPHSを使いたい

もっとも手軽なのが、Bluetooth対応の携帯端末を使う方法だ。㈱NTTドコモのPHS「633S」があれば、Bluetoothを内蔵したCLIE UX50はそのまま、それ以外の機種はメモリースティック型Bluetoothモジュール「PEGA-MSB1」をセットしてワイヤレスでインターネットに接続できる。ただし携帯電話もBluetoothモジュールも揃えと、かなりの投資が必要になる。費用の面でも手軽な方

法であれば、携帯電話とPalmデバイスを接続するケーブルアダプターを使う方がいいだろう。CLIE NXシリーズなどであればモバイルコミュニケーションアダプター「PEGA-MA15」、CLIE Nシリーズであれば「PEGA-MA700」(販売終了)と、携帯電話にあった接続ケーブルを準備する。それほどかさばらないので、いつもCLIEと一緒に持ち歩いても負担にはならないはずだ。

### PEGA-MA15

価 オープンプライス(税1万2800円)  
問 ソニーマーケティング㈱  
URL <http://www.sony.co.jp/CLIE/>



接続ケーブルはPDC/H/PHS/cdmaOneの各方式に合わせて用意されている(税3000円)

応用編

基本編では、デバイス別のオーソドックスな通信方法を紹介した。実はそのほかにもBluetoothとFOMAを組み合わせて、赤外線と公衆電話を組み合わせたといったユニークなワザがある。

## 次世代携帯電話を使った通信方法

㈱NTTドコモの次世代携帯電話「FOMA」に直接ケーブルでつないでインターネットに接続できるPalmデバイス、今のところ存在しない。しかし、PCカードスロットを搭載するBluetoothモデムアダプター「B-port」と、PCカード型のFOMA端末「P2401」を組み合わせることにより、FOMAの高速パケット通信を利用することが可能である(70ページ参照)。この組み合わせは、PalmデバイスがBluetoothに対応していればどの機種でも利用可能だ。ただし、FOMA P2401を利用するとB-portのバッテリーがあっという間に消耗してしまうので、こまめに電源のオン/オフを切り替えたほうがいい。

また、Bluetooth経由の場合ならば、ボーダフォン㈱の次世代携帯電話サービスである「Vodafone Global Standard (VGS)」に対応した携帯電話の中に利用できる機種がある。ノキア製のV-NM701(NOKIA 6650)がそれだ。V-NM701はBluetoothと赤外線通信に対応し、そのどちらかを經由して高速パケット通信を利用できる。なお、auの次世代携帯電話サービス「cdma2000 1x」については、接続方法が以前のcdmaOneと同じため、速度の恩恵は最大限に受けることはできないようだが、モバイルコミュニケーションアダプターと専用ケーブルで接続することによって利用することが可能だ。



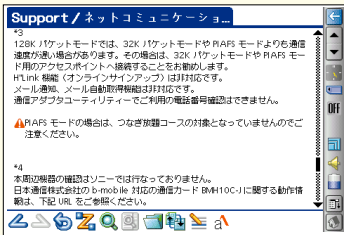
**B-port**  
 価 1万8500円  
 問 ㈱ハギワラシスコム  
 URL http://www.hscjpn.co.jp/



**NOKIA 6650**  
 価 7万9800円  
 問 ハローノキア  
 URL http://www.nokia.co.jp/

## AirH"と@FreeD 選択の決め手

定額制のPHSデータ通信サービスとしてライバル関係にあるのが、AirH"と@FreeD。高速で移動中の利便性を考えれば接続の切れにくい「AirH"」が有利だが、CLIE NX60/70Vでの利用に限って言えば、@FreeDにも大きなメリットがある。AirH"の128kbpsパケット通信は、CLIE NX60/70Vでは使用環境によっては32kbpsパケット通信やPIAFS通信よりも遅くなることもあり、あまり有効には使えないからだ。逆に、@FreeDは回線交換式であるため、CLIE NX60/70Vでは64kbpsの速度をフルに生かせる。高速なパフォーマンスを希望するならば、料金面でもお得な@FreeDが有利と言えるだろう。



「クリエ」サポートページ (URL http://www.nccf.sony.co.jp/)には、NX60/70VでAirH"の128kbpsパケット通信のパフォーマンスが出ないという記載がある

## ICカード公衆電話を使った通信

無線LANカードもないし、PHSも持ち合わせていない - - そんな状況でもデータ通信を行えるのが、ICカード公衆電話を使用する方法だ。必要なものは1枚1000円で販売されているICテレホンカードだけ。自動販売機や売店などで購入できる。カードをICカード公衆電話に入れて、Palmデバイスと公衆電話の赤外線ポートを向かい合わせれば通信を行える。環境設定の「接続」の設定で、「接続方法」「回線種別」をそれぞれ「赤外線」とモデム、「プッシュ回線」にし、「詳細」の「コマンド」欄に「ATS100=1」と記入する。赤外線ポートをしっかりと向かい合わせさえすれば、安定した通信を行える方法だ。



周辺機器も必要なく、最小限の初期投資で利用できる通信手段だ

## コラム 接続したあとのことも考えてデバイスを選ぼう

このカテゴリーでは、どのデバイスがどのような環境で通信を行えるか? という観点からデバイス選びのアドバイスをしてきた。しかし、いくら通信環境を整えても、接続したあとに操作がしづらかったら目も当てられない。例えば、メールの読み書きをメインに使う場合、短い返事をさっと書くことが多いならグラフィティエーを使いたい

し、長い返事を書くなら打ちやすいキーボードでじっくりと入力したくなるはずだ。また、メールやWebサイトの見やすさを考慮するならば、縦長よりも横長ワイド液晶のUX50のほうが全体の見やすさが増す。通信用のデバイスを選ぶときは、具体的な使い方をしっかりイメージしておくと、失敗が少なくなるはずである。

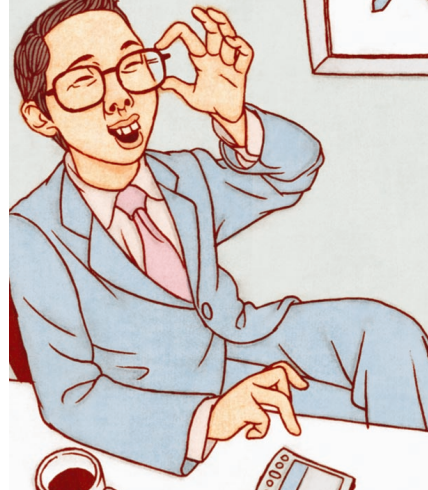


NetFrontでパソコン向けのサイトを閲覧するなら横長ワイド液晶のほうがきれいに表示できる

シンプルにカッコよく使う

## スリム&スマートモデル

シャツの胸ポケットに入れても目立たないPDA -- それが「スリム&スマート」モデルだ。紙の手帳のように小さく、それでいて機能は驚くほど多彩。さらに、ポディーが備える精悍さは、持つ者にモクーなイメージを与えてくれる。



### 初代スリムモデル「Palm V」のセンセーショナルなデビュー

'99年秋に米バーム社がPalm Vを発表したとき、それまでのPDAと一線を画したデザインに息をのんだ人も多かったろう。「PDAは四角くて厚い」というそれまでの常識を完全に覆した、まさに革命的で挑戦的なモデルだったからだ。メタリックな外観と革製の液晶カバーのコンビネーションが醸し出すその雰囲気は、一躍、ファッション性をアピールできる電子ツールとしても注目を浴びるようになった。Palm Vのための専用ケースが、著名なバッグブランドからいくつも登場したことが、その証拠だ。

また、本格的なPDAの機能を搭載しながら、厚さを10ミリに抑えたPalm Vのデザインは、その後、スリムさをアピールポイントとして売り出そうとするPalmデバイスの目標になった。さらに、その薄さが必然的にもたらす軽さも大きな魅力の1つだった。

これらの魅力が合わさることで、胸ポケットに入れても目立たず、小さいバッグに入れ

ても負担にならず、それでいて決して実用性を失うことのないギリギリのコンパクトさを確立したのだ。このPalm Vに代表される「スリム&スマートモデル」は、高い実用性に裏打ちされたデザインを備えるデバイスを求めるユーザーには、最適なカテゴリーだといえるだろう。

データ通信など周辺機器の必要な使い方には不向きかも

ここでは、Palm V系のPalm Vx、WorkPad c3と、その流れをくむPalm m500 / WorkPad c505シリーズ、またハンドスプリング社とソニー㈱からそれぞれ提案されたスリムモデルのVisor Edge、CLIE T400/T600/T650Cを紹介する。いずれのデバイスも、厚さはモノクロ液晶搭載モデルで10~11ミリ、カラー液晶搭載モデルが12~13ミリとなっている。特にPalm Vとm500系の、底辺が角張らずに滑らかに膨らんだデザインは、ポケットの中で非常に収まり具合がいいことがわかるはずだ。

しかし、スリムなモデルであるがゆえに避けられない問題もある。それはメールの送受信といったデータ通信に利用しようとする、外付けのアダプターやケーブルが必要になるという点だ。これらの周辺機器を持ち歩くということは、このカテゴリーのデバイスが備える携帯性や使い勝手を失ってしまうことにつながってしまう。データ通信やインターネットへの気軽な接続を何よりも重視するのであれば、自分が利用する通信環境に応じて、「バリバリ通信モデル」で取り上げた機種を選んだほうが得策かもしれない。

なお、ここで取り上げたモデルの多くが2001年以前に発売されたものであるため、現在では新品として入手するのが困難になってしまったものも存在する。しかし、機能一辺倒なデバイスよりもデザインにこだわりを持つデバイスを求めるユーザーや、持ち歩く負担をできるだけ感じたくないユーザーには、ぜひ愛用してほしいモデルだ。

「スリム&スマートモデル」基本スペック(表中のデバイスは、現在はすべて店頭在庫のみの販売となっています)

デバイス名	メーカー名	発売時期	CPU	OS	RAM(MB)	寸法(ミリ)	重さ(グラム)	メモリーカード	画面サイズ
WorkPad c3(40J)	日本アイ・ピー・エム㈱	'99年5月	DragonBall EZ 16MHz	3.1	2	115.5×79×11.5	119	-	160×160(モノクロ)
WorkPad c3(50J)	日本アイ・ピー・エム㈱	'00年4月	DragonBall EZ 20MHz	3.5	8	115.5×79×11.5	119	-	160×160(モノクロ)
WorkPad c505	日本アイ・ピー・エム㈱	'01年6月	DragonBall VZ 33MHz	4	8	114×81×13	139	SD/MMC	160×160
Visor Edge	ハンドスプリング㈱	'01年4月	DragonBall VZ 33MHz	3.5.2H2.0	8	119×79×11	136	スプリングボード*	160×160(モノクロ)
Palm Vx	バームコンピューティング㈱	'00年3月	DragonBall EZ 20MHz	3.5	8	114×78×10	113	-	160×160(モノクロ)
Palm m500	バームコンピューティング㈱	'01年6月	DragonBall VZ 33MHz	4	8	114×79×10	113	SD/MMC	160×160(モノクロ)
Palm m505	バームコンピューティング㈱	'01年6月	DragonBall VZ 33MHz	4	8	114×79×13	139	SD/MMC	160×160
Palm m515	バームコンピューティング㈱	'02年8月	DragonBall VZ 33MHz	4.1	16	114×79×13	139	SD/MMC	160×160
CLIE PEG-T400	ソニー㈱	'01年12月	DragonBall VZ 33MHz	4.1	8	118×71.8×9.9	122	メモリースティック	320×320(モノクロ)
CLIE PEG-T600C	ソニー㈱	'01年12月	DragonBall VZ 33MHz	4.1	16	118×71.8×12.5	138	メモリースティック	320×320
CLIE PEG-T650C	ソニー㈱	'02年5月	DragonBall Super VZ 66MHz	4.1	16	118×71.8×12.5	140	メモリースティック	320×320

\*スプリングボードモジュールにより、CF、メモリースティック、SD/MMC、スマートメディアが利用可能。

## 基礎編

寸法上はほぼ同じデバイスでも、手に持ったときの印象は大きく違うことが多い。ボディーのスリムさを体感させる要素には、どのようなものがあるのだろうか。ボディーの形状や材質といった観点から探ってみよう。

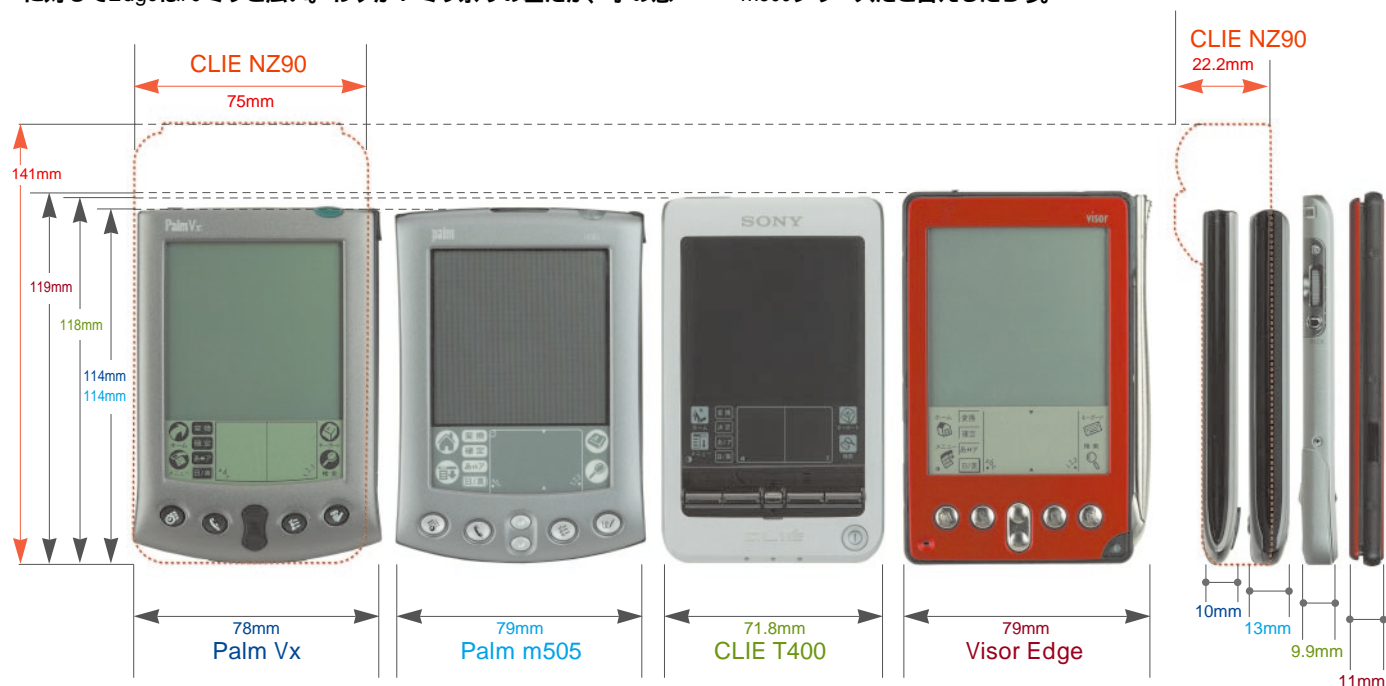
### 実サイズと感覚的なスリムさの関係

ひと口にスリムと言っても、その意味合いはさまざまに解除できる。今回取り上げた「スリム&スマートモデル」の各機種には外形寸法上は大きな差がない。厳密に言うと、CLIE T400(以下、T400)が最も小さく、Visor Edge(以下、Edge)が大きい。しかし、寸法だけが大きさの基準ではないことを覚えておきたい。Palmデバイスは手に持ってみて、初めてその大きさを実感することができるからだ。

例えば、EdgeはT400と同様に11ミリと非常に薄いのだが、手に持つとなぜか大きく感じる。それは横幅が広いからだ。T400の71.8ミリに対してEdgeは79ミリと広い。わずか7ミリ余りの差だが、手の感

覚では大きく感じる。T400は外形寸法のすべてが、あらかじめ日本人の手になじむように計算されているのかもしれない。

しかし、Palm m500シリーズもEdgeと同じ79ミリの横幅を持つが、Edgeほど大きく感じない。これは縦幅が114ミリと短いせいもあるが、ボディーに加えられた曲面が作用しているからだ。厚みも13ミリ(m505)と最も厚いのだが、ボディーの両サイドを滑らかに絞っているために、手に取ったときにそれほど大きさも厚みも感じない。これはPalm Vシリーズも同じだ。CLIE Tシリーズは手のひらに角が当たらないようにすることでフィット感をよくしているが、m500シリーズのようなしっかりとしたホールド感が得られない。これらのことから、スリムさを追求したボディー形状として成功しているのは、Palm m500シリーズだと言えるだろう。



### 手軽な持ち歩き方を考える

スリムでスマートなモデルだからこそ、持ち歩き方にも気を使ってみよう。大げさなケースは使わず、極力シンプルなものを選択して、手帳感覚で携帯するのがいいだろう。柔らかな布地のケースはデバイスとのすき間がでず、柔軟に変形するのであまりかさばらない。ストラップホールのある機種なら、ケースの代わりに標準のフリップカバーとストラップを使うのもいい。胸ポケットに入れた際に、落下のトラブルを未然に防ぐことができる。

#### 帆布ケース(参考写真)

犬印鞆製作所  
<http://www.kaban.co.jp/inu/>  
 (注: 本ケースはアップル コンピュータ(株)の携帯型ミュージックプレーヤー「iPod」用のケースをベースに特別に製品化したもの。現在は販売されていません)



純綿の帆布を使ったケース。厚さわずか5ミリなので、CLIEを取り出したあとカバンや引き出しの中でかさばることがない。また、型くずれの心配も不要だ

#### ネックストラップ

1200円  
 ファイブフォックス(MONO COMME CA)  
 03-3478-2811



軽量のデバイスならば、ストラップでつるしても邪魔に感じることが少ない。写真は、ストラップをワンタッチで付け替えて、長さを変えられるタイプのもの

## Palmデバイスに使われている材質を比較する

Palmデバイスに使われている主な材質は、大まかに分けると「強化プラスチック」「アルミニウム合金」「マグネシウム合金」の3種類になる。

初期のPalmデバイスは強化プラスチックで作られており、内部の電子回路に比べて外装が大きく、また形状もそれほど凝ったものではなかった。その後、強度や外観を向上させることを目的として、表面に金属素材を使用したデバイスが登場した。また、後発でPalmデバイスを発売したソニー(株)は、同社製パソコンの「バイオ」でその利用法を確立した、新しい金属素材であるマグネシウムをCLIEシリーズにも積極的に使用している。

特にマグネシウム合金はPalmデバイスの製造に大きな貢献をしており、マグネシウム合金を採用することによって、本来ならば省略できなかったボディー内部のシャーシやシールドが不要となり、さらに薄くて軽いCLIEを実現するのに役立っている。今後も、マグネシウム合金を採用したデバイスは増えていくだろう。Palmデバイスが時間とともにスリム化できた裏側には、このようなボディーを作る材質の進化があったわけだ。

Palmデバイスの材質と特徴

	強化プラスチック	アルミニウム合金	マグネシウム合金
機種名	<p>Palm Pilot、Palm シリーズ、m100シリーズ、Zireシリーズ、Tungstenシリーズのシャーシや外装の一部、Visorシリーズ、Treoシリーズ、Alphasmart Danaシリーズ、CLIE S/SJシリーズなど</p>  <p>CLIE SJ33</p>	<p>Palm Vシリーズ、Palm 500シリーズ、Visor Edge(外装のみ)、Tungstenシリーズ、HandEra 330、CLIE N/T/TJシリーズ(シャーシの一部に強化プラスチックを使用)など</p>  <p>CLIE T400</p>	<p>CLIE NR/NXシリーズ、UX50など</p>  <p>CLIE NX70V</p>
特徴	<p>一般的に電子機器に使われている強化プラスチックは、「ABS樹脂」(Acrylonitrile-Butadiene-Styrene resin)と呼ばれるもの。広い温度範囲に対して高い対衝撃強度を持ち、引っ張り強さ、剛性、強度において優れた特性を持つ。低温で溶けるため、簡単な金型で容易に成型品を作成できる。</p> <p>また最近では、ガラス繊維や炭素繊維、金属を混ぜることで、金属に近い特性を持った強化プラスチックが開発されている。</p>	<p>一般的な金属と比較して軽く、強度がある点が特徴。ほかの金属と比べて低い温度で成型できるほか、切削加工を行いやすいなど、加工性がいい点も特徴だ。製造技術もほぼ確立されており、マグネシウム合金などと比較して製造コストを抑えられる点も、さまざまな分野で採用されている理由だ。</p> <p>またリサイクル性も非常に高いことから、現在、最も扱いやすく優れた金属素材だと言われている。</p>	<p>最大の特徴は、現在実用化されている金属の中では最も比重が軽いこと。ほかにも強度/熱伝導(放熱)性/振動吸収性/電磁シールド性に優れており、リサイクル性も高い。そのため、近年の高精度な電子機器では幅広く採用されている。</p> <p>ちなみに、CLIE UX50やNXシリーズなどで使われているのは「AZ91系」と呼ばれるもので、マグネシウムにアルミニウムを9パーセント、亜鉛を1パーセント混ぜている。</p>

## クレードルとACアダプターの重さ比較

Palmデバイスばかりに目がいき、忘れられがちなのがクレードルとACアダプターの存在だ。HotSyncや充電用の機器として、またPalmデバイスの置き場所として酷使されるクレードルは、周辺機器の中でも重要な役割を持つデバイスの1つだ。これまでクレードルはPalmデバイスごとにさまざまなものが存在したが、最近ではPalmデバ

イスに装備されるポートの規格が統一されつつあるので、クレードルの種類も少なくなった。もしクレードルの構造が悪いと、Palm本体のスムーズな取り扱いができず、Palmを使うのが億劫にさえなってしまう。

また、クレードルと並んで気にかけておきたいのが、付属のACアダプターだ。最近のPalmデバイスは高機能化に伴って、ACアダプターも以前よりずいぶんと大型化している。長期の外出時にはクレードルとACアダプターをPalmと一緒に持ち運ぶ機会もあるので、大きさと重量は気になるところだ。本体がスリムなデバイスならばなおさらだろう。

各デバイスの付属クレードルとACアダプター

Palm Vx	Palm m505	CLIE T400	Visor Edge
			
クレードル、ACアダプター各280グラム	クレードル160グラム、ACアダプター340グラム	クレードル280グラム、ACアダプター150グラム	クレードル205グラム、ACアダプター145グラム
クレードルの内部にアルミニウムが詰まっており、Palmデバイスの脱着時にクレードルがガタガタ引きずられることがない	現行モデルにも採用されている「ユニバーサルコネクター」対応クレードル。ACアダプターはワールドワイドではないので要注意	CLIE Tシリーズ以降、多くのモデルで採用されたコネクターに対応したクレードル。ACアダプターもワールドワイド対応だ	Visor Edge専用にデザインされたクレードル。クリア素材の外見とは裏腹に、内部はアルミニウムがぎっしり詰まっている

応用編

薄くて軽いボディの魅力を味わい尽くしたら、思い切ってカスタマイズをしてみるのも手だ。外観を変えるもよし、メモリーを増量するもよし。いずれの選択をしてもボディのスリムさと軽さは失われることはない。

## ボディにオリジナリティを

スリムなボディのイメージを大きく変えられるのが、PDA工場の「カスタムペイント」サービスだ。塗装の色や種類は、オーソドックスな単色塗装の「ソリッドカラー」や、金属のような輝きを放つ「メタリックカラー」などから指定できる。このほかに、ハードボタンをカラーボタンに取り換えたり、LEDの色を変えるサービスも行っている。ボディ色はそのままにして、ちょっとしたアクセントをつけてみたいユーザーは試してみるといいだろう。どちらのサービスも、スリムボディの使い勝手をカスタマイズ後も残すことができる点が魅力だ。

### 「スリム&スマート」モデルのボディカスタマイズサービス

#### PDA工房

<http://www.u-systems.co.jp/pda/>

#### カスタムペイントサービス

対象機種：Palm Vx、WorkPad c3  
 価格：2万3000円から

#### 透明ボタン交換サービス

対象機種：Palm Vx、WorkPad c3  
 価格：9800円

#### サイレントアラーム用LEDカラー交換サービス

対象機種：m500/505、WorkPad c505、Visor Edge  
 価格：3980円

#### 尙マスター

<http://www.master-corp.co.jp/>

#### 取り換え用クリアケースキット

対象機種：Palm Vx、WorkPad 40J/50J  
 価格：2980円  
 \*交換作業はユーザーが行う

#### 取り換え用オリジナルカラーボタン

対象機種：WorkPad 40J、WorkPad 50J  
 価格：2000円

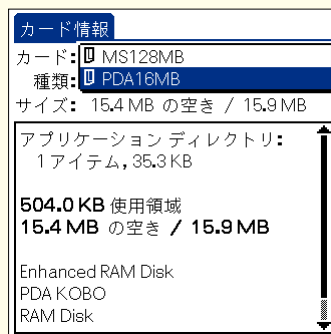
#### 取り換え用スケルトンボタン

対象機種：Palm m505  
 価格：1480円

## スリムなボディに大きなメモリーを

最近のPalmデバイスは、当然のように16MBや32MBのメモリーを搭載しているが、ロングセラー機が多いスリム&スマートモデルは、そのほとんどが2MBや8MBのメモリーしか搭載していない。しかし、これらの機種もメモリー増設サービスを受けることによって倍増することが可能だ。特にPDA工場の

32MB増設サービスは、Palm OS 4では16MBまでしか扱えないという制限に対応し、追加する16MBを内蔵型の仮想ディスクとして利用できるようにした画期的なサービスだ。サービスで行われる作業は改造にあたるため、メーカー保証は受けられなくなるが、代わりにPDA工場の独自保証が付く。



メモリーを32MBに増設したCLIE T600C。16MBの仮想ディスクが認識されていることがわかる

### 「スリム&スマートモデル」のメモリー増量サービス

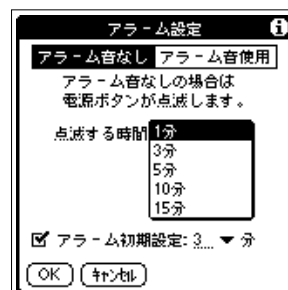
	2MBを8MBに増量		8MBを16MBに増量		32MBに増量	
	対象機種	価格	対象機種	価格	対象機種	価格
PDA工房 <a href="http://www.u-systems.co.jp/pda/">http://www.u-systems.co.jp/pda/</a>	WorkPad c3	8800円	Palm m500/m505、WorkPad c505、CLIE T400	8800円	Palm m500/m505/m515、WorkPad c505/CLIE T600C	8800円
尙マスター <a href="http://www.master-corp.co.jp/">http://www.master-corp.co.jp/</a>	WorkPad c3 (英語版)、WorkPad c3 (40J)	9800円	Palm m500/m505、WorkPad c505、Visor Edge	4980円	-	-

\*上記の機種以外を対象としたメモリー増量サービスも行われています。

## コラム Visor Edgeの「Palm OS 3.5.2 H2.0」はどうカスタマイズされているか

Visor Edgeに搭載されている「Palm OS 3.5.2 H2.0」は、Palm OS 3.5.2をベースにハンドスプリング社が独自の拡張を行ったバージョンだ。もともとPalm OSを開発した技術者が多く存在するハンドスプリング社が、独自のこだわりを持って使い勝手の向上に取り組んだ結果といえる。最も大きな変更点は、Visorシリーズ共通の特徴でもあるスプリングボード拡張スロットに対応しているところだ。スロットに差したモジュールから、ドライバーなどを自動的に読み込んで動作するよう

になっている。そのほかに、標準搭載のアプリケーションの一部が拡張されている点が挙げられる。標準の予定表に一週間の予定内容を見渡せる機能を追加した「予定表+」や、より複雑な計算に対応した「関数電卓」、世界地図に昼夜をビジュアル表示する世界時計「CityTime」などがそれである。さらに「予定表+」はVisorシリーズで唯一、サイレントアラーム機能を装備しており、これまでのアラームに加えて電源ボタン部分をLEDで点滅させ、音を出さずに予定の時間を知らせてくれる。



Visor Edgeで初めて搭載されたサイレントアラームの指定画面。その後、m500シリーズなどでも採用された

# バランス型モデル

Palmデバイスとしての基本をしっかりと押さえつつ、コストパフォーマンスにも優れた機種がバランス型モデルだ。高機能を競うのではなく、使い勝手の向上に力が注がれたモデルと言えるだろう。初めての1台としても最適な、しっかり者のデバイスたちだ。



## 使い勝手を犠牲にしないエントリーモデル

「バランス型」に位置するPalmデバイスは、そのほとんどが、すでにハイエンドモデルが登場したあとにエントリーモデルとして登場した機種だ。このタイプのモデルには、これまでPalmデバイスを購入しなかった層にも受け入れられるだけの低価格さと機能のバランスが必要になる。そのため、ベーシックな機能をしっかりと押さえたうえで、ハイエンドモデルとは違う味付けがされたデバイスが揃っていると書いていいだろう。日々、新製品が登場するPDAでは最新モデルに目がいきがちだが、実はこのバランス型モデルこそが最も長く愛用できる、完成度の高いモデル群ではないかと考える向きもある。自分に必要なものは何か、ということをしっくり見つめられる目を持った方々に使ってほしいモデルだ。

### 進化を続けたエントリーモデル

Palm m100は、バーム コンピューティング社が初めてエントリーモデルとして取り組んだモデルだ。単に低価格にただけではなく、落下故障に強い液晶パネルや本体形状の採用と軽量化を進め、さらに工具などを使わずに手軽に着せ替えできるフェイスプレート

を備えるなどの試みも行われた。このシリーズの最初の機種であるm100はモノクロ表示だったものの、その後、カラー液晶やSDカードスロットも備えたm130へと続いている。

CLIEシリーズのエントリーモデルとして登場したのがSJ30だ。こちらも単なる低価格モデルではなく、ハイレゾカラー液晶、メモリースティックスロットなどを備えており、CLIEとしては申し分のないスペックだ。さらに後継機となるSJ33では、音楽再生機能も内蔵し、Palm OS 4世代のCLIEとして、コンパクトなエントリーモデルであるにもかかわらず、非常に完成度の高い機種となっている。

### 大きな特徴を兼ね備えた機種も

CLIE NRシリーズは、初めての回転型ワイドハイレゾ液晶とキーボードを内蔵したモデルだ(写真)。このデザインは、その後登場するPalm OS 5搭載のNXシリーズやNZシリーズに継承されていく。NRシリーズに搭載されているOSはPalm OS 4なので、NXシリーズのPalm OS 5搭載デバイスと異なり、それまでのHackソフトなどもそのまま使える。ハードウェアの使い勝手はCLIEのハイエンドモデ

ルに近い、「いいとこ取り」のモデルといえる。すでに販売店の店頭にはないことが多いが、ワイドハイレゾ表示に加え、多くの既存ソフトを利用できる機種はこれだけだ。

CLIE TG50は、キーボード入力を主体とした薄型ストレートタイプのCLIEだ。全CLIEシリーズの中でも唯一のデザインとなっている。画面に近い位置にあるキーボードの操作性は快適で、このモデルの熱心なファンも多い。Bluetoothを内蔵しているのも大きな特徴だ。バランス型モデルの中では唯一、Palm OS 5を搭載している。



写真 折り畳み式ボディの第1号機となったCLIE NR70V。CLIE NX60/70Vに比べて、背面にCFスロットを搭載していないぶんスマートだ

「バランス型モデル」基本スペック (下の表で背景がグレーになっているデバイスは、現在は店頭在庫のみの販売となっています)

デバイス名	メーカー名	発売時期	CPU	OS	RAM(MB)	寸法(ミリ)	重さ(グラム)	メモリーカード	画面サイズ
CLIE PEG-SJ33	ソニー(株)	'03年2月	DragonBall Super VZ 66MHz	4.1	16	107.8×72.5×22	172	メモリースティック	320×320
CLIE PEG-TG50	ソニー(株)	'02年3月	PXA250 200MHz	5	16	26×71.6×16.2	184	メモリースティック	320×320
Palm m100	バーム コンピューティング(株)	'00年8月	DragonBall EZ 16MHz	3.5.1	2	118×79×18	137	-	160×160(モノクロ)
Palm m105	バーム コンピューティング(株)	'01年3月	DragonBall EZ 16MHz	3.5.1	8	118×79×18	137	-	160×160(モノクロ)
Palm m130	バーム コンピューティング(株)	'02年3月	DragonBall VZ 33MHz	4.1	8	122×78×22	153.1	SD/MMC	160×160
CLIE PEG-NR70	ソニー(株)	'02年3月	DragonBall Super VZ 66MHz	4.1	16	136.6×72.3×16.7	200	メモリースティック	320×480
CLIE PEG-NR70V	ソニー(株)	'02年3月	DragonBall Super VZ 66MHz	4.1	16	136.6×72.3×16.7	200	メモリースティック	320×480
CLIE PEG-SJ30	ソニー(株)	'02年8月	DragonBall VZ 33MHz	4.1	16	104×71.8×16.8	139	メモリースティック	320×320

基礎編

バランス型モデルに分類したデバイスのうち、特にCLIE SJ33やTG50にはさまざまなアクセサリが用意されている。簡単な取り付け作業で操作性を改善できるほか、デザイン面でも印象を大きく変えることができる。

## カバー交換によるデザインと操作性のカスタマイズ

「PDAIRクリアフェイスカバー for CLIE SJ33」は、CLIE SJ33用の交換用フェイスカバー。無色と色付きの2枚がセットになっている。無色はカバーを付けていないのと同じ視認性が得られ、液晶まわりのフレームがはっきりと見えるため、ボディのシャープなイメージが強調される。また色付きも純正カバーに比べて透明度が高いので、純正の外観イメージを崩さずに画面の見やすくできる。

純正品(ブルー)



純正品は色が濃いため、画面の視認性という点ではまひとつだが、ボディカラーの持つイメージを維持できる

PDAIRクリアフェイスカバー(ブルー) PDAIRクリアフェイスカバー(クリア)



視認性と本体のボディカラーを両立できる。ブルーのほか、イエロー/レッド/オレンジ/パープルなどがある



¥ 1780円(2枚1組)  
 問 ミヤビックス(株)  
 図 <http://www.miyavix.co.jp/>

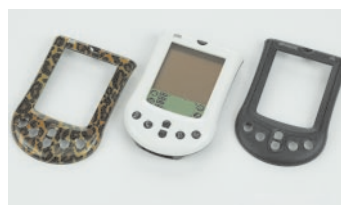
### PDAIRクリアフェイスカバー for CLIE TG50 1/2

¥ 1280円  
 問 ミヤビックス(株)  
 図 <http://www.miyavix.co.jp/>



開いた状態で固定するためのスプリングが付いていないが、実用上、あまり問題にはならない

TG50の純正フリップカバーは、液晶とキーボードの保護に用途を特化しており、開くと全体が縦に長くなって扱いはらくなる。「PDAIRクリアフェイスカバー for CLIE TG50 1/2」は、透明なハーフサイズのカバーなので、ハードボタンやキーボードが隠れない。液晶をタップせずに、キーボード中心で操作をしているユーザーには便利なアイテムだ。付属アルミカバーのシャープなイメージは失うが、引き換えに快適な操作性が得られる。



### フェースプレート

¥ 1300~1980円(販売終了)  
 問 パーム コンピューティング(株)  
 図 <http://www.palm-japan.com/>

写真中央の白いフェースプレートは、カラーリングなど、オリジナルプレートを作成する際のベースとしても使える

m100 / m105 / m130で使える全19色のフェースプレート。取り換えるには、まずフリップを取り、そのあと本体裏上部にあるフェースプレートのツメを外して、新しいプレートに付け替える。単色に加え、動物柄やカーボンプレートなども用意されているので、プライベートやビジネスの場に合ったイメージに変えられる。

## CLIE TG50のキーボードを使いやすくする



### ポケットタッチTG

¥ 1280円  
 問(合)ポケットシステムズ  
 図 <http://pocketgames.jp/>

右側3列に黄色、真ん中3列に無色のポケットタッチを貼り付けたキーボード。1シートにつき予備が8個付いている

キートップに貼り付けて、キータッチを改善するためのシール型アクセサリ。キートップが約1ミリ盛り上がり、キーの押しやすさが格段に向上する。キータッチがソフトになるほか、キー同士の間段差ができるため、打ち間違いを減らせる効果もある。特にCLIE TG50のキーは硬くて薄いため、押しにくいと感じている人は一度使ってみるといいだろう。無色と黄色の2枚組みになっているので、例えばファンクションキーと文字キーで色を分けるなど、自分の使い方に合わせた貼り付け方をするとさらに便利だ。このほかにも、CLIE NZ90用とNX73V/80V用がある。



### クッキー for CLIE TG50

¥ 3980円  
 問 ミヤビックス(株)  
 図 <http://www.miyavix.co.jp/>

装着後はキートップにしっかりと引っかかるので、簡単には抜けない。手に持ったときの滑り止め効果もある

CLIE TG50の下半分にすっぽりかぶせるタイプのキーボードカバー。パソコンのソフトキーボードカバーと同様、柔らかいシリコンでできている。キートップ部分に厚みがついているので、キータッチも向上する。スタイラス、ハードボタン、シリアルコネクター部分は切り抜かれており、クレードルにセットできないことを除けば、装着したままの周辺機器などの使用もほぼ問題ないだろう。取り付けと取り外しは簡単にでき、本体に貼り付けたり、加工したりする必要がないため安心して使える。色も半透明(キートップ部は透明)で、装着後の見た目も大きく変わることはない。



活躍の場が多いモデルだからこそ、データは大切に扱いたい。特に長期で外出するときは、バックアップしたデータと小型の充電器と一緒に持っていこう。もしハードリセットをしても、その場で復元が可能になる。

## タイプ別携帯型充電器

充電式のPalmデバイスを長期間持ち歩くとき、心配の種の1つがバッテリー切れた。そこで、持ち歩いても負担にならないポータブルな充電アダプターについて、標準のアダプターと併せて性能を比較してみた。

検証方法：CLIE SJ30を使用し、電源ボタンを押しても起動しない状況から充電を開始した。1時間の充電で得られるバッテリーの回復と、フル充電になるまでに要した時間を計測した。

純正アダプター



### 標準充電アダプター

CLIE SJ30にはクレードルではなく、充電とHotSyncが可能なアダプターが付属する。このアダプターを使って充電を行ったところ、およそ1時間半後には100パーセントまで回復した。ただし、アダプター部分はコンパクトだが、トランス部分が大きいので持ち歩きには適していない。自宅で利用するには、USBクレードル(PEGA-UC55)を別途購入するのもお勧めだ。

1時間充電後の残表示

70%

フル充電に要した時間

1時間 28分

乾電池型充電器



充電アダプター (PEGA-BC10)   
 価格 オープンプライス (¥3800円)   
 メーカー ソニー株式会社   
 URL <http://www.sony.co.jp/CLIE/>   
 【対応機種】CLIE T/NR/NX/SJシリーズ、TG50、TJ25

単3形アルカリ乾電池4本を利用するソニー純正の充電アダプター。クレードルにのせた場合と変わらない時間で充電が完了した。充電機能だけでなく、このアダプターから電力を供給して、すぐにCLIEを使用できるモードがあるのも便利。乾電池を入れた状態ではそれなりの重さになってしまうが、どこでも入手できる乾電池で充電ができるのは非常に安心感が高い。

1時間充電後の残表示

83%

フル充電に要した時間

1時間 33分

充電機能付きHotSyncケーブル (HotSyncボタン付き)



Retractable 充電Syncケーブル   
 価格 オープンプライス (¥2480円)   
 メーカー PDA工房   
 URL <http://www.u-systems.co.jp/pda/>   
 【対応機種】CLIE T/NR/NX/SJシリーズ、TG50、TJ25

USBポートに差して使う充電アダプター。試用した製品はCLIE用のコネクター部分にHotSyncボタンが付いたタイプ。ケーブルは巻き取り式になっており伸縮自在なので、取り回しもラクだ。長さ11センチまで縮むのでカバンに入れても邪魔にならない。Palmデバイスといっしょにノートパソコンも携帯することが多く、外出先でHotSyncをしたい人には便利なアダプターだ。

1時間充電後の残表示

75%

フル充電に要した時間

1時間 30分

多機能型充電アダプター



3 in 1 充電Syncキット   
 価格 オープンプライス (¥2480円)   
 メーカー PDA工房   
 URL <http://www.u-systems.co.jp/pda/>   
 【対応機種】CLIE T/NR/NX/SJシリーズ、TG50、TJ25、m500/m505/m515/m130、WorkPad c505

USB HotSyncケーブル、ACアダプター、カーシガーソケットがパッケージされた、3通りの充電が可能なアダプターセット。今回、ACアダプターを利用したテストでは4時間を超えても70パーセント以上充電されず、満足な結果を得られなかった。しかし、USB HotSyncケーブルでパソコンと接続したテストでは、ほかの製品と同等の1時間半程度で100パーセント充電が完了した。

1時間充電後の残表示

55%

フル充電に要した時間

4時間後で 75%   
 (以後、検証打ち切り)

## バックアップツール比較

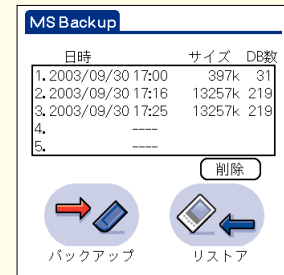
仕事や遊びにフル活用のバランス型モデル。だからこそ、データのバックアップはしっかりとっておきたいもの。そこで、パソコンがなくても外部メディアにバックアップできるツールの出番となる。本ページでは代表的なものを紹介しよう。

### MS Backup

(CLIE付属バックアップソフト)

「MS Backup」は、ほとんどのCLIEに標準搭載されているバックアップユーティリティだ。起動画面で「バックアップ」アイコンをタップするだけで、メモリースティックに本体メモリーの内容をフルバックアップできる。空き容量さえあれば、1つのメモリース

ティックに5回ぶんのバックアップを保存することが可能。本体メモリーへの復元も、戻したいバックアップを指定して「リストア」アイコンをタップするだけ。「MS Gate」や「CLIE Files」などのファイル管理ユーティリティを使えば、ファイル単位で本体メモリーに復元できる。メモリースティックさえ所有していれば追加の費用がかからない点も、ポイントが高い。



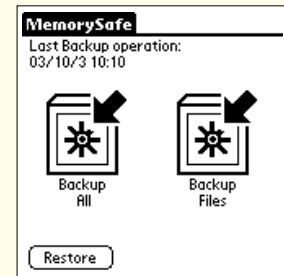
MS Backupを起動し、「バックアップ」アイコンをタップするだけでいい

### Memory Safe

19.99ドル  
米ノーススター・モバイル社  
<http://www.northstarmobile.com/>  
【対応機種】Palm m100/ c/Vx

メモリーカードスロットのないPalmデバイスでも利用できるバックアップツールが、「Memory Safe」だ。利用するには、あらかじめ付属CD-ROMから専用ソフトウェアをイ

nstallしておく。バックアップするには、Memory Safe本体をHotSyncコネクタに取り付けて、インストールしたソフトを起動する。フルバックアップをするときは「Backup All」を、ファイル単位でバックアップするときは「Backup Files」ボタンをタップ。リストアは「Restore」ボタンをタップする。上書きになる場合は、ファイルごとにリストアするかどうか確認メッセージが現れる。



全ファイルまたはファイル単位でバックアップできる

### Palm BackupCard

9800円(16MB版)  
パーム コンピューティング㈱  
<http://www.palm-japan.com/>  
【対応機種】m500/m505/m515/m130

パーム社純正のバックアップ用SDカードが「Palm BackupCard」だ。SD/MMCカードスロットを装備したPalm m500/m505/m515/m130などで利用できる。カードスロットに

Palm BackupCardを挿入すると、バックアップソフトが起動する。本体メモリーをカードに保存するには「バックアップ」ボタンを、カードから本体メモリーにリストアするには「復元」ボタンをタップするだけでいい。バックアップパスワード機能により、リストア時にパスワード入力を要求するように設定できる。保存できるのは1回ぶんのみで、「¥PALM ¥Backup.zip」に圧縮されて保存される。



カードを挿入するだけで自動的にバックアップソフトが起動する

## コラム 搭載メモリーが少ない機種は外部メモリーを活用しよう

Palmデバイスの搭載メモリーは増え続け、現在は多くのデバイスが16MBを搭載している。それと同時にインストールされるアプリケーションやデータも、辞書や静止画/動画ビューアー、Webブラウザといったファイルサイズの大きなものが登場し、メモリー容量は常に不足気味だ。

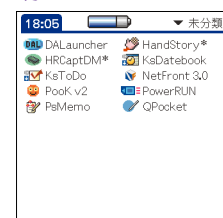
しかし、現行モデルの多くは外部メモリースロットを装備し、メモリーカードに保存したファイルを直接扱えるソフトが多くある。そこで、外部メ

モリーに対応するデータはどんどんメモリーカードに保存することをお勧めする。めったに使わないソフトをメモリーカードに退避させておくという手もある。操作は、ホーム画面で「アプリケーション」メニューの「コピー」を実行するだけでOKだ。

さらに、「PowerRUN」を使えば、内蔵メモリーに保存したときと同じように、ホーム画面でアイコンをタップするだけでカード上のアプリケーションを起動できる。

### PowerRUN

【作】山田達司  
<http://homepage2.nifty.com/hackerdudesan/>  
1800円



カードに移したアプリケーションは、名前の最後に「\*」マークが付く

# オールインワンモデル

「これ1台あれば何でもできる」--それが機能満載のオールインワンモデルを選ぶ最大の理由であることは言うまでもない。しかし、「多機能」や「高機能」などの言葉に頼り切るのも問題だ。ここではオールインワンモデルの可能性を検証し、その真の魅力に迫る。



## 実用性も遊び心もぎゅっと凝縮した高密度デバイス

「オールインワンモデル」とは、それ1台で多くの機能が利用できる「万能ツール」のような機種だと言える。デジタルカメラや音楽/動画プレーヤーなど、さまざまな機能を搭載しているので、オプションの周辺機器を買い足す必要がないだけでなく、同じ機能のデジタル機器を持ち歩く必要がなくなるのが最大のメリットだ。カバンの中の荷物が減らせるのはもちろん、あらゆる情報を1台に集約できるので、オールインワンモデルと携帯電話さえ手元があれば、たいていの用事は済んでしまうと言っていい。

ただし、多くの機能を詰め込んだぶん、ほかのPalmデバイスと比べてサイズが大きめになってしまうのは仕方がない。機種によっては、他機種の倍近く重いものもある。それに、何でも1台でこなそうとするためバッテリーの持ちが悪くなりがちなのも、オールマイティーモデルのウィークポイントだ。

従って、オールマイティーモデルがオススメなのは、それらのデメリットを差し引いても、1台で何でもこなせるほうがはるかに魅力的だと思える人だろう。

### 超重量級だが真に実用的なCLIE NZ90

CLIE NZ90の長所の1つは、写真の撮影と

活用にデジタルカメラとパソコンが不要な点だ。例えば、CLIE NZ90を使ってロケーションハンティングをしよう。NZ90が搭載するデジタルカメラの有効画素数は200万。写真に収めた文字がつぶれる心配はないし、フラッシュがあるから日が暮れても鮮明な画像が撮影できる。また、赤目軽減機能が付いているので、あとでパソコンを使って修整する必要も少ない。カメラソフト「CLIE Camera S」(図)では、画面上の任意の被写体をタップして自由にピントが合わせられるし、インターレーススキャン方式のCCDを採用しているので動画撮影にも強い。そして、何ととても便利なのが撮った画像をそのままプリンターに出力したり、テレビに映してみんなで検討できる点だ。こうした使い方ができるNZ90は、高画質な画像を手軽に活用したい人にとってつげと言えるだろう。

NX80V/73Vは正統派、遊ぶならVisor CLIE NZ90よりもひとまわり小ぶりなのがCLIE NX80V/73Vだ。カメラの有効画素数はそれぞれ130万画素と31万画素で、CLIE NZ90には劣るが、CFスロットはデータ通信カードのほかにメモリーカードにも対応しており、高認識率の手書き入力ソフト「Decuma

Japanese」をCLIEシリーズの中で初めて搭載するなど、実用的な機能ではNZ90に勝る点も多い。最高のスペックは求めないが、もう少しバランスの取れた機能を求めたい人にはお勧めできる。

現在は入手が難しくなっているが、Visorはスプリングボードモジュールという独自のアタッチメントを差し替えて、目的に合った機能を容易に追加できる。データ通信やメモリーカードアダプター、万歩計、マッサージなど、実用系から遊びまでさまざまな種類が揃っている。必要なソフトはスプリングボードモジュールに収められており、プラグ&プレーですぐに使うことが可能。まさにオモチャ感覚で気軽に遊べるデバイスなのだ。



図「CLIE Camera S」の動作画面。フォーカス位置を指定するなどの操作が可能だ。

「オールインワンモデル」基本スペック (下の表で背景がグレーになっているデバイスは、現在は店頭在庫のみの販売となっています)

デバイス名	メーカー名	発売時期	CPU	OS	RAM(MB)	寸法(ミリ)	重さ(グラム)	メモリーカード	画面サイズ
CLIE PEG-NZ90	ソニー(株)	'03年2月	PXA250 200MHz	5	16	75×141×22.2	293	メモリースティック、CF(通信カード専用)	320×480
CLIE PEG-NX80V	ソニー(株)	'03年6月	PXA263 200MHz	5	32	71.9×131.5×21.8	235	メモリースティック(Pro対応)、CF	320×480
CLIE PEG-NX73V	ソニー(株)	'03年6月	PXA263 200MHz	5	16	71.9×131.5×21.8	230	メモリースティック(Pro対応)、CF	320×480
Visor Deluxe	ハンドスプリング(株)	'00年6月	DragonBall EZ 16MHz	3.1H2	8	76×122×18	153	スプリングボード*	160×160(モノクロ)
Visor Platinum	ハンドスプリング(株)	'00年12月	DragonBall VZ 33MHz	3.5.2H	8	76×122×18	153	スプリングボード*	160×160(モノクロ)
Visor Prism	ハンドスプリング(株)	'00年12月	DragonBall VZ 33MHz	3.5.2H	8	76×122×20	194	スプリングボード*	160×160

\*スプリングボードモジュールにより、CF、メモリースティック、SD/MMC、スマートメディアが利用可能。

## 基本編

黒いマグネシウム合金に身をまとったCLIE NZ90。300グラム近くあるヘビー級のボディに詰め込まれた個々の機能は、一体、どれほどの実力を持っているのだろうか。同等の機能を持つ周辺機器などと比較しながら、検証してみよう。

## 【図解・CLIE NZ90】

### Bluetooth

内蔵のBluetoothによって、ソニー製デジカメ「DSC-FX77」と組み合わせて、離れたところからシャッターを切ることが可能。また、「Remote Camera」をバージョン1.1にアップデート(無償)すれば、デジタルビデオカメラレコーダー「DCR-PC300K」を操作して動画撮影もできる。

#### 比較 メモリースティック型 Bluetoothモジュール

Bluetoothを搭載しないCLIEでも、「PEGA-MSB1」を使えばNZ90と同等の機能が実現する。ただし「Remote Camera」のアップデート(無償)が必要だ。



#### PEGA-MSB1

■ オープンプライス (¥1万9800円)  
 ■ ソニーマーケティング㈱  
 ■ <http://www.sony.co.jp/CLIE/>

### 200万画素デジカメ

搭載するデジタルカメラの有効画素数は、Palmデバイスとしては最高の200万画素。静止画の記録画像サイズを、最大1600×1200ドットをはじめとする7種類から選んで撮影することが可能。2倍デジタルズームや、10センチまで被写体に寄れる接写機能なども搭載する。

#### 比較 「Cyber-shot U」シリーズ

NZ90のカメラは、ソニー㈱の小型デジタルカメラ「Cyber-shot U」シリーズとほぼ同等。有効画素数200万画素は2代目以降のモデルと同じで、露出補正機能がある点ではNZ90に軍配が上がる。



#### DSC-U50

■ オープンプライス (¥3万円)  
 ■ ソニー㈱  
 ■ <http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

### Fun Cam

Fun Camを使ってNZ90をデジカメにせっき高機能なCLIE

NZ90搭載のデジカメ。ソフトウェアと組み合わせ、簡易的な防犯カメラとして使ってみよう。「Fun Cam」は、静止画の撮影と録画、そして録音可能なソフト。一定間隔で繰り返し記録できるタイマー機能も備えるうえ、任意の赤外線機器を使って離れた場所からでも操作できる特徴を持つ。

#### Fun Cam

■ 12.95ドル  
 ■ Bricenter S.A.  
 ■ <http://www.net-cell.com/funcam/>



例えば、午前8時30分から12時間、10分おきに5秒間ずつ自動的に録画したい場合は図のように指定する

### AV出力

プリンター出力と並ぶNZ90ならではのユニークな機能が、AV出力だ。付属のAVケーブルでクレードルのAV出力端子とテレビの映像・音声入力端子を接続し、「CLIE Viewer」が「CLIE Album」で画像を選ぶとテレビ画面に表示できる。

#### 応用 メモリースティック型 プレゼン用キット

本格的なプレゼンテーションをするなら、「Presenter-to-Go MS版パッケージ」がオススメだ。CLIEの画面をそのままモニターに表示するソフトやリモコンも付属する。



#### Presenter-to-Go MS版パッケージ

■ 2万7800円  
 ■ ADFT  
 ■ <http://www.ontest.co.jp/>

### フラッシュ

デジタルカメラにいわる補助光機能が付いているのは、NZ90とNX80Vだけだ。NZ90はフラッシュ、NX80Vはキャプチャーライトと呼ばれており、NZ90のフラッシュには、瞳孔が赤く反射するのを防ぐ赤目軽減機能が付いている。



CLIE NZ90(フラッシュ使用) CLIE NX80V(キャプチャーライト使用)

### 交換式バッテリー

NZ90に標準で付属するのは、大容量1200mAhのリチウムイオンポリマー充電電池だ。着脱式となっており、本体右側面のカバーを開けば簡単に交換できる。付属品と同等のバッテリーパック「PEGA-BP500」(¥7800円)を予備に持っておくと安心だ。

#### 比較 CLIE UX50用拡張バッテリー

CLIE UX50にもオプションの拡張バッテリーが用意されており、底面に装着することで駆動時間を伸ばすことが可能。しかし、充電電池をCLIE本体に収納してスマートに使いこなせるのは、NZ90だけのメリットだ。



#### PEGA-EB40

■ オープンプライス (¥1万2800円)  
 ■ ソニーマーケティング㈱  
 ■ <http://www.sony.co.jp/CLIE/>

### ICカードリーダー

ICカードリーダー機能で、IC乗車券「Suica」とブリペイド型電子マネー「Edy」の残高などをさっと確認できるのもNZ90だけの機能。Suicaの利用履歴を表示するには別途アップdater(無償)をインストールする必要がある。



### プリンター出力

パソコン用プリンターで直接印刷ができるのもNZ90だけ。プリンターとの接続に必要なUSBケーブルも付属している。プリンターをつないだクレードルにNZ90を載せて、「CLIE Viewer」が「CLIE Album」から印刷する。

#### 対応プリンター(エプソン販売㈱製)

PM-730C/740C/830C/840C/870C/880C/890C/3700C

オールインワンタイプのデバイスでは、機能の豊富さに比例して扱うファイルの種類やサイズも大きくなる。ファイルをスマートに保存し利用するためには、複数のメモリーカードをうまくやり繰りする知識があると役に立つ。

## 知っておきたいメモリーカードの種類と相場

Palmデバイスで使えるメモリーカードには、メモリースティック、SD/MMCカード、コンパクトフラッシュ(CF)の3種類がある。

メモリースティックにはノーマルサイズとコンパクトなDuoシリーズの2系統がある。それぞれ大容量のPRO/マジックゲート/独自機能(メモリーセレクト、高速転送など)付き/通常タイプの4種類があり、全部で8種類ラインアップされている(写真)。最も大容量なのは1GBのメモリースティックPROで、PROをCLIEで使うには機種によって本体のシステムをアップデートする必要がある(詳細は右ページを参照)。また、Duoを使うには付属のアダプターが必要だ。

SDカードには、ノーマルサイズとコンパクトな「miniSDカード」の2種類がある。miniSDカードは、専用アダプターを使うことで既存のSDメモリーカード対応機器との互換性を維持しているが、米パーム社はまだ公式に

は同社製のPalmデバイスによるminiSDカードのサポートをうたっていないようだ。SDメモリーカードは、Palm mシリーズやWorkPad c505、Tungstenシリーズ、HandEra、Danaなどで幅広く利用できる。

CFメモリーカードが使えるのは、現在販売されている機種ではCLIE NX80V/73Vだけだ。最大512MBまでのカードをサポートしている。CLIE NX60/NX70V/NZ90もCFスロットを搭載しているが、ソニー製の無線LANカードやNTTドコモのPHSなど、通信カード専用になっている。ただし、メーカーのサポート外になるが、米エルウェア社のドライバーをインストールすればCFメモリーカードも使用できるようになる(次ページ参照)。このほか、マイクロドライブは、HandEraとTRGproの2機種が対応。標準の状態ですマートメディアが使える機種はないが、Visorなら別途「MemPlugSM」アダプターを用い

ることで利用できる。

価格は種類や容量によってばらつきはあるが、目安としては128MBで5000~7000円台、256MBが1万円を超えるといったところだ。一般的にはCFが最も安価ことが多いが、64MB以下ではメモリースティックも安い。メモリーカードは容量が同じでもメーカーによって実売価格に100円~3000円程度の差があるので、売り場で同じ容量のものを何種類か比較するのがセオリーだ。



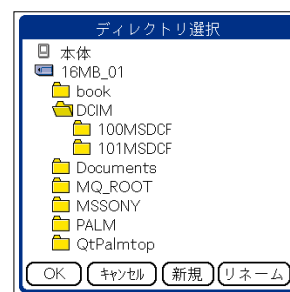
メモリーカード実売価格表 (調査日 2003年10月1日)

調査対象メーカー	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	対応機種
メモリースティックPRO	ソニー(株)	-	-	-	1万4800円 (MSX-256)	3万4800円 (MSX-512)	6万9800円 (MSX-1G)	Palm OS 5搭載のCLIE
メモリースティック	ソニー(株)	980円 (MSA-M16A)	2820円 (MSA-32AN)	4700円 (MSA-64AN)	7480円 (MSA-128A)	-	-	CLIE全機種、Acer sシリーズ
SDカード	パナソニック	1980円 (RP-SD016B)	2480円 (RP-SD032BL1A)	4280円 (RP-SD064BL1A)	6980円 (RP-SD128BL1A)	1万600円 (RP-SDH256N1A)	2万7500円 (RP-SDH512N1A)	Palm、Dana、HandEraなど
CFカード	株ハギワラシスコム	2480円 (HPC-CF 16ZX)	2880円 (HPC-CF32ZX)	3680円 (HPC-CF64Z)	5580円 (HPC-CF128Z)	1万800円 (HPC-CF256Z)	2万800円 (HPC-CF512Z)	CLIE PEG-NX80V/73V

## コラム メモリースティックはデジカメと共用できる?

**同**じメモリースティックをCLIEの内蔵デジタルカメラと市販のデジタルカメラで使い回すと、画像の扱いはどうなるのだろうか? 結論から言えば、特に問題はない。というのも、CLIEのカメラで撮影した画像とデジタルカメラで撮影した画像は、別々のディレクトリーに保存されるようになってからだ。この仕組みを定めているのが、ファイルシステムに関する規格である「DCF (Design rule for Camera File system)」で、CLIEもこの規格に準拠している。画像の保存先は、メーカーや機

種ごとに決まっており、少なくともDCF準拠のデジタルカメラと共用する限りは、大切な画像が上書きされて消えてしまうことはない。仮にDCFに準拠しないカメラでも、「/DCIM」以外の独自のディレクトリーに画像を保存するケースが多いため上書きの心配は少なそうだ。また、ソニー製の携帯電話「SO505i」で撮った画像もCLIEと同じディレクトリーに画像が保存されるが、CLIE側では既存のファイル番号と重複を避けて記録するようになっていため、上書きの心配はない。



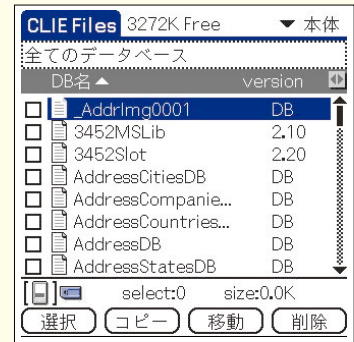
CLIEで撮った画像は「/DCIM/101MSDCF/」に、デジカメの画像は「/DCIM/100MSDCF/」に保存される

## CLIEでメモリースティックPROを使うには

標準の状態ではメモリースティックPROが使えるのは、CLIE NX80V/NX73V/UX50/TJ25の4機種だけだ(2003年10月時点)。それ以前に発売された機種で使用するためには、ソニーがサポートページで無償配布しているシステムアップデートソフトをダウンロードして、CLIEにインストールする必要がある。アップデートの対象となるのは、CLIE NZ90/NX70V/NX60/TG50の4機種で、Palm OS

4.1以下を搭載した機種はアップデートの対象外となる。

システムをアップデートすると、MP3や動画ファイルなどをメモリースティックPROに保存して、通常のメモリースティックと同じように再生できる。ただし、マジックゲート機能を利用したATRAC3形式の音楽ファイルは、「Audio Player」では再生できないなどの制約もあるので注意が必要だ。



システムをアップデートしたら「CLIE Files」を起動して、サポートページに記載されたファイルがインストールされたか確認しよう

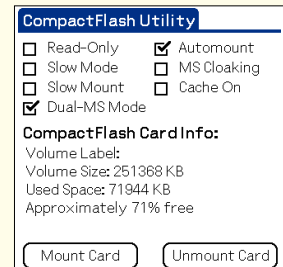
## CLIEの通信用CFスロットでメモリーカードを使う

CLIE NZ90とNX60/70Vに搭載されたCFスロットは、通信カード専用のためCFメモリーカードをマウントできない。しかし米エルウェア社の「CompactFlash Storage Card Driver for CLIE」をインストールすればマウントが可能になる。「CLIE Files」などのマルチボリュームに対応したアプリケーションでは、カードのフォーマットが行えないこと以外

は、特に問題なくカード内のデータを操作でき、メモリースティックとの間でファイルをコピーしたり移動することも可能だ。そのほかのソニー純正のアプリケーションでは、メモリースティックを取り外せばCFカード内のデータを利用できるようになるが、「MS Import」など動作に支障のあるソフトもいくつか存在するので注意しよう。

CompactFlash Storage Card Driver for CLIE

価格 27ドル  
 開発 米エルウェア社  
 URL <http://www.eruwarestore.com/>



CFドライバーの設定やCFメモリーカードのマウント/アンマウントは「CompactFlash Utility」で行う

## SDカードはCLIEでも使えるか

CLIEでSDカードを使うことはできるだろうか。プラネックスコミュニケーションズ㈱のアダプター(下写真)と㈱東芝製のSDカードを使ってCLIE NX80V/73Vで検証したところ、ドライバーをインストールすることなく使用することができた(ただし、メーカーはPalm OSへの正式な対応を公表していない)。

「CLIE Files」などによるファイルのコピー/削除のほか、メモリースティックとSDカードの間でファイルをコピーしたり、SDカードに保存したアプリケーションも起動することができた。



CF-SD(左上)  
 (SDカード/MMC CF変換)  
 CF-MS  
 (メモリースティック CF変換)  
 価格 各1980円  
 開発 プラネックスコミュニケーションズ㈱  
 URL <http://www.planex.co.jp/>

MRW-4C  
 (メモリースティック/SDカード/MMC/スマートメディア CF変換)  
 価格 3980円  
 開発 プラネックスコミュニケーションズ㈱  
 URL <http://www.planex.co.jp/>

## VisorでCFカードを使う方法

Visorでも、メモリーカードアダプターのスプリングボードモジュールを使えばCFカードを利用できる。「SnapSlot for Visor」(写真左)は、CFカード(Type )スロットのほかに8MBのフラッシュメモリーも搭載している。ドライバーのアップデートにより「P-in Comp@ct」「P-in m@ster」「C@rdH"64 petit」「AirH"Card petit(CFE-02)」などのCF型PHSも使用可能だ。「iTAX-Flash」(同中)は最大128MBまでのCFメモリーカード(Type )に、「iTAX-CFAD」はCF型PHSにそれぞれ対応を特化した製品だ。



SnapSlot for Visor  
 価格 9800円(販売終了)  
 開発 (株)アイ・オー・データ機器  
 URL <http://www.iodata.jp/>

iTAX-CFAD  
 価格 3980円  
 開発 加賀電子㈱  
 URL <http://www.taxan.co.jp/>

iTAX-Flash(FlashPuls)  
 価格 3980円(販売終了)  
 開発 加賀電子㈱  
 URL <http://www.taxan.co.jp/>

# 英語版モデル

人とは違うものを持ちたい、海外の最新型を所有したいと思うのなら、英語版モデルがオススメだ。日本語版にはない機能を搭載したのも多く、ボディのデザインも個性的。ソフトウェアをインストールすれば、基本的な部分については日本語化も可能だ。



## なぜ英語版？ -- メリットとデメリット

なぜ英語版を選ぶのか。それは海外メーカー製のPalmデバイスだけが持っている個性的な魅力にある。Palmデバイスの本場・米国では次々と新製品が発売され、日本語版が発売されることのないこれらのPalmデバイスが備えるデザインや機能は、とても新鮮で魅力的なものが多い。Palmを使い込んでいるユーザーはこうした点に引かれて、あえて英語版を選択するのだ。

英語版のメリットとは何だろうか。ひと言でいえば、日本では発売されない、最新型のPalmデバイスを使えることだろう。外観のデザインや性能面でのインパクトは英語版が一番だ。そんなPalmデバイスは、所有するだけでも満足度は高い。機能面では、日/英の入力モード切り替えボタンなどがなく、広くて

シンプルなグラフィティエリアや、豊富な海外製のパームウェアを何の障害もなく利用できるという点もある。

逆にデメリットは、日本で正規にサポートを受け持つところがない点だろう。英語版を並行輸入しているショップでは独自の保証を付けているところもあるが、メーカー保証のレベルではない。また輸入品ということもあり、現地価格に対してかなり割高になってしまつものつらい点だ。個人で輸入するのでもいいが、販売店で購入するよりもずっと手間がかかってしまう。

英語版は怖くない

何かとリスクのありそうな英語版だが、実際はそれほど大変なことではない。まず日本

語環境だが、これは山田達司氏のJ-OSをインストールすることによって、ほぼ完璧に日本語化を行える。J-OSは英語版Palmデバイスで日本語の表示と入力を行うためのソフトだ。J-OSを入れたうえでさらにソフトを加えれば、より高いレベルまでカスタマイズができる。やり方次第では、日本語版よりも日本語の得意なPalmデバイスを作れるかもしれない。

英語版デバイスを扱うショップの多くは、デバイスにJ-OSをバンドルするサービスを行っている。よって、本体を購入すればまず日本語化まではクリアできる。ユーザーコミュニティも多いので、もしトラブルが起きても、インターネットで調べれば参考になる情報も見つかるだろう。それらを考えると、環境は決して悪いものではない。日本国内でのPalmデバイスの選択肢が限られているいま、もう少し視野を広くして英語版Palmデバイスを検討してみたいかがだろうか。

「英語版モデル」基本スペック

デバイス名	メーカー名	発売時期	CPU	OS	RAM(MB)	寸法(ミリ)	重さ(グラム)	メモリーカード	画面サイズ
Zire	米パーム社	'02年9月	DragonBall EZ 16MHz	4.1	2	111.7×73.6×15.2	108	-	160×160(モノクロ)
Zire 21	米パーム社	'03年10月	OMAP 311 126MHz	5.2.1	8	111.7×73.6×15.2	108	-	160×160(モノクロ)
Zire 71	米パーム社	'03年4月	OMAP 310 144MHz	5.2.1	16	114.3×73.6×17.7	150	SD/MMC	320×320
Tungsten E	米パーム社	'03年10月	OMAP 311 126MHz	5.2.1	32	114.3×78.7×12.7	130	SD/MMC	320×320
Tungsten T	米パーム社	'02年9月	OMAP 1510 144MHz	5	16	101.6×76.2×15	158	SD/MMC	320×320
Tungsten T2	米パーム社	'03年7月	OMAP 1510 144MHz	5.2.1	32	101.6×76.2×15	158	SD/MMC	320×320
Tungsten T3	米パーム社	'03年10月	PXA255 400MHz	5.2.1	64	109.2×76.2×16.7	156	SD/MMC	320×480
Tungsten W	米パーム社	'03年2月	DragonBall VZ 33MHz	4.1.1	16	121.9×78.7×17.7	158	SD/MMC	320×320
Tungsten C	米パーム社	'03年5月	PXA255 400MHz	5.2.1	64	121.9×78.7×17.7	178	SD/MMC	320×320
Treo 90	米ハndspring社	'02年5月	DragonBall VZ 33MHz	4.1H	16	108×71.1×16.5	114	SD/MMC	160×160
Treo 180	米ハndspring社	'02年1月	DragonBall VZ 33MHz	3.5.2H	16	180×71×21	147	-	160×160(モノクロ)
Treo 270	米ハndspring社	'02年5月	DragonBall VZ 33MHz	3.5.2H	16	106.6×71.1×20.8	153	-	160×160
Treo 300	米ハndspring社	'02年8月	DragonBall VZ 33MHz	3.5.2H	16	111.7×71.1×20.8	161	-	160×160
Treo 600	米ハndspring社	'03年10月	OMAP 1510 144MHz	5.2.1H	32	111.7×60.9×22.8	168	SD/MMC	160×160
Dana	米ハndspring社	'02年6月	DragonBall VZ 33MHz	4.1	16	236.2×314.9×48.26	910	SD/MMC×2	560×160(モノクロ)
Dana Wireless	米ハndspring社	'03年7月	DragonBall VZ 33MHz	4.1.2	16	236.2×314.9×48.26	910	SD/MMC×2	560×160(モノクロ)

基本編

まずは英語版デバイスを日本語化するために必須となる「J-OS」について、その概要を解説しよう。また、デジカメや無線LANといった個々の機能について、日本語版モデルとその性能を比較してみる。

## J-OSで日本語環境を作る

英語版Palmデバイスを日本語で使う際に必須なのが、山田達司氏の作成した「J-OS」だ。Palmデバイスが誕生して日本語版が発売されるまでの間は、このJ-OSだけが唯一、日本語環境を構築できる手段だった。J-OSは英語版のPalmデバイス上で日本語の表示と入力を実現するソフトだが、それ以外に英語版Palmデバイスを日本語で使うという喜びを与えてくれたソフトでもある。その後、メーカーによって日本語版Palmデバイスが続々と登場し、一般ユーザーはごく普通に日本語版のデバイスを使えるようになった。しかし、あえて「英語版Palmデバイス+J-OS」を使い続けるユーザーの存在により、作者の山田氏も新機種の発売に合わせて精力的にJ-OSのバージョンアップを進めている。

J-OSは難しいものだというイメージがあるかもしれないが、それは過去の話といっている。現在はPalmデバイスの基本操作さえできれば、誰でも使えるほどに進化している。初期のバージョンと比較しても安定度は飛躍的に向上しており、インストール後の処理速度の低下もよほどのことがない限り感じることはないだろう。

### 4つのファイルからなるJ-OSインストールは難しくない

現在のJ-OSは日本語の表示と入力を行う2つのプログラム(図1)、それらに日本語表示用のフォントと変換用の辞書が加わった合計4つのファイルで構成されている。これらの基本ファイルのほかにも、各種メニューやメッセージなどを日本語化するローカライザー(図2)や、変換効率を向上する各種辞書、表現力をアップするフォントなどのオプションファイルが多数存在している。

J-OSは英語版Palmデバイスにインストールし、J-OSを有効にしたあと再起動するだけで、すぐに日本語の表示と入力を行えるようになる。文字の入力は日本語版と同様のグラフィティによるローマ字入力なので、混乱することはないだろう。日本語版と異なるのは、日本語入力がインライン(画面上のフィ

表 J-OSと対応機種一覧

J-OS	対象機種(英語版)	価格	備考
J-OS for Tungsten T Ver 2.1	Tungsten T/T2	5000円(30日間の試用期間あり)	
J-OS for Tungsten T Ver 2.2b1	Tungsten T3	5000円(30日間の試用期間あり)	
J-OS for Tungsten C Ver 2.1	Tungsten C	5000円(30日間の試用期間あり)	
J-OS for Tungsten W Ver 0.1	Tungsten W	条件付きで無償	カラーモード非対応(カラー画面にすると英文が見えなくなる)
J-OS for Tungsten E/ Zire Ver 2.2b1	Tungsten E, Zire 21	5000円(30日間の試用期間あり)	画面、メニュー、メッセージなどを日本語化するオーバーレイが入っていないし、Zire 21には不要なハイレゾフォントが含まれている
J-OS for Zire71 Ver 2.1	Zire 71	5000円(30日間の試用期間あり)	
J-OS V	Zire	7000円(2カ月間の試用期間あり)	
J-OS V + J-OS Treo Helper	Treo 90/180/270/300	7000円(2カ月間の試用期間あり)	
J-OS for Dana Ver 1.0b1r2	Dana, Dana Wireless	5000円	内蔵ワードプロセッサ「Alpha Word」では日本語が利用できない。日本語の印刷に非対応
J-OS for HandEra Ver 1.0	HandEra 330	2500円(60日間の試用期間あり)	

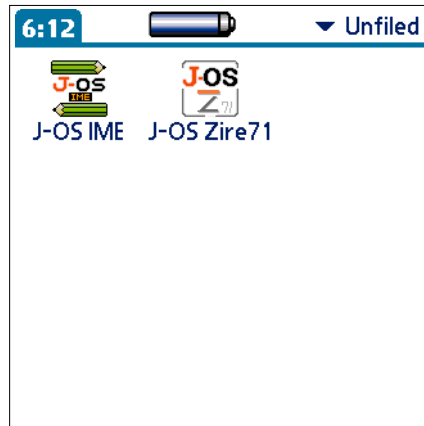


図1 最近のJ-OSは、個々のPalmデバイスに合わせた専用パッケージになっている。図はZire 71用のもの。「J-OS IME」は日本語入力を可能にするプログラムだ

ールドに直接、入力した文字を表示し、そこで変換を行うこと)ではないことだ。入力時には日本語入力用のパレットを開き、そこにローマ字入力をして変換をする(図3)。

J-OS環境で注意すべき点は、日本語版に対応したパームウェアとの相性だ。純粋な日本語版とは異なり、J-OSはあくまでも英語版Palmデバイスで動作するソフトウェアだ。場合によっては不具合が発生する可能性があることを念頭に置いておく必要もある。しかし、だからといって恐れることはない。そのパームウェアに適したローカライザーがない場合は、自動的にパームウェアは英語表記での起動となる。このように、敷居が高いようで実はそれほど高くない。それが「英語版モデル+J-OS」の世界なのだ。

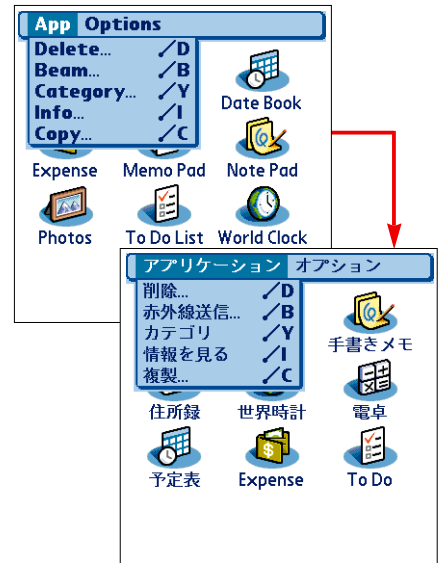


図2 ローカライザーは画面内の各種表示を日本語化するものだ。まるで日本語版デバイスと思えるくらいに「変身」する



図3 J-OS IMEによる日本語の入力方法は日本語版とあまり変わらない。ただし、日本語版のインライン入力とは若干異なる



## Tungsten Cの高速無線通信を検証

Palmデバイスにも無線LAN機能を内蔵した製品が多くなってきた。Tungsten CとCLIE UX50(以下、UX50)はその代表といってもいいだろう。どちらも通信速度が11MbpsのIEEE802.11bに対応した無線LAN機能を搭載している。

特にその実力が気になるのが、英語版デバイスのTungsten Cだ。Tungsten Cが搭載するCPUは米インテル社のPXA255 400MHzで、本稿の執筆時点において、Palmデバイスの中では最速のモデルとなっている。Palmデバイスだけでなく、Pocket PCにおいても最上級クラスのモデルに搭載されるCPUであることから、その性能の高さがうかがい知れる。一方のUX50は、Handheld Engineと名づけられたソニー製の自社開発によるCPUを搭載している。クロック数は123MHzと控えめな数値だが、内部メモリーにeDRAMを採用し、ボトルネックになっていたデータ転送速度を大幅に高速化している点が特徴だ。そこで、実際に両デバイスを使って無線LANの使い心地を試してみた。標準搭載のWebブラウザを使ってWebサイトの読み込みにかかった時間と、同じく標準搭載のメールソフトを使って同じサイズ

標準搭載のWebブラウザによる  
「asahi.com」(<http://www.asahi.com/>)の読み込み

**Tungsten C 14.2秒**  
まるでパソコンで読み込むかのようにスムーズにロードした。大きなサイズの写真も問題なく表示できる。画面が小さいため全体を閲覧するにはスクロールが必要になるが、スクロールもスムーズに行えて快適だ。

**UX50 22.5秒**  
ページが大きすぎるため「コンテンツの一部を正しく表示できない可能性があります。このまま表示しますか?」というアラートが頻繁に表示される。テキスト部分は読み込めるが、写真を完全に表示できないケースが多く見られた。

標準搭載のメーラーによるサイズ10KB×30件の英文メール読み込み  
(注:「Versa Mail」では日本語のメールを正しく表示できません)

**Tungsten C (Versa Mail) 6.1秒**  
ボタンを押すと同時に猛烈なスピードでメールを読み込む。予想以上の速度で読み込みが行われ、あっという間に完了した。

**UX50 (CLIE Mail) 26.5秒**  
読み込みを命令してから、実際に読み込むまでややもたつく。読み込んでいる最中に、ステータスバーが一時的に止まってしまうことがあった。

と件数のメールを受信するのにかかった時間をそれぞれ測定した。その結果が上の表だ。

この表から、通信に関しては圧倒的にTungsten Cのほうが高速なことがわかる。UX50は動画の再生などでははっきりと体感できる高速な処理が、残念ながら通信では発揮されなかった。

## Tungstenの5 Wayナビゲーターはこんなに便利

CLIEに搭載されているハードウェアスイッチといえば、ジョグダイヤル。これに対して、Zire 71やTungstenシリーズに搭載されているのが「5 Wayナビゲーター」だ。上下左右の4方向への「移動」と、「押す」という5通りの操作を行えるもので、画面下の中央部に付いている。

ジョグダイヤルと比較した場合、いい点と悪い点を挙げると右の表のようになるだろう。やはり、対応する操作が多いことが5 Wayナビゲーターの一番の長所だ。特に歩いている

ときなどスタイラスでの操作が困難な場合は、ボタンを使ったほうが断然ラクだ。また、Webブラウザなど、画面を広く使用するソフトでは、目的の部分を読むために上下左右のスクロール操作が必要になる。そのようなときも、5 Wayナビゲーターがあれば片手で済んでしまう。

しかし、ジョグダイヤルも負けてはいない。ソニーエリクソンのスマートフォン「P800」では、ダイヤルを傾ける操作を加えることで「5Way」化するという試みをしている。

### 5 Wayナビゲーター

- ：スクロールやカーソル移動、決定などの主要な操作が、1つのボタンだけでできる
- ：ボタンの位置が中央なので、利き腕に関係なく操作が可能
- ：ボタンの形状が丸いため、斜め方向に押し間違いがち

### ジョグダイヤル

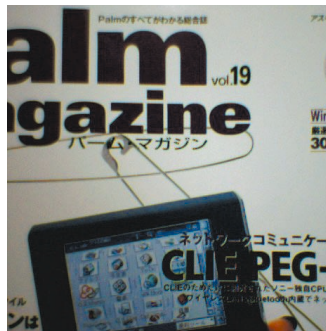
- ：操作方向が上下の回転方向に固定されているため、誰でもすぐに使える
- ：行える操作の数は、回転と押し込みの3つしかない
- ×：ジョグダイヤルが付いている位置が一定でないため、利き腕によっては使いづらい

## Zire 71搭載のデジカメの実力は?

299ドルという低価格ながらデジカメを搭載したZire 71。そのデジカメの性能についてCLIE NX70Vと比較しよう(右写真)。

まず、操作性については、撮影アングルの自由度、手ブレのしにくいボタン配置などからCLIEに軍配が上がる。CLIEはデバイス上部に回転式レンズとシャッターボタンを備えているのに対し、Zire 71はスライドした本体の背面にレンズ、前面にシャッターボタンがそれぞれ現れる構造だからだ。液晶画面の追従もCLIEのほうが数段滑らか。これはCPUの違いによるものだろう。そのため、Zire 71は動きの速い被写体の撮影には向かない。撮影画像は、Zire 71のほうがややコントラストが強い印象を受ける。

Zire 71



サイズは640×480ドット、ホワイトバランスはオート。コントラストが強くと暗がりハッキリと出ている

CLIE NX70V



撮影設定と環境はZire 71と同じ。色の再現性はまずまずで、全体のバランスが取れた画像になっている

応用編

英語版デバイスの中でも、特に個性的なデバイスを紹介しよう。Danaシリーズは、「超横ワイド」液晶の快適さを知ったらきっとハマるはずだ。また、スマートフォンの実際の使い心地についてもレポートする。

## Danaの「超横ワイド画面」と対応ソフト

Palmデバイスの中で特殊なモデルといえ、この「Dana」をおいてほかにはないだろう(写真)。ノートパソコンとも見てとれる大きなボディと、そこに搭載されたフルサイズキーボード。液晶画面も560×160ドットの超ワイドで、一見したところでもPalmデバイスには見えないくらいだ。

このDanaが最も活躍するのは、フルサイズのキーボードを生かした文字入力だろう。キーボードはノートパソコンのものと同構造で、シャーシもしっかりしているのでキータッチはとて美しい。ショートカット機能も充実しており、キーボードから指を離さずに作業を進められる。また、画面幅の制約に

よる無駄な改行が入らないので、文章は読みやすく書きやすい。

Danaにはワイド液晶に対応した専用のワープロ「AlphaWord」が内蔵されているが、J-OSの日本語化に対応していない。代わりにメモ帳やテキストエディターを使用すれば、ワープロとして活用できるだろう(図)。



超ワイド画面により文字入力のしやすさと読みやすさは抜群の「Dana」。SDカードスロットとUSBポートをそれぞれ2基搭載する。無線LANを内蔵した「同Wireless」も今年7月に発売された

### メモ帳

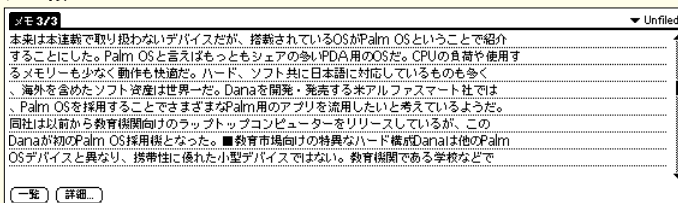


図 標準のメモ帳もDanaだとこんなにワイドに表示される。日本語の長い文章も、まるでレポート用紙に書いたように表示することが可能

## コラム 便利な携帯電話内蔵Palmデバイス(Treo 270編)

**海** 外出の多い私だが、やはり携帯電話は手放せない。海外では日本の携帯電話は電波方式の違いから使用できないので、国際ローミング対応の携帯電話か、現地の電波方式に対応した携帯電話を使うことになる。

面倒なことをせずに使えるのは国際ローミング対応の携帯電話だ。しかし、たまに使う程度ならいいが、いかに料金が高すぎる。もし頻繁にかけるとなると、現地で携帯電話を購入してみるのもいい。日本と違って携帯電話単体で購入でき、回線契約などは必要なく、プリペイド方式のカードを購入すればすぐに使える。香港では通信会社が10以上もあり、顧客獲得にしのぎを削っている。通話料は国内で10~15円/分、日本へは90~100円/分程度だ。

また、電話選びを楽しめるメリットもある。GSM携帯電話はSIMカードという小さなICカードに契約者のデータを記録しているため、このカードを交換することで簡単に機種変更ができるからだ。以前に香港の街をぶらぶらしていたときに、特価のTreo 270を見つけたので思わず購入したことがあった。Treo 270は携帯電話を搭載したPalmデバイスだ(写真)。ホテルに戻って早速J-OSで日本語化を行い、持っていた携帯電話のSIMカードをTreo 270に挿入したところ、すぐに使えるようになった。

それ以降の滞在中は、愛用のCLIEではなくTreo 270で過ごしたのだが、これが予想外に快適だった。まずはPalmデバイスと携帯電話の、2つの荷物が1つになったこと。ポケットにはTreo 270だけを入れておけば済んでしまう。また、携帯電話で使用するアドレス帳などのデータを、HotSyncによってパソコンと同期できるのも便利だ。Treo 270ではアドレス帳内のデータから発信できるので、パソコンで入力や編集をした最新版のアドレス帳を使って電話をかける。イヤホンマイクを使用すれば通話中にスケジュールのチェックをしたり、メモを取ることも可能だ。さらに快適なのが、外出先でメールやWebサイトのチェックができるようになったことだ。内蔵の携帯電話は通話以外にデータ通信にも対応している。

残念ながら日本ではこうしたメリットが一切受けられないため、帰国前に手放してしまったが、日本でもTreo 270のような端末が発売されたらぜひ購入したいと思っている。このような端末、いわゆる「スマートフォン」は今後、海外市場に多くの機種が出回るものと思われる。日本では携帯電話がPDAの機能を取り込みながら進化しているが、海外ではPDAに携帯電話が内蔵されたスタイルのデバイスが多い。これらはユーザーによるカスタマイズも可能で、PDAとしての使

い勝手もいい。搭載されるOSもPocket PC、Symbian、そしてPalm OSといったメジャーどころが多く、ソフトの汎用性も高い。残念ながら日本では、携帯電話は通信会社が販売し、携帯電話のハードウェア仕様の決定権までも握っているため、海外のようにスマートフォンが発売される可能性は今のところ低そうだ。

文 霜田 憲一



写真 米ハンドスプリング社のTreo 270。電話機能とキーボードを内蔵しながら、重さはわずか153グラムと軽量だ

# ピンポイント機種検索

さまざまなデバイスを眺めてきたが、さらに自分に合う1台を見つけるために、別の視点からも探ってみよう。これまでに挙げたデバイスを4つの機能で比較するとともに、海外製の中でも特にマニアックなデバイスを紹介する。

## 特徴機能で選ぶオススメPalmデバイス

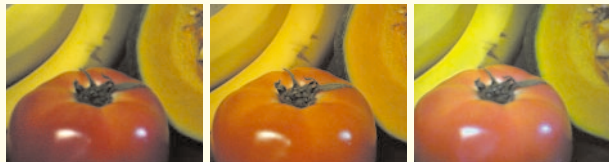
デバイスに多くの機能が搭載されるに伴って、デバイス選びの基準も多様化してきた。ここでは、デジカメや音楽再生といった付加的な機能に基づいて各機種を比較してみる。

### Q 画像がキレイに撮れるのは？

最も画素数が多いのはCLIE NZ90だ。有効画素数は200万で、静止画の記録サイズは最大1600×1200ドットと他機種を圧倒する。ただし、カメラの起動に約7～8秒かかる難点もある。CLIE NX80Vのデジカメは130万画素だが、プログレッシブスキャン方式(CCDが全画素を1回の走査で読み取る)を採用しており、インターレース方式のNZ90よりも静止画撮影に適していると言える。CLIE UX50、NX73V、NX70Vのカメラはどれも31万画素だが、UX50のみが3倍デジタルズームを搭載する(そのほかは2倍)。また、UX50とNX73Vはレンズの焦点距離が短いため、より広角なアングルで撮影することが可能だ。

### A 画素数で選べば2メガピクセルのCLIE NZ90

CLIE NX80V(130万画素) CLIE NZ90(200万画素) CLIE UX50(31万画素)



NX80V、CLIE NZ90、UX50の各機種で記録サイズを最大にして撮影した。10センチの接写も可能なNZ90では色合いもよく、野菜の繊維まで確認できる

### Q キーボードが打ちやすいのは？

唯一フルサイズキーボードを搭載するPalmデバイスが、米アルファスマート社のDanaシリーズだ。キー配列はパソコンと同じ6段で、キーの数は80個。キーにはホームポジションを示す突起が設けられ、タッチタイピングも可能。一方、キートップが小さくても意外に入力しやすいのが、米パーム社のTungsten Cや同Wだ。キー配列は4段でキーの数は35個と少ないが、キーの厚みが約1ミリほどあり確かなクリック感が得られる。CLIE UX50/NZ90/NXシリーズ/TG50などもキーボードを搭載するが、キーの厚みとクリック感が小さく、慣れるまではややストレスを感じるかもしれない。

### A フルサイズキーボード搭載のDanaシリーズ

Tungsten C CLIE TG50 CLIE NX70V



Tungsten Cのキーボードは、CLIEなどに比べてキーの厚みがあるほか、キーの溝がしっかりととってあるので打鍵しやすい

### Q 音楽再生時間が長いのは？

再生時間が最も長いのはCLIE UX50で、約16時間の再生が可能(HOLDスイッチをオンにしてディスプレイを非表示にした場合)。これは、アップルコンピュータ㈱のポータブルミュージックプレーヤー「iPod」の約2倍。さらに、オプションの拡張バッテリーを使えば、約35時間もの連続再生が実現する。Palm OS 4.1/3.5を搭載したCLIE N750C/N700Cはともに約11時間、同4.1搭載のCLIE SJ33も約10時間再生できる。これら3機種は、外出先でバッテリー切れになってもバッテリーアダプター「PEGA-BC10」などで充電できるので安心だ(注:再生時間はすべてカタログ上の数字)。

### A 最長はCLIE UX50の16時間

音楽再生時間で一部の専用ミュージックプレーヤーをしのぐCLIE UX50。ヘッドホン用ステレオミニジャックは付いているが、ヘッドホンは別売だ



### Q ゲームに向いているのは？

本気でゲームを楽しみたいなら、米タップウェーブ社(☎ <http://www.tapwave.com/>)の「zodiac」でキマリだ。<sup>ソディアック</sup>もちろんPIMや音楽再生機能もあるが、特にゲームプレーに焦点を絞っており、家庭用ゲーム機のコントローラーのようなボディーには上部左右にトリガーボタンがひとつずつ設けられ、正面右にはアクションボタンがある。スベックの面でも、「ATI IMAGEON」グラフィックアクセラレーターや「X-Forg 3D」ゲームエンジン、さらにはヤマハオーディオコンポーネントなどのAV系のチップと、ステレオスピーカーを搭載するといった充実ぶりだ。Bluetoothも内蔵しているので対戦型ゲームも楽しめる。

### A もはやゲーム専用機と云っていいzodiac

画面左のアナログコントローラーを使ってゲームキャラクターを自在に操作できるほか、ランチャーでは最大64個のアプリケーションを起動できる



## ちょっと変わった海外製Palmデバイスたち

海外製のPalmデバイスの中には、TungstenやTreoシリーズといったメジャーな機種のほかにも、多くの製品がリリースされている。いくつか紹介しよう。

### GSL Xplore G18

小型ながらもデジカメの付いたスマートフォン。カメラのレンズは背面にある。OSはPalm OS 4.1、CPUはDragonBall VZ 33MHzで、16MBのメモリーと2.2インチのD-TFDカラー液晶画面(176×240ドット、25万6000色)を搭載する。GSM方式での音声通話とGPRSによるデータ通信が可能(日本国内では使用不可)、連続通話時間は約2時間、待ち受けは約100時間。香港では9月に発売され、欧州でも今年の第4四半期に発売の見込みだ。サイズは幅48×高さ100×厚さ21ミリ、重さは約105グラム。



● 3680香港ドル  
● 香港グループセンスPDA社  
● <http://www.gspda.com/>

### Kyocera 7135

2つ折りタイプのスマートフォン。OSはPalm OS 4.1、CPUはDragonBall VZ 33MHzを採用し、16MBのメモリー、6万5000色カラー液晶、SD/MMCカードスロットを備える。音声通話はCDMAデジタルPCS / CDMAデジタルセルラー / アナログに対応し、CDMA2000 1Xによる最大153kbpsの高速なデータ通信が可能(日本国内では使用不可)、連続通話は約3.5時間、待ち受けは約160時間。MP3やAVI / WMVファイル用のプレーヤーも搭載。幅61.6×高さ100.8×厚さ29.7ミリ、重さ約186グラム。



● 529.99ドル  
● 米・京セラワイヤレス社  
● <http://www.kyocera-wireless.com/>

### Acer s60/s50/s10

台湾・エイサー社製のPalmデバイス。Palm OS 4.1とDragonBall VZ 33MHz、16MBメモリーを搭載し、メモリースティックスロットが付いている。画面は、ハイエンドの「s60/s50」がTFTカラー液晶(320×320ドット、4096色)、「s10」が16階調モノクロ液晶(160×160ドット)だ。s60の本体サイズは幅78×高さ122×厚さ13ミリ、重さ約145グラムで、ほかの2モデルもほぼ同じ。s60にはMP3再生機能があり、約9時間の連続再生が可能。s10には、英語版のほかに中国語版もある。



● 台湾エイサー社  
● <http://www.acer.com/>

### Pam168

Tungsten T3やzodiacと並び、ストレートタイプでバーチャルグラフィティをサポートした数少ないカラーデバイス。中国語と英語の両モードを切り替えて使用できる。Palm OS 4.1、DragonBall Super VZ 66MHz、16MBメモリーを搭載。画面は3.5インチTFTカラー液晶(320×240ドット、6万5536色)で、SD/MMCカードスロットを備える。MP3プレーヤーが付属し、音楽ファイルなどの転送用にミニUSBポートがあるのもユニークだ。サイズは幅75.4×高さ120×厚さ12.5ミリ、重さ約125グラム。



● 2450元  
● 中国レジェンド社  
● <http://www.legend.com/>

### Meazura MEZ1000

独自の拡張スロット「MZIO」を備えた業務用デバイス。Palm OS 4.1とDragonBall VZ 33MHz、SDRAM 16MB、モノクロ液晶(160×160ドット)を搭載する。大容量1900mAhの着脱式リチウムイオン充電電池のほか、衝撃に強い武骨なデザインが特徴。拡張スロットは背面にあり、対応モジュールを取り付けることでさまざまな機能が追加できる。IEC(国際電気標準会議)が定めた規格「IP67」に適合し、粉塵が本体内部に侵入せず、深さ1メートルの水中に30分間沈んでも水が浸入しない防水性を備える。



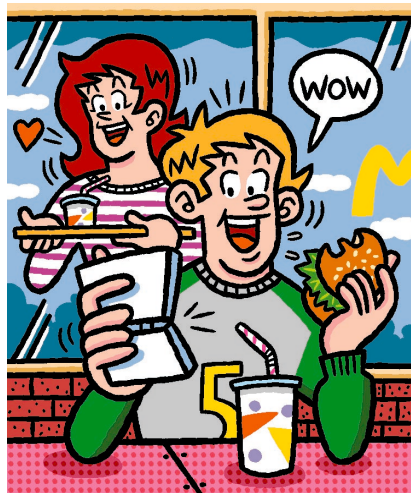
● 349ドル  
● ニューージーランドAceeca社  
● <http://www.aceeca.com/>

### SPT1800

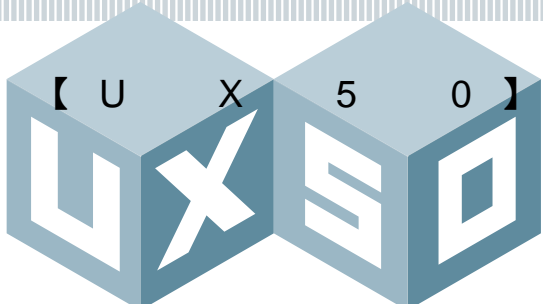
バーコードレーザースキャナー付きの業務用デバイス。日本語版Palm OSとDragonBall VZ 33MHz、RAM 8MB、モノクロ液晶(160×160ドット)を搭載する。IEEE802.11b準拠の無線LAN機能を内蔵するほか、1.2メートルの高さからコンクリートの床に落としても動作する耐落下衝撃性能や、高い防塵および防滴性を備える。個人でも「Duskin eeショッピング」(<http://pcshopping.ee-park.com/>)などで購入することが可能。本体サイズは幅92×高さ178×厚さ25.5ミリ、重さ約288グラム。



● 11万4800円  
● 日本シンボルテクノロジー株式会社  
● <http://www.symboljapan.co.jp/>



最新  
CLIEの  
最新  
活用法



# の 横ワイド画面を生かせ!

CLIE UX50で初めて搭載された横ワイド画面。メリットも大きい半面、従来機との操作性の違いに戸惑いを感じている人もいることだろう。だが、ここで紹介するTipsを使えば、横ワイド画面の活用度は断然アップするはずだ。

監修・文 難波 茂広 / イラスト 安喜 敏彦 / アートワーク 遠藤 嘉浩

## Index

- Palm界の“常識”を覆した横ワイド画面の衝撃 (P42)
- ボタンとストロークの使いにくさを解消する (P43)
- スタイラスにサヨナラできるUX50だけの操作法 (P44)
- 横ワイド画面をスミズミまで使えるソフトたち (P46)



## Palm界の“常識”を覆した横ワイド画面の衝撃

### 「縦ワイド」にも勝る「横ワイド」のメリットとは?

Palmデバイスの画面解像度は、初代PilotからCLIE第1号機のS300 / 500Cまで160×160ドットの正方形であり、それは1つの「常識」のようなものだった。この常識は、320×320ドットのハイレゾ液晶を搭載したCLIE N700Cの登場によって過去のものとなる。より滑らかで小さな文字を表示できるこの解像度は、Palm OS 5では標準機能として採用された。その後、320×480ドットの縦ワイド液晶を搭載したCLIE NRシリーズの登場によって「画面は正方形」という常識が破られる。このCLIE NRの縦ワイド液晶は、320×320ドットの表示域にソフトウェアで動作する320×160のグラフィTEEエリアが加わったにすぎなかったが、Palm OS 5を搭載したCLIE NXシリーズでは、画面全域を表示領域として利用できるようになった。そして再び、この常識を打ち破ったのが、横幅480ドットの横ワイド画面を備えたCLIE UX50なのである。

横方向へ拡大した画面を最も生かせるの

は、メールやブラウザーといった通信系のソフトだ。多くのWebサイトはパソコン向けに作成されており、閲覧者の表示環境が、横幅640から800ドット程度あることを前提に作られている。NetFrontの縮小表示モードならば、縦ワイド画面では320ドットの2倍である横640ドットまでのWebサイトをそれなりに再現することができた。だが、横幅が800ドットのWebサイトは1画面に表示できず、左右両端を見るには横スクロールが必要になった。その点、横方向に広い画面を持つUX50では、横幅800ドット程

度のWebサイトもより忠実に再現することが可能になったわけだ。

メールについても画面の横ワイド化による恩恵は大きい。多くのメールは、送信時に1行が半角70～80文字程度になっている。UX50のCLIE Mailでいちばん小さいフォントを使うと、1行の途中で改行を入れずに表示できるため、パソコンのメールソフトと同じように閲覧することが可能になる。つまり、横ワイド画面はパソコンで表示したときの「見た目」に近づけるといって大きなメリットがあるのだ。

### 画面の見やすさの違い

標準の320×320ドット表示に対して、縦ワイド画面は純粋に表示できる情報量が多い点が強みだ。一方、横ワイド画面はパソコンで見たときに近いレイアウトで表示できる点が特徴。PDAでWebサイトやメールを表示したときに感じちな、閲覧上の違和感や不便さはかなり解消されたとと言えるだろう



# ボタンとストロークの使いにくさを解消する

## ■ ワイド画面全体を使ってグラフィティー入力をしよう

**広いグラフィティーエリアが  
もたらす想像以上の快適さ**

アプリケーションを横ワイド画面いっぱいに表示するということは、つまりソフトシルクエリアを表示しないということ。しかし、それではグラフィティーで文字を入力できない。そこで「Graffiti Anywhere」の出番だ。Graffiti Anywhereは、スクリーン全体を使ったグラフィティー入力を実現するソフト。ハードボタンかジョグダイヤル、Backボタンでオン/オフを簡単に切り替え

られる。アルファベットと数字の入力エリアの境界線は、横ワイド表示時も320×320ドット表示時の中心となり、この境界線から左側がアルファベット、右側が数字の入力エリアとなる。

なお、横ワイド表示時はシルクエリアがないので日本語入力の「日/英」モード切り替えができない。これを解消するには、「FEP Toggle」(URL: <http://www5f.biglobe.ne.jp/> T-Pilot、フリーウェア)を使うといい。コマンドストローク「/」で入力モードの切り替えのほか、変換も実行できる。

## Graffiti Anywhere

Thierry Escande & Gilles Fabre フリーウェア  
URL: <http://www.escande.org/palm/>



ストロークや、アルファベットと数字の境界線を入力時に表示できる。境界線をまたいで書けば、シルクエリア上と同じくアルファベットの大字を入力可能だ

## ■ 慣れ親しんだグラフィティーを復活させよう

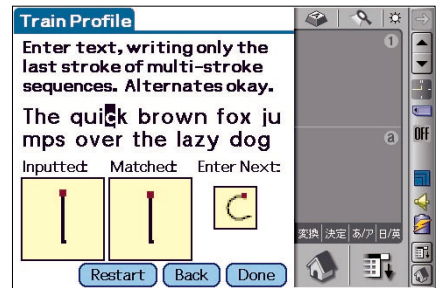
**ユーザーが持つグラフィティーの  
細かなクセまで覚え込ませる**

CLIE UX50が搭載するPalm OS 5.2は、手書き入力の方法としてグラフィティー2を実装している。しかし、いままで1ストロークで入力できた「I」や「K」や「X」といった文字は2ストロークが必要になり、従来のグラフィティーに慣れたユーザーには違和感を覚える人も多いはずだ。そこで、ストロークそのものをカスタマイズできる「TealScript」を使って解決しよう。

ただし、UX50には正式対応していないので、シルクエリアはすべて数字入力エリアと認識される。そこで、各種の設定を行う「Preferences」アイコンをタップして「Write anywhere on screen(OS 5)」をオンにし、スクリーン全体でストロークの入力ができるように設定しよう。TealScriptには、初めから搭載されているプロファイルに、従来のグラフィティーを基にしたストロークが各文字につき数通り登録されている。このプロファイルを使えば、使い慣れたグラフィティーが簡単に蘇る。

## TealScript

TealPoint Software 19.95ドル(30日間試用可)  
URL: <http://www.tealpoint.com/>



「Train Profile」機能では、例文を入力することで、自分のグラフィティーのクセをTealScriptに覚えさせることも可能だ

## ■ ハードボタンでソフトを一発起動しよう

**3個のハードボタンで  
9個のソフトをラクラク起動**

UX50のハードボタンは、従来機種種の4つから3つに減り、割り当てられたアプリケーションもPIMからNetFront、CLIE Mail、予定表になった。しかし、だからといって以前と使い勝手が変わってしまったわけではない。「環境設定」の「ボタン」メニューで、ボタンに割り当てるアプリケーションを変更すれば、従来のようにアドレスやメモ帳をボタンに割り当てられる。

また、ボタンが減って、割り当てられるアプリケーション数も減ったが、これは「KeyLunch」で解消できる。KeyLunchは、ハードボタンを2回押す順序の1つ1つに対して起動するアプリケーションを割り当てられるランチャーだ。メモに当たるボタンがUX50にはないため、KeyLunchで起動できるアプリケーションは全部で9個になる。また、キーボードのQ/W/E/R、A/S/D/F、Y/U/I/O、H/J/K/Lの合計16個のキーにそれぞれアプリケーションの起動を割り合てることも可能だ。

## KeyLunch

瀬古 茂幸 フリーウェア  
URL: <http://pamupamu.tripod.co.jp/>



ハードボタンのいずれかにKeyLunchを割り合せておくと、よく使うアプリケーションをボタンだけで簡単に起動できて便利だ



# スタイラスにサヨナラできるUX50だけの操作法

## KeyQuickでキー配列 / 操作を自在にカスタマイズ

### ジョグダイヤルとターンスタイルを封印して操作性を向上しよう

UX50は、従来のCLIEと異なる点がとても多い。ジョグダイヤルの位置は側面からキーボード面へ移り、最近の携帯電話と同じ「センタージョグ」タイプに変更されている。しかも、ポディーの手前側に搭載されているため、片手で操作するのは事実上、無理と言っている。

また、同じウィングデザインのNX / NZシリーズではターンスタイル(画面を外側に向けて折り畳んだ状態)をメインに利用している人も多いが、UX50では逆に、ターンスタイルでの使いづらさが目立ってしまう。グラフィティエリアは英字と数字の入力ボックスが縦に並んで入力しにくく、スタイラスで入力するときに片手でデバイスを保持しにくいなどの難点があるからだ。

ならば、いっそのことスタイラスやジョグダイヤルに頼った操作をあきらめて、さ

らにターンスタイルも封印してはどうだろう。代わりに、オープンスタイルでキーボード中心の操作をマスターするのだ。UX50対応の「KeyQuick」を利用すれば、キーボード操作を拡張したさまざまな操作を実現できる。

### キー配列にとどまらない KeyQuickのカスタマイズ機能

KeyQuickは、単にキー配列をカスタマイズするだけでなく、各キーやキーコンビネーションに独自の機能を割り当てられる。標準機能でも「Ctrl + 数字」キーのコンビネーションにアプリケーションの起動を割り当てられるが、KeyQuickならDAの起動やジョグダイヤルの操作、文書を編集するとき便利なフィールド操作、KeyQuick独自の各種機能を割り当てることが可能だ。また、キー操作に関係なく、ダイアログが表示されたときに自動的にボタンを選択する機能や、「Ctrl」キーの押下、日本語入力

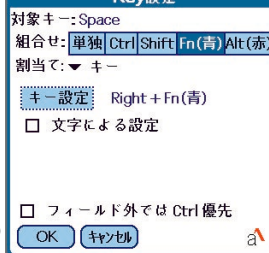
## KeyQuick

宿今関 弘明 価格 1200円(30日間試用可)  
URL <http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>



KeyQuickのキー設定リスト。各キーのコンビネーションに動作を割り当てた状況がひと目でわかる

### Key設定



キー設定の詳細。この設定では、青+Spaceキーの組み合わせに青+右カーソル(日/英モード切り替え)を割り当てている

モードをステータスバーに表示する機能も搭載している。UX50を使うときに便利な機能を数多く備えているので、操作性を改善するためには欠かせないソフトと言えるだろう。

## 1 ボタンを押すだけの HotSyncを復活する 設定例

### キー操作一発で HotSyncを実行する

UX50のクレードルは充電機能だけを備えており、パソコンとの接続はUSBケーブルを直接本体につなぐ方式に改められた(写真)。これに伴ってHotSyncボタンが廃止されたので、「ボタン一発」でHotSyncできなくなりました。そのため、HotSyncを実行するときは、いちいちHotSyncアプリケーションを起動して、HotSyncアイコンをタップするという手順を踏まなければならない。しかしこの手順は、HotSyncを実行できるDAソフトをKeyQuickを使ってキーに割り当てて、従来のHotSyncボタンならぬ「HotSyncキー」として復活させることによって解消できる。

## QuickSync DA

宿竹前 昌明 価格 フリーウェア  
URL <http://www.valley.ne.jp/takemae/>

USB接続のHotSyncキーを作成するには「QuickSync DA」を、ネットワーク経由のHotSyncキーを作成するには「NetSyncChg」を使用する。KeyQuickでこれらのDAを任意のキーと「Ctrl」キーのコンビネーションに割り当て、「フィールド外ではCtrl優先」のチェックをオンにする。これで、画面上にフィールド(メモ帳などの編集可能なテキストボックス)を持たないアプリケーションの起動中は、「Ctrl」キーを同時に押さなくても、HotSyncを割り当てたキーを押すだけでHotSyncできる。

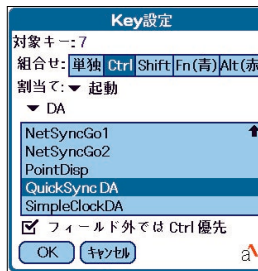
もちろん、ハードボタンにDA起動を割り当てるソフトを使っても同じことはできるが、数少ないハードボタンをHotSync用に固定するのはもったいないので、キーに割り当てたほうが得策だ。割り当てたキーは、

## NetSyncChg

宿今関 弘明 価格 フリーウェア  
URL <http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>



写真 UX50のクレードルは充電専用なのでHotSyncボタンがないUX50本体とパソコンは付属のUSBケーブルを使って直



QuickSync DAの起動をKeyQuickで「Ctrl + 7」のコンビネーションに割り当て、「フィールド外ではCtrl優先」をオンにする

インクリメンタルサーチで使用されることのない数字や記号のキーが適している。

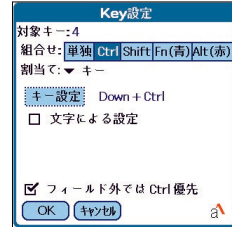
## 2 ジョグダイヤルの操作を数字キーで

設定例

片手で持ちやすくすれば  
安定性も向上する

UX50は、片手で持ったままジョグダイヤルを操作することが非常に難しい。そこで、KeyQuickで「Ctrl + 数字」キー(左手で持つなら1~4、右手で持つなら7~0)に、ジョグダイヤルのアップ/ダウン/プッシュとBackボタンに相当する「Ctrl + / /

改行/BS」のキー設定をそれぞれ割り当てよう。「フィールド外ではCtrl優先」にもチェックを付けておく。親指を数字キーの下の溝に添え、本体を挟むように持つと片手でホールドしても安定する。ジョグダイヤルの操作も、親指を少しスライドして割り当てた数字キーを押すだけだ。メモ帳などのフィールドをもつアプリケーションでは使えない技だが、電車内でDOC文書を開覧す



任意のキーにジョグダイヤルの操作を割り当てるには、「Ctrl+キー」 / 「改行/BS」キーの組み合わせを「Ctrl + 数字キー」に設定すればいい

るときなど、安定した片手持ちとジョグダイヤル操作を両立できる。

## 3 ダイアログのOKボタンを改行キーで押す

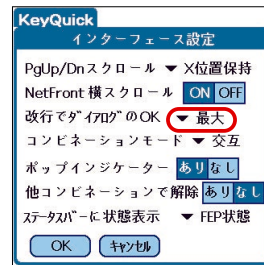
設定例

画面をタップしなくても  
選択/実行ができる

標準環境では、アラートやダイアログのボタンを押すには画面タップが必要だが、KeyQuickを使えば、これらのボタンを改行キーで押せるようになる。動作モードの指定をインターフェース設定画面で行おう。「改行でダイアログのOK」のメニューには

「しない」「アラート」「ダイアログ」「最大」の選択肢があり、どのレベルまで機能を有効にするかを決められる。

また、ダイアログに複数のボタンが並んでいるときは、左右のカーソルキーを押して選択するボタンを移動させることが可能だ(コントロールタップ機能)。タップしたいボタンまで移動したら、改行キーでそのボタンを押そう。



KeyQuickのインターフェース設定。「改行でダイアログのOK」の設定を「しない」以外に設定すれば改行キーでボタンを押せる

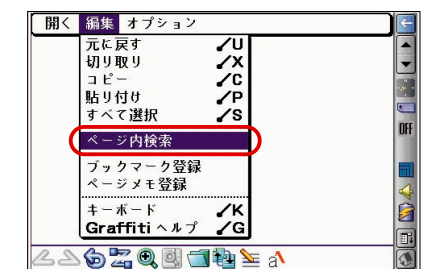
## 4 メニューもカーソルキーで自由自在に操作

設定例

片手でのボタン操作で  
メニューの行き来が可能

メニューを表示するには、ステータスエリアのメニューアイコンが、画面左上の部分をスタイラスでタップする。キーボードの操作では、「Ctrl + M」キーにショートカットが設定されており、このキーコンビネーションの入力でもメニューを表示できる。

さらに、KeyQuickの「M」キーのキー設定で「フィールド外ではCtrl優先」をオンにすると、フィールドのないアプリケーションの起動中は「M」キーを押すだけで、メニューを表示できるようになる。メニュー内では、上下左右のカーソルキーでメニューの選択候補を移動することが可能だ。目的の項目まで移動したら、改行キーを押せば決定、「BS」キーでキャンセルとなる。



上下左右のカーソルキーで、メニューの選択項目を自在に変更可能だ

## Question

### 旧CLIEからの乗り換えは大丈夫?

UX50はPalm OS 5.2を搭載した最初の日本語デバイスだが、ほかのCLIEからもデータの移行は可能だ。ただし、移行元の機種によってはいくつか注意が必要になる。まず、データを移すときは、元のデバイスとは別のHotSyncユーザー名を利用しよう。元のデバイス専用のシステムアップデートファイルがインストールされている場合、UX50には不要なこれらのファイルが転送されてしまうのを防ぐためだ。

PIMデータを移すには、Palm Desktopの元のHotSyncユーザー名のデータをいったんすべて書き出し、「ユーザ」メニューで、UX50で使用するユーザー名に切り替えてから読み込む。これで、カテゴリ情報も元のデバイスのものをそのまま利用できる。

そのほかのソフトやデータは、元のデバイスのバックアップファイルからまとめて復元せず、ソフトであればPalm OS 5に対応しているか、さらにUX50対応バージョンが公



CLIEのサポートサイト「ネットコミュニケーションカスタマリンク」にも多くの情報があるので参考にしよう

開されていないかチェックしながら、1つずつインストールしていこう。データファイルも同様に少しずつ復元していけば、トラブルを防止できる。





# 横ワイド画面をスミズミまで使えるソフトたち

## 横ワイド画面非対応ソフトも強制表示できる

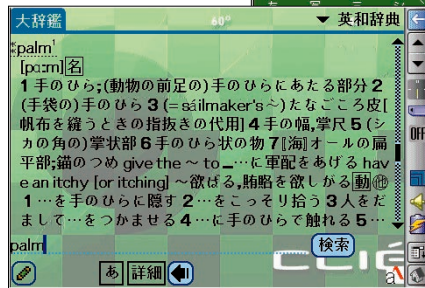
### テキストを広々した横ワイド画面で読める

UX50の横ワイド画面に対応するのは、基本的には標準で搭載されたアプリケーションのみで、サードパーティー製のアプリケーションは手を加えないと対応できない。本稿の執筆時点では、残念ながら、まだUX50の横ワイド表示に対応したソフトはそれほど多くない。縦ワイド画面を搭載したNXシリーズが登場したときは、非対応ソフトを強制的に縦ワイドで表示する機能を備えた「CodeDiver」によって、広い画面を利用することができた。そして、CodeDiverは早くもUX50に対応し、横ワイド表示に対応していないソフトも強制的に表示できるようになった。

CodeDiverは、Palm OS 5の拡張機能を使って外部からアプリケーションの動作を変更するツールだ。強制的にシルクエリアを隠してワイド表示する機能だけでなく、フィールド内のフォントを置き換えたり、野線の種類を変更したり、背景に壁紙を表示できるほか、アプリケーションの起動時や終了時にマクロを設定するといった機能も搭載されている。

しかし、CodeDiverではすべてのアプリケーションで横ワイド画面を使えるわけではなく、強制的に横ワイド表示できるのは、そのほとんどが画面上にフィールドやボタンなどが配置されたアプリケーションだ。具体的には、メモ帳や辞書など、テキストで画面が構成されるアプリケーションである。逆にワイド表示ができないのは、画面いっぱいに画像を表示したり、特殊な方法で画面を描画したりするアプリケーションだ。

横ワイド表示の設定をするためには、CodeDiverを起動してから「追加」ボタンをタップして、アプリケーションの設定を登録する。項目編集画面では、アプリケーション名称をメニューから選択し、「仮想シルク」の設定を開く。設定画面では、サイズ変更は「強制」、起動時サイズは「ロング」、終了時サイズは「そのまま」をそれぞれ選択し、「了解」ボタンをタップして設定画面を閉じる。「アプリ起動」ボタンをタップすると、設定した内容でどのように表示されるか確認することが可能だ。



## お気に入りの画像を壁紙にする

### アプリケーションごとに壁紙を指定できる

CodeDiverでは、壁紙(背景にテーマファイル)の設定も可能だ。正確に言えば、CodeDiverでアプリケーションごとにテーマファイルを有効にするか無効にするか設定を行い、壁紙の選択は「Display Theme Changer」(以下、DT Changer)で行う。

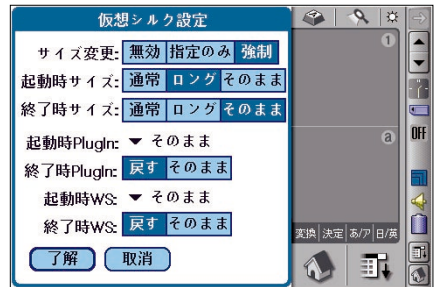
壁紙を作成するには、CodeDiverに付属する横ワイド画面用の壁紙コンバーター(WPDiverLS.prc)で行う。壁紙にしたいJPEG形式の画像ファイルはメモリースティック上の「/Palm/Images」ディレクトリ

ーに用意しておく。コンバーターで変換を行うときには、壁紙の色数、シルク部分の枠形状、DT Changerで表示されるコメントを設定/編集できるほか、指定色をかぶせる効果を設定できる。壁紙にあまり濃い色の画像を使うと手前に表示する内容が見づらくなるので、こうした場合は白色をかぶせて、画像のトーンを落とすといい。なお、壁紙はシルクエリアのグラフィック入力部に表示させることもできる。

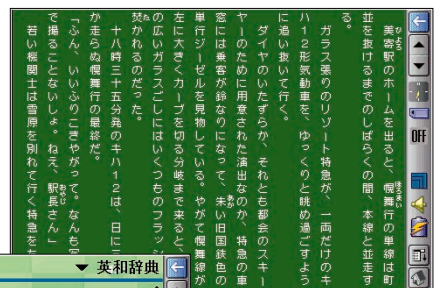
作成した壁紙は、CodeDiverで壁紙を有効に設定したアプリケーションで表示される。壁紙は描画に時間がかかるため、スクロールや画面の切り替えが多いアプリケー

### CodeDiver

作今関 弘明 価 1200円 30日間試用可)  
URL http://www.jade.dti.ne.jp/ imazeki/palm/



強制的に横長ワイド表示するには、上から3つの項目を図のように設定すればいい

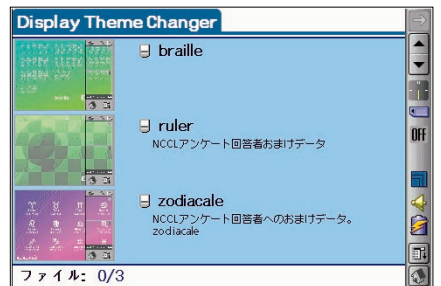


本来横長ワイドには対応しない「Palmコピューア」も、CodeDiverで閲覧性がアップする

大辞鑑もCodeDiverで横長表示可能だ。なお、壁紙はDT Changerで設定し、CodeDiverで有効にしている

### Display Theme Changer

作今関 弘明 価 フリーウェア  
URL http://www.jade.dti.ne.jp/ imazeki/palm/



テーマファイルの設定や管理を行うDT Changer。壁紙を表示するアプリケーションはCodeDiverで設定する

ションで使用すると、動作がもたつくことがあるので注意しよう。

## 文章を読みながら辞書を引ける

### 横ワイドに対応の 辞書&DOCビューアー

「Wdic」は横ワイド表示に対応した辞書検索ソフト。ウィンドウズなどで利用できる辞書閲覧ソフト「PDIC」の辞書ファイルをそのまま利用でき、インクリメンタルサーチに対応しているため、候補を絞り込みながら単語を調べることができる。さらに、MeDOC形式のテキストデータ

を表示する機能も搭載しているため、横ワイド対応のDOCビューアーとしても利用可能だ。しかも、DOCデータの閲覧中にすぐに辞書を引きたい単語が見つかったら、その単語を選択してポップアップメニューから辞書検索ができる。ジョグダイヤルによる操作もサポートしており、45ページで紹介したジョグダイヤルを数字キーで操作する方法と組み合わせれば、手放せないビューアーになるだろう。

## スケジュールも長めのメモもゆったり表示

### 横ワイドなら月や週の予定を ひと目で見渡せる

「KsDateBook」は、標準の「予定表」の置き換えソフトだ。基本的な機能や操作方は予定表と同じだが、2週間分の予定を1画面に表示したり、週間と月間表示で予定を文字で表示する機能などを備えている。横ワイド画面で使うと、予定やTo Doにを入力したやや長めの内容も途中で切れるこ

となく表示されるので、ひと目で内容を把握しやすくなる。また、休日データを作成するソフト「休日定義」にも対応しており、月間表示で祝日や個人の休日の背景色を赤くすることが可能。さらに、KeyQuickをインストールしてジョグダイヤルの操作をキーに置き換え、上下カーソルと改行キーのキー設定で「フィールド外ではCtrl優先」をオンにすれば、日送りや週送りの操作が片手でスピーディーに行えるようになる。

## キー操作で素早くアプリケーション起動

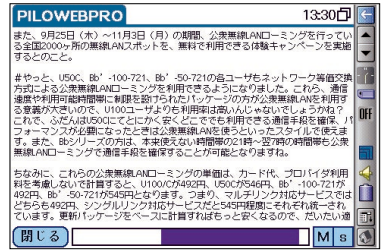
### HotSyncもワンボタンで 実行できる

「Crs-Launcher」は、キーボード操作に対応したタブ分類型ランチャーだ。1画面に横7個、縦6個、合計42個ものアイコンを表示でき、上下左右のカーソルキーでフォーカスを移動して、改行キーで選択したアプリケーションを起動できる。また、アプリケーション名の頭文字をキー入力して選

択できるほか、同じ頭文字のものが複数ある場合は、繰り返し入力すればフォーカスを順に移動できる。日本語名の付いたアプリケーションは、「.(ピリオド)」キーでサーチすることが可能だ。複数あるタブの切り替えも、スペースキーで行える。さらに、「@/./」キーでHotSyncを実行できるので、Crs-Launcherを起動している間は、実質的にHotSyncボタンを復活させられて便利だ。

## Wdic

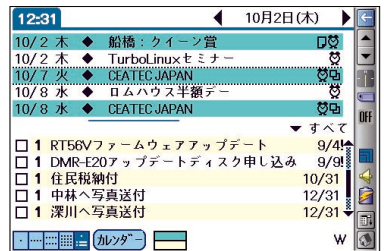
ekuta
 フリーウェア  
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~ekuta/>



WdicのDOC文書閲覧画面。小さなフォントで多くの情報を表示でき、閲覧性もかなり高い

## KsDateBook

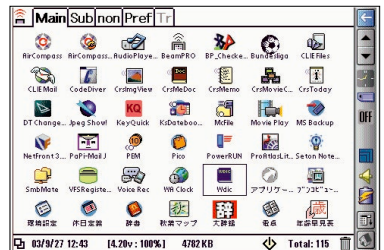
Hiroshi Kimura
 フリーウェア  
<http://kim.ponyoyo.jp/>



アジェンダビューは標準の予定表よりも情報量が多く有用。長い項目名も切れずに表示できる

## Crs-Launcher

高橋 大樹
 フリーウェア  
<http://crspalm.hp.infoseek.co.jp/>



1画面に42個ものアイコンを表示可能。すべてをキーボードの操作だけで起動できる

## Question シルクプラグインはどこへ行った?

縦ワイド画面表示のCLIE NX / NZシリーズでは、ソフトシルクエリアで動作する「シルクプラグイン」というプログラムを利用できたが、UX50ではステータスエリアにあったシルクプラグインアイコンも省略されており、メーカーから情報も提供されていない。しかし、ハードボタンなどでシルクプラグインを起動できる「FlexButton」や左ページで紹介

したCodeDiverの仮想シルク設定画面では、起動するシルクプラグインの候補としてUX50が搭載する「Decuma Japanese」を選択できる。UX50のDecuma Japaneseは専用の入力ウィンドウが表示されるタイプに変更されているのだが、何らかの理由でシルクエリアタイプも残されているのだろう。ただし、横長シルクエリア用のままなので、起動すると図のようにはみ出して表示される。サイズさえ



FlexButtonで起動したDecuma Japaneseも、ちろんな状態では実用には使えない

調整すれば正常に動作する可能性はある。今後、UX50に対応したシルクプラグインが登場する可能性は大いにあると言えるだろう。



# Information



ソフトニュース



ハードニュース



業界ニュース



海外ニュース

## 米各メーカーからPalmデバイスが続々発売

10月に入って、海外ではPalmデバイスの新モデルが次々とリリースされた。米パーム社は、10月1日に3モデルを発売。昨年大ヒットした入門機Zireの後継機となる「Zire 21」と、既存のPalm V系ユーザーをメインターゲットにした「Tungsten E」、そしてパーム社では初となるワイドハイレゾ液晶を備えた「Tungsten T3」だ。3モデルともARMベースのCPUと最新のPalm OS 5.2.1を搭載している。

3モデルの中で最もハイスpek的なTungsten T3は、これまでのTungsten Tシリーズと同様にスライディング機構を採用している。ボディを伸長すると横320×縦480ドットの液晶画面が現れる。グラフィティエリアはバーチャルタイプだ。ステータスバーには、画面の縦横表示の切り替えやBluetoothのオン/オフなどを行うためのアイコンが標準で用意されている。CPUはクロック数400MHzのXScale、内蔵メモリーは64MBで、このスペックはそれまでのハイエンド機であったTungsten Cと同じだ（Tungsten T3の詳細なレビューを58ページに掲載）。Tungsten Eは、クロック数126MHzのOMAP 311をCPUに採用し、内蔵メモリーの容量は32MB。横長の長方形に近い5ウェイナビゲーターが特徴で、初代Zire

のようにプリスターバックで販売される。HotSyncクレードルをオプションにするなどして、199ドルの低価格を実現した。Zire 21は、初代Zireとボディーの色や形状がほぼ同じだが、メモリー容量が2MBから8MBに増えた。

米ハンドスプリング社は、スマートフォン「Treo」シリーズの最新機種「Treo 600」を発売した。OSはPalm OS 5.2.1、CPUはクロック数144MHzのOMAPで、内蔵メモリーは32MB。画面は160×160ドットのカラー表示だが、サイズは従来のTreoよりもかなり小さい。同社は、間もなくパーム社に買収されてpalmOne社として新しいスタートを切ることになっており、Treo 600はハンドスプリング社としてリリースする最後のデバイスになりそうだ。

一方、発売が当初の予定から大きく遅れているのが、米フォッシル社の腕時計型Palmデバイス「WRIST PDA with Palm OS」(以下、WRIST PDA)だ。昨年11月に試作品が公開され、その後、いったんは発売予定日が6月30日と発表されたものの、7月中旬、9月末へと延期され、10月半ばの現時点では未定になっている。同社によると、発売が遅れた原因は、WRIST PDAの製造パートナーであるフレクトロニクス社が発売にあたって十分な

在庫を準備できなかったことにあるとしている。この問題が解決し、さらに品質面でも基準を満たす製品が生産可能になり次第、出荷が開始される予定だ。WRIST PDAは、OSにPalm OS 4.1、内蔵メモリーは2MBを備え、液晶画面は160×160ドットの16階調グレースケール表示が可能。本体右側面には上下ボタンとロッカースイッチ（上下移動と決定の3操作に対応したボタン）、左側面にはバックボタンがついている。「スポーツ」や「カジュアル」など、主にベルト部分の素材とデザインが異なる3モデルがラインアップされる見込みだ。

なお、いずれのデバイスも日本語版の発売は予定されていない。一部の機種については、英語版モデルにJ-OSをバンドルするなどして国内ショップが販売を行っている。



WRIST PDAのドレスモデル。バンドにスタイラスを収納でき、画面タップも可能。赤外線ポートを備えており、ほかのPalmデバイスとデータを交換できる  
● 295ドル(予備)  
● 米フォッシル社  
● <http://www.fossil.com>



## クレードルを使わずにUX50を充電できる マスターのオリジナル加工サービス

(有)マスターは、CLIE UX50をクレードルを使わずに充電可能にする加工サービスを始めた。CLIE本体を分解し、内部の充電回路とUSBジャック部分をつなく作業を行う。加工サービスとセットで提供される専用ケーブルを使って、5ボルト対応型充電池(ダイヤテック株)の「パワーバンク」などを接続すると充電ができる。なお、本サービスは改造にあたるため、加工後はメーカー保証が無効になる。



本サービスには「ミニUSB - 極性統一形プラグ変換伸縮ケーブル」がセットになっている  
 価格 4980円  
 図 (有)マスター  
 URL <http://www.master-corp.co.jp/>



## 3つの機能を1つにまとめた 伸縮式のCLIE用スタイラス

(株)ミヤビックスは、CLIE TJ25/UX50/NX80V/NX73V用の多機能スタイラス「PDAIR 3 in 1 Stylus for CLIE TJ25/UX50/NX80V/NX73V」を発売した。スタイラスの先端部分を取り外すとボールペンとして利用でき、反対側のキャップはリセットピンとして使える。伸縮可能な機構になっており、標準のスタイラスと入れ替えて使うことが可能。色は胴体部がシルバーで、スタイラス先端とキャップ部分がブラックになっている。



純粋スタイラスと入れ替えられるように、ボールペン機能が付く。適度な重さがあり使いやすい  
 価格 1480円  
 図 (株)ミヤビックス  
 URL <http://www.visavis.co.jp/>



## 高速電池充電器とバッテリーが融合 1台2役の「ポケットパワーバンク」

ユニバーサルシステムズ株(PDA工房)は、電池充電器と外付けバッテリーの両機能を持った「ポケットパワーバンク」を発売した。一度に4本の単3形ニッケル水素またはニッカド電池を高速充電でき、充電前に放電を行う機能が付いている。また、USBコネクターの電源出力を備えているので、充電機能のあるHotSyncケーブルを使ってCLIEなどを充電可能。ACプラグは本体に付いており、折り畳んで収納できる。



本体サイズは幅109×高さ64.5×奥行き28.5ミリ、重さは約128グラム(本体のみ)  
 図 オープンプライス (税別3480円)  
 図 ユニバーサルシステムズ株(PDA工房)  
 URL <http://www.pdakobo.com/>



## 伸縮可能なHotSyncケーブル CLIE UX50用が発売

(合)ポケットシステムズは、CLIE UX50用の伸縮可能なUSB HotSyncケーブル「ポケットシンクUX」を発売した。リールにケーブルを巻き取ることで、長さを10～85センチの間で調節できる。一方のコネクターがUSB(ミニB・5ピン)になっており、CLIE UX50のほかに、Cyber-Shot Uなどのデジカメや(株)NTTドコモのシグマリオンとパソコンの接続にも使える。なお、本ケーブルには接続した機器を充電する機能はない。



ソニー純正のプラグアダプターを使えば、CLIE UX50以外のCLIEでも利用できる  
 価格 2480円  
 図 (合)ポケットシステムズ  
 URL <http://pocketgames.jp/>



## 米パーム社の新社名は「palmOne」 社名変更時にパームソースを分離

米パーム社は、同社のソフトウェア部門であるパームソースのスピノフを実施後、新社名を「palmOne」とすることを明らかにした。また、今年6月に発表していた米ハングスプリング社の買収時期については、パームソースの分離と同時に完了する見込みとなっている。palmOneの社長兼CEOには、パームソリューションズグループで社長兼CEOを務めているトッド・ブラッドリー氏が就任する予定だ。

図 米パーム社  
 URL <http://www.palm.com/>



## プーマテック SSIトリスターと提携 Intellisyncの新バージョン発表

(株)エス・エス・アイ・トリスターとプーマテック ジャパン株は、個人向けソフトの販売と開発に関して業務提携を結んだことを発表した。また提携後、最初のソフトとして、Palmとパソコン、携帯電話のPIMデータを同期するソフト「Intellisync」の最新版「同5.2J」を11月7日に発売する。同ソフトの市販品は、今後、エス・エス・アイ・トリスターが独占的に販売する。

価格 7980円(Intellisync 5.2J)、9980円(同・USBケーブル付属版)  
 図 (株)エス・エス・アイ・トリスター、プーマテック ジャパン株  
 URL <http://www.ssitristar.com/>  
 URL <http://www.pumatech.co.jp/>



## 米パーム社 ワイヤレスキーボード やSDIOデジカメなどリリース

米パーム社は、赤外線利用のワイヤレスキーボード「Palm Wireless Keyboard」を発売した。対応機種はPalm OS 4.0以上を搭載した同社製デバイス。また、同社はTungsten Tシリーズなどで使用可能な画素数130万のSDカード型デジカメを、今年12月に発売することを明らかにした。回転式レンズを備え、接写機能などを搭載する。なお、両機器とも日本語版デバイスのサポートは発表していない。

価格 69.95ドル(Palm Wireless Keyboard)、99.95ドル(デジカメ)  
 図 米パーム社  
 URL <http://www.palm.com/>

## 「サンデー毎日」の電子版 月額400円で配信サービス開始

毎日新聞社は、PDA向けコンテンツ「サンデー毎日電子版」の配信を10月1日より開始した。週刊誌「サンデー毎日」から6~7本の記事を抜粋し、原則として同誌発売の翌木曜日にXPDF形式で発行する。閲覧するには「ブコビューア」(フリーウェア)が必要。表示方法は縦書きか横書きを選択でき、文字サイズも変えられる。(株)NTTドコモのPDA向けコンテンツ配信サイト「M-stage」で購読を申し込む。



ブコビューアは、<http://www.spacetown.ne.jp/xpdf/viewer.html> でダウンロードできる  
 月額400円  
 毎日新聞社  
<http://www.mainichi.co.jp/mds/>

## PDAを使った棚卸し/POSシステム データはHotSyncでパソコンに送信

アイ・ビート(株)は、PDA用の棚卸しソフト「Simply Stock」とPOSソフト「Simply POS」を発売した。店舗などでPDAにデータを入力したあと、HotSyncを実行してパソコンに送信する。パソコン上ではデータをCSV形式のファイルで扱えるため、表計算ソフトで分析を行うことが可能。対応OSはPDA側がPalm OS 4以上/Palm OS 5対応とPocket PC 2002、パソコン側はWindows 2000/XP。

商品名	在庫	実数
(未登録商品入力)		
白菜漬け	20	19
ビターハーフ	1	0
サンセットテキ	1,000	1,000
北海道しぼり味噌	10	9
ヨーク・レド	500	500
在庫計: 1,531		実数計: 1,528

バーコードを利用したデータの入力や、モバイルプリンターからのレシート出力も可能  
 各4万9800円  
 アイ・ビート(株)  
<http://www.i-beat.co.jp/>

## 拡張バッテリーを付けたまま収納できる CLIE UX50用レザーケース登場

(株)ミヤビックスは、拡張バッテリー(PEGA-EB40)を装着したCLIE UX50を収納する革製ケース「PDAIR Leather Case for CLIE UX50 with Extended Battery」を発売した。ケースに入れたままでもメモリースティックスロットやイヤホンジャックにアクセスでき、デジカメのレンズ部分はオープンになっている。カバー裏側には、メモリースティックとカード類を2枚ずつ収納できる。色はブラック。



CLIEの固定には樹脂製の固定具を使うため、CLIE本体にベルクロなどを貼る必要がない  
 4980円  
 (株)ミヤビックス  
<http://www.visavis.co.jp/>

## 電子ブック「.book」用コンバーター 「T-Break」のマック版がリリース

(株)ボイジャーは、同社が展開する「.book」形式の電子ブックをPalmで閲覧可能なPooDOC形式に変換するコンバーター「T-Break」のマック版をリリースした。対応OSはマックOS 8.6以上(マックOS X 10.2対応) T-Breakによって.book形式のファイルをPooDOC形式にし、Palmにインストールしたビューアー「Pook ver.2.0」(無料)を使って読む。T-BreakはボイジャーのWebサイトで無償配布されている。



.book形式のコンテンツは、@irBitway (<http://www.airbitway.com>)などで購入できる  
 無料(コンテンツは別途購入)  
 (株)ボイジャー  
<http://www.voyager.co.jp/>

## SDカード型GPSレシーバー 松下電工がOEM供給開始

松下電工(株)は、SDカード型GPS受信機の法人向けOEM供給を10月1日に開始した。SDIO(バージョン1)対応スロットを搭載したPDAなどで動作するが、専用ドライバーが必要。米サーフ・テクノロジー社と共同開発した低消費電力で高感度なGPSチップを搭載し、ビル密集地などでも電波をキャッチしやすい。測位精度は約10メートル。サイズは縦71×幅30×厚さ14ミリ、重さは20グラム。

松下電工(株)  
<http://www.mew.co.jp/>

## 無線LAN倶楽部のコンテンツ CLIE UX50で購入可能に

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(株)は、ホットスポットサービス「無線LAN倶楽部」の「コンテンツシンクサービス」の対象機種にCLIE UX50を追加した。同サービスは、駅などに設置されたアクセスポイントで、新聞や雑誌などをダウンロードできるもの。また同社は、無線LAN倶楽部の利用にあたって、月額料金のほかに専用プリペイドカードによる支払いの受け付けも開始した。

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(株)  
<http://www.ntt-bp.net/>

## ゴルフ地図をパッケージした SDカード型GPSレシーバー登場

米iGolfテクノロジーズ社は、Palm OSとPocket PCの両プラットフォームに対応したSDカード型GPSレシーバーを11月から出荷することを発表した。スコアカード機能などを含むゴルファー用地図ソフト「iGolfgps v.2 Palm and Pocket PC」と、一般用地図ソフト「Mapopolis Platinum GPS」の2本が付属する。SDIOスロットを備えたすべての機種で動作するが、日本語版デバイスへの対応は明らかにしていない。

299.99ドル  
 米iGolfテクノロジーズ社  
<http://www.igolftech.com/>

# パームウェア対応速報

ネットワークコミュニケーター「CLIE PEG-UX50」をサポートする定番パームウェアが続々と登場。  
文/小野寺 浩二

NOW!  
**Update**

## アイコンの見方

	256色カラー		MSメモリースティック
	65000色カラー		SD
	ジョグ		CF
	ハイレゾ		バイブレーション/ LEDアラーム

UX50の横長ワイド画面をサポート

**YiShow Explorer for CLIE**  
Ver.6.01

作者 朴一兵 価格 シェアウェア(2550円) 容量 327KB  
URL <http://www.yibing.net/> CD-ROMに収録

画像や電子ブックの閲覧、ファイル管理、ショートカット機能、ホーム画面のカスタマイズなどが可能な高機能ランチャーソフト。すべての機能でCLIE PEG-UX50の横長ワイド画面をサポート。

UX50の横長ワイド画面をサポート

**Date@Glance**  
Ver.1.1b4

作者 山田 達司 価格 フリーウェア 容量 36KB  
URL <http://simple-palm.com/>

週間、月間に特化した予定表閲覧ソフト。日表示に切り替えなくても内容が確認できる。定番の「予定表」置き換えソフトと連携可能。CLIE PEG-UX50の横長ワイド画面をサポート。

Palm OS 5をサポート、UX-50に仮対応

**GF Messenger**  
Ver.0.17

作者 AMsoft 価格 評価版 容量 116KB  
URL <http://www.geocities.co.jp/SiliconValley/6737/index.html>

Palmで動作するMSN Messenger互換ソフト。利用登録者であれば日本語でいつでもチャットを楽しむことができる。Palm OS 5対応、CLIE PEG-UX50に仮対応。

UX50の横長ワイド画面をサポート

**McFile**  
Ver.2.2Beta3

作者 今関 弘明 価格 シェアウェア(1500円) 容量 221KB  
URL <http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>

本体と外部メモリーのファイルを管理するソフト。ファイルのコピー/移動、テキストやDOCファイルの閲覧、メール添付が可能。CLIE PEG-UX50のワイド画面をサポート。

UX50の横長ワイド画面をサポート

**Crs-Launcher**  
Ver.2.0a

作者 高橋 大樹 価格 フリーウェア 容量 28KB  
URL <http://crspalm.hp.infoseek.co.jp/>

ジョグダイヤル、ハイレゾ対応のCLIE専用ランチャー。1画面に最大30個のアイコンを表示でき、合計240個のソフトを扱える。CLIE PEG-UX50のワイド画面をサポート。

Palm OS 5、UX50の横長ワイド画面をサポート

**PEM**  
Ver.2.0.4bJ

作者 福本 修仁 価格 シェアウェア(1980円) 容量 202KB  
URL <http://www.umap.net/MacPalm/index-J.html> CD-ROMに収録

操作性、閲覧性に優れた定番お小遣い管理ソフト。256色、ジョグダイヤル、320×320ハイレゾおよびCLIE PEG-UX50のワイド画面に対応。Palm OS 5をサポート。

Palm OS 5、UX50の横長ワイド画面をサポート

**KsToDo**  
Ver.1.4

作者 kim 価格 フリーウェア 容量 59KB  
URL <http://kim.ponyoyo.jp/> CD-ROMに収録

ワイドハイレゾに対応したTo Do置き換えアプリケーション。同作者の「KsDatebook」と連携機能を持つ。Palm OS 5対応、CLIE PEG-UX50のワイド画面をサポート。

UX50の横長ワイド画面をサポート

**Pico**  
Ver.2.8

作者 Shirou I. 価格 フリーウェア 容量 101KB  
URL [http://plaza9.mbn.or.jp/shirou\\_bb/index-ja.htm](http://plaza9.mbn.or.jp/shirou_bb/index-ja.htm)

Jfile 4.x形式互換のデータベースビューアー。SDカードやメモリースティックなどの外部メディアに記録されたデータベースを閲覧できる。PEG-UX50のワイド画面をサポート。

UX50の横長ワイド画面をサポート

**CuteToDo**  
Ver.2.21

作者 エムロジック㈱ 価格 シェアウェア(1780円) 容量 46KB  
URL <http://p-cafe.com/>

期日などに色が付けられる「To Do」の置き換えソフト。優先度ごとの色分けも可能。期日を表示すると期日の前後で色が変化する。UX50のワイド画面をサポート。

UX50の横長ワイド画面をサポート

**CuteDBook**  
Ver.2.41

作者 エムロジック㈱ 価格 シェアウェア(1780円) 容量 178KB  
URL <http://p-cafe.com/>

休日に色が付けられる「予定表」置き換えソフト。Cuteシリーズとの併用でオリジナルアイコンの作成も可能。CLIE PEG-UX50のワイド画面をサポート。

#013

## 見てきました! ハイスペックな電子書籍端末「SDブック」

文 / 取材 M.Hirose

**徐**々に普及し始めた感のある電子書籍コンテンツ。いまのところ10~30億円という電子書籍市場は、2005年には今の10倍以上に、そして、将来的には現在の紙媒体に迫る売り上げをあげると予測されている。現在はPalmなどのPDA、パソコン、携帯電話などの既存のハードウェアを使ったものがほとんどだが、すでに大手家電メーカーも専用端末の開発をスタートしている。その開発中の電子書籍端末の中でもハイスペックな端末が、**㈱東芝の「SDブック」**だ(写真1、2)。

「SDブック」は、横640×縦960ピクセル表示の7.7インチTFT液晶2枚を左右に配置し、ハードディスク、SDカードスロット、USBを備えている。OSはウィンドウズXPで、基本的にはノートブックベース。ただし、ホールドしやすいように下側にラバー素材が配置され、コンテンツのページめくりなどは左右の「<」「>」ボタンで行うなど、専用端末として最適化されている。

コンテンツを表示させると、紙媒体では限定されるカラー表示の魅力とともに、見開きの表示の見やすさを実感することとなった。米アップル社のワイド液晶「シネマHDディスプレイ」で感じた目線の動きにも通じるもので、「目を横に動かす」という動作が、いかにモノを読む環境下で大きな影響を与えているかを痛感した。目線が分散されることで目の疲労も軽いように感じる。

ただし、この端末のサイズは縦21×横16×厚さ4cm、重さは1.4kg。片手で持てることが想定される端末としては、かなり大きい。文庫本のように片手で支えようとすると、手の筋肉が鍛えられるな~という重さであるが、技術的には半分以下の重さにすることは可能とのことだ。

しかし、この「SDブック」の特徴は、これらのハイスペックなハードウェア構成という



写真1 ハードディスク、SDカードスロット、USBを備えるSDブック。同社製品のノートブックをベースとしている

よりも、むしろ、SDカードを使った著作権保護技術「マルチキュービック」にある。

コンテンツとライセンスキーを分離させたマルチキュービック技術では、ビューアーはライセンスキーを参照してから暗号

化コンテンツを解読し内容を表示する。このライセンスキーは固体IDを持つSDカードに格納するため、キーファイルのみをコピーしてもコンテンツを閲覧することはできない。このため、数KBというサイズのライセンスキーが入ったSDカードさえ保管しておけば、必要なときにだけダウンロードして読んだり、同じコンテンツを違う機器上で見ることが可能となる。数年に一度しか読まないお気に入りの大作小説が書棚を占領していることがあるが、マルチキュービック技術を使ったSDブックなら、極端に言えばハードディスク上に保存しておくことすら必要なくなる。

さらに、SDブックは商品化の際にはBluetooth搭載も検討されており、携帯電話/PDAなどでライセンスキーを取得し、SDブックからBluetoothを介してライセンスキーをチェック、コンテンツを表示させるという使い方も予測される。

なお、このSDブックは、すぐに商品化す

写真2 横640×縦960ドット表示の7.7インチTFT液晶が左右に配置されているので、「本」を読んでいる感覚に近い。カラー画面なので文字ベースよりも、マンガの閲覧に向いている

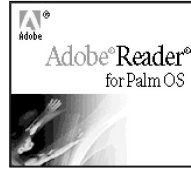


るための試作品というものではなく、出版社を含めたユーザーからのレスポンスを得るため、そして、デジタル化に不安を抱く出版社に安心できる著作権技術を使った具体的な形を提示するためのものであり、このままのかたちですぐに発売することは予定されていない。いまのままでは価格も高くなり、サイズや重さといった要件も満たしていないこともあるが、それ以上に、ビューアー端末とともに電子書籍市場の両輪であるコンテンツがもっと拡充され、ハードウェアが売れる状況にならないとビジネスとして難しいという側面もある。

ともあれ、パソコンベースの場合には低価格化もある程度の限界があるだろう。読書専用端末として書店で販売するには、1万円程度になってほしいものだ。Palmユーザーな僕からすれば、これらの優れた試作品が刺激になって、電子書籍専用ビューアーに特化した安価なPalm OS製品が登場してくれることを願いたい。

ついに登場！ 待ちに待った日本語対応

# 「Adobe Reader for Palm OS 3.0 日本語版」 の実力を探る



## SOFTSPEC

■ アドビ システムズ(株)

■ 無償

■ <http://www.adobe.co.jp>

■ 動作条件 Palm OS 3.5、4.0、4.1、5.0 / Palm Desktop 4.0以上 / 600KB以上の空き容量のあるPalmデバイス

文 霜田憲一

ビジネス文書として、もはや標準となっているPDFファイル。それを閲覧するためのソフトが「Adobe Reader」だ。これまでも英語版のPalmデバイス用Adobe Readerは存在したが、残念ながら日本語表示はできなかった。それが今回、待望の日本語版が無償でダウンロード開始。本誌付属CD-ROMにも収録したので、ぜひ試してみよう。

### 3.0で登場した日本語版

「Adobe Reader」といえば、さまざまなプラットフォームで閲覧できる電子書類のビューアーだ。ウィンドウズやマックのほか、Pocket PCやSymbianなどへも移植されている。Palm OSへも以前から移植されていたが英語版のみで、日本語版の登場は今バージョンの3.0が初となる。

「Adobe Reader for Palm OS 3.0」(以下、Adobe Reader)は2つのアプリケーションで構成されている。Palmでパソコン用のPDFファイルを開くのは大きな負荷となり、レイアウトが崩れて内容が閲覧できない可能性もあるため、HotSyncの前にPDFファイルに対してあらかじめ最適化処理を施す仕組みだ。

パソコン用アプリケーションの「デスクトップアプリケーション」はPalmの画面サイズに合わせた文章の折り返し情報(タグ)を追加したり、レイアウトの修整処理を行う(図1)。これによりファイルサイズは約半分までになり、Palmの負荷を低減する。

Palm側には「Adobe Reader」をインスト

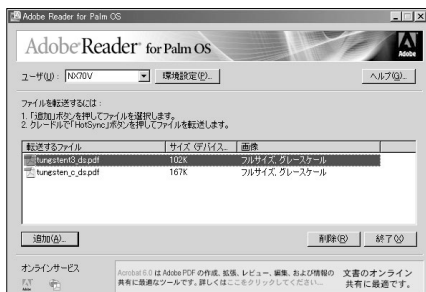


図1 PDFファイルは必ずこのアプリケーションで最適化を行う。最適化が終わると、HotSyncするだけで自動的にPalmに転送される仕組みだ

ール。ただし、パソコン用のAdobe Readerと異なり、通常のPDFファイルをそのまま開けないので注意が必要だ。Palmでは、デスクトップアプリケーションで処理されたPDFファイルのみが表示可能だ。

### テキスト表示を優先した作り

PalmでPDFファイルを開覧する場合、パソコンと最も異なるのは、レイアウトよりもテキストの読みやすさが優先されていることだ。パソコンでは美しいレイアウトの書類も、デスクトップアプリケーションで最適化を行うとテキストが優先される(図2)。ファイルに含まれる画像はサムネイル表示で小さくなり、必要に応じて拡大表示する。また、縦書きの書類は横書きに変換される。これらの処理は「リフロー」と呼ばれ、テキストの確実な表示を優先するPalm用Adobe Readerの最大の特徴だ。表示されたテキストは選択してほかのアプリケーションへコピーもできる。

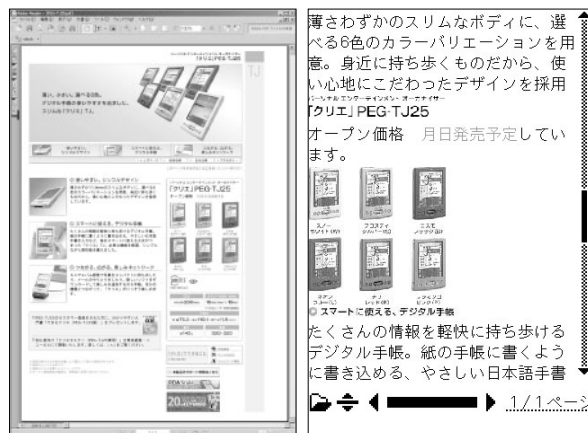


図2 パソコンで表示されるオリジナルと見比べると、レイアウトよりもテキストが優先されていることがわかる

目次機能はページ数の多い書類を読むときに便利な機能で、効率よく読みたい内容にジャンプできる(図3)。ただし、目次はPDFファイルを作成する際に埋め込まれている必要がある。

また、スタイラスをタップ&ホールドした際にメニューが表示されたり、簡単なジェスチャーで画面を切り替えられるなど、使い勝手の面でも考慮されている。

PDFをCLIE上で閲覧できるビューアーに米ピクセルテクノロジー社の「Picstel Viewer」がある。Picstel Viewerは、外部メモリー上にあるPDFファイルを変換せずにそのまま読み込め、表示が可能なアプリケーションだ。レイアウトをほとんど崩すことなく制作者のデザインした書類を閲覧できる。しかし、メモリーの使用量が非常に大きく、使用できるPalmデバイスの機種が限られてしまう。そういう面からもAdobe Readerはテキストの多いPDF書類をスマートに読みたいという用途に向いているだろう。

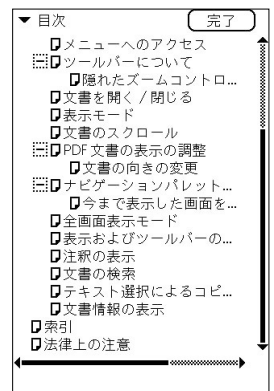


図3 目次機能は階層ごとに表示されるため、読みたい場所がすぐに見つけただけでなく、タップすることでジャンプも可能



今回、ようやくAdobe Reader for Palm 3.0(以下、Adobe Reader)の日本語版がリリースされましたね。

まず、我々のいちばん基本的なプランとして、PDFファイルを閲覧できる環境、つまり、対応デバイスをどんどん広げていきたい、という考えがあるんですね。ほかにPalmでPDFファイルを閲覧できるソフトとして「Picxel Viewer for CLIE」(以下、Picxel Viewer)などがありますが、競合とは位置づけていないんです。というのは、我々はAdobe Readerを販売しているわけではないですし、PDFファイルが作成、閲覧できる環境を広げていくのが目的なので。

そういう意味では、もっと早く日本語版を出したかったのですが、「Adobe Acrobat

普通、パソコン上でのPDFの典型的な使い方はレイアウトを崩さずそのまま表示することにあるのですが、PDAのように画面の大きさに制限がある場合、レイアウトを崩さず文章を表示しようとすると、頻繁にスクロールしなければなりません。これでは実際に閲覧するとき大変不便なので、文章の改行位置(レイアウト)を優先するよりも、文字データをPDAの画面サイズに合わせて流し込んでしまうのです。この技術をリフローといいます。

Palm用の場合、PDFファイルの文字データはリフローするようにしています。例えば、文字データもグラフィックデータにしまうと、解像度の高いデバイスでないと美しく再現できません。文字というのは文

だし、マンガのようなイメージ中心のコンテンツは、PDAで表示させると、1ページの表示が小さくなって見にくくなると思いますね。

Palm用にはない機能は？

パソコン用だと、「Adobe Photoshop Album」で作った、音楽やムービーを貼り込ませたスライドショーをAdobe Readerで再現できます。Palm用ではスライドショーは再生できますが、音楽の再生は×。ムービーも最初の1フレームだけ表示します。

また、Palm用でできないことに、フォーム機能があります。定形の書面用のフォームで使う機能です。パソコン用ではAdobe Reader上で名前の記入やチェックマークを付けるといったことが可能ですが、Palm用ではできません。このフォーム機能で入力したデータは、サーバーなどに集積することができるんです。PDAの場合、記入したフォームのデータをインターネット経由でサーバーに蓄積していくといった利用の需要が出てくると思うので、この機能に対応させることは将来的な課題ですね。

これからPDAの分野でこういった展開を考えていますか？

PDFは非常にバリエーションに富んだ文書を電子化して、それを使うということに優位性があります。そのような文書はパソコンの上で見ることがほとんどだと思います。

しかしビジネスマンは、携帯性の高いPDAの中に、パソコンの中で使っている文書に移して持ち歩きたいという願望があるでしょう。いまの段階では、まずパソコンがメインであって、そこで見ているPDFを手軽に持ち出して使っていけるようにする用途を考えています。そういったアプローチは「ビジネス」というカテゴリーで考えていることで、これから対応していくeBookのほうは、もっと一般的な訴求を狙っています。

また今年の春から、Webブラウザ「NetFront」を開発している㈱アクセスにAdobe Readerのコードを提供して、NetFrontにそのテクノロジーを組み込んでもらうという共同開発を行っています。これが実現すれば、インターネット上にあるPDFファイルにアクセスしてWebブラウザ上でも閲覧できます。どこでも、いつでも、文書が閲覧できるというPDFの優位性をもっと推し進めていきたいですね。

## Interview

# PDFを閲覧できる環境を押し広げる日本語化



聞き手 編集部

## 市川 孝氏

アドビ システムズ(株)

マーケティング本部

ePaperソリューション部部長



6.0」の発売に併せてAcrobat ReaderがAdobe Readerとなり、同時にPalm用としてAdobe Reader 3.0をワールドワイドで展開していくことになって、日本語化はそれに合わせて行いました。

また、リリースがこの時期になった要因の1つとして、Palm用と、これに先立ってリリースしたPocket PC用で使用している「リフロー」というテクノロジーがあります。この技術を日本語対応にするのが、なかなか難しかった(笑)。

今回のバージョン3.0では、160×160ドットだけでなく320×320ドットのハイレゾにも対応しました。もちろん、パスワードで保護することもできます。

リフローとは何ですか？

書の中でも主要なファクターなので、それをきちんと読めるようにする、それがAdobeの設計です。このリフロー技術によって、160×160ドットでも320×320ドットでもきれいに文字を閲覧できるのです。それに対して、文書中の表やグラフなどはグラフィックデータとして保持されており、拡大/縮小して表示することができます。

eBookに対応していないのが残念なのですが。

今後、対応していく予定です。今年リリースされたAdobe Readerの前は、「Adobe eBook Reader」(以下、eBook Reader)とAdobe Readerの2つに分かれていたのですが、そのeBook Readerで閲覧できていたものは、実は基本的には見ることができます。た



## スライダーデザインを継承した 最高速モデル

Tungsten Tシリーズの最新モデル「Tungsten T3」(以下、T3)は、これまでの収縮可能な「スライダーデザイン」をそのまま継承している。しかし、ひとたびボディをいっばいに引き伸ばすと、320×480ドットのワイドディスプレイが目飛び込んでくる。

従来のTシリーズでは、ボディをスライドするとグラフィティー入力エリアが現れた。T3ではボディをスライドすると、液晶ディスプレイの隠れていた部分が現れ、自動的に表示領域が広がる。これにより、本体サイズを大きく変えることなく画面のワイド化に成功している。入力エリアを画面に描画する手法はソニー(株)のCLIEやHandEra 330がすでに

採用しているが、米パーム社では初の試みだ。もちろん入力エリアは必要に応じて表示 / 非表示が可能だ。

搭載CPUは従来の米テキサス・インスツルメンツ社製の「OMAP1510」から、米インテル社製の「XScale」に変えられ、クロック周波数もクラス最速の400MHzに高められている。内蔵メモリーは64MB搭載され、うち52MBがフリースペースとしてユーザーが使用可能だ。PalmデバイスとしてはTungsten Cと同等の最上級スペックの位置づけとされる。

操作性に定評のある5Wayナビゲーターは丸形から長円形になり、Calendar(予定表) / Contacts(アドレス帳) / Note Pad(手書きメモ) / Tasks(To Do)などのアプリケーションボタンは、5Wayナビゲーターの周辺を取り囲むような形状に配置されている。新設計の

アプリケーションボタンは5Wayナビゲーターから指を大きく移動することなく自然に操作できるのが特徴だ。

## オーディオ機能も充実

T3にはステレオ出力に対応したヘッドホンジャックが装備されている。プラグサイズは一般的な3.5mmなので、市販されているさまざまなヘッドホンが接続できる。リモコン機能などは搭載していない。

再生できるオーディオファイルはMP3形式で、再生ソフトは付属の「RealOne Mobile Player」を利用する。MP3ファイルは一般のファイルと同様に、HotSyncでインストール可能だ。RealOne Mobile Playerはバックグラウンド再生、一定時間が経過すると画面表示を消す省電力モードに対応している。T3で



### 5Wayナビゲーター

新しい形状の5Wayナビゲーターは操作系の一体感を狙ったものだ。指へのフィット感が向上しているだけでなく、指の移動量が少ないので、片手でもスムーズに操作できる

米パーム社が発表した秋の最新モデル「Tungsten T3」は同シリーズのフラッグシップモデルだ。

320×480ドットのワイドディスプレイに64MBの内蔵メモリー、米インテル社製400MHzのCPUなどすべてにおいてパワーアップされた。

文 霜田憲一、編集部 / 撮影 山崎純子(Pacia)

# Palm Tungsten

# 米パーム社初の ワイドディスプレイを搭載

# T3

はCPUの能力に余裕があるため、オーディオ再生中であっても動作が遅くなるといったことはない。

ほかにもボイスレコーダーが搭載されている。本体側面にはボイスメモボタンがあり、押している間だけ録音される。マイクはボイスメモボタンの隣にあるので、特別な機材は不要だ。録音されたファイルはSDカードを経由してWAV形式のファイルとして取り出せる。

## ワイドディスプレイに合わせて強化されたソフト群

OSには安定性に定評のあるPalm OS 5.2.1が採用されている。内蔵アプリケーションはワイドスクリーンに合わせて表示内容や機能が追加されたため、Date BookがCalendarに、AddressがContactsに、To Do ListがTasksに

と、ほかのPalmデバイスと異なる名称が付けられている。また、Calc(計算機)には計算履歴がわかる履歴機能が追加されている。

T3に標準搭載されているグラフィティ2には、画面全体を入力エリアとして利用できるモードが追加され、入力エリアにとらわれない入力が可能となっている点も注目だ。

また、新たな機能としてステータスバーが加わった。ホームや検索などの定番ボタンのほかに、バッテリーやメモリー情報の表示、Bluetoothの設定、画面の表示方向、入力エリアの表示/非表示などが1タップで操作できる。このステータスバーにより操作性が向上するだけでなく、ワイドディスプレイを広く、かつ効率よく使用できる。

ワイドディスプレイは縦表示だけでなく、横表示に切り替わる機能を搭載する。これま

でのデバイスでは表現力の乏しかったWebや書類が横表示できることで、パソコンに近いより自然な内容で表示可能になった。表示の切り替えはステータスバー内のボタンで行う。切り替えに必要な時間は一瞬で、アプリケーションが実行中でも即座に切り替えられる。

## 満足度の高い完成度

Tシリーズでは初代から数えて3番目になるが、機能・性能面でほぼ満足のいくレベルに達していると感じられた。販売価格も399ドルと抑えられており、プライスパフォーマンスも高い。ただひとつ悔やまれるのが日本語版が存在しないことだ。しかし、現在はJ-OSが対応準備を進めており、版が公開されている。J-OSの正式対応とともに日本国内でもユーザーは増加しそうだ。

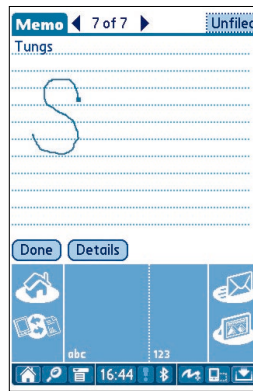
縦・横でワイド画面表示が可能



縦横両方で表示が可能な320×480ドットのワイドディスプレイ。サイトによって見やすい表示方法を選べるのがうれしい

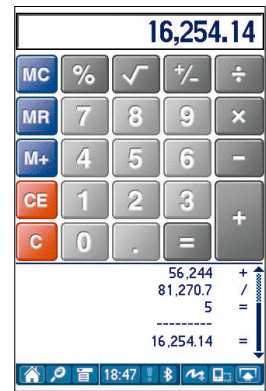


画面上での入力も可能



フルスクリーン入力モードがサポートされ、入力エリアに束縛されない入力が可能になった

履歴機能を搭載した電卓



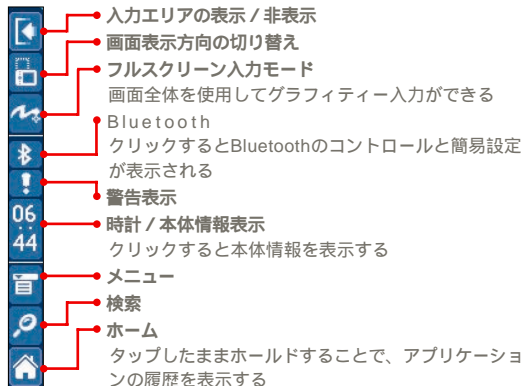
電卓は計算履歴の記録である履歴機能が付いた。内容はメモ帳などにコピーできる

Bluetooth接続が素早くできる



ステータスバーのBluetoothアイコンをタップするとBluetoothの電源、検索モード、接続先のネットワークサービスなどの簡易設定ができる

ステータスバー



Tungsten T3スペック

OS	Palm OS 5.2.1 英語版
CPU	インテル Xscale(400MHz)
メモリー	64MB(空き容量52MB)
インターフェース	ユニバーサルコネクタ、赤外線、SD/MMCスロット、ステレオヘッドホン
ディスプレイ	バックライト搭載TFTカラー液晶
表示解像度/表示色	320×480ドット、約6万5000色
外形寸法	幅7.6×高さ10.9×奥行き1.3ミリ(クローズ時)
重さ	約156g(スタイラス含む)
電池	充電式リチウムイオンバッテリー
主な付属品	携帯用保護カバー、USBクレードル、電源アダプター、DesktopソフトウェアCD-ROM ウィンドウズ用/マック用)、スタイラスなど

手のひらが熱くなる！

# Palmゲーム新作 セレクション



付属CD-ROMに記事で掲載したゲームのデモ版を収録しています。

リリース直後から多くのユーザーに称賛され、早くも傑作の呼び声が高い戦略シミュレーションゲーム「Warfare Incorporated」を緊急レビューしよう

小野寺 浩二 文

惑星で繰り広げられるリアルタイムの頭脳戦

## Warfare Incorporated



作者 / Handmark社

価 29.99ドル

URL <http://www.handmark.com/home/index.php>

対応OS : Palm OS 3.5以上

### 1 指令を遂行せよ



プレイヤーはセンターから伝えられる指令に従って、ミッションを遂行していく。最初の仕事は、適切な場所に司令室を設置することだ

ウォーフェアインコーポレイテッド「Warfare Incorporated」は、地球から遠く離れた惑星「イカルス」に眠る鉱物資源を巡って覇権を争う、リアルタイムの戦略シミュレーションゲームだ。プレイヤーは「ACME エクスプロレイション社」の一員となってイカルス星に乗り込み、星の開

発に着手する。だが、そこではライバル会社の「OMNI インダストリーズ」が、ひと足早く資源の回収を始めていたのだ。プレイヤーの使命はライバルとの戦闘に勝利し、できるだけ多くの資源を集めることにある。

### ベース基地の全容

#### H.Q.(司令室)

最初に現れる「Dominion」をタップ&ホールドすることによって、司令室を設置できる

#### 資金

資源を回収することによって資金を増やすことができる。資金の額に応じて施設や人員の増強を行える

#### 施設

##### Headquarters



施設の建設など、惑星開発の起点となる司令室

##### Power Generator



施設に電力を供給し、惑星での活動を支える発電所

##### Galaxite Processor



惑星の資源を集め、精練/加工するための工場

##### Galaxite Storage Warehouse



工場で加工した製品を保管しておく貯蔵庫

##### Human Resource Center



敵を攻撃するための戦闘員を補充する施設

#### 電力供給量

発電所の電力供給量を示すメーター。電力が不足すると各施設の機能がストップするので、注意が必要だ

#### 小マップ

周辺を見渡せるマップ。車両や人員の位置を把握するだけでなく、敵の接近を察知するときにも役立てよう

車両の特性を見極めて適切な配置をしよう

### 3 敵施設を破壊せよ

戦闘車両や人員を投入して、資源回収の障壁となるライバル会社の施設を破壊するのも大切な任務のひとつだ

司令室を拠点として一大基地を作り上げろ!

#### 車両

##### SR-98 Eagle



安価で動きが素早い、最も基本的な戦闘車両

##### G-4 Bullpup



資源を回収し、工場へ運ぶための運搬車両

##### T-29 Broadsword



SR-98 Eagleより攻撃/防御能力の高い戦闘車両

### 2 施設を拡充せよ



司令室の下にあるハンマーのアイコンをタップすると、上図のようなダイアログが表示され、右に示す各種の発電所や工場を建設できる

# NEW ARRIVAL!

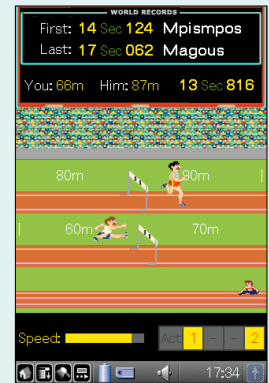
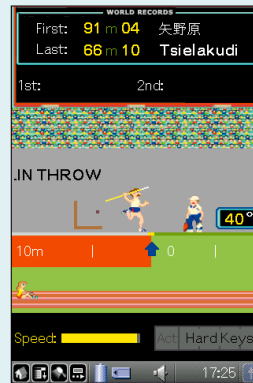
秋の夜長はやっぱりPalmでゲーム三昧。じっくり腰を据えて楽しめる戦略ゲーム「Spaceward Ho!」はいかが? 思わず熱くなってしまうアスレチックゲーム「CRAZY OLYMPICS」もなかなか奥が深くてオススメ。



## CRAZY OLYMPICS

作者: CrazySoft社  
<http://progs.4crete.gr/>  
 12.95ドル  
 対応OS: Palm OS 3.0以上

Palm OS 5.0および320×480のワイドハイレゾ画面に対応し、グラフィック、内容とも高い完成度を誇るアスレチックゲーム。100メートル走、走り幅跳び、やり投げ、110メートルハードル、ハンマー投げの5種目のほかに、すべての競技をこなす「クレイジー・オリンピック」がある。各種目とも、ハードボタンで操作する「イージーモード」と、スタイラスで操作する「ハードモード」のいずれかを選んでプレーできる。



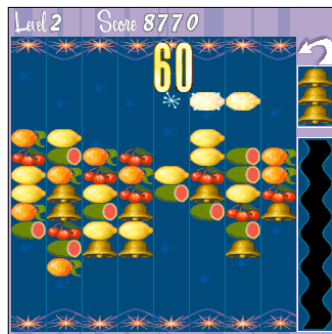
イージーモードは、メモ帳ボタンを連打してスピードを上げる。最高記録を出すと、画面上部に名前とともに表示される

ハードモードでは、画面右下のマス目にランダムに表示される「1」「2」の数字を順にタップして、スピードを上げていく



## TipTop

作者: Astraware社  
<http://www.astraware.com/>  
 14.95ドル  
 対応OS: Palm OS 3.1以上



同種のブロックをつなげて消していくゲーム。プレーヤーは上から、Palmは下からブロックを積んでいく。磁石などのさまざまなアイテムも出現する



## Spaceward Ho!

作者: Mobilefreon社  
<http://palmgames.mobilefreon.com/>  
 19.95ドル  
 対応OS: Palm OS 3.5以上



古くから根強い人気を誇るマック用戦略ゲームのPalm対応版。自分の惑星の経済力を高めて、ほかの惑星を次々と征服していく



## Klumpt

作者: Tan Kok Mun  
<http://home.pacific.net.sg/kokmun/palmpilot.htm>  
 11.95ドル  
 対応OS: Palm OS 3.5以上

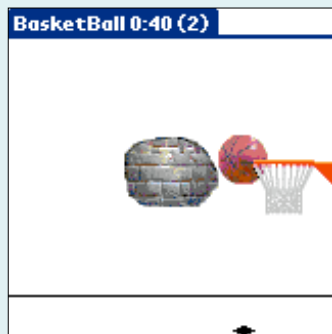


画面中央のブロック群を移動/回転させて、左右から迫るブロックを同じ色同士でつなげて消していく、やや難易度の高いゲーム



## Basketball 2003

作者: Piet Jonas  
<http://www.piet.jonas.com/>  
 11.95ドル  
 対応OS: Palm OS 3.1以上



上下に移動するバスケットゴールにひたすらボールをシュートして、成功した回数を競うゲーム。4人までのプレーヤーで対戦可能



## MahJongKing

作者: Toysoft社  
<http://www.toysoft.ca/>  
 14.95ドル  
 対応OS: Palm OS 3.1以上



4人打ちの麻雀ゲーム。日本の一般的なルールと違って、花牌を使う中国ルールで行われるのが特徴。リアルな音声で卓を盛り上げる



## WordUs

作者: Michael Bricout  
<http://pda.megalink.com/palm/preview/329944.html>  
 5.95ドル  
 対応OS: Palm OS 3.5以上



隠された英単語を推理して当てる頭脳ゲーム。単語の頭文字をヒントに、計6回のチャンスですべてのアルファベットを突き止めよう

# ワイヤレス 通信設定マニュアル

文 難波茂広

Palmでデータ通信といえば、かつては「SnapConnect」などが花形製品だった。しかし、CF型PHSデータ通信カードの普及、PHSの定額制コースの登場、PDAの無線LANへの対応などにより、通信スタイルは大きく変わった。そこで、Palmによる通信の設定をトレンドを交えて紹介しよう。

## Palmデバイスでの データ通信最新事情

現在、外出時にインターネットに接続する手段としては、PHS、無線LAN、携帯電話などの3つがある。携帯電話・PHSは、Bluetooth通信と組み合わせることで、手元のPalmに通信アダプターを装着しないで済むなど、軽快なスタイルで利用できる。

### PHS

PHSは、64 / 32kbps通信による安価なデータ通信サービス。ネットに接続し放題できるのが最大のメリット。逆にデメリットは、高速なブロードバンド回線と比べると低速なのに、基本料金が最低でも5000円前後と高めの価格設定がされていること。

### 無線LAN

無線LANは、主に自宅や会社など、特定

の場所で利用するのが基本。これらの生活スペースやワークスペースで、高速なワイヤレスネットワーク接続ができることが最大のメリットである。逆に、それ以外の場所、例えば通勤や営業などの移動中などは利用できないのがデメリットといえる。

### 携帯電話

携帯電話をデータ通信に利用するメリットは、ほかにデータ通信サービスを契約することなく通信が可能であること、最も電波の届くエリアが広いので、辺境の地でも安心して使えることだ。第3世代携帯電話サービスなら、PHSよりも通信速度が速いというメリットもあるが、パケット通信はパケット代が安くても通信速度が速いのがアダとなり、急激な勢いで課金されやすい。

### Bluetooth

通信機側を待ち受け状態にしておけば、

通信する時はPalmの操作だけでインターネットに接続できる。ところが、国内にはBluetooth機能を標準で搭載する電話機がほとんどなく、Bluetoothモデムアダプターも、すべてのデータ通信カードに対応する製品は皆無だ。

では、どの通信環境を利用するのがベストなのか？ それは、複数の通信環境を使い分けることこそがベストであろうと感じている。広いエリアで定額制で利用できるPHSをメインの通信手段と位置づけ、無線LANが利用できる場所では無線LANを利用して速度面でフォロー。PHSが使えない辺境の地に出掛けるときだけ、携帯電話を利用する。普段の使い勝手をスマートにしたいなら、各方式とBluetooth通信を組み合わせる。このような使い方が、筆者が導き出した結論だ。

## ワイヤレス通信の特徴

通信手段	メリット	デメリット
PHS	定額制サービスがある。@FreeD 64kbps、フレックスチェンジ方式ならそれなりに速い。高速移動中もつなぎっぱなし(AirH)	通信のレスポンスが悪い(AirH)。室内への電波の入りが悪く、利用場所が限定される(@FreeD)。初期投資額が高い(b-mobile)
無線LAN	BB回線を利用して、安価かつ高速にインターネットに接続。Hot Syncが高速。無線LANスポットを利用すれば外出先でも使える	外出時に利用できる場所に限られる。ワイヤレススポットは郊外にはほとんどない。消費電力が大きく、長時間接続できない
Bluetooth	通信機側を待ち受け状態にしておけば、Palmの操作だけでインターネットに接続できる。消費電力が小さい	Bluetooth機能を搭載する電話機が国内にはほとんど存在しない。Bluetoothアダプターはすべてのデータ通信カードには対応しない
携帯電話	ほかのデータ通信サービスを契約しないでデータ通信が可能。電波の届くエリアが最も広い第3世代携帯電話サービスなら速度が速い	通信料が高い。接続するまでに時間がかかる(現行の携帯電話)。急激にパケット料金が課金されやすい(第3世代携帯電話)

# PHS編

無線通信の手段として、国内でもっとも普及しているPHSデータ通信。主な3サービスでの設定方法を解説していこう。

## DDIポケット AirH"シリーズ

DDIポケット(株) <http://www.ddipocket.co.jp>



### AH-N401C

着脱可能な可動式アンテナを採用。128kbpsパケット通信に対応している



### AH-H403C

本多エレクトロニクス製。初の国際ローミングに対応したCFカードタイプの通信カード



### AH-S101S

Palm m500シリーズなどで使えるSDカード型の端末。32kbpsパケット通信に対応

## NTTドコモ @FreeDシリーズ

NTTドコモ <http://www.nttdocomo.co.jp/>



### P-in Free 1P

可動式のアンテナを採用した端末。Palmデバイスによっては対応していない場合がある



### P-in 1S

CLIE NXシリーズで利用する場合は、事前にシステムソフトウェアのアップデートが必要

## b-mobile

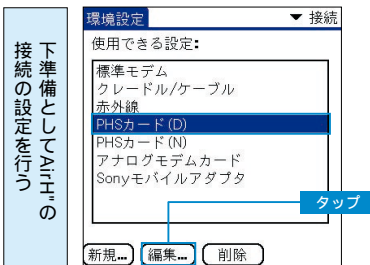
日本通信(株) <http://www.j-com.co.jp>



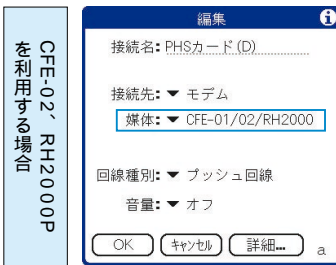
MVNOサービスで利用する端末。1年契約パッケージやメール&テキスト限定サービスなどがある。基本的な設定はAirH"とほぼ同じ

## 設定の手順 NXシリーズの場合

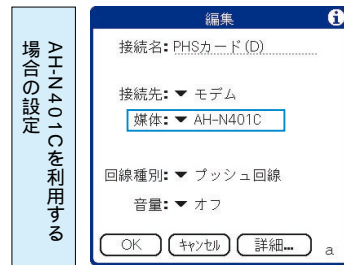
### 【AirH"の設定】



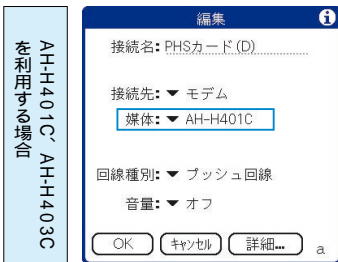
AirH"カードの機種でデバイスドライバーが異なるため、設定を変更。「環境設定」の「接続パネル」を開き、「接続設定」の「PHSカード(D)」を選択して「編集」ボタンをタップ



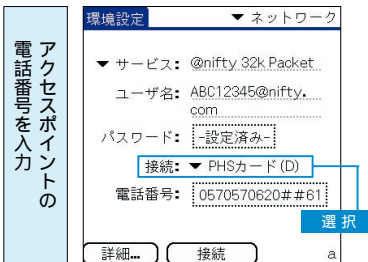
「媒体」でAirH"カードのドライバーを選択。32kbpsパケット方式対応の「CFE-02」(NECインフロンティア(株))、「RH2000P」(TDK(株))では「CFE-01/02/RH2000」を選択



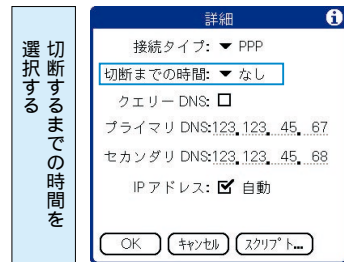
128kbpsパケット方式対応の「AH-N401C」(NECインフロンティア(株))では、「PHSカード(D)」の編集画面で「媒体」から「AH-N401C」を選択。これ以外の設定変更はない



「AH-H401C」(本多エレクトロニクス(株))では「PHSカード(D)」画面で「媒体」から「AH-H401C」を選択。「AH-H403C」はメーカー動作未確認のため、使用に関しては自己責任で



サービス名、ユーザー名などを入力。電話番号の末尾に、32kbpsパケット方式では「##61」、128パケット方式は「##64」、フレックスチェンジ方式は「##7」を付加

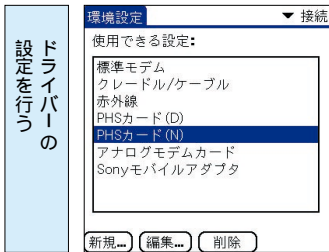


「詳細設定」で、自動で切断するまでの時間を選択。つなぎ放題では「なし」。必要に応じて「クエリーDNS」のチェックマークを外し、プライマリー/セカンダリーDNSアドレスを入力

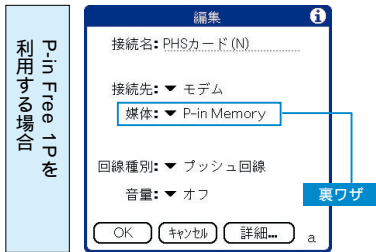


## 【@FreeDの設定】

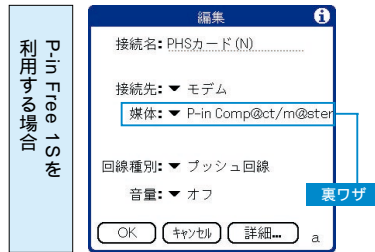
\*NXシリーズは@FreeD端末には正式に対応していません。  
これらの設定は自己責任で行ってください



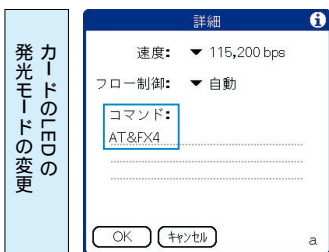
カードの機種によってデバイスドライバーが異なるため、設定を変更する。「環境設定」の「接続」パネルを開き、接続設定の「PHSカード(N)」を選択して「編集」ボタンをタップ



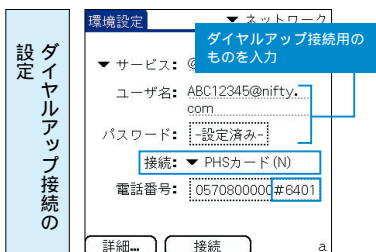
P-in Free 1Pに正式に対応していないINX73V / NX80Vでは、「PHSカード(N)」画面で「媒体」の「P-in Memory」を選択。なお、「P-in Free 2PWL」は、この方法でも×



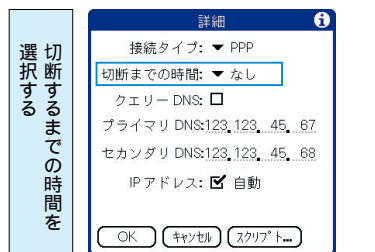
「PHSカード(N)」画面で「媒体」から「P-in Comp@ct/m@ster」を選択すればいい。このデバイスドライバーはNXシリーズ全機種に収録されているので、どの機種でも利用可能



通信カードのLEDの発光モードを変更するには、「詳細」画面のコマンドを、「発光させない」: AT&FX4+PLE=0「スピード表示」: AT&FX4+PLE=1「電波レベル表示」: AT&FX4+PLE=2」と変更

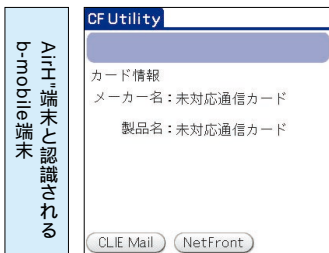


「PHSカード(N)」を選択し、電話番号には@FreeDアクセスポイントの電話番号を入力。電話番号の末尾には、64kbps接続では「#6401」、32kbpsのときは「#3201」を付加する

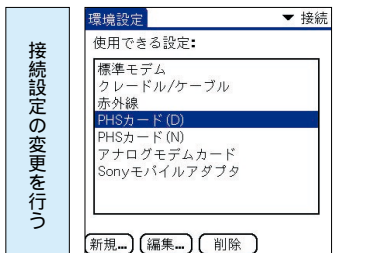


詳細設定では、自動で切断するまでの時間を選択。つなぎ放題なので「なし」。必要に応じて「クエリDNS」のチェックマークを外し、プライマリー/セカンダリDNSアドレスを入力

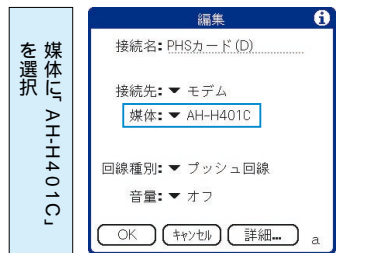
## 【b-mobileの設定】



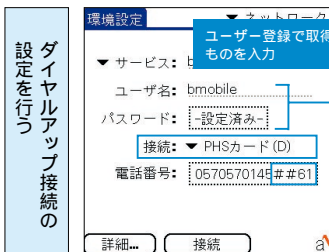
b-mobileの各種プリペイドサービス端末「BMH10-J」は、NX60 / 70Vでは「AH-H401C」と認識される。NX73V / 80Vでは「未対応通信カード」と認識されるが、設定さえ入れれば利用できる



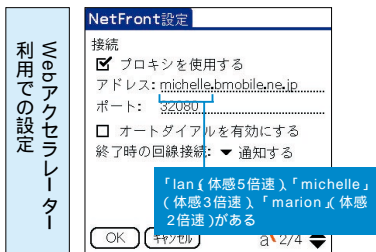
AirH'端末「AH-H401C」とまったく同じ接続設定を行う必要がある。接続設定の変更のために、「環境設定」の「接続」パネルを開き、接続設定の「PHSカード(D)」を選択して「編集」ボタンをタップ



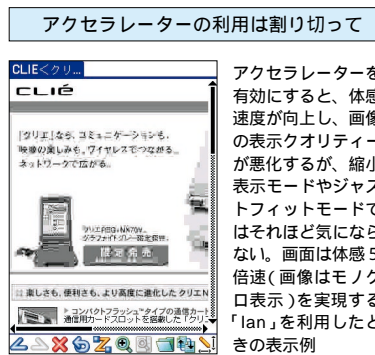
「PHSカード(D)」画面で「媒体」から「AH-H401C」を選択。それ以外は特に変更する必要はなく、詳細ボタンをタップすることで「詳細設定」画面も、特に変更する必要はない



「PHSカード(D)」を選択し、指定されたアクセスポイントの電話番号を入力。電話番号の末尾には、シングルリンク方式では「##61」、マルチリンク方式では「##64」を付加



NetFrontを起動し「メニュー」の「オプション」にある「NetFront設定」を開く。「プロキシを利用する」をオンに、アドレスには図のようにサーバー名、ポートには「32080」と入力



アクセラレーターを有効にすると、体感速度が向上し、画像の表示クオリティが悪化するが、縮小表示モードやジャストフィットモードではそれほど気にならない。画面は体感5倍速(画像はモノクロ表示)を実現する「lan」を利用したときの表示例

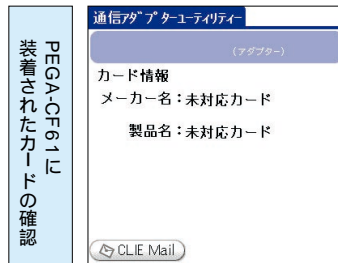
## 設定の手順 CLIE T / TG / SJシリーズ+通信アダプター(PEGA-CF61)の場合

PEGA-CF61は、AirH™、@FreeD、b-mobileのすべてのカードに対応(編集部調べ)。なお、PHSと無線LANのマルチファンクションカード「P-in Free 2PWL」は、PHSのみ動作する。通信アダプターに対応するCLIE全機種には接続設定がプリセットされており、新たに接続設定を作成する必要はない。別途、カードの情報確認などを行う機能を持つ「通信アダプターユーティリティ」をインストールする必要があるが、設定作業は簡単だ

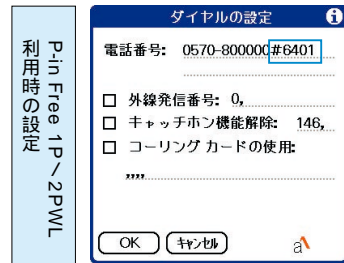
### 通信アダプター(PEGA-CF61)の動作確認表

カード名	動作確認	
@FreeD	P-in Free 1S	
	P-in Free 1P	*1
	P-in Free 2PWL	*1*2
AirH™	AH-H403C	
	AH-H401C	
	AH-N401C	
	CFE-02	
	RH2000P	
b-mobile	BM-U100Cほか	

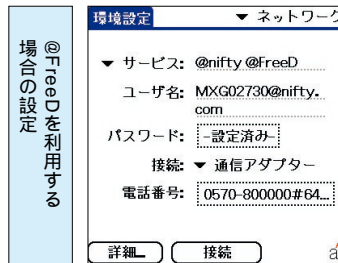
：メーカー動作確認済み  
 ：メーカー動作未確認。編集部調べ  
 x：動作せず  
 \*1：電話番号を入力する文字数を16文字以上にする必要あり  
 \*2：PHSのみの動作。無線LANは動作せず



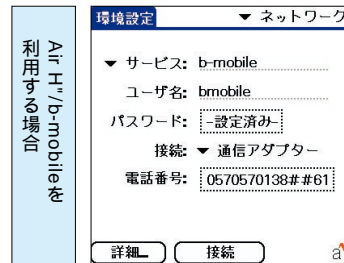
カード情報を確認する「通信アダプターユーティリティ」。TG50用ではメーカー動作確認機種以外のカードは図のように認識されるが、設定さえ正しく行っておけば、問題なく利用できる



「環境設定」の「ネットワーク」で設定する電話番号の、先頭、中間、末尾のいずれかに半角の「-」(ハイフン)を追加して、合計16文字以上にする(エラー防止のためダイヤルのタイミングをずらすため)



同じく「ネットワーク」で、接続は「通信アダプター」、電話番号にはアクセスポイントの電話番号を入力。番号の末尾に、64kbpsで接続では「#6401」、32kbpsで「#3201」を付加



接続は「通信アダプター」、アクセスポイントの電話番号の末尾には、32kbps/パケット/シングルリンク方式接続で「##61」、128kbps/パケット/マルチリンク方式で「##64」を付加

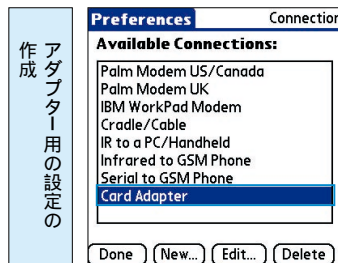
## 設定の手順 Palm Tungsten + Communication Card Adapter(HPD-PMCP)の場合

PalmブランドマシンでCF型データ通信カードを利用するには、モデムカードアダプターが必要。今回は、(株)ハギワラシス社の「Communication Card Adapter(HPD-PMCP)」での設定方法を紹介する。同製品は残念ながら、AirH™の比較的新しい機種やb-mobileには未対応。@FreeD対応端末はメーカーの動作確認がとれている。なお「P-in Free 1P」「2PWL」はPalm m130に対応したロットのみが動作。だがP-in Free 2PWLで無線LANは利用できない

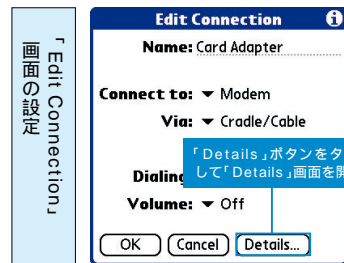
### Communication Card Adapter (HPD-PMCP)の動作確認表

カード名	動作確認	
@FreeD	P-in Free 1S	
	P-in Free 1P	*1
	P-in Free 2PWL	*1*2
AirH™	AH-H403C	x
	AH-H401C	x
	AH-N401C	x
	CFE-02	
	RH2000P	
b-mobile	BM-U100Cほか	x

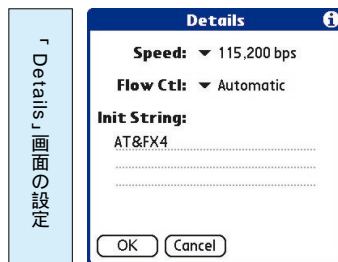
：メーカー動作確認済み  
 ：メーカー動作未確認。編集部調べ  
 x：動作せず  
 \*1：Palm m130対応ロットのみ動作する  
 \*2：PHSのみの動作。無線LANは動作せず



図のようにCommunication Card Adapterを利用するための接続設定を、「Prefs」の「Connection」で新規作成する必要がある。初めて利用するとき「New」ボタンをタップ



「Name」には「Card Adapter」(任意の名称)と入力、「Connect to」は「Modem」、「Via」は「Cradle/Cable」、「Dialing」は「TouchTone」、「Volume」は「Off」に設定



「Speed」を「115,200 bps」、「Flow Ctl」を「Automatic」と選択し、「Init String」は「AT&FX4」と入力。設定が完了したら、OKボタンを数回タップして設定の編集を終了する



「Connection」は「Card Adapter」を選択し、「Phone」にはアクセスポイントの電話番号を入力。番号の末尾は、方式に応じて付加コマンドを追加する(NXシリーズを参照)

# 無線LAN編

ここでは安価で高速なブロードバンドをワイヤレスで利用できる無線LANの接続設定や、無線LAN接続サービスをまとめた



## CLIE UX50

CLIE初の無線LAN内蔵モデル。アクセスポイントの探索機能や複数のアクセスポイントを自動的に切り替える機能などを搭載する

## CLIE NXシリーズ+ PEGA-WL100/WL110



NXシリーズでは専用の無線LANカード「PEGA-WL100」か、その後継製品「同WL110」を装着して無線LANを利用する



## Tungsten C

米バーム社の製品なので英語OSを搭載しているが、内蔵の無線LAN機能は、正しく設定すれば問題なく利用することができる

### 無線LANを利用するには、何をを用意すればいいの？

無線LANとは、複数のコンピュータでネットワークを構成するときの「LANケーブル」に相当する部分を無線で置き換えたものだ。ケーブルで物理的に接続しない代わりに、無線ネットワークの名前（ESS-ID、SSIDとも）と、そのネットワークを利用するための鍵（WEPキー）を使って電波で接続する。

Palmデバイスを含めたPDAでの無線LANは、主にIEEE802.11b（以下、802.11b）という規格の製品を使用する。802.11bは、2.4GHz帯の電波を使用し、最大11Mbpsの速度で接続する方式で、パソコン用の無線LAN規格として広く普及している。'03年春からは、802.11bと同じ2.4GHz帯の電波を使用し、互換性を維持したまま54Mbpsの高速通信を可能にするIEEE802.11g規格が正式規格化され、主要な製品は11g規格に移行中である。こ

のほか、IEEE802.11aという5.2GHz帯の電波を使用する54Mbpsの高速通信に対応した規格も存在するが、PDAで11aや11g対応の製品はまだ発売されていない。

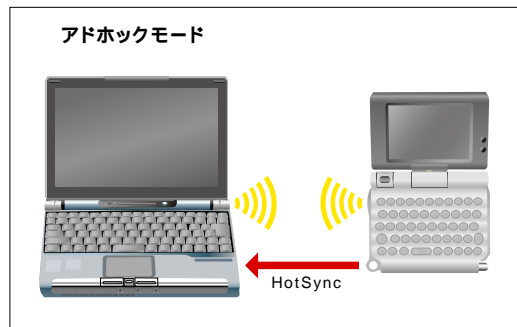
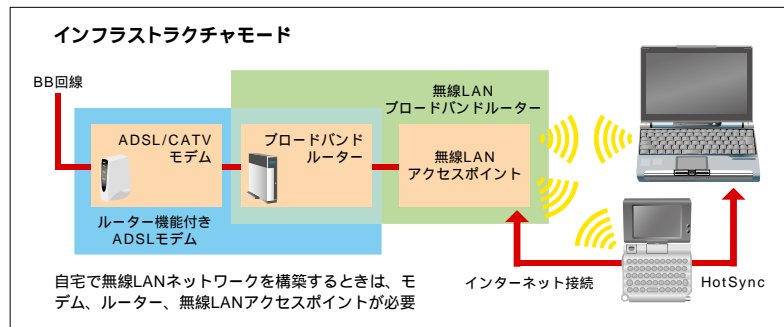
自宅にブロードバンド回線が導入され、パソコンでインターネット接続できても、利用するISPやモデムによって必要な製品が違う。パソコンとPalmデバイスの双方でインターネットに接続するには、モデム、ルーター、無線LANアクセスポイントの3つの機能を持つ機器が必要だ。モデムは、ADSL / CATV回線を利用するブロードバンド回線を契約したときにレンタルが買い取りで導入しているはずで、この回線を複数のマシンで共有するために必要なのが「ブロードバンドルーター」である。また、パソコンやPalmデバイスを無線LANで接続するには、無線LANアクセスポイントも必要だ。この3つのうち、モデムとルーター、あるいはルーターとアクセスポイントは1つの機器に統合されていることが多い。ルーター機能付きモデムでは

無線LANアクセスポイントを導入するだけで無線LAN環境を構築できるし、Yahoo! BBのようにADSLモデムとパソコンを直結している場合は、無線LANアクセスポイント機能付きのブロードバンドルーターが必要だ（ ）。

このほか、アクセスポイントを利用せずに、無線LANクライアント同士で接続するアドホック（Adhoc）モードを利用できる。アドホックモードで接続するときは、閉じられたネットワーク内で利用するため、基本的には静的なIPアドレスの指定が必要となる。主にアクセスポイントがない環境で、パソコンと接続してHotSyncをするときに利用する（ ）。

また、外出先で無線LANでインターネット接続できるのが「公衆無線LANサービス」だ。主に、飲食店やショップ、ホテルのロビーで提供されている。最近では、駅などの公共スペースへの設置も拡大中で、無線LAN対応のPalmなら、通勤途中の特定の場所で日常的に利用できる。

### 自宅の無線LANネットワークにCLIEを接続する場合



## 設定の手順 CLIE UX50の場合

CLIE UX50は日本語OSモデルで初めて無線LAN機能を内蔵したデバイス。自動接続機能は の画面で複数のアクセスポイント情報を登録しているときに「自動接続」を選択すると利用でき、「\*」印が付いた

アクセスポイントに対して上から順に接続を試みる。アクセスポイントが見つかったらそのアクセスポイントに自動的に接続するので、プロファイルを切り替える必要はない。

### 設定画面を表示する

無線LANの設定は、「環境設定」の「ネットワーク」で行う。サービスで「ワイヤレスLAN」を選択してもダイヤルアップ接続の項目は表示されず、「詳細」ボタンをタップして「ワイヤレスLAN設定」を呼び出す

### アクセスポイントの探索

設定画面では、自動か手動で登録したアクセスポイント名がリストアップされる。「スキャン」ボタンをタップすれば、近くに存在するアクセスポイントの発する電波を探索して、アクセスポイントを見つけられる

### アクセスポイントの設定

アクセスポイントが見つかったら、WEP設定の有無、BSS-ID、チャンネル、信号強度、ESS-IDが表示される。ポイントを選択し、接続ボタンをタップ。ポイントが複数あるときは、信号強度数値が高いものに接続

### WEPキーの入力

アクセスポイントにWEPキーが設定されているときは、初回アクセス時にWEPキーの入力を行う。WEPキーのbit数は、文字列/16進数のいずれの場合も入力した文字数で自動認識するが、16進数でキーを入力する場合はWEPキーの前に「0x」を付ける

キーを16進数で入力する場合は「0x」を付ける

### アドホックモードでの設定

アドホックモードの場合はチェックマークをオン  
自動接続機能の対象とする場合はチェックマークをオン

アドホックモードの設定を行う場合、アクセスポイントがESS-IDステルス機能で隠されている場合は、「メニュー」で「SSID」の「新規」を選び「SSID情報」で手動でアクセスポイント情報を登録

### アクセスポイントの情報表示

MACアドレスフィルタリングでアクセス制限しているアクセスポイントに登録するときは、この画面で確認

で接続したあと「状態」ボタンをタップすると、接続先の電波の信号強度やCLIEに割り振られたIPアドレス、MACアドレスなどを表示する。アクセスポイント側にMACアドレスを登録するときは、ここでCLIEのMACアドレスを確認

## 設定の手順 CLIE NXシリーズ+PEGA-WL100/WL110の場合

CLIE NXシリーズは、専用の無線LANカード「PEGA-WL100」が、「PEGA-WL110」を装着して無線LAN機能が利用できる。NX60/70VでWL100を利用する時は、NCCL[\*1]でアップデートされた最

新版(v.1.10)のドライバーソフトを、WL110の場合は付属ドライバーソフトをあらかじめインストールしておく。NX73V/80Vはどちらのカードを利用するときもドライバーは不要。

### プロファイル設定画面の表示

複数のプロファイルがある場合は、利用するプロファイルの切り替えも行う

「環境設定」の「ネットワーク」で設定を行う。「ワイヤレスLAN」を選び、「詳細」ボタンをタップして「Wireless LAN詳細設定」画面を表示。接続するアクセスポイントのプロファイルの作成、編集、削除ができる

### プロファイルの新規作成 / 編集

この画面の「新規」「編集」ボタンをタップして表示。プロファイルは最大10個まで作成することが可能

プロファイルの作成 / 編集を行う画面。プロファイル名、NetworkID (SSID)、WEPキー、接続種別を設定。NetworkID、WEPキーはアクセスポイントの情報を入力する

### より詳細な設定

ポイントと接続しづらいときは、省電力モードの有効のチェックマークを外すと、接続状態が改善される

で「高度な設定」ボタンをタップすると、CLIEのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNSサーバー情報を手動で設定する画面に切り替わる

## 設定の手順 Tungsten Cの場合

Tungsten Cの設定方法には、「Wi-Fi Setup」を起動してウィザード形式でアクセスポイントを登録する方法と、「Preferences」から「WiFi」で手動で登録する方法の2つがある。どちらもアクセスポイン

トの探索機能を利用でき、必要に応じてWEPキーを入力し、接続情報を登録できる。登録したアクセスポイントには、コマンドツールバーのWi-Fiアイコンをタップして接続できる。

### アクセスポイントの探索

接続するアクセスポイントがステルス機能などで隠されていないときは「Wi-Fi Setup」を利用。ホーム画面から「Wi-Fi Setup」を起動するとウィザード形式の設定ツールが表示される

アクセスポイントの探索が終了するまでそのまま待つ

### 接続したいポイントを選択

ポイントを選んで「Next」ボタンをタップ。暗号化されたポイントに接続する場合はWEPキーの入力画面で、WEPキーのKey Type (hexは16進数、ASCIIは文字列)を選択

アクセスポイントの電波を捕捉できないときは、「Other」ボタンをタップして何度か探索を繰り返す

### 隠されているアクセスポイントの場合

アクセスポイントのESS-ID、WEPキーの情報を手入力。WEPキーの設定は、と同じ

ステルス機能でESS-IDが隠されているポイントに接続するには、「Preferences」の「Wi-Fi」でポイントの情報を手動で登録。Networkのプルダウンメニューにある「Edit Network」で編集

[\*1]NCCL (http://www.nccl.sony.co.jp/index\_pc.html)

# 公衆無線LANサービスを徹底チェック

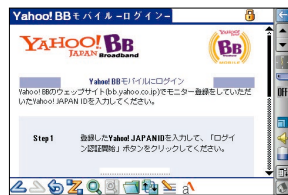
アクセスポイント数( AP数 )については、  
2003年10月1日現在( 筆者集計 )

ハンバーガーを食べながらネットにアクセス!

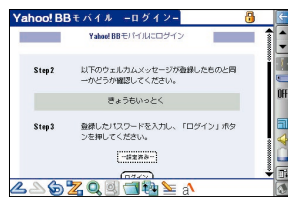
## Yahoo! BBモバイル

http://bbpromo.yahoo.co.jp/promotion/bbmobile/index.html

同サービスは、ブロードバンド事業者のYahoo! BBが会員向けに提供する予定の無線LANサービス。現在は実験サービス中のため契約者以外でも無料で利用できるが、実験終了後はYahoo! BB無線LANバック会員が無料、通常会員が月額300円、それ以外は月額1500円になる予定。利用可能エリアは、マクドナルドや銀座ルノアール、スターバックスコーヒーといったファーストフード店やコーヒーショップなど。特にマクドナルドは全国に200カ所を超えるスポットを提供。Palmでもアクセスポイントに接続したあと、Webブラウザを起動してID/パスワード認証を行えば利用可能。なお、WebブラウザでCookieを有効にしていれば、2回目以降の利用時はパスワードの入力だけで利用できる。



ログイン画面で利用登録をYahoo! Japanで行ったか、携帯電話での一時利用かを選ぶ。Yahoo! JapanでならIDを入力



事前登録したウェルカムメッセージを確認。パスワードを入力してログインボタンをタップするとサービスを利用できる

料金体系：実験サービスのため無料で利用可能  
接続仕様：WEP 40/64bit(16進数10桁)  
AP数：582(全国展開)

関東私鉄の駅構内で利用できるPDA向けの無線LANサービス

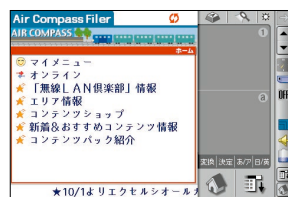
## 無線LAN倶楽部

http://www.ntt-bp.net/pc/

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(NTT-BP)が提供する有料の無線LANサービス。京浜急行、京王、相鉄、西武の関東私鉄4路線の駅構内や沿線の飲食店などで利用可能な無線LANスポットを提供している。短時間でダウンロードできるPDA向けのコンテンツサービスを提供しているのも特徴。コンテンツは、同社が提供するAirCompassでダウンロードするWeb形式。Palm向けのコンテンツサービスはCLIE UX50のみの対応だが、月数百円程度で毎日更新される「スポニチ News/バック」を筆頭としたデジタルコンテンツを楽しめる。また、会員はJR東日本の駅構内で提供されているスポットや、BizPortal(東京都内7カ所)提供のスポットをローミング利用することも可能だ。



ログインページでユーザーID/パスワードを入力して利用。プリペイドカード利用の際は「Time Ticket」のアイコンをタップ



コンテンツをダウンロードしたり、管理するAirCompass。項目をタップするとNet Frontが起動し、コンテンツを閲覧可能

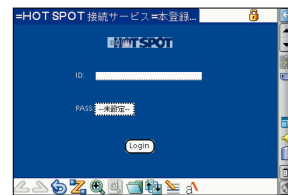
料金体系：月額1500円(初期費用2000円)/月額300円(プリペイドカード形式)  
接続仕様：WEP 40/64bit(16進数10桁)  
AP数：51(東京・神奈川)

飲食店、ホテルロビー中心の有料サービス

## ホットスポット

http://www.hotspot.ne.jp/

NTTコミュニケーションズ(株)が提供する無線LANサービス。月額1600円(初期費用1500円)の定額料金による有料サービスが基本で、全国のスポットを使い放題できる。月額利用会員以外でもプリペイドカード形式の1日利用券を購入すれば、初回のアクセス時から24時間使い放題できるので、出張先などで無線LANでのインターネット接続環境を確保できる。エリアは、モスバーガーやドトールコーヒーショップなどのほか、都市部のレストラン、シティホテルのロビーなど、大都市圏を中心に約500カ所のスポット。Palmでアクセスポイントに接続後、ブラウザを起動してID/パスワード認証を行うと利用可能。OCNや@niftyの会員なら、日額・月額とも割安となるローミングサービスを利用できる。



ログイン画面でユーザーID/パスワードを入力。ローミングでの利用は、ユーザーIDをドメイン名を含む形式で入力する



ログインボタンをタップすると表示されるウェルカムページ。最新のお知らせやホットスポット公式サイトへのリンクがある

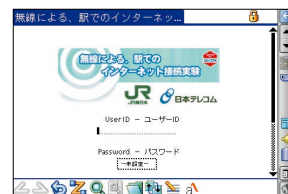
料金体系：月額1600円(初期費用1500円)/日額500円(プリペイドカード形式)  
接続仕様：WEP 40/64bit(16進数10桁)  
AP数：514(首都圏・札幌市・仙台市・名古屋・大阪市・福岡市)

JR線の駅構内で利用できる実験サービス

## 無線による、駅でのインターネット接続実験

http://www.jreast.co.jp/musenlan/

JR東日本と日本テレコム(株)が共同で実施しているインターネット接続実験。基本的には、公共性の高い「駅」で無線LANの電波を共用するローミングサービスをベースとした実験で、利用するには実験に参加しているプロバイダの会員である必要がある。東北新幹線や山手線、中央線などの駅で無線LANスポットが提供されており、電車の待ち時間に利用可能。エリアは飲食店などがアナウンスされているが、アクセスポイント自体は店外に設置されており、その付近で立ち止まれば利用できる。Palmでアクセスポイントに接続したあと、Webブラウザを起動してID/パスワード認証を行えばいい。認証ができると駅のポータルページが表示され、駅の時刻表やタウン情報などのコンテンツが用意されている。



ログインページ。無線LAN倶楽部と同じく、PDAでの利用も考慮された作りで、標準表示モードでもきれいに表示される



駅のポータルページ。パソコン向けに作られているが、駅ごとに異なるページがあり、駅固有の各種情報を閲覧できる

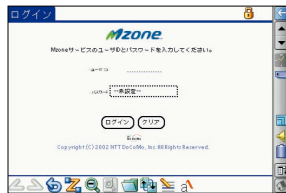
料金体系：実験サービスのため無料(モニター登録できるのは、@nifty、BIGLOBE、b-mobile、CYBER STATION、DION、DreamNet、DTI、JENS SpinNet、OCN、ODN、Panasonic hi-ho、ReSET.JP、So-net、アルファインターネット、ぶららの会員のみ) 接続仕様：WEP 40/64bit(16進数10桁) AP数：16駅(東京中心の東日本各地)

PDAでの利用も考慮された公衆無線LANサービス

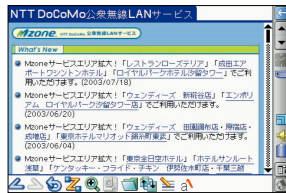
# Mzone

http://www.nttdocomo.co.jp/p\_s/mzone/

㈱NTTドコモが提供する有料の公衆無線LANサービス。月額2000円(初期費用1000円)の定額料金で使い放題できる。エリアは、ケンタッキー・フライド・チキンやウェンディーズ、ファーストキッチンなどのファーストフードチェーン、シティーホテルのロビー、幕張メッセや東京国際フォーラムなどのイベントスペースなど、関東南部と新潟県で約200カ所のスポットが提供されている。Palmでアクセスポイントに接続したあと、Webブラウザを起動してID/パスワードを入力するだけだが、事前に無線LAN端末のMACアドレスを登録する必要があり、Palmを利用登録するとほかのマシンと使い分けが困難なので注意が必要だ(MACアドレスの登録情報自体はブラウザ上から変更できる)。



ログインページは解像度320×240ドットでも表示できるコンパクトな作り。ユーザーID/パスワードを入力すれば利用可能



PDA用ページのリンクをタップする必要はあるが、すべてPDAで閲覧しやすいようにデザインされているウェルカムページ

料金体系：月額2000円(初期費用1000円)  
 接続仕様：WEP 40/64bit(16進数10桁)/無線LAN端末のMACアドレスを登録する必要あり AP数：213(東京・埼玉・千葉・神奈川・新潟)

カフェやペンション、ホテルが無線LANを無料で開放するサービス

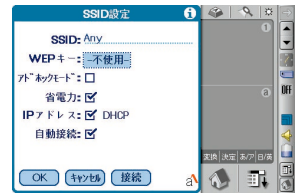
# FREESPOT

http://www.freepot.net/

周辺機器メーカーの㈱バッファローを中心とする「FREESPOT協議会」の下、増加中の無線LANスポット。同社が販売するFREESPOT仕様の無線LANアクセスポイントを購入・設置し、ブロードバンド回線を用意するだけで無線LANスポットを開設でき、個人経営の小さなカフェやショップ、ペンションからホテルや公共スペースなど全国で導入されている。全国での提供数も1000カ所を突破し、現在最も勢いのある勢力といえる。無線LANサービスは無料だが、カフェの場合は飲食を、ホテルの場合は宿泊者が対象だ。WEPなどの無線LANセキュリティはかけられておらず、ESS-IDを「Any」とするか(NXシリーズ)、探索して見つかる「FREESPOT」に接続すればいい(UX50、Tungsten C)。



FREESPOTのトップページ。日本地図をタップすれば、各地のFREESPOT情報をチェックできる



アクセスポイントに接続するための設定。WEPは未設定、ESS-IDはAnyとする。Webブラウザでの認証手続きは必要ない

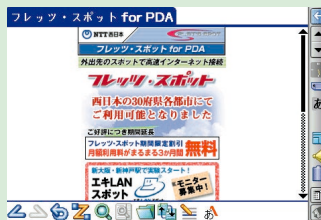
料金体系：無料  
 接続仕様：WEP設定なし AP数：1043(全国展開)

## 無線LAN Q & A

**Q** フレッツ・スポットは使える?

**A** PPPoEに対応した接続ツールがないため使えない

NTT西日本が提供する公衆無線LANサービス「フレッツ・スポット」は、西日本で'03年度より急速に利用可能エリアを拡大させている注目のサービス。しかし、接続方式にフレッツ・ADSLなどと同じ「PPPoE」を用いるため、利用にはフレッツ接続ツールが必要。'03年10月現在、Palm OS用の接続ツールは公開されていないので、現時点ではPalmでは利用できない。

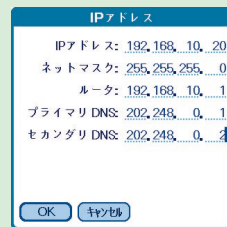


フレッツ・スポットのPDA向けトップページ。LinuxザウルスやPocket PC用の接続ツールは公開されているので、そろそろPalm OS用の接続ツールの提供も期待したいところだ

**Q** 無線LANの接続は問題ないがインターネットにつながらない!

**A** ルーターのファームウェアを最新版にアップデートしよう

無線LANの設定に間違いはなく、無線LANアクセスポイントへの接続もエラーが出ることなく完了するが、インターネットにアクセスできない場合がある。これは、比較的古いルーター製品とPalmデバイス(特にCLIE UX50)との相性による問題で、ルーターのファームウェアを最新版にアップデートするといいい。それでも改善しないときは、CLIEのIPアドレスをDHCPサーバーから取得するのではなく静的IPアドレスとし、ISPのDNSサーバーアドレスを指定することで改善する場合もあるようだ。

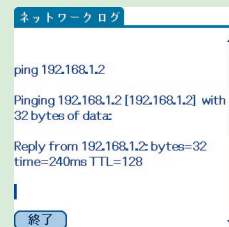


CLIE UX50で静的IPアドレスの設定をするには、「SSID設定」画面でIPアドレスのDHCPをオフにすることで表示される「IPアドレス」画面で設定すればいい

**Q** 接続できているかを簡単にチェックするには?

**A** pingコマンドを使ってみよう

ネットワークの接続確認を行うとき、パソコンではコンソールからpingコマンドを入力するのがセオリーだが、実はPalmでもpingコマンドを使用できる。「環境設定」の「ネットワーク」を開き、「メニュー」から「オプション」で「ログ表示」を選択すると「ネットワーク ログ」画面が表示されるが、この画面でpingコマンドを使うことが可能だ。「ping」に続けて、接続を確認したいコンピューターのIPアドレスを入力すれば、正常に接続できているかどうか、すぐにチェックできる。



「ネットワーク ログ」画面では、pingコマンドを使って特定のコンピューターへの接続が可能かどうかチェックできる

# Bluetooth編

Bluetoothは、通信機器同士をワイヤレスで接続するものだが、Bluetoothモデムを利用してインターネット接続が可能だ



## Bluetooth モジュール (PEGA-MSB1)

Bluetooth機能を内蔵していないCLIEに同機能を追加する。OS5搭載機種ではユーティリティーのアップデートが必要



## B-Port

㈱ハギワラシスコのBluetoothモデム。@FreeD、FOMA対応カードを装着した同製品を介してPalmでネット接続できる



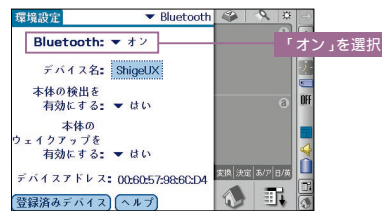
## NOKIA 6650

第3世代携帯電話サービス「Vodafone Global Standard」に対応したBluetooth内蔵携帯電話端末。ノキア社製

## 設定の手順 Bluetoothモデム全般での場合

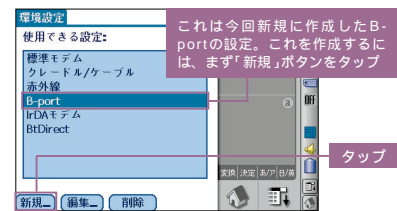
Bluetooth機能はPalm OSレベルで統一されているため、どの機種でも同様の設定方法でBluetoothモデムの設定が行える。Palm Tungstenシリーズでも、画面の各設定項目が英語で表記されているだけの違いだ。例えば、@FreeD対応カードを装着したBluetoothモデムであれば、PalmではBluetoothモデムの設定を行い、モデムとパスキーの交換をしてけば、モデム機能をワイヤレス接続で利用できる。ここでは、㈱ハギワラシスコの「B-port」をCLIE UX50で利用する手順を例に紹介するが、ほかのBluetoothモデムの接続設定を行うときも、基本的には同じ方法なので参考にしてほしい。

### 事前にPalm側を設定する



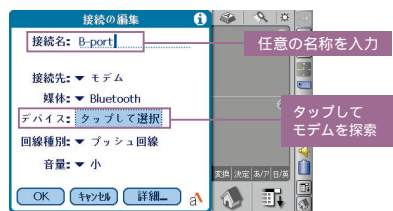
モデムの設定を行う前に、「環境設定」の「Bluetooth」で、「Bluetooth」をオンにする。デバイス名も変更。Tungstenも基本的には同じで、「Prefs」の「Bluetooth」で、Bluetoothを「On」に設定

### Bluetoothモデム設定を作成



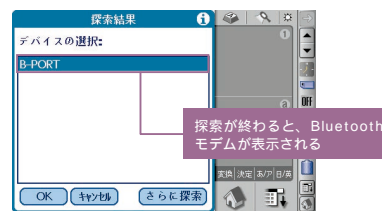
Bluetoothモデムの設定は、いずれの機種もはじめから用意されていないので、新規で作成する。「環境設定」の「接続」を開き、「新規」ボタンをタップしてBluetoothモデムの接続設定を作成

### Bluetoothモデムの探索



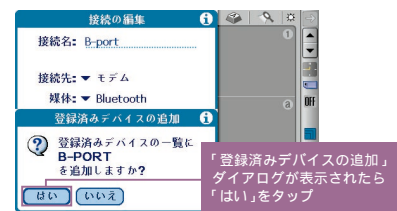
「接続先」は「モデム」、「媒体」は「Bluetooth」、「回線種別」は「プッシュ回線」を選択。音量は「オフ」や「小」でOK。「デバイス」の「タップして選択」をタップし、Bluetoothモデムを探索

### 目的のデバイスを選択



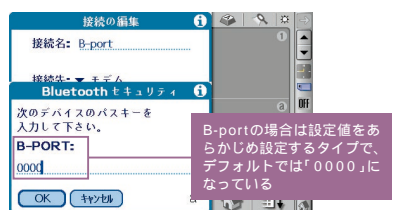
探索結果リストの「B-PORT」を選択し「OK」ボタンをタップ。目的のデバイスが見つからない場合は、目的のデバイスのBluetooth機能がオンになっているか確認し、「さらに探索」ボタンをタップ

### デバイスを登録しておく



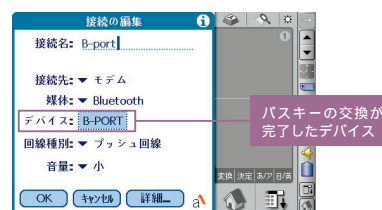
目的の機器を「登録済みデバイス」に登録していないと、登録済みデバイスの一覧に追加するかを尋ねられる。登録しておけば、次回以降パスキーの交換が必要ないので、「はい」をタップして一覧に追加

### 接続機器とパスキーを交換



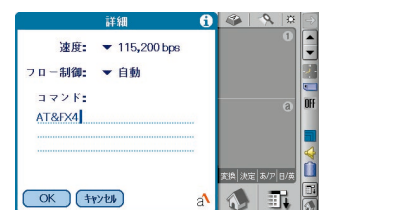
接続する機器側で、その都度パスキーを入力するもの、あらかじめ設定しておくもの、パスキーが固定され変更できない機器の3種類があるので、機器側のパスキーを確認して、同じキーを入力する

### Bluetooth接続の開始



パスキーの交換が完了すると「デバイス」にBluetoothモデムの機器名が表示され、接続時は自動的にBluetooth接続される。次に「詳細」ボタンをタップし、Bluetoothモデムの詳細設定を行う

### 詳細を入力して設定完了



「速度」を「115,200 bps」、「フロー制御」を「自動」と設定し、「コマンド」には「AT&FX4」と入力。Bluetoothモデムの機種によっては、「速度」は「115,200 bps」以外は選べない場合もある

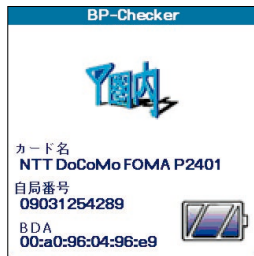
## 設定の手順 B-port を使ったインターネット接続の場合

「B-port」は、PCカードスロットを搭載するBluetoothモデムアダプターで、PCカード/CFカード型データ通信端末を装着してBluetoothモデムとして利用できる。Bluetoothに対応したPalmデバイスからなら、B-port を鞆に入れたまま、B-port に装着した通信カードの回線を利用してインターネットに接続する、といったことが可能だ。

対応するカードは、(株)NTTドコモのP-inシリーズ全機種と、DoPa

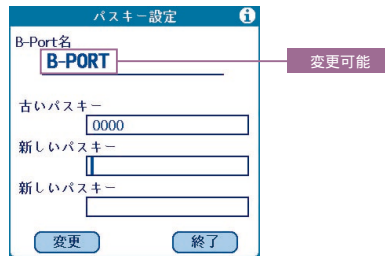
MAX 2896F、FOMA P2401で、(株)NTTドコモ以外のデータ通信端末には対応しない。現時点では、PalmデバイスでFOMAをケーブル接続して高速パケット通信を利用できる端末は存在しないので、B-port を経由してBluetooth通信で利用するのが唯一の方法となる。なお、電話機はBluetooth通信に対応していれば利用できるで、PalmデバイスだけでなくBluetooth機能を搭載したPocket PCやノートパソコンからも利用できる。

### 「BP-Checker」をインストール



B-port 付属の「BP-Checker」をPalmにインストールすると、B-port に装着したカードの電波状態や情報を確認できる。B-port のパスキーの変更や、FOMA端末「P2401」の設定なども可能。P-inシリーズでは、電波の受信感度もアンテナで確認できる

### 古いパスキーを変更しておく



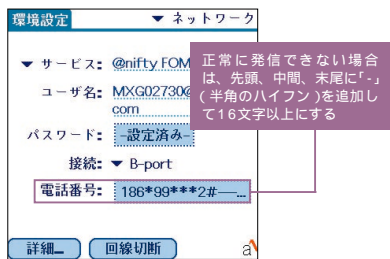
BP-Checkerを起動し、「メニュー」の「B-Port設定」で「パスキー設定」を選択。古いパスキーと新しいパスキーを入力すれば、B-port とBluetoothリンクを結ぶときに必要なパスキーを変更できる。出荷状態では「0000」となっているので変更する

### FOMA P2401を利用する場合



「メニュー」の「通信設定」で「APN設定」を選択。接続先APN (Access Point Name) の情報を確認・変更する。P2401には最初からmoperaのAPNが登録されているが、それ以外のISPでは番号を選び「追加・変更」ボタンを押し、APNを登録

### P2401での384kbpsパケット通信の設定



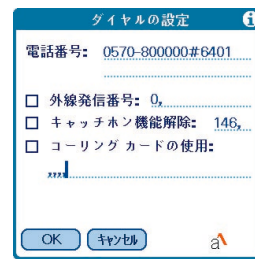
「ネットワーク」パネルで「接続」にB-portを選択。ユーザー名とパスワードはダイヤルアップ接続時のもの、電話番号は「186\*99\*\*\*1#」などと入力。先頭の「186」は発信者番号通知、「#」の前の数字はAPN番号を表し、接続先に応じて変更する

### @FreeD対応端末を利用するときには



「ネットワーク」パネルの「接続」のプルダウンメニューで「B-port」を選択するだけ。電話番号の項目は、@FreeD対応アクセスポイントの電話番号に、64kbps接続するときは「#6401」、32kbps接続の場合は「#3201」を付加する

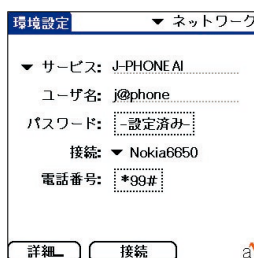
### P-in Free 1P、memory、Comp@ctでは



付属マニュアルでは、別途スクリプトの設定が必要とあるが、これは電話番号の長さを調節して、ダイヤルするタイミングをずらせばOK。電話番号の先頭、中間、末尾に「-」(半角のハイフン)を追加して、16文字以上になるように設定する

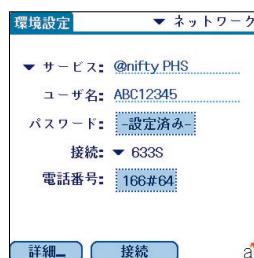
## 設定の手順 そのほか、Bluetooth対応携帯電話、PHSの場合

### V-NM701 & NOKIA 6650を利用する場合



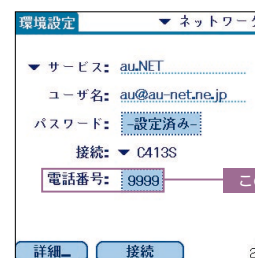
Bluetoothモデムの接続設定はB-portと同じ手順。接続するアクセスポイントは、ポータフォンが用意している「アクセスインターネット」を利用。ユーザー名を「j@phone」、パスワードは「jphone」、アクセスポイントの電話番号は「\*99#」と指定

### バルディオ633Sを利用する場合



@FreeD未対応なので定額制では利用できないが、64 / 32kbps PIAFSアクセスポイントを利用してネット接続が可能。ユーザー名とパスワードはダイヤルアップ接続時のもの、電話番号にはPIAFSアクセスポイントの番号に付加コマンドを追加入力

### au C413Sでau.NETを利用する場合



Bluetooth内蔵のC413SやBluetoothアダプターを装着したau端末は、ISPと契約しなくてもau.NETに接続してパケット通信を利用できる。ユーザー名は「au@au-net.ne.jp」、パスワードは「au」と入力。電話番号には任意の番号を入力すればいい



本誌  
スタッフが  
2カ月間  
挑戦!

# ダイエットソフト 体当たりレビュー

「食欲の秋」に何とかPalmで抵抗できないものが 本誌スタッフ3人がPalmを片手に立ち上がった。ダイエットに挑んだ真夏の2カ月。苦難の末に体得した、ダイエットソフト3本のウルトラTipsをお伝えしよう。

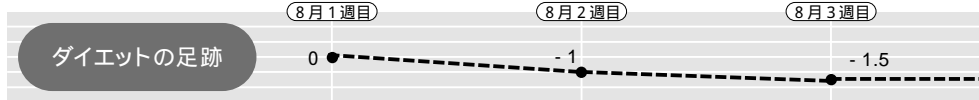
総合  
ダイエット

## Diet&Exercise Assistant

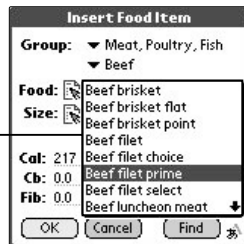
開発 Keyoe社  
http://www.keyoe.com/  
価格 19.95ドル



摂取した食物の種類と各種運動を詳細に記入することで、理想体重に近づけていくソフト。食物/料理の栄養価が記されている「Food Database」が付属する。記録データをグラフで見られる機能がないので、頑張った自分を客観視できないのが残念。



### 1 食事や運動は漏れなく記入



摂取した食物や料理は、項目別になった食物データベースから選んで量を指定すれば、カロリーや脂肪分、繊維質などの値を自動表示する。運動も同じ要領で種類を指定し、費やした時間を記入する

肉や野菜などのグループを選んだら、より細かい食品項目が指定できるようになる

最初は気合い十分。しかも、なんとなく楽しい

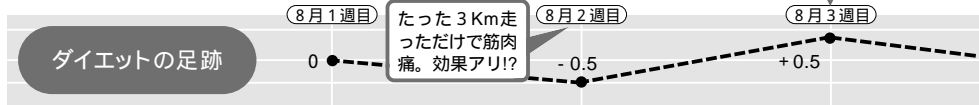
運動  
ダイエット

## Runners Log

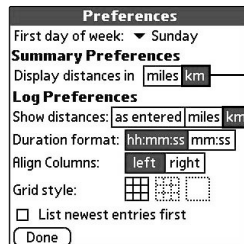
開発 Martin Rice  
http://www.fitnesslogs.com/runnerslog/  
価格 10ドル

Date	Location	Distance
8/3/03	Club	3 km
8/5/03	Club	3 km
8/9/03	Club	3 km
8/10/03	Gaien	1 km
8/11/03	Gaien	1 km
8/12/03	Gaien	1 km
8/13/03	Gaien	1 km
8/14/03	Gaien	1 km
8/15/03	Gaien	1 km
8/16/03	Club	3 km

ランニングやウォーキングといったトレーニング内容を記録するソフト。走行距離や時間、体重などの基本情報を蓄積していくと、週、月、年間の総走行距離や消費カロリーなどを計算してくれる。データをシンクロできるウィンドウズ用ソフトもある。



### 1 細かい表示設定が可能



ログに入力したトレーニング内容の「Summary」(全体の概要)とログの初期設定画面。走行距離の単位、日付の表示方法、グリッドの表示/非表示など細かい設定が可能だ

米国のパームウェアながら、「km」での入力を選べるのがうれしい

エクササイズ後、焼き肉に誘われて努力が水の泡

食事  
ダイエット

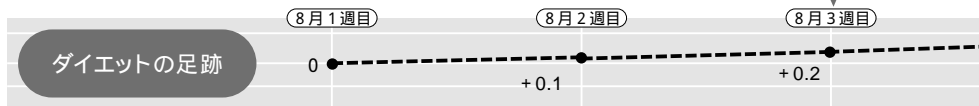
## Eat It!

開発 Michael Scherer  
http://www.eat-it.net/en/eatit/  
価格 15ドル

Item	Quantity
130 食パン (2枚)	
400 天井	
100 えびかつ定食	
190 缶コーヒー (無糖)	
40 キシリトールガム	
190 缶コーヒー (無糖)	

Calories: 2622.7 kcal

毎日の食事と体重を記録するソフト。食事はデータベースから選択するだけでよく、25もの成分の摂取量を管理できる。体重の推移は折れ線グラフまたは表で確認でき、目標までの達成度もひと目でわかる。日本語表示もほぼOKなので、使いやすい。



### 1 食事のデータは自分で登録しよう



食事はリストから選んで記録していく。ただし内容が海外仕様で使いにくいので、面倒でも自分で登録したほうがあとでラク。毎日取る食事は「メニュー」にまとめて登録し、入力の手間を省こう

メニューは「Food Database」モードの「Record」メニューの「New Menu」で登録できる

冷夏につき食欲落ちず。ゆえに、体重も落ちず

# チャレンジャー紹介

<b>総合ダイエット</b> Diet&Exercise Assistant	フリーライター 野田 幾子	ダイエットしなければ、という危機感と常に隣り合わせではあるのだが、実践はしていない。飽きっぽいことを自覚しているため、毎日記録を付け続けられるかが不安。
<b>運動ダイエット</b> Runners Log	本誌編集者 本多 いずみ	徹夜仕事に運動不足、深夜の焼き肉、夜明けのビール……。 「編集」という仕事は「女」をダメにします。痩身というより、脂肪燃焼と運動不足解消が今回のテーマ。
<b>食事ダイエット</b> Eat It!	本誌編集者 矢野原 隆行	今のところダイエットの必要はないものの、健康診断でコレステロール値が高かったことにショックを受ける。今回の企画で、食生活の改善に取り組むことを決意。

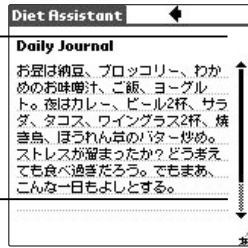
## ② トータルではどうなってるの？



摂取した食物と運動を記入すると、とったカロリーの合計を表示する。画面右下には目標体重への指針を「Goal」として表示。その数値がマイナスならばカロリーを消費するべく運動をしなければならない

「座った状態」「立ち仕事」など、1日の状態により消費したカロリーを表示する

## ③ その日の状態も書き留めよう

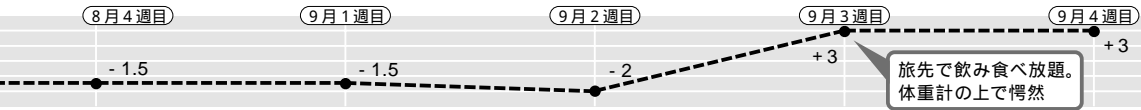


データベースは米国の食物仕様なので、日本独自の食物や料理は別途登録する必要がある。それが面倒だった私は似たような食物をデータベースから探し、実際に食べたものは図のように書き留めていた

飲み会などのイベントや、その日の心理状態なども記述。後にいい思い出になると信じて！

### チャレンジャーからのアドバイス

摂取した食物を記録するだけでも、ダイエット意識はかなり高まる。データベースに該当する食品がなければ自分で登録できるが、類似食品を選ぶほうがラク



結果 3.0Kg増 **不可**

## ② 自分仕様のログが作成できる



1回のトレーニング内容を入力する画面。あらかじめ「Heart rate」(心拍数)、「Equipment Used」(装備、機器)などのフィールドが用意されているが、フィールドのカスタマイズもできる

あらかじめ用意されたフィールドは「Log Entry Preference」でカスタマイズが可能

## ③ 運動の結果がひと目でパッチリ

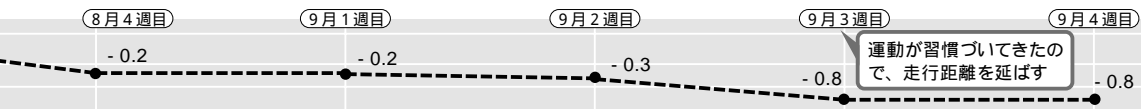


Summary画面。トレーニング内容の集計は、距離、時間のほか、消費カロリーなどの項目の中から選べる。「Run」「Hike/Walk」「Bike」といった内容別での表示も可能。結果が数字になるとやる気も倍増

トレーニングによる消費カロリーは、特別なことをしなくても自動的に計算される

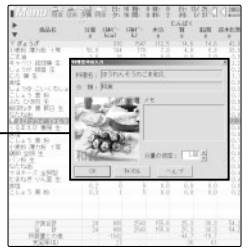
### チャレンジャーからのアドバイス

あとから訂正が利くので「とりあえず」で入力できるのが。ただし、摂取カロリーが入力できずトータルでの消費カロリーがわからないのが残念。他ソフトとの併用がお勧め



結果 0.8Kg減 **優**

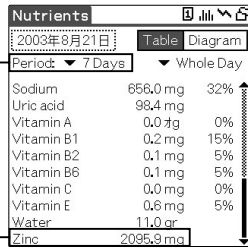
## ② 栄養価は必要な成分だけ登録すべし



食品の栄養価を調べるには、パソコンソフトが便利。「Healthy Maker」(<http://www.msrssoft.com/>)は、素材のほかに料理の名前でも検索できてオススメ。監視が必要な成分だけPalmに転記するのがコツだ

素材だけでなく料理の名前でも、栄養価を調べられるので便利。和洋中すべて揃っている

## ③ 気になる食費も同時にチェック

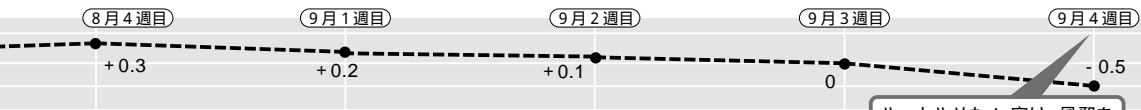


栄養価と同じくらい気になるのが食費。そこで、チェックする必要のない成分を「食費」欄と見なして金額を入力しよう。「Nutrients」モードにすれば、指定した期間における1日あたりの食費が表示される

「Zinc」欄を食費に割り当てた。図は過去1週間の食費が1日平均で約2095円だったことを示している

### チャレンジャーからのアドバイス

面倒なのは食事のデータベースを作る最初の間だけ。それ以降はリストから選んで記録するだけでラクなものだ。操作も覚えやすく、これならきっと続けられる！



結果 0.5Kg減 **良**

欲しいものが手に入る

# Palm系ショップ 活用 ガイド

得

専門店舗、量販店、ネットショップ。  
Palmデバイス本体や関連商品を販売するお店が  
ジワジワと増えてきました。  
ここでは、数あるPalm関連ショップの中から  
個性的な面々をご紹介します。  
きっとお気に入りのショップに出会えるはずですよ。

読者限定  
特典 **アリ!**

文 ドクターyashimac / 八島 伸之 (http://worpaholic.com/)

## どんなショップがどこにある?

電子ブックが読んでみたくてPalmデバイスを買ったのはイイけれど、肝心の電子ブックはどこで買えばいいの? はたまた、シブくておしゃれなケースや英語版OSを搭載した最新機種はどこで売っているのだから?

うか? Palmを使い始めた頃、意外と入手しにくいのが、そうしたアイテムを取り扱う専門ショップの情報だ。Palmを使いこなしていても、行きつけのショップ以外はノーチェック、なんて方も案外多いのでは?

ここでご紹介するのは、そんな迷えるPalmユーザーを導いてくれる頼もしいショ

ップばかり11軒だ。全ジャンルに強い、カスタマイズが名物など、得意分野を中心に各ショップの傾向をつかんだあとは、普段お目にかかることのできないショップ運営スタッフからの素敵なプレゼントのお知らせで盛り上がってほしい。いざクリック or ビジット!

## ショップを利用する際のポイント4

### 1 品数・種類が豊富

まず注目すべきなのが、品揃えが豊富かどうかだ。同じ商品でも色やサイズ、対応機種などのバリエーションが揃っているか、在庫の有無などを直接問い合わせしてみたり、サイト内の検索機能を利用して探してみるのも

### 2 スグに受け取れる

実際の店舗の場合は、在庫があればその場で購入し、即持ち帰れるが、オンラインショップの場合は商品発送のタイミングが注文の当日なのか翌日なのかをチェックする。製作や加工に日数を要する場合は事前に納期を確認

### 3 お買い得品が多い

お目当ての商品が安価なのに越したことはないが、それ以外の商品でもセールやキャンペーン中なら気軽に試せる。送料は有料か無料か、独自のポイントシステムや割引チケットを導入しているかなどもチェックしておこう

### 4 情報提供が活発だ

マメにWebを更新したりメールマガジンを発行するなどしてセールやキャンペーンの情報を知らせてくれるかどうかポイント。質問に対する迅速かつ丁寧な回答にも期待したい。丁寧に質問すれば、相手も親身になって応えてくれる

## 価格相場を把握しよう

専門ショップを利用するのは、そこできれい商品がいち早く入手できるからだ。ただ、商品の種類によっては量販店などで取り扱うケースもあり、実売価格にバラツキがあるのも事実だ。お目当ての商品は一般的にいくら前後で販売されているのか? 特にPalmデバイス本体の価格相場を知っておくのは、急激な価格下落による新機種の登場を予測するうえで有

益だ。実売価格をチェックするのに便利なのがパソコン系の価格比較・検索サイト。中でも、2年前にスタートした「BestGate」は、独自の検索機能とともにリアルタイムに価格情報を提供しており、注目度大。老舗の「価格.com」(http://www.kakaku.com/) や「パソコンeco」(http://www.coneco.net/) などのサイトもPDA本体の価格情報を随時掲載している。

このようなWebを活用して、賢い買い物をしよう。

BestGate 利用無料  
http://www.bestgate.net/ 2001年3月1日運営開始



トップページの「カテゴリから検索」から「パソコン本体」を選び「PDA/モバイル」でスペックやメーカー名による検索が可能。値下がりランキング表もある



# almighty

オールマイティー系

## ビザビ



### Shop Data

URL <http://www.visavis.co.jp/>  
 メール [info@visavis.co.jp](mailto:info@visavis.co.jp)  
 取扱商品数 約800点  
 平均価格帯 約3000円  
 支払方法 クレジットカード、銀行振込、代金引換  
 商品到着までの時間 原則として注文の翌日に発送  
 情報提供の方法 Web、メール  
 Web更新頻度 随時

### ココがポイント

- 1 国内未発売の商品も迅速に
- 2 注文した商品がスグに届く
- 3 オリジナル商品の企画開発

専門店舗、量販店、ネットショップ。Palmデバイス本体や関連商品を販売するお店がジワジワと増えてきた。ここでは、数あるPalm関連ショップの中から個性的な面々をご紹介します。きっとお気に入りのショップに出会えるはず。

### 商品販売を通じて ライフスタイルも提案する

モバイルショップ「ビザビ(Vis-a-Vis)」は、モバイル機器の販売と、それに関連する情報を発信し続けるサイトだ。納得できないものは販売しないという確固たるポリシーのもと、Palm関連の本体や周辺機器などを取り扱うオンラインショップとしては国内屈指の品揃えを誇り、ユーザーから絶大な信頼を得ている。もとは外国製Palmデバイスを独自に輸入販売していたという経緯から、まだ国内で発売されていない魅力的な商品を他に先駆けて提供するのがビザビの十八番であると同時に、同ショップの大きな特徴のひとつにもなっている。

ビザビを語るうえで忘れてならないのが、「万事スピーディー」というキーワードだ。国内未発売の商品を迅速に提供するのに加えて、注文した商品は原則として翌日に発送(在庫状況や支払方法にもよる)。「こんなに早く届いてビックリ」というのが、ビザビの利用者に共通した声だ。シェアウェアをダウンロード購入する場合は、カード決済を利用すればスグに利用できる。

妥協を許さないビザビの姿勢が顕著なのがオリジナル商品の企画開発分野だ。レーザーケースやHotSyncケーブルといったヒット商品のほか、特に人気なのが、液晶保護シート「OverLayシリーズ」だ。視認性と書き心地のよさに加えて、汚れたらはがして洗ってまた貼れるという利用者本位の発想が、ファンを増やし続けている理由なのだろう。Palmユーザーなら必ずチェックしたいショップだ。

### 英語版デバイスも豊富



トップページの「Vis-a-Vis SHOP」をクリックして商品カテゴリーを一覧する。「Palm Tungsten」や「Zire」といった国内未発売の商品も購入が可能だ

### ソフトは定番中の定番



商品カテゴリーの一覧で、左下の「ダウンロードソフト」から「Palm 専用」を選択するとPalmユーザー必携の選りすぐりのソフトがその場で購入できる

### 注目のオリジナル商品



人気の液晶保護シート「OverLayシリーズ」には、ベーシックな「Plus」と高光沢の「Brilliant」の2種類がある。対応機種は、CLIEやPalmのほか多数

### Voice from The Shop



サポート部門リーダー 砂守綾一郎氏

モバイルショップ「ビザビ」では、新製品に対応したオリジナル商品をいち早くリリースしておりますので、メーカーから発表があったらスグに弊社サイトをチェックしてみてください。また、レアアイテムも豊富なクリアランスセールを随時行っておりますので、きっと出物があると思います。今回は

特別に、Palm Magazineの読者の皆さまへの特典をご用意致しました。商品をご注文いただく際、備考欄に「Palm Magazine vol.20のショップ紹介を読みました!」と明記していただければ粗品をプレゼント致します。期限は2003年11月14日正午のご注文分まで(ダウンロード販売は除く)。

# download

ダウンロード系

## エアビットウェイ



### Shop Data

URL <http://www.airbitway.com/>  
 メール Webから専用フォームで送信  
 取扱商品数 1万1467点(10月9日時点)  
 平均価格帯 コンテンツの種類による  
 支払方法 クレジットカード、コンテンツチケット、Edy、デジコイン  
 コンテンツが利用可能になるまでの時間 原則として即時  
 情報提供の方法 雑誌、Web、メールマガジン  
 Web更新頻度 原則として毎週木曜日19時

### ココがポイント

- 1 1万点以上の豊富な品揃え
- 2 気軽に購入できる価格設定
- 3 有益かつ活発な情報発信も

### Voice from The Shop



(左から)  
 Webプランナー 峯村直氏  
 Webマネージャー 中村亜紗子氏  
 Webデザイナー 横沢友美氏  
 Webデザイナー 笠原克寛氏

今後も特売キャンペーンやオリジナルの新商品を発売していきますので、毎週エアビットウェイのサイトをチェックしてくださいね。また、エアビットウェイは全商品いつでもコンテンツチケット3パーセント還元なので、どこよりもおトク！エアビットウェイで自分に合ったコンテンツをセレクトして、自分仕様の最強Palmを作っていきます。今回特別に「エアビットウェイ for Palm OS」トップページ右下の「お問い合わせ」を開いて表示された画面の、一番下の入力欄に Palm

電子書籍などのコンテンツや各種ソフトを提供するのがダウンロード系のショップだ。対応機種でのおずと決まる周辺機器に比べて、ソフトはとにかく量が命。そんなニーズに応えるショップがココだ。

### 最安50円から買えるコンテンツがギッシリ

PDA向けコンテンツのセレクトショップ「エアビットウェイ(@irBitway)」は、国内最大のコンテンツ&ソフト販売サイトだ。取扱商品数は全部で2万タイトル以上。Palmデバイス向けコーナー「エアビットウェイ for Palm OS」だけでも1万タイトル以上と、とにかく選べるショップであるのは確かだ。

扱うジャンルも多岐にわたり、ニュース、コミック、マガジンからユーティリティ、地図、壁紙まで11種類。それぞれさらに細かく分類してあり、興味のあるコンテンツが探しやすい。また、内容も充実していて「PDA読売」などのオリジナルニュースコンテンツのほか、海外コンテンツも大量に販売する。海外コンテンツが日本円で購入できるので、購入後も日本語によるサポートが受けられるので、安心して利用できる。

そして、魅力的なのが手ごろな価格だ。最も安いのは、「戸田奈津子さんと読む映画シナリオ」シリーズや、「できる男の生活特効薬」シリーズ、インドからやって来たファンキーコミック「Aparajith」「Lambo」「Somu」の各50円。全体の価格帯も、電子ブックが50円~1200円、ソフトが1000円~6000円と決して高くはない。しかも、全商品常時コンテンツチケット(1チケット=1円換算でエアビットウェイのコンテンツが購入できる独自のポイントシステム)が3パーセント還元されるし、おトクなキャンペーンも毎週行っている。

### 膨大なのに探しやすい



コンテンツを探すには、上部のカテゴリーバーのほか「スタッフいちおし!」や「新着・オススメ」売れ筋ランキングが便利。キーワード検索も可能

### Palmで直接購入可能



PalmデバイスのWebブラウザ(ただしNetFrontを除く)を利用してコンテンツを直接ダウンロードし、決済までできるのはエアビットウェイならでは

### 購読無料のメルマガ



メールマガジン「週刊PDA活用ガイド」は毎週1~2回の発行で、各種キャンペーンなどのおトクな情報が満載。会員登録時に配信希望にチェックしよう

Magazine vol.20を買いました」と書いて送信くださった先着20名様に、当サイトで使えるコンテンツチケット2000円分をもれなくプレゼントいたします！(ご注意) コンテンツチケットの受け取りにはエアビットウェイのID・パスワードが必要です。上記ご応募の際にエアビットウェイの会員IDを必ずご記入のうえ、送信ください。会員IDの記入がない場合は、申し訳ありませんが対象外とさせていただきます。コンテンツチケットの有効期限は2003年12月31日です。



# customize

カスタマイズ系

メモリーを増設したり、本体を塗り替えたり。Palmデバイスを加工して自分だけの1台に仕立ててくれるのが、カスタマイズ系のショップだ。本体の販売も手がける個性豊かなショップに注目してみよう。

## PDA工房



### Shop Data

URL <http://www.pdakobo.com/>  
 メール [pda-shop@pdakobo.com](mailto:pda-shop@pdakobo.com)  
 取扱商品数 約1000点  
 平均価格帯 約3000円  
 支払方法 代金引換、銀行振込、クレジットカード  
 商品到着までの時間 原則として即日発送  
 情報提供の方法 Web、メールマガジン  
 Web更新頻度 随時

### ココがポイント

- 1 特有のオリジナルサービス
- 2 本体や周辺機器なども充実
- 3 オリジナルアイテムの販売

期待に応えてくれる 駆け込み寺のような存在

オリジナルサービスとPDA関連商品が売り物のオンラインショップ「PDA工房」。そんな同工房の最大の特徴は、ここでしか受けられない数々のオリジナルサービスだ。「メモリー増設」「バックアップ電池交換」「LED交換」「ボタン交換」「ガラス&タッチパネル交換」「カスタムペイント」といった加工系サービスのほかに、本体の「下取り」「買い取り」などの販売系のサービスも提供している。メモリー増設の中でも特に「32MBメモリー増設サービス」については、専用のドライバーを自社で開発してしまうほどの気合の入れよう。サービスの種類だけでなく、大事なマイPalmを安心して預けられる技術力の高さもうかがえる。

本体や周辺機器の販売にも力を入れていて、周辺機器やアクセサリは各機種用に取り揃えており、純正・サードパーティー製のほか、オリジナルアイテムも取り扱う。平均価格帯は約3000円とコストパフォーマンスに優れる。本体や周辺機器は新品のほか、整備済みの中古品も販売している。

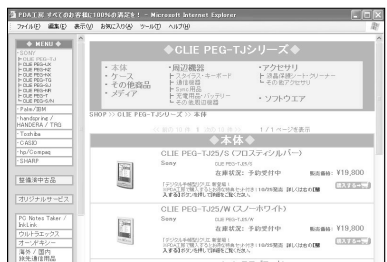
在庫がある商品については即日発送し、日本国内ほとんどの地域で翌日配達が可能という反応の良さは何よりうれしい。メールマガジンは毎週発行し、Webはほぼ毎日更新。読み逃したメールマガジンはWebでバックナンバーがチェックできる。「すべてのお客様に100%の満足を！」がスローガンのPDA工房は、顧客満足という名の真のサービスを提供しているのかもしれない。

### 加工系サービスを検討



トップページ左上の「SHOP入口」をクリックして入店したら、左メニューの「オリジナルサービス」で一覧を開き、利用したい各種サービスを検討しよう

### 本体や周辺機器を探す



本体はメーカーごとに分類されていて、左メニューで該当のメーカーをクリックすると機種が選べるように。対応周辺機器は上部のメニューで切り替える

### 商品名でも検索できる



オリジナルレーザーケースや各種充電Syncケーブルは30種類近くある。お目当ての商品名がわかっているときは、左メニュー最下部の「商品検索」が便利だ

### Voice from The Shop



専務取締役 長谷川一夫氏

お客様の中には、旧機種を大切に使われている方も多くいらっしゃると思います。PDA工房では近日中に古くなったバッテリーの交換サービスを始める予定です。また、ケースやケーブルなどオリジナル商品をもっと増やし、「PDA関連の商品なら何でも手に入る」ショップを目指したいと考えています。先日より

「J-OS」の取り扱いを始めさせていただきました。ソフトについてもさらに充実させていくつもりです。ご注文時、連絡事項欄に「Palm Magazineを見ました」とご記入いただいたお客様には、次回のお買い物が5パーセント引きになるチケットをプレゼント致します(2003年12月31日受注ぶんまで)

# international

インターナショナル系

## ポケットゲームス



### Shop Data

URL <http://pocketgames.jp/>  
 メール [info@pocketgames.jp](mailto:info@pocketgames.jp)  
 取扱商品数 約100点  
 平均価格帯 3000円程度  
 支払方法 代金引換、銀行振込、郵便振替、クレジットカード  
 商品到着までの時間 24~72時間  
 情報提供の方法 Web  
 Web更新頻度 随時

## dress up

ドレスアップ系

## シグマ・スタイル・ジャパン



### Shop Data

URL <http://xigma.jp/>  
 メール [info@xigma.jp](mailto:info@xigma.jp)  
 TEL 03-5842-7486(平日10:00~18:00、土日祝休)  
 FAX 03-5842-7727  
 取扱商品数 100点以上  
 平均価格帯 約4980円  
 支払方法 代金引換、銀行振込  
 商品到着までの時間 約3週間前後  
 情報提供の方法 Web、メール  
 Web更新頻度 1週間に2~3回

海外製のユニークな周辺機器やアクセサリなどを独自の視点で選び、買い付け、国内で販売する。それがインターナショナル系ショップだ。ここでは、そんな伝道師のようなショップに注目してみよう。

### レア物グッズはココでキマリ

ポケットゲームス(pocketgames)の最大の魅力は、ほかでは手に入らない商品と最先端の情報がいち早く入手できる点だ。実際、「BitToggle日本語版(Bluetooth切り替えソフト)のように、ここでしか買えない商品も数多い。全商品送料無料というのもポケットゲームスのこだわりのひとつだ。各商品ページへのアクセスはトップページからのほか、左メニューの「ショップ!!」からたどれる。今回、弊誌の読者への限定特典として、デジタル機器がたっぷり収納できる電腦ウインドシャツ「SCOTTeVEST(サイズS/M/L/XL各1着ずつ、先着4名様)を提供していた。ご希望の方は左記メールアドレスに「Palm Magazine vol.20を見た」と明記して応募してみよう。

### Voice from The Shop



(右から)平野(兄)氏&ひらば一氏

ポケットゲームスとはもともと個人サイトでやってきましたので、ショップと言われると今でも少し抵抗があるのですが、PDA布教のために商品も情報もコンテンツとして永続して提供したいと思います。ご希望によりケース1個でも輸入販売しますのでお問い合わせください。各種情報提供もお待ちしております。

ケースでおしゃれに決めるなら、形や色にこだわりたいのが人情だろう。そんなワガママに答えてくれる頼もしいショップが日本にはある。ケース専門店だが関連する小物も扱うユニークなショップだ。

### 品揃え随一のケース&小物専門店

業界随一の品揃えを誇るケース&小物専門のオンラインショップ。Palm関連だけでも軽く100種類を超えるという取扱商品数以上にショップみずから胸を張るのが、各商品に用意した豊富なカラーバリエーションだ。特に、ブラックを基調としたツートンカラーのレザーケースは、今やシグマ・スタイル・ジャパンの代名詞だ。今回、弊誌をご覧の皆さまへの限定特典として、長さ約4センチのキュートな「モバイルストラップMini」をご提供いただいた。ご希望の方は左記メールアドレスまで応募しよう。期間は2003年11月末まで。「Palm Magazine vol.20を見ました。ストラップ希望」と書き添えるのを忘れなく。

### Voice from The Shop



営業担当  
山本瑞恵氏

定番商品のほかにも、お客様のご希望にかなう商品を特注でお受けできます。スタッフまでお気軽にご相談ください。また、従来から行っておりました法人向けサービスをさらに拡張して開始しました。OEMやノベルティグッズの製作など、少量の案件からでも可能です。試作のご用命もお気軽にどうぞ。



## まだまだあります！ Palmデバイス関連ショップ

オリジナリティーあふれるショップは、ほかにも数多くある。実際に店舗を訪れてみたり、マメにWebをチェックすると、思わぬ掘り出し物に巡り会えることも。この機会に常連になってはいかが？

ハードもソフトも激安品もある総合ショップ

### イケショップ本店

住所 東京都千代田区外神田4-2-6 IKEビル TEL 03-3251-4722 営業時間 年中無休 URL <http://www.ikeshop.co.jp/> メール [mobilep@ikeshop.co.jp](mailto:mobilep@ikeshop.co.jp)

店頭販売を行っているのは、JR秋葉原駅近くの「本店」と大阪府茨木市の「茨木VIVRE」の2店舗。本店2階のモバイルフロアでは、本体やソフト、周辺機器などを販売。通信販売を行う「オンライン」には、レアアイテムを格安で提供する「アウトレット」コーナーも。

意外な掘り出し物も見つかる穴場的な量販店

### ビックカメラ有楽町店

住所 東京都千代田区有楽町1-11-1 TEL 03-5221-1111(代) 営業時間 年中無休、10:00~20:00 URL <http://www.biccamera.com/>

家電量販店の中でも比較的PDA関連商品が充実している。特に品数豊富なのが有楽町店4階にあるモバイル端末コーナー。Palm用のケースや周辺機器などの品揃えは都内最大級(同ショップ)だ。Visor用ゲームスティックなど珍しい周辺機器に出会えることもしばしば。

見て試せるソフトウェアダウンロードサイト

### ポケットベクター

URL <http://www.vector.co.jp/>  
メール [editor@vector.co.jp](mailto:editor@vector.co.jp)

ソフトウェアライブラリー&ショップ「ベクター」のPDA向けサイト。シェアウェアの販売はもちろん、フリーウェアも扱う。トップページの「PDA」では、ソフトのレビューや特集などが一覧できる。さらに「一覧」をクリックすると、Palm向けのソフトが絞り込める。

PDAファンを魅了するカスタマイズショップ

### マスター

URL <http://www.master-corp.co.jp/>  
メール [sales@master-corp.co.jp](mailto:sales@master-corp.co.jp)

PalmなどのPDA全般を対象に、オリジナル商品やサービスを提供する。行っているのは、メモリー増設、オリジナル商品の販売、パーツの販売、取り付け加工サービスの4種類。情報提供も活発で、新製品での動作確認状況や具体的な設定方法などを随時掲載している。

本革ボディースーツでおなじみのケース専門店

### エクストリームリミット

URL <http://www.extreme-limit.co.jp/>  
メール [info@extreme-limit.co.jp](mailto:info@extreme-limit.co.jp)

本革ボディースーツとは、PDA本体に着せて持ち歩くのがコンセプトの、同社オリジナルケースのこと。高級牛革を使用して、高度な縫製技術と緻密な生産管理で作り上げた人気の商品だ。Palmデバイス向けではCLIE用とVisor用を合わせて10種類以上も販売中だ。

ユニークな周辺機器が豊富に揃う新進サイト

### プロポータ

URL <http://www.proporta.com/>  
メール [jp-sales@proporta.com](mailto:jp-sales@proporta.com)

英国に本社を置くプロポータの日本語サイト。Palmデバイス関連で扱っているのはCLIE用とPalm用の周辺機器とソフト。各種メニューで本体の機種名を選択すると、対応周辺機器が表示されるのが選びやすさのポイントだ。メールなどで日本語サポートも行っている。

## もっと快適にショッピングするには

ショッピングをするなら楽しいほうがイイのは、買う側も売る側も同じこと。では、いったいどんなふうに言えばうまく気持ちが伝わるのだろうか？ ショップの声を聞いてみた。

基本的には「お客様からの言葉は、お褒めの言葉でもお叱りの言葉でも、とにかくありがたい」という。「お客様から『評判どおりの良いショップだった』ここなら何とかしてくれると思った」という評価の言葉をもらって、身が引き締まると同時に日々の励みにもなる」と

いうのは、真剣に働いた経験のある人なら誰もがうなずけることだろう。

また、「お客様から『こんな商品があると便利』これに対応した商品を作って』と具体的な要望を提案していただくと商品としてカタチにしやすいですし、スタッフの士気も向上します。中には、「がんばってお客様のリクエストにお応えできたときの『ありがとう』の一言に、そのメールを見ながらスタッフみんなでホロリとくこともよくあります」との声も。

ただ、実際に商品を注文すると、問い合わせたい事柄が出てくるのも事実。そんなときは「やはり丁寧に相手の気持ちを考えて接して下さるお客様には、何とかしてさしあげよう」という気持ちになります。

ショッピングも、結局は人と人との関係にほかならない。当たり前なようにいて案外忘れがちなそのことを、意識しながら接するのが、快適なショッピングへの近道なのかもしれない。



# CLIE Plus Magazine

Palm OS 5搭載のCLIEに対応したクロックアップソフト「Lightspeed」がリリースされた。CPUクロック数を上げることによって、アプリケーションの動作速度をアップできる。設定のポイントをしっかりと押さえて、うまく活用しよう。

第2回

## Palm OS 5搭載デバイスをクロックアップする

文 なる

CPUクロック数をアプリケーションごとに設定できる

Palm OS 4に比べて動作速度の速いIOS 5では、あまりクロックアップする必要性を感じないかもしれない。しかし、アプリケーションによっては処理速度にストレスを感じたり、また、バッテリーの持続時間に不満を感じることもあるだろう。それらを解決してくれるのが、クロックアップソフト「Lightspeed」( ㊦ クリエビデオ社、

㊦ <http://www.clievideo.com/>、㊦ 19.95ドル)だ。Lightspeedを使うと、インストールされているアプリケーションごとにバスクロック数と倍率を変更し、最大CPUクロック数を設定できるようになる。対応機種は、CLIE NXシリーズ、NZ90、TG50とTungsten C。14日間の試用期間があるが、試用にあたっては自己責任をその前提とすること。場合によってはCLIEがダメージを受ける可能性があるからだ。

使い方はとても簡単で、起動後に左上のボタンが「Enabled」になっていることを確認する(もし「Disabled」になっている場合は、タップして切り替える)。上段中央にあるボタンはタップによって「Single」と「Multiple」に切り替わり、Singleならば1つのアプリケーションを、Multipleならばタップして選択した複数のアプリケーションを同時に設定変更できる。すべてのアプリケーションを一度に変更したい場合は、メニューから「Select ALL」を選んで右上の「Change」ボタンをタップすればいい。

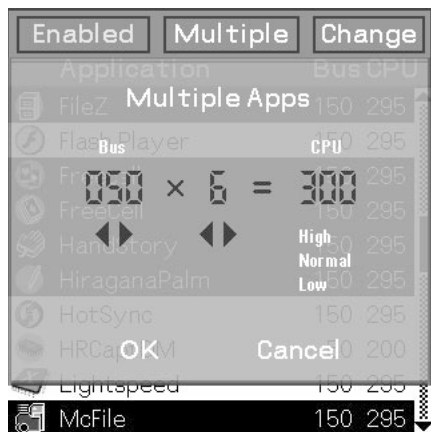
こうしてアプリケーションを選択して「Change」ボタンをタップすると、クロック数の設定画面が現れる( ㊦ )。最大CPUク

ロック数の限度を600MHzとして、バスクロック数を16~265MHz、倍率を2~6倍の間で設定できる(注:設定できる最大CPUクロック数とバスクロック数は機種によって異なる)。また、画面上には「High」「Normal」「Low」の3種類のプリセットも準備されているので、この中から選択してもいい。

適切なCPUクロック数と倍率を設定する

CLIE NX70Vを使って、バスクロック数と倍率をさまざまな設定にして速度計測を行った結果を表1に示す。「Benchmark」欄の値は、ベンチマーク試験用のソフトウェア「Benchmark」のスコアで、この値が大きいほどCPUが高速であることを意味する。もう1つの「MS Backup」の値は、CLIE付属のバックアップソフト「MS Backup」を使って、10187KB、278DBのファイルをメモリースティックにバックアップするのにかった秒数だ。この秒数が小さいほど、メモリースティックへのアクセスが高速であることを示す。

この表で、バスクロック数150MHzで倍



㊦ Lightspeedの設定画面。設定対象となるソフト名の下に、左からバスクロック数と倍率、両者の積として最大CPUクロック数が表示される

### コラム・秋の夜長に熱中できるゲーム

インサニクアリウム ビジュエルド

「Insaniquarium」は、「Bejeweled」などで有名な英Astraware社のアクションゲームだ。一見すると熱帯魚の育成シミュレーションのようだが、かなり「忙しい」部類のアクションゲームと言ってい。CLIEのワイドハイレゾに対応しており、動作もスムーズ。CLIE TG50やTungsten Tなどのハイレゾ画面でも高精細の表示で楽しめるが、ワイドハイレゾ画面ならば画面を横向きに使うフル表示ができるため、本物の水槽の感覚で楽しめるメリットがある。

ゲームの内容は、魚が生み出すコインでお金を稼ぎ、最終的に卵のパーツを買って完成させて面

をクリアしていくもの。難易度はそれほど高くないが、どうしてもクリアに手間取る場合は、投入する魚の数を少なめにしてみたり、Lightspeedを使ってクロックダウンをするという手もある。

さまざまなアイテムや愛嬌のあるキャラクターが登場し、CLIEのきれいな液晶画面で眺めているだけでも十分に楽しめる。面が進むに従ってフードフィーダーのタツノオトシゴが増えたり、コインを回収してくれるカタツムリ(?)が増えたりして、さらに水槽がにぎやかになってくる。Webサイトではハイスコアランキングもあるので、秋の夜長は世界ランカーを目指してみよう。



Insaniquarium

㊦ <http://www.astraware.com/> ㊦ 14.95ドル  
対応OS: Palm OS 3.5以上のカラー画面搭載デバイス

率を2に設定したCPUクロック数300MHzの結果を、基本状態(CPUクロック数50MHz、倍率4、CPUクロック数200MHz)と比較してみると、BenchmarkのスコアがCPUクロック数の比率とほぼ同じ1.48倍、MS Backupの結果も1.37倍ほど速くなっていることがわかる。しかし、CPUクロック数が同じ300MHzでも、バスクロック数が50MHzで倍率が6の場合は、Benchmarkは1.5倍のスコアが出ているにもかかわらず、MS Backupは1.12倍で基本状態とほとんど変わらない。つまり、同等のCPUクロックでも、バスクロック数が大きいほうがメモリスティックへのアクセスは高速だと言える。よって、高速化を行う場合は前者のようなバスクロック数を上げる設定を選び、もしメモリスティックへのアクセスに不具合が出たり、またシリアル通信などを行う場合は、後者のようなバスクロック数を落として倍率を高くする設定を行えばいい。

### アプリケーションによっては クロックダウンも有効

CPUの速度が上がるとバッテリーの持ちも悪くなる。たとえばHotSyncなどCPU速度をあまり必要としないものは、クロック数を上げると同期がとれなかったり、バッテリー持続時間が短くなったりして、メリットがあまりない。同様に「AudioPlayer」なども、データ読み込み時にエラーが出る可能性が高いので、クロックアップは避けたいほうがいい。

一方で、予定表など、CPUが基本状態より遅くてもまったく問題ないソフトウェアも存在する。このようなソフトウェアは、クロックダウンの設定を積極的に行うことに

表1 バスクロック数と倍率によるCPU速度とメモリスティックへのアクセス速度

バスクロック数(MHz)	倍率	2	3	4	5	6
50	CPUクロック数(MHz)	100	150	200	250	300
	Benchmark	135	203	271	339	406
	MS Backup(sec)	229	198	190	184	170
60	CPUクロック数(MHz)	120	175	235	295	-
	Benchmark	160	241	322	402	-
	MS Backup(sec)	200	181	171	166	-
65	CPUクロック数(MHz)	135	200	265	-	-
	Benchmark	180	271	361	-	-
	MS Backup(sec)	185	169	161	-	-
75	CPUクロック数(MHz)	150	220	295	-	-
	Benchmark	201	303	402	-	-
	MS Backup(sec)	176	163	152	-	-
85	CPUクロック数(MHz)	165	250	-	-	-
	Benchmark	226	342	-	-	-
	MS Backup(sec)	164	150	-	-	-
100	CPUクロック数(MHz)	200	300	-	-	-
	Benchmark	271	410	-	-	-
	MS Backup(sec)	158	146	-	-	-
120	CPUクロック数(MHz)	235	-	-	-	-
	Benchmark	322	-	-	-	-
	MS Backup(sec)	149	-	-	-	-
135	CPUクロック数(MHz)	265	-	-	-	-
	Benchmark	364	-	-	-	-
	MS Backup(sec)	140	-	-	-	-
150	CPUクロック数(MHz)	295	-	-	-	-
	Benchmark	402	-	-	-	-
	MS Backup(sec)	139	-	-	-	-

表1(補足) スーパーパワーセービングモード(CPUクロック数33MHz)の結果

バスクロック数(MHz)	倍率	2
16	CPUクロック数	33
	Benchmark	64
	MS Backup(sec)	528

「Benchmark」<http://www.quartus.net/products/>

「MS Backup」によってバックアップしたファイルは10187KB、278DB

表2 BatteryBench2の結果

CPUクロック数(MHz)	バスクロック数(MHz)	倍率	BatteryBench結果	基本状態との比較	備考
200	50	4	3'28"32	1	基本状態
100	50	2	4'56"28	1.421675192	
300	50	6	2'38"44	0.761189258	
300	150	2	2'24"54	0.694852941	

よってCLIEのバッテリーを長持ちさせられる。「BatteryBench2」(<http://simplepalm.com/>、フリーウェア)を使って、「FullPower」のバッテリー時間を測定した結果を表2に示す。CPUクロック数を100MHzにした場合、基本状態の1.4倍ほどバッテリーが持続したが、逆にクロックアップをしていちばん速い状態で使った場合は、標準の7割程度の時間しか使えなかった。クロック数の変化に対してバッテリーの変化量が少ないのは、CPUよりも、液晶のライトなどのほうがバッテリーに与える

影響が大きいからだと考えられる。

結論として上手にクロックアップする方法は、液晶のライトの輝度を下げるなどの一般的なバッテリーの延命措置を行いつつ、大きなCPU速度を必要としないアプリケーションを「LOW」に設定し、通信を行うものは標準のままに、そしてCPUのパワーが必要なもののみ正常に動く範囲内で最大のCPUクロック数を割り当てることだろう。こうすることで、バッテリーの持ちをあまり悪くせずに、快適に使える環境が出来上がる。

## アップデート情報

CLIE アップデータ情報 10月2日までに公開されたアップデートから主なものをピックアップ

対象機種	対象ソフト	アップデートの概要
UX50、NX73V/80V、NZ90、TG50、SJ33	Palm Desktop v4.1	「Microsoft Office 2003」を再インストールしたコンピューターに、CLIE付属のCD-ROMから「Palm Desktop v4.1」をインストールしたときに、インストール最終画面でインストールが中断する場合がある不具合を修正する。
UX50	システムソフトウェア アップデートプログラム	システムソフトウェアを更新することによって、「AudioPlayer」などでCLIE本体にヘッドホン接続して音声を再生中に電源を切り、電源を入れる前にヘッドホンを抜くとソフトリセットが必要となるなどの計3点の不具合を修正する。
UX50、NX60/70V/73V/80V、NZ90、TG50	Image Converter 1.0	動画変換の出力ファイルの上限を128MBから2時間へ変更する。また、静止画変換において、既存ファイルに書き込む場合があった不具合を修正する。
NX60/70V/73V/80V、NZ90、TG50	Movie Player	動画再生ソフト「Movie Player」に、「モバイルAVビューアー(MSV-A1)」や「メモリスティックビデオレコーダー(PEGA-VR100K)」で録画したMobile Movie形式の動画を再生する機能を追加する。
NR70/70V、T400/600C/650C、N700C (OS 4.1アップグレード品)/600C/750C、SJ30/33	PictureGear Pocket v2.3	メモリスティックの「/DCIM/100MSDCF」フォルダー以外の場所に保存されている画像を表示できるようにする。これによって、デジカメなどでメモリスティックに記録した画像をそのままCLIEで閲覧できる。
UX50		ワイヤレスLAN機能使用時に、通信方式によって、まれに接続状態を維持できない場合がある不具合を修正する。

(詳細は<http://www.ncll.sony.co.jp/download/>を参照)

ベストBUYへの道しるべ

# ハード&ソフト 新製品レビュー

毎日のように発売される周辺機器やソフトウェア。待ってました! と飛びつきたくなるモノもあるけれど、そんな時こそ冷静な目で見極めたい。少しでも品定めのお役に立てるように、とここん使ってレポートします。どうかあなたのPalmが確実にパワーアップしますように - -。

P.82 **ポータブルプリンター**  
MW-100e

P.83 **ポータブルキーボード**  
PEGA-KB100



(本製品にCLIEは付属しません)

## ポータブルプリンター

### Palmの機動力を生かす小型プリンター MW-100e

販売/開発元 ブラザー工業(株) 対応OS Palm OS 3.5以上( Palm OS 5対応。一部の機種では問題が確認されているので、メーカーのWebサイトで要確認)、  
Windows98 / 98SE / Me / 2000プロフェッショナル / XP、Pocket PC 2002 本体サイズ 幅100×高さ160×厚さ17.5ミリ 重さ 300グラム

**ブ**ラザー工業(株)から発売された「MW-100e」は、PalmデバイスとWindowsパソコン、Pocket PCに対応した超薄型のモバイルプリンターだ。リチウムイオン充電電池を内蔵し、サイズは幅100×高さ160×厚さ17.5ミリで、重量は300グラム。スリムかつ軽量なので、カバンに入れて持ち歩いてもそれほど苦にならないだろう。専用の感熱紙はA7サイズとやや小さめだが、シール用紙など数種類が用意されている。

付属の印刷ソフト「IrPrint MW」をPalmデバイスにインストールすると、予定表/アドレス/ToDo/メモ帳のほかに、「Documents To Go」の「Word To Go」および「Sheet To Go」のファイルを印刷できるようになる。PalmデバイスとMW-100eの赤外線ポートを向かい合わせて置き、IrPrint MWを起動して表示された画面で印刷したい項目を選択すれば、間もなく印刷が始まる(Palm OS 5搭載デバイスでは、直接、各アプリケーションのメニューから印刷することが可能)。

印刷は単純な画面コピーではなく、各書

類に含まれる情報を整形して出力する。特にアドレスを印刷する場合は、名刺用、宛先ラベル用など計4種類の出力スタイルを選べるようになっており、選択したスタイルに応じて必要な情報が適切にレイアウトされる仕組みだ(図1)。なお、Word To GoやSheet To Goのファイルを印刷する場合は、文書に挿入された画像が印刷できないほか、フォントサイズが1種類のみだったり、横方向に印刷できるセルの数が少ないなどの制限がある。このあたりは割り切って利用する必要がありそうだ(図2)。

とはいえ、印字品質は悪くない。IrPrint MWの印刷用フォントは小さいながらも読みやすく、鮮明に印刷される。感熱紙の特性上、長期間保存する文書には向かないが、商談などの場でまとめたメモをさっと印刷して渡す、といった用途に適しているだろう。アプリケーションに印刷機能を組み込む開発キットの配布も予定されているので、企業向けソリューションにPalmとMW-100eを組み込んで活用する、といった展開も期待できそうだ。(吉沢 正敏)

## ここがイイ!

持ち運びのしやすさはピカイチ。Documents To Go対応でビジネスにも活用できる

## ここがオシイ!

表現力は十分とは言えない。印刷可能なアプリケーションの種類を増やしてほしい

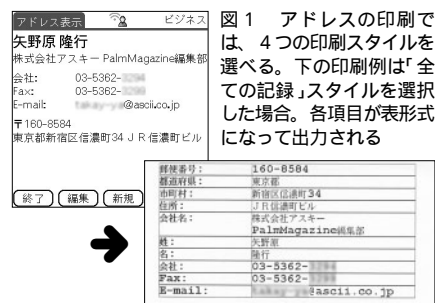


図1 アドレスの印刷では、4つの印刷スタイルを選べる。下の印刷例は「全ての記録」スタイルを選択した場合。各項目が表形式になって出力される

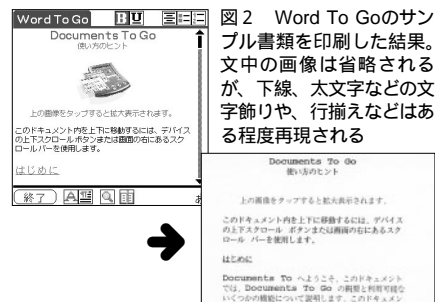


図2 Word To Goのサンプル書類を印刷した結果。文中の画像は省略されるが、下線、太文字などの文字飾りや、行揃えなどはある程度再現される

オープンブライズ(興3万円)  
ブラザー工業(株)  
pub.joho@hanbai.brother.co.jp  
http://www.brother.co.jp/



## ポータブルキーボード

# さらなる快適入力をCLIEで体感できる PEGA-KB100

販売 / 開発元 ソニー(株) 対応OS Palm OS 4~5 対応機種 CLIE NX/T/SJ/NR各シリーズ、同TG50 本体サイズ 幅138×高さ105×厚さ18ミリ(閉じた状態) 幅270×高さ105×厚さ9ミリ(開いた状態) 重さ 215グラム

ソニー(株)の「PEGA-KB100」(以下、KB100)は、CLIE専用の二つ折り型コンパクトキーボードだ。CLIE N/Sシリーズ、UX50、NZ90を除くすべてのCLIEに対応し、パソコン並みの高速入力を可能にする。最大の特徴は入力のしやすさ、扱いやすさ、見た目のよさをバランスよく兼ね備えた点だろう(写真1)。この手のキーボードは、折り畳むときに何らかのコツを必要とする製品が多かったが、KB100は2つのラッチによって、本を閉じるように簡単に折り畳める構造になっている。また、重さはNXシリーズの本体とほぼ同じ215グラムだが、外側のパネルが端に行くほど薄くなっており、折り畳んで持つと数値ほどの重さを感じない。

KB100が備えている機能は、文字や記号の入力(ローマ字とかなの両入力に対応)のほか、ショートカットキー(「Cmd」+「0~9」キー)によるアプリケーションの起動、そしてCLIE本体の充電および給電の3つだ。使用するにあたって電源は必要ないが、右上にDCインジャックが付いており、ACアダプターを接続すればキーボードを使いながらCLIEを充電できる。キー配列はパソコンのキーボードと同じ6段で、キーの数はプリンストンテクノロジー(株)の「Wing Board for CLIE」などと同じ69個だ。また、底面が硬く奥行きも狭いため、膝の上でも平らな鞆などにのせれば、比較的安定して打鍵できる。使用言語に合った「Keyboard環境設定ユーティリティ」をインストールするだけですぐに使えるのも、わかりやすく好感が持てる(図)。

KB100のような本格的なキーボードにとって大切な要素の1つは、いかにパソコンのキーボードと同じように打てるかだ。試しにCLIE NX70VおよびT600Cにセットして、50文字程度の文章を入力するのに要す

る時間を計測してみたところ、結果はいずれも40秒前半だった。ノート型パソコンで同じ文章を入力するのに要した時間には10秒ほど及ばなかったが、NX70Vの内蔵キーボードを使った場合の約半分の時間で入力できた。このことから、限りなくパソコンのキーボードに近いスピードと感覚で入力できると言っていじらう。動作周波数の低いCPUを搭載した機種で使用すると、キーを押してから画面に文字が表示されるまでの間に1秒にも満たないわずかなタイムラグが生じるが、長文の入力時でも文字の取りこぼしはなく、十分実用に堪えうると感じた。

使っていて便利なのは、日英モードの切り替えがキー1つで行える点だ。「日/英」キーはスペースキーのすぐ右側にあり、右親指で押しやすい(写真2)。「ATOK」との相性もよく、「Tab」キーやスペースキーなどで推測変換候補を選択し、「Enter」キーで決定できるのは快適。「NetFront」や「CLIE Mail」といった通信系ソフトで問題なく使えるのも安心だ。

気になったのは、画面上の「OK」ボタンを押すためのキー(もしくは機能)が設けられていない点だ。「キャンセル」ボタンは「Ctrl(またはCmd)」+「Back Space」キーで押せるのだが、「OK」ボタンは押す術がない。また、上下キーが上下ではなく左右に並んで配置されているため、慣れるまでの間は押しにくさを感じるだろう。キーの機能を入れ替える設定項目を設けてほしかったところだ。とはいえ、こうした点はドライバの問題であるだけに、今後の進化に期待が持てる。1台で多くのCLIEに対応するKB100は、これから新機種に乗り換えようとしている人や、新旧複数のCLIEで長文入力に活用したいと切望しているユーザーにもオススメだ。(八島 伸之)

## ここがイイ!

とにかく早く入力できる。高速なCPU搭載機ならパソコンに迫る速さで打鍵できる

## ここがオシイ!

画面上の「OK」ボタンを押すキーがない。上下キーが左右に並んでいるので押しにくい

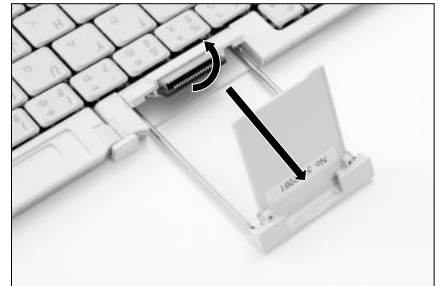


写真1 使用時は側面の「ロック」を押し下げて、キーボード部を左右に開く。左奥の「PDAフット」を完全に引き出し「ドックコネクタ」を持ち上げたらCLIE底面のコネクタをセットする



図 付属の設定ソフト「KB Utility」は、Palm OS 4~5に対応する。設定できるのは、入力方法とショートカットキーの設定のみ。なお、キーボードヘルプは「Ctrl」+「K」キーでも表示できる



写真2 キーピッチは横18ミリ、縦17ミリ。キーストローク約2ミリ。キーの大きさは横17×縦16ミリでパソコン用とほぼ同じ。パンタグラフ式でクリック感もしっかりしている

価 オープンブライズ(興 1万2800円)  
 商 ソニー(株)  
 電 0570-00-3311  
 画 http://www.sony.co.jp/CLIE/

バンコク

## タイのPalmユーザーは超富裕層 ソニーの着実な戦略でCLIEが浸透

タイは日本の1.4倍ほどの国土を持ち、約6000万の人口の1割が首都バンコクに集中しています(写真1)。そのバンコクでは、スターバックスの月給がほしい17500パーツ(約2万1000円) 工場の作業員だと5000パーツ(約1万4000円)といったところです。でも、貧しいということはありません。タイ人は主に屋台で食事をしますが、1食あたり20パーツ(約56円)くらいでお腹いっぱい食べられるからです。

**PDAは贅沢品  
買うのは超お金持ち!!**

このような物価水準の国で、Palmデバイスがいくらかするのかわったら驚きます。例を挙げると、CLIE SJ33が1万1900パーツ(約3万3320円) TG50は1万8990パーツ(約5万3172円) NX80Vは2万6990パーツ(約75,572円) NZ90にいたっては3万5990パーツ(なんと約10万円!)もします。ちなみにPalmブランドは、Zire 71が1万4000パーツ(約3万9200円) Tungsten Tが1万6990パーツ(約4万7572円)です。いちばん安いモデルでも月給の倍近くするわけです。つまり、タイのPDAユーザーは相当のお金持ちということになります。当地の金持ち

は広大な敷地の家に5~6台のベンツを所有し、子供は学生の頃からBMWを乗り回して、会社を経営したりしています。

このような超富裕層がPDAのターゲットユーザーになるわけです。バンコクの有名デパートに入っているソニーショップでは1カ月に約250台のCLIEが売れ、その大半がNZ90、NX80Vなどの上位機種なのだそう(写真2)。

**飽きっぽいタイ人氣質に訴える  
ソニーの戦略とは**

ソニーは1年半ほど前からタイで情報機器の販売攻勢をかけています。まずVAIOを投入し、その数カ月後にCLIEを発売しました。元々バンコクにはソニーショップが「高級デパートに1つはある」と言われるくらい多いのですが、これらのショップがいっせいに模様替えを行い、「VAIO = 紫」「CLIE = 緑」で店頭を飾り立てました。タイ人は生まれた曜日によってラッキーな色があるくらい色に関心が深く、派手好きでもあるので、この模様替えは成功しました。

また、タイ人には見栄っ張りなところがあります。車や携帯電話など、人に見せて「いいなあ」と言われることが快感なのです。



写真2 バンコク有名デパート内のソニーショップ。売れ筋は真ん中から右側に写っている上位モデル。この店の売上台数は月平均で約250台だそうです



写真3 CLIEのパフレットに掲載されたトレーニングコースの案内。毎月1回開催され、飲み物とお菓子が付きます

PROFILE



さるぞう

バンコク駐在歴2年半。激務の相棒はTreo270。http://www.003.upp.so-net.ne.jp/fromthailand/index.htm



写真1 バンコクの街並み。屋台や出店があふれています。左が有名なオート3輪のトゥクトゥクです

従って、「派手であること」(赤いCLIEの投入)「カメラ内蔵モデル」(誰が見てもインパクトがある)「高価格がもたらすステータス」などのタイ人好みの戦略をとってきた結果、たった1年でCLIEはかなり市場に浸透しました。一方のPalm社は地味で、統一した戦略も取られておらず、日本の秋葉原のようなマニアが集まる場所で製品が取り扱われています。

しかし、何事にも熱くなりやすく冷めやすいのがタイ人です。このような気質の顧客に飽きられないための努力も、ソニーは欠かすことがありません。例えば、CLIEユーザーのためのトレーニングコースを開発しています(写真3)。毎月、最終土曜日にセミナーが行われ、ユーザーは1500パーツ(約4200円)を払えば基本的なPIMの使い方から音楽の聴き方、カメラの使い方まで教えてもらえるのです。「TG50を買ったけど、Bluetoothって何?」といったユーザーでも心配はいりません。ほら、CLIEコーナーの隣ではインストラクターの女性がビデオを使って、ソニーエリクソンのBluetoothを内蔵した携帯電話の使い方を丁寧にレクチャーしてくれます。まさに去年、ソニーが東南アジアで使ったキャッチコピーの「GO! SONY! GO!!」ですね。

台北



## 着々と設置の進むホットスポット PalmはGSMからPHSを使った通信へ

インテルによる戦略的なマーケティングもあって、この2年間で無線LANが猛スピードで普及しました。また、IEEE 802.11bを使ったホットスポットも増え、ホテルや空港、喫茶店、ファーストフード店、また政府機関や学校といった公共の場所や観光スポットなどに設置されています。都市部においては利用率が高く、オフィスビルや住宅地(ほとんど区別がつかないほど混在していますが)にもかなり普及しています。筆者が車に乗って、ノートパソコンを使ってアクセスポイントの数を確認したことがあります。たいいてい2~3個は見つかりました。プロバイダーが一時期、ADSLと

ワイヤレスアクセスポイントをセットにした販促キャンペーンをやっていたことも、利用者が増えた理由の1つでしょう。

しかし、Palmでは無線LAN内蔵モデルを使わないかぎり、ほかの通信方法を使うしかありません。そこで、通信業者が用意するPalm対応のソフトウェアとハードウェアに頼ることになります。今ではGSM回線を利用するユーザーは、料金が低いこともあって非常に少なくなりました。代わりに利用されているのはGPRSとPHSです。しかし、最も早くGPRSサービスを開始した和信通信社は、2年前に始めたPalm向けのGPRSサービスをすでに停止しました。現

在は経営方針を変えて、日本のドコモと提携しているiモードに投資しています。もう1社、GPRSサービスを供給している遠伝電信社は、時間とパケットの従量制サービスをしており、同社のホームページにはPalm用の設定方法が詳しく説明されています。

現在、GSMやGPRSよりも脚光を浴びているのが、より高速なPHSです。台湾で唯一、PHSサービスを提供している大衆電信社は、Palm向けのハードを拡充するとともに、通信設定マニュアルを用意しています。利用料金も基本料金は無料で、通信料も1分あたり0.55~0.95元(約1.9円~3.3円)とリーズナブルです(日本語訳: 頼 淑 琦)。

### PROFILE



スウ タカオ  
蘇 谷 隼

台湾のパソコン雑誌「PC2000 Magazine」のテクニカルエディター。モットーは「Born to test and criticize」

▶▶▶ Taiwan

ソウル



## 韓国もユーザーグループが活発 ビールグラスを片手に講習会も

お久しぶりです。Palm Magazine韓国支部長(?)のブルノーです。最近、韓国のPDAユーザーの間で話題になっているのは、



写真 オフ会の様子。お酒を飲みながら、ノートパソコンを使って上級ユーザーが同期などの実演をします

やはりCLIE UX50ですね。BBSを見たらさっそく入手した人もいます。みたいですね。

さて、前回書いたように韓国ではPalmやCLIEの正式なディーラーはありません。だから、インターネットを使って手に入れるのですが、使い方がわからなかったり、故障したときは大変です。そこで役立つのが、インターネットの同好会です。PalmやPocket PCのユーザーが集まってオンラインで質問に答え合ったり、新製品のニュースを話したりしますね。韓国のPDAユーザーは20~30歳代の男性がメインですが、女性も結構多く、オフ会や飲み会も活発に行われます。ただの遊びの時間で終わるときもあります

が、初心者のための勉強会を開くときもあるんですよ(写真)。同期の仕組みからインターネットの接続まで5段階のカリキュラムを用意して、講師役のユーザーがボランティアで教えます。受講生はひとクラスあたり20人くらい。ノートパソコンで同期を実演したり、アプリケーションをインストールしたりします。10ページくらいの教材まで準備するから、とても本格的な雰囲気になるんですよ。また、いちばん上のクラスでは、CDMAや無線LAN、Bluetoothを使ったネットワーク接続を勉強します。無線LANに興味を持っているユーザーが圧倒的に多いですね。やはりCDMAは高いですから。

### PROFILE



キム ナンフン  
金 楠 勲

フリーライター兼プロレスラー。韓国ではラジオやテレビ番組にも多数出演。プロレスは35戦34敗。今年5月に涙の1勝!

▶▶▶ Korea

## GetBooks

作者: Gets  
 種別: シェアウェア(1000円)  
 http://www5c.biglobe.ne.jp/  
 gets/  
 書籍専用の管理ソフト。インターフェースはシンプルだが、機能は豊富

## Itu-deru

作者: 河村真一  
 種別: フリーウェア  
 http://homepage.mac.com/  
 nekome/  
 書籍のほか、さまざまなジャンルの購入予定・購入済み商品を管理可能

## Book Mag Library

作者: BMS  
 種別: シェアウェア(9.95ドル)  
 http://www.bitmaster.com.  
 au/software/  
 豪の書籍専用管理ソフト。書架番号など、国産ソフトにはない項目もある

## ぐるぐる

作者: EIJ  
 種別: フリーウェア  
 http://www5b.biglobe.ne.jp/  
 eij/pam-ya/  
 本来は飲食店の評価を登録/表示するソフト。評価項目などは変更できる

# ジャンル別・ パームウェア 真剣



## 1 データ入力

書籍のデータは何をどう入力できる? 入力のしやすさと併せて検証しよう

### GetBooks

GB: 編集 5/7 ▼ 学術書

書名: 算数ドリル全集5  
 発売日: ▼ 03/10/23  
 シリーズ: 小学生シリーズ  
 巻数: 6  
 版: 初版  
 著者: 山田春男  
 訳者:  
 出版社: やまだ出版  
 ISBN: 1-2345-67890-0  
 価格: 8800  
 注文日: ▼ 03/9/10

ポップアップメニューで選択

本に特化した入力項目が並び、表示項目は「オプション」メニューの「表示順の設定」で変更できる

### Itu-deru

Itsu-deru ▼ すべて

24 PalmMagazine 1,360

2003  
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12  
 SPR | SUM | AUT | WIN | ? | ?  
 5 6 7 8 9 10 11  
 12 13 14 15 16 17 18  
 19 20 21 22 23 24 25  
 26 27 28 29 30 31

日付を選択

複数ジャンルの商品が登録可能なため、入力項目は少ない。リスト画面のままで入力できる

### Book Mag Library

Details あ Notes

Title: 算数ドリル大全  
 Author: 山田春男  
 Publisher: やまだ出版  
 Rating ▼ \*\*\* Cost 8800  
 ISBN 1-2345-67890-0  
 S-Code A-1 Available  
 Category ▼ 学術書  
 Date: 03/10/25 Quality ▼ \*\*\*\*\*

評価を選択  
 最後に読んだ日付

本の評価を付ける「Rating」や保存状況を表す「Quality」、書庫を管理する「Date」などを留意

### ぐるぐる

書籍管理 ▼ 学術書

Name 算数ドリル大全

Off Md Tu We Th Fr Sa Su Hd

感動 情報 実用  
 希少 娯楽  
 総合 価格 一平 Sign

頂点をドラッグする  
 空白部分をタップすると「」の数が増える

書籍管理に应用するには、六角形のグラフによる評価「」の数を付ける総合評価などを付けられる

### お題: 書籍管理ソフト

雑誌に文庫、コミックスなど、さまざまな書籍を購入していると、すでに持っているものをうっかり買ってしまったり、逆に買い忘れてしまうこともある。そんな悔しい思いをしないためにも、書籍管理ソフトでしっかり管理しよう。



このページで紹介しているパームウェアは、付属CD-ROMに収録しています

## 2 リスト表示

入力したデータが整理された一覧表示。見やすさや表示項目をチェック

- ④ 「ぐるぐる」はユニークですね。カラーになった最新版は、見た目も楽しい!
- そうそう、しかも2種類の表示方法があるんだぞ! いま、カナちゃんは書名と「」の数を表示する画面を見てるだろ? 書名を選ぶとグラフが切り替わるんだよ。発売日や購入日はわからないけど、もともと違う目的で作られたソフトだから仕方ないな。むしろ「Book Mag

- Library」に不満を感じるぞ、俺は。
- ④ 先輩が不満を持つなんて珍しい! いったい、どうしたんですか?
- 発売日とか購入日の記録ができないのは、チェックボックスを使えるから我慢しよう。しかし、この合計金額が「\$」のままなのが気に入らん。設定で変える項目もないんだ!
- ④ ん? 「\$」のどこタップして入力したら「¥」に

アッサリ変わりましたけど??

- .....そ、そうか、それはよかった。ところで「Itu-deru」だが、やはりこれは買い物するときには便利だな。だって日付も出れば購入/未購入をチェックするボックスもあるんだからな。そうそう、「GetBooks」はリストがすごいぞ。「設定」で日付/チェック/主情報/付加情報でどれを表示するか選べるし。それと.....
- ④ 先輩、もういい大人なんだから、自分の過ちは潔く認めなさい!

# 3

## ソート / 検索機能

同じ本を買わないために、すでに持っている本がないかを確認しよう

使い心地のいいソフトを  
ゲットしたい!

# 勝負



Illustration ほししんいち



カ石一平(33)

Palmを愛する総合商社の首業マン。愛機CLIE TG50に不満はないが、新機種も気になる毎日



鷺沢カナ(24)

一平と同じ課の後輩で、Palm m130を使用中。高性能よりも、操作が簡単なソフトのほうが好み

### GetBooks



1つのソート条件につき3つまで設定可能

「オプション」メニューの「設定」で「ソート条件」を選べると、3パターンソート条件が選べる

### Book Mag Library



編集画面で項目名をタップするとリスト画面に切り替わり、検索フィールドが表示される

データ編集画面で、タイトルや作者名を検索できる。リスト画面では、表示カテゴリーの切り替えが可能

### Itu-deru



表示カテゴリーの切り替え

発売時期の切り替え

チェックすると購入済みだけを表示

発売時期は、ポップアップメニューから全て / 今週 / 来週 / 今月 / 来月の5種類から選べる

### ぐるぐる



ソート機能を有効にできる

評価の条件を設定カラーを選択ソート条件に含めるものと含まないものを設定できるタップすると合致した条件の項目をリスト表示

「Filter」機能を使えば、入力した評価や各データに割り当てたカラーでソートできる

- ④ 本の検索やソートって、簡単な入力ですべてできてほしいですね。本屋さんの中で入力する場合もあるだろうし。
- そういう点では、ソート条件を3種類登録しておくことで、タップ一発でソートできる「GetBooks」とか、今週や来月といったように発売時期で絞り込める「Itu-deru」なんかは便利だな。どちらも購入 / 未購入で絞り込んで表示することも楽勝でできるしな!
- ④ ホントだ! これなら私でも使えるかも。「ぐるぐる」は評価でソートできるから面白いけど、ダ

- プリを防止するのは難しいですね。
- 甘い! 最新版のぐるぐるは、各データにカラーを設定できるから、購入 / 未購入をカラーで割り当てればいいんだよ。
- ④ なるほど! いつもと違って冴えてますね~。
- ひと言余計だ! 残念なのは、「Book Mag Library」データ入力画面で項目をタップしないと検索ができない。「Available」がチェックされていないものをリスト表示するソート機能はあるが、いちいちメイン画面に戻らないといけないうのが、いまいちなんだよな。

### GetBooks



左から日付情報 / チェック情報 / 主情報 / 付加情報。項目で切り替えられる

### Itu-deru



日付や商品名、値段などが並ぶ。日付をタップすれば、カレンダーが現れる

### Book Mag Library



書名と評価が一覧可能。チェックボックスは購入 / 未購入をチェックできる

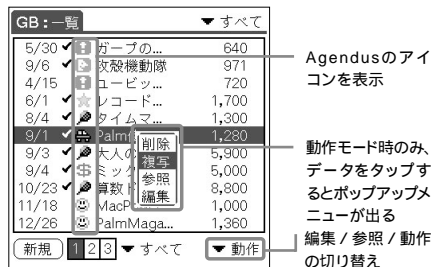
### ぐるぐる



書名を選べるとグラフと総合評価を表示。書名と評価だけが並ぶリスト画面もある

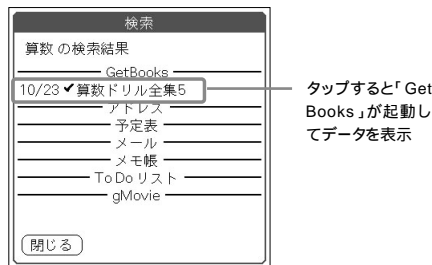


編集 / 参照 / 動作メニュー



リスト画面右下のメニューで、リスト項目をタップしたときの動作モードを切り替えられる。「動作」を選べば、ポップアップメニューから作業を選択できる

グローバル検索



GetBooksのデータ内容は、Palm OSの標準機能である「検索」でも対応している。GetBooksを起動しなくても目的のデータを見つけれられるのだ

- このソフト、使える機能が盛りだくさんだぞ~。例えばメモ帳と予定表へのデータを書き出し / メモ帳からの読み込みのほか、「DateBK」や「Agendus」のアイコンも使えるしな。
- ④ 地味だと思ってたけど、アイコンが使えるならいいかな。入力項目やリスト表示項目を変えられるのもいいですね。
- そうなのだよ、カナちゃん！ それともうひとつ面白いのは、リスト画面右下にある「編集 / 参照 / 動作」ポップアップメニューだな。
- ④ あれ？「参照」に変えたらリストで選んだ項目を編集できませんよ。ウっかり書き換えないようにするためのモードなんですね。
- 「動作」では、リストで各項目をタップするとポップアップメニューが出るんだ。で、選んだ項目をすぐに複製したり、削除できるんだな。
- ④ ホントに細かな配慮ができてるんですね。
- それにだな、ソート機能が充実してるにもかかわらず、検索機能もバッチリなんだ。なんとPalm OS標準の検索機能にも対応してるから、いちいちGetBooksを起動しなくても検索できちゃうんだな！どうだ、ビックリだろ!?
- ④ 人もソフトも、見た目より中身ってことですね。先輩はどっちもイマイチだけど.....。

独自の機能



GetBooks  
書籍の購入管理に特化。細かな配慮が

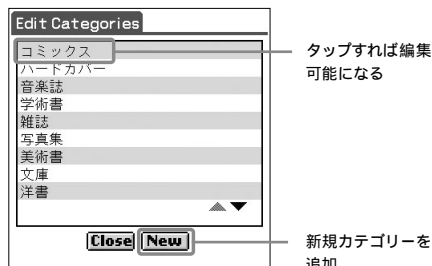
- 表示項目が選べ、ソートの方法も複数用意されている。蔵書管理よりも購入管理向け
- ✕ 文字入力する項目が多いので、入力支援機能などが欲しいところ

Book Mag Library  
本格的な蔵書管理にはこれしかない!

- 膨大な蔵書があり、どこにどんなコンディションの本を収納しているかを管理できる
- ✕ 表示カテゴリ切り替え以外は「Available」チェックの有無でしかソート不能

Book Mag Library

カテゴリの設定



カテゴリの設定は、「Book Mag Library」のメインメニューから「Category」ボタンを押して設定ページを開かないと変更できない

Outリスト



メイン画面の上にある「Out」ボタンを押すと、「Available」のチェックをしたものだけを絞り込んだ表示ができ、未購入商品のチェックとして使える

- 「Book Mag Library」は今回紹介する中で唯一の海外製ソフトだな。このソフトもメモ帳へのデータ書き出しができる。
- ④ カテゴリの設定がメイン画面からじゃないとアクセスできないとか、ほかのソフトとは使い勝手が違いますよね。書籍の評価ができるのはともかく、保存状態や書架番号の入力だとか、かなり気合を入れて書庫を管理するって感じ。
- ま、我が家の膨大な蔵書を管理するにはもってこいってところだな。

- ④ 先輩、訳のわからない見栄を張らないでくださいよ。どうせ週刊誌とか漫画本、アイドルの写真集ばっかでしょうが。
- .....。そ、その真偽はともかく、状態が把握できれば、本をオークションに出すときなんか役に立つの！ガッカリなのが、付属のコンジットとパソコン用編集ソフトだ。日本語は文字化けして使えないんだよ。
- ④ うーん、洋書専用かぁ。使える層に限られますね。パソコンで管理できるなら楽なのにな~。



GetBooks

今回は、先輩もイチオシの「GetBooks」。細かな配慮がしてあって使いやすい！けど、入力がちょっと面倒なのよね。グラフィティードと疲れちゃう。メモ帳への書き出し / 読み込みができるから、パソコンでメモ帳を作ってHotSyncすればいいんだけど、もっとスマートな方法がいいな。パソコン用ソフトがあれば.....ってというのは贅沢ですか!?

# 能紹介

## 一平の ひといいわせて!

書籍管理ソフト選びのポイントは、購入管理 / 蔵書管理 / 評価管理の中で、自分はどれに重点を置くか、だろうな。

### Itu-deru

シンプルながらも多ジャンルの購入管理が可能



多様なジャンルの購入管理ができる。記入する発売日に厳密さが求められていない



蔵書管理には向かない。各データをカテゴリーに分類する方法がわかりにくい

### ぐるぐる

蔵書に評価を付けて友人とデータ交換できる



グラフィカルなインターフェースが楽しい。複数のデータベースを切り替え可能



日付の登録や購入 / 未購入のチェックボックスがないので、購入管理には不向き

私が気に入ったソフトとそのポイントを勝手に紹介！  
要望なんかも聞いてちょーだい！



入力した内容だけが書き出される

メモ帳に書き出したデータは、1行に1項目が並ぶ。どれがどの項目かがわかりにくいのが難点

せめて  
コンジットを  
付けて～



## Itu-deru

④ 「GetBooks」もそうだけど、見た目が結構地味なのが気になりますねえ。

● オマエはデータベースに何を望んでるんだ!? Itu-deruも「DateBk」と「Agendus」のアイコンに対応してるから、文句ないだろ。リスト表示でも見られるしな。メモ帳へのデータ書き出しや読み込みもできるぞ。もちろん、予定表に書き出して連携もできるしな。予定表に書き出すときは、アイコンの有無も選べるんだぞ。

④ 名前のとおり、あくまでも「いつ出る」商品かを管理するためのソフトってことですよ。

● そのとおり。予定表へのデータ書き出しでは、どういう体裁で書き出すかも設定できるんだ。

④ 具体的にはどんなふうに？

● 例えば値段表示の有無とか、先頭にカテゴリー名を追加する、といった感じ。

④ さっきデータ入力してて気がついたんですけど、発売日は正確な日付じゃなくても入力できるんですね。例えば、「10月上旬」とか「10月未定」なんていう大ざっぱな期間でも、「春」のような季節だけでも入力できちゃう。本の発売日って、最初はだまかな時期しか発表されないこともあるじゃないですか。こういうのって、すっごく助かる!

## 予定表反映詳細

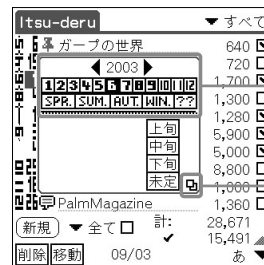


Agendusのアイコンを表示  
どちらか一方を必ず選択

自由に変更可能  
どちらか一方だけ選べる

「オプション」メニューの「設定」で「予定表に反映する」にチェックを入れると、購入にチェックが付いている項目が自動的に予定表に書き出される

## 発売時期



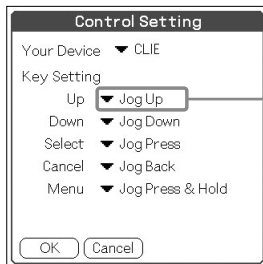
季節も設定できる

タップすると日付  
選択と時期選択が  
切り替わる

カレンダー表示の右下をタップすると、日付を選ぶカレンダーと「上旬 / 中旬 / 下旬 / 未定」の時期を選ぶモードとの切り替えができる

## ぐるぐる

### ジョグダイヤル



ポップアップメニューで動作を選択

「Options」メニューの「Control Setting」では、ジョグダイヤルの設定を変えられる。それぞれの動作に割り当てる操作をポップアップメニューで選ぶ

### データベース切り替え



複数のデータベースから選べる

ぐるぐるは、複数のデータベースを切り替えて使える。本の置き場所や、発売時期別にデータベースを分ける、といった使い方もできるのだ

● 書籍管理は「ぐるぐる」本来の使い方じゃないが、わりとフレキシブルに使えるぞ。

④ 日付の登録はできませんけど。

● ま、そこは気にしない、気にしない。このソフト、ジョグダイヤルの動作を逐一設定できるから、特にCLIEユーザーには便利だね。ほかにも、外部メモリーカードに保存したビットマップ画像ファイルにデータをリンクできる。

④ あ、どんな装丁かがわかっていいですね! でも先輩、本屋さんで写真撮っちゃダメですよ。

● そんなこと、するか~!

④ やりそうかな、と思って……。ところで、ぐるぐるもまたアイコン対応?

● そう、これも「DateBk」と「Agendus」のアイコンが使える。ほかのソフトと違ってメモ帳や予定表への書き出し機能はないけど、モノクロバージョンには専用のコンジットが付いているよ。カラーバージョン用も出るらしい。自分のデータベースをほかの人が作ったものと同じ取り出せるのが、ぐるぐるの醍醐味だね。

マックユーザーのための

# パーム あんな 寺子屋

モバイル犬ポチが手ほどきします。

## 第9回

文 / 田中裕子 (モバイル犬ポチ)  
イラスト / nom



### マックとのシンクロ手段はUSBだけじゃない

Palmとのシンクロの手段として真っ先に思いつくのが、USBクレードルを使った「USB HotSync」。HotSyncという場合、ほとんどがこのUSB HotSyncを指していることが多い。しかし、ほとんどのCLIEが、Palm Desktopをインストールしただけでは、USB HotSyncできないことを知っている人も多いだろう(オーディオ機能非搭載の一部製品では可能)

これらのCLIEとのUSB HotSyncをサポートするのが、「The Missing Sync」(<http://www.markspace.com/misingsync.html>)だ。

The Missing Syncは、USB HotSyncを可能にするだけでなく、マックOS X環境では、iTunesやiPhotoとCLIEを連携して使えるようにするスグレモノ。マックとCLIEのUSB HotSyncのサポート+の機能を提供してくれるソフトなのだ。

ただし、新しいCLIEが発売されると、The Missing Syncがその機種に対応するまでは、USB HotSyncができない空白の期間ができる。そういったときでも、マックとHotSyncする手段はある。「Bluetooth HotSync」と「赤外線HotSync」の2つだ。

赤外線HotSyncは、マックOS 9以前のOSを搭載したマックで利用できるHotSync。マックに赤外線ポートさえあれば、Palm DesktopをインストールしてHotSyncの経由先を赤外線にするだけでHotSyncが可能だ。ただし、赤外線HotSyncはマックOS Xではサポートされていない。

### Bluetooth HotSync活用のススメ

マックOS Xユーザーは、赤外線HotSyncはできないが、Bluetooth経由でHotSyncが可能。最近のCLIEにはBlue

次々と新モデルが発表されるソニー(株)のCLIEシリーズ。マックとのHotSyncは正式サポート外ということで、購入に踏み切れない人もいるだろう。今回は、CLIEをマックとシンクロさせるための情報をまとめておさらいしよう。

tooth対応のマシンも多く、オススメのHotSync手段だ。「でも、うちのマックにはBluetoothが付いてないよ～」という、そのあなた。マックにUSBポートさえ付いていれば、USB Bluetoothアダプターを使って、簡単にBluetooth機能をマックに追加することができる。

USB Bluetoothアダプターは価格6000円で、アップルストアなどで購入できる。マックOS X 10.2以降では、OSがBluetoothを標準サポートしているので、USB BluetoothアダプターをUSBポートに差すだけで、Bluetoothが利用できるようになる。なお、手順でパスキーを求められるが、このパスキーは、Bluetooth機器間でデータをやり取りする相手を設定するためのもの。任意の数字を入力しよう。このとき、マック側でもパスキーの入力を求められるので、同じ数字を入力すればOKだ。

マック側のHotSyncの経由先は自動で切り替わるので、特にBluetoothを指定するといったことは不要だ。

このように、Bluetooth HotSyncはとても簡単にできる。USB HotSyncに比べると、HotSyncのスピードが遅い(時間がかかる)が、The Missing Syncの対



応を待たずに最新のCLIEが使えるのは魅力的。また、PowerBookやiBookを持って出張するときでも、ワイヤレスでHot Syncできれば荷物も減って快適なのだ。

## iSyncとのシンクロに必要なものは何？

マックOS X 10.2ユーザーには、予定表やTo Doデータは、iSyncを使ってiCalと同期させたいという人も多いだろう。

iSyncを使えばPalm Desktopはいらないんじゃないか、とも思えるが、iSyncはPalm Desktopの機能の一部を使ってデータを同期させているので、たとえPalm Desktopとはデータを同期させないという場合も、インストールしておく必要がある。

iSyncでも、CLIEとシンクロできるかどうかはPalm Desktopとまったく同じ。USB経由でシンクロさせたい場合、通常使用でThe Missing Syncが必要な機種は、やはりThe Missing Syncが必要だ。

しかしBluetooth経由ならば、The Missing SyncがなくてもiSyncとシンクロできるという関係は、普通にPalm DesktopとHotSyncする場合と同じ。

CLIEとのシンクロ環境に関しては、正しく理解されていないことも多い。今回の解説で、自分の環境ではどういったシンクロ手段がとれるか整理できただろうか？

CLIEとHotSyncする手段はいろいろある。欲しいCLIEの最新製品が出たときは、マックはダメだろうとあきらめずに、シンクロできる方法を積極的に探してみよう。

## 普通 iSyncとのシンクロにもPalm Desktopは必須

コンジット名	前回の HotSync	次の HotSync 処理
Backup	03.9.3 4:24 PM	バックアップ
iSync Conduit	03.9.3 4:24 PM	See Conduit Settings
インストール	03.9.3 4:24 PM	ファイルをインストール
メモ帳	03.9.3 4:24 PM	同期

iSyncは、Palm Desktopのシンクロ機能を使っているため、iSyncとだけデータを同期させる場合でも、Palm Desktopは必ずインストールしておこう

## Bluetooth HotSyncの手順

### 1 Palm側でBluetoothの接続設定をする



Bluetooth内蔵、またはBluetoothカードを差したPalmの環境設定を開き、「Bluetooth」の項目でBluetoothを「オン」にする。次に「登録済みデバイス」をタップする

### 2 HotSyncするマックを登録する



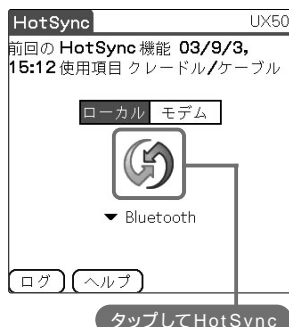
「新規デバイスの追加」をタップしてHotSyncしたいマックを登録。ここで、「パスキー」の入力を求められる。任意の数字を入力しよう。マック側でも同じ数字を入力する

### 3 Bluetooth設定を作成する



「接続」の項目で、「Bluetooth」という設定を新規作成する。接続名は「Bluetooth」に、接続先を「PC」、媒体に「Bluetooth」を選択。「デバイス」をして、HotSyncをするマックを登録する

### 4 Bluetooth HotSyncをする



PalmのHotSync画面を開き、中央のHotSyncマークの下にあるHotSyncの経路先を「Bluetooth」に設定。これで通常どおりHotSyncできる

## マック対応 アップデートNEWS



### The Missing Sync 3.0.8

作者：米マークスペース社  
<http://www.markspace.com/missingsync.html>  
 価格：シェアウェア( \$ 29.95 )  
 対応OS：マックOS X以上

マックOS XでCLIEとのUSB HotSyncを実現するソフト。最新版で、PEG-UX50をサポートしている。マックOS 9対応版もUX50をサポート



### Veta Universal 1.0

作者：Victor Kulesh  
<http://www.veta.irowan.com/>  
 価格：シェアウェア( \$ 10 )  
 対応OS：マックOS X以上

Bluetooth経由でiTunesなどをPalmから操作するソフト。Bluetooth搭載携帯電話からマックを操る「Romeo」(マック用)とセット



### Apple Mail Conduit 0.4.7

作者：松本 勝  
<http://www.003.upp.so-net.ne.jp/pine/>  
 価格：フリーウェア  
 対応OS：マックOS X以上

マックOS X 10.2のMailで受信したメールをPalmに転送するソフト。Mark/Space Mail、MultiMail SE、Clie Mail、VersaMailに対応



### Web Confidential for Palm 1.4

作者：Alco Blom  
<http://www.bridge1.com/>  
 価格：シェアウェア( 2000円 )  
 対応OS：マックOS X 0.0.0以上

パスワードやアカウント情報、シリアルナンバー情報などを記録し、暗号キーで守るソフト。マックOS Xとの間でデータを同期できる

## まとめ BluetoothならHotSyncも問題なし

CLIEとマックのHotSyncでも、Bluetooth経由ならば、The Missing Syncなしでデータの同期が可能だ。The Missing Syncが必須なのは「USB」経由のHotSync時だけ、ということをおぼろ。



モバイル犬ポチの満足度



学科と実地で免許皆伝！  
定番ソフトを乗りこなす

# パーム 教習所

Palmでホームページが見たいのに、インターネットに接続できない……なんて経験はありませんか？ 外出先でイライラしないためには、事前にホームページを保存しておくのがいちばん。そこで今回は、とっておきのホームページ取り込みソフトの教習です！

文 でのひらなでしこ (http://worpaholic.com/)

今回の  
教習ソフト

Plucker

オフラインでホームページを快適に閲覧できる

## Plucker

問 ブラッカーチーム  
URL <http://www.plkr.org/>  
価 フリーウェア  
対応OS : Palm OS 2.0.4以上、ウィンドウズ、マックOS X 10.2以上、Linux



ホームページを丸ごと  
持ち歩けるフリーウェア

「Plucker」は、オフラインでホームページを閲覧するための統合型ソフトだ。Palmで利用するために必要なソフトは3つあり、指定したホームページを独自のPlucker形式に変換する「Plucker Desktop」、変換したファイルをPalmに転送する「Plucker Conduit」、転送したファイルをPalmで閲覧する「Plucker Viewer」で構成される。

日本語で「引っこ抜く」という意味のソフト名の通り、指定したホームページを根こそぎPalmに取り込める点がこのソフトの最大の特徴だ。この種のソフトが取り込めるのは、文字とハイパーリンクだけだったり、文字と画像だけだったりするのだが、Pluckerは文字も画像もハイパーリンクもすべて取り込める。そのため、オンラインで閲覧するのと極めて近い状態で、Palm上にホームページを再現できるのだ。

また、Palmの少ないメモリーに対する工夫として、Plucker Desktopが取り込んだホームページはDOCファイルのほかにZLIB形式で圧縮できる。例えば152KBのホームページをDOC圧縮しても約146KBどまりなのが、ZLIB圧縮だと約67KBにまで抑えられる。もちろん、変換したファイルはメモリーカードに転送することも可能。Palmでの閲覧に必要なZLibライブラリーも付属しており、まさに至れり尽くせりなのだ。

### ダウンロードとインストールの手順



開発元のホームページ上部にある「download」をクリックしてページを切り替え、使用するOSに合った「Plucker Desktop」をダウンロードする。ここではウィンドウズ版を選択



理想は完全な日本語表示  
コミュニティーの  
情熱による進化に期待

アイコンのデザインや色使いもセンスがよく、これでフリーウェアなのかと思わずうなってしまうほどの出来栄え。現在はパソコンのWebブラウザで開いたページを、数クリックでPlucker形式に変換するための取り組みが国内有志の手により進められており、Plucker対応サイトも増殖中だ。

基本的には多言語対応のPluckerだが、唯一、気になるのが日本語表示の問題だ。本稿執筆時点での最新版(1.4.0.2 ビルド Aug 6 2003)では、Plucker Viewerのメニューに一部不要な記号( )や英語表記が残っており、Plucker Desktopのダイアログにも文字化けがいくつか見られる。また、取り込んだホームページが正しく表示できたのは、文字コードがシフトJISで記述されたページのみだった。再現性という点においては、発展の途上にあるのが実状だ。

とはいえ、これらの点さえクリアできれば、最強のホームページ取り込みソフトと呼べそうほど、その完成度は高い。頻繁に行われるバージョンアップにも期待が持てる。ウィンドウズ、マック、Linuxの各OSに対応し、Pocket PC用のPlucker Viewerも開発中だ。OSの違いや言葉の壁を越え、開発陣の情熱が育てた要注目の作品といえるだろう。

記事中のPalmの画面写真はCLIE NX70V

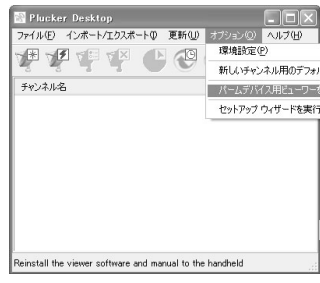


インストーラーを起動し、画面の指示に従ってPlucker DesktopやPlucker Conduitなどをインストール。なお、Plucker Viewerは別途、Palmにインストールする(右ページ第1ギア参照)

### 採点簿

実用度…………… ●●●●●●●●●●  
使いやすさ………… ●●●●●●●●●●  
楽しい度………… ●●●●●●●●●●

# 1 PalmにPlucker Viewerをインストールする



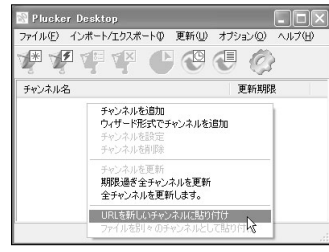
Plucker DesktopでPlucker Viewerのインストールの準備をする。Plucker Desktopを起動して「オプション」メニューの「Palmデバイス用ビューワーをインストール」を選択する。この後、ウィザードのメッセージが文字化けしても無視して進んで構わない

使用するPalmデバイスの属性やインストール項目を指定する「ビューソフトのオプション」欄で、使用デバイスの解像度、色数、言語を指定する。「インストール項目」欄で各項目にチェックが付いていることを確認したら、「Next」ボタンをクリックしよう



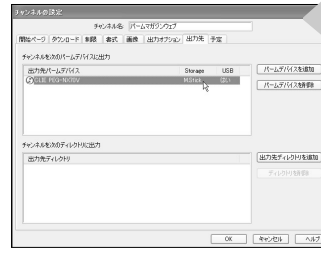
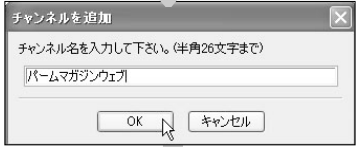
Plucker Viewerのインストール先を指定する「Palmデバイスを追加」か「出力先ディレクトリを追加」をクリックして、インストール先を指定する。前者を指定した場合は、次回HotSyncを実行したときにPlucker ViewerがPalmにインストールされる

# 2 Plucker Desktopでホームページを取り込もう



ホームページの登録はURLコピー & 右クリックの簡単操作がおすすめ。取り込むホームページを登録する方法はいくつかあるが、URLをクリップボードにコピーしてから、Plucker Desktop上で右クリックして「URLを新しいチャンネルに貼り付け」を選択するのがいちばん手軽

チャンネル名は最大半角26文字、全角15文字まで指定可能。チャンネル(取り込み設定をしたホームページ)名はいつでも変更される。ダイアログには「半角26文字まで」とあるが、全角15文字まで入力できる



ホームページのURLと出力先を入力すればとりあえずOK画面が切り替わったら、「開始ページ」タブにホームページのURLが入力されていることを確認する。メモリーカードにチャンネルを転送したい場合は「出力先」タブの「Palmデバイスを追加」で指定する

# 3 Palmでホームページを見てみよう



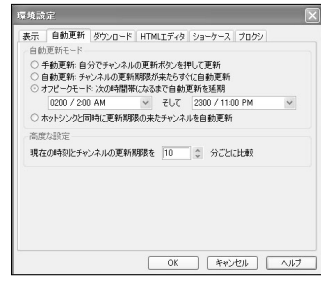
タップ & ホールドによる快適操作が可能な文書一覧画面。HotSyncを実行すると、取り込みたいチャンネルがPalmに転送される。Pluckerを起動したら、閲覧したい文書をタップ & ホールドすれば操作メニューがポップアップする。「開く」を選んで閲覧しよう



ハイレゾ縦長液晶にも対応した閲覧画面。ツールバーのアイコンは、左からメニュー表示、文書一覧画面に戻る、現在位置と移動、お気に入り、単語検索 / 再検索、自動スクロール(遅く、開始 / 停止、速く) 戻る、トップページに戻る、進む

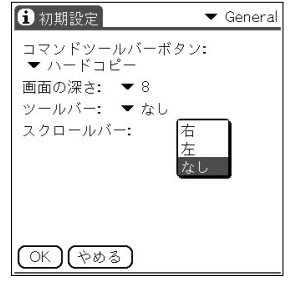
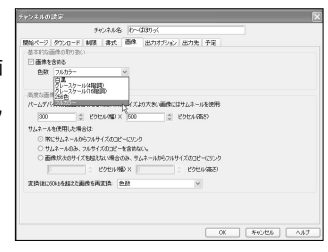
フォントや行間なども指定可能。フォントは「オプション」メニューの「書体」で5種類から選べるが、「最小」を選択すると文字化けしてしまう。ツールバーなどの位置も変更できる(第4ギアを参照)

# 4 カスタマイズしてもっと便利にしよう



取り込みのタイミング設定はPlucker Desktopで行う。Plucker Desktopの「オプション」メニューで「環境設定」を選び、「自動更新」タブでの「自動更新モード」で、ホームページの取り込みを行うタイミングを4種類から選ぶ

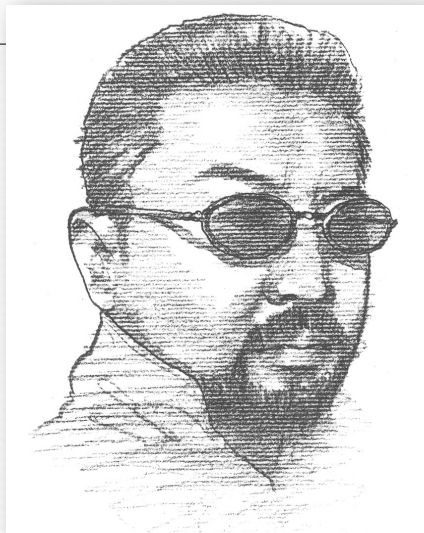
画像の有無やリンクの深さはチャンネルごとに指定できる。チャンネルをダブルクリックすると、設定画面が開く。画像も一緒に切り出すかどうか、また切り出すリンク階層の深さや、取り込んだファイルの圧縮方式などを指定する



閲覧と操作の詳細はPlucker Viewerの一般設定で決める。Plucker Viewerの「オプション」メニューにある「一般設定」の「General」で、ツールバーとスクロールバーをそれぞれ「なし」に変更すれば、表示エリアが広がって見やすさが向上する

# <明解> パーム人名事典

#014



【 えすば SPA 】

SPA ( <http://www.clieclub.jp/> )

'99年11月、世界を衝撃が走った。日本のソニー(株)以下、ソニーがPalm OS搭載機を開発すると発表したのだ。以来、同社はものすごい速度で開発を続け、発表からわずか9カ月ほどで第1号機を発表し、日本のPDA界のみならず世界中に興奮を与えることになるのだが、そんな中、日本でひとつのサイトが誕生した。それは6月のこと。ちょうどソニーが、米国はニューヨークで開催中だった「PC EXPO 2000」の会場内で、新たに発売するPalm OS搭載機を初めて公開する1週間ほど前だった。その主宰者がSPAという男だ。SPAと書いて、「エスバ」と読む。「スパ」ではない。

SPAがこのサイトを立ち上げた当初、新製品の名前はまだ決まっておらず、サイト名も「Sony PEG User's Forum」(PEGとはCLIEシリーズの製品コード)としてスタートしたが、7月15日にブランド名が「CLIE」と決まるとともに、サイトの名前も「CLIE User Club!」(通称「クリクラ!」)と改称された。

同サイトは、まさにソニーのCLIE戦略と一致するように、Palm OSコミュニティの長所を吸収しながらも、新たに流入してくる新しいコンシューマー層を意識したサイトであり、情報提供のみならずBBSなどを充実させて、かなり初期の段階から初心者への配慮を積極的に行うサイトだった。そのため、新しいCLIEが発表されるたびに、トラブルやバグに関しては本家ソニーのサポートページよりも対応が迅速と言われるほどに、ユーザーの視点で具体的に役立つ情報

を提供してきた。それは、CLIEチームのソニー社員がもっとも注意深くのぞくページだという噂もあながち否定できないほどの充実ぶりだ。

また、このサイトの活動では、「Mac USB Driver for CLIE」(通称「<sup>クリンゴ</sup>CLINGO」)開発と販売という歴史的事実を忘れるわけにはいかない。というのも、VAIOシリーズで有名なソニーは、CLIEについては一貫してMac OSへのサポートをしてこなかった。ところが、Palm OS文化では古くからMacユーザーの割合が世間の比率以上に高く、MacでCLIEが使えないことは大きな障害だった。そんなときSPAは、自らプログラマーを集めてMac OS環境でもCLIEを扱えるようにするドライバーを開発、有償販売して、多くのMacユーザーの希望の星となった(その後、海外の大手サードパーティーがこの分野に進出したため同ドライバーの役割は終わり、'02年5月末に開発を停止。それ以降は無償公開となる)。その後も、CLIEとともに同サイトは発展を続け、ソニーとの友好関係を生かして同社の新製品発表会のレポートをいち早く掲載したり、同社開催の

文 機長@パーム航空  
豊富な話題のコラムが魅力の読み物系サイト  
「パーム航空」の管理者。その独創的な視点で、  
今日もPalmの上空を軽やかに操縦する  
☞ <http://palm.org>

イラスト 松原健治


イベントを盛り上げたり、CLIE系コミュニティサイトの中で指導的役割を果たしてきた。'02年夏には、インターネットへの親和性を高めるCLIEを意識して、新タイプのパームウェア「ccc」(ボタンひとつで、Web情報をCLIEにダウンロードできるソフト)を発表したりしている。


さて、このサイトの最大の魅力と言えば、その充実したBBSページにある。ものすごい勢いで次々とリリースされるCLIEシリーズに対して、毎回新しい掲示板を立ち上げ、マシンに関するトラブル情報を集めたり、その解消法を提供している(現在は、NZ、TG、SJなどのシリーズごとの掲示板がある)。これらのBBSには、SPAのみならず、彼のもとに集まった優秀なCLIEエバンジェリストたちが集合して、問題解決のために日夜活躍してきた。のちにソニーは本格的なサポートページ「ネット相談室」を自社サーバー内に設置したが、そこには「クリクラ!BBS」から優秀な人材の多くがスタッフとして参加しているほどだ。

とにかく、SPAのサイト「クリクラ!」はその誕生以来、現在に至るまで、「CLIEのことを知りたければここに行け!」というほどの情報の宝庫であり、そのハブであり続けている。ソニーの怒濤の新機種ラッシュに対応し続けることはかなりの難事だと思うが、ひるむことなくそれらすべてをフォローし続けているさまは、Palm OSコミュニティのソニーと言ってもいい偉業であろう。開設以来わずか4年ほどで1億ヒットを達成したのもうなずける。



文 山田達司  
イラスト nom

 **初心者です。DA、HACKがどんなものか教えてください**


 DA、HACKともにPalm OSを拡張するソフトの種類です。これらソフトの過度な利用はデバイスの安定性を損ないかねませんが、適度に利用することで使い勝手を著しく改善します。

「Hack」はPalm OSが持つ機能を拡張、変更するものです。その内容は、アプリケーションの切り替えを簡単にするもの、キーボードの使い勝手をよくするものなど非常に幅が広いです。Hackには「HackMaster」「X-Master」といったHack管理ソフトを必要とするものと、不要なものがあります。残念ながら、Hack管理ソフトが必要なものと、不要なものの一部はOS 5では動きません。Hackソフトを利用する場合は、必ずOSとの互換性を確認してください。


Palm OSは一度にひとつのアプリケーションしか動きませんが、「DA」は簡易なマルチタスクを実現するものです。例えば、メモを記入中に電卓を起動して計算をするなどの操作が可能になります。DAを利用する場合、DAのランチャーソフトが必要です。ランチャーには多くの種類がありますが、私が作った「DA Launcher 5.0」シリーズはPalm OS 3.5以降で利用でき、簡単に使いやすいものです。これでDAを試したら、より使い勝手のよいランチャーソ


フトを探してみてください。


 **iQue 3600で日本地図は使えますか？**


 「iQue 3600」はPalm OSを搭載したGPS機ですが、最新のPalm OS 5.2と容量32MBのメモリーを搭載し、320×480ドットの広い画面を持つなどPDAとしても魅力的な機械です。iQue 3600を発売する米ガーミン社は「MapSource」という名前で地図を販売しています。その中には日本用の地図も含まれますが、残念ながらiQue 3600には対応していないようです。従ってOS自体を日本語化しても、日本の地図は利用できないことになります。

ただし、同機には全世界の主要都市、幹線道路を含む「World Wide」という地図が添付され、その中での位置を確認することは可能です(14ページ参照)。詳細な地図は利用できませんが、緯度/経度情報は取得できるので、山登りなどでも紙の地図との併用は可能でしょう。米ガーミン社にはぜひ日本対応をお願いしたいですね。

 **「palmOne」と社名が変わり、Palmブランドはどうなるの？**

 「Palm, Inc」社がPalm OSを開発する部門とデバイスを製造、販売する部門に分かれるための準備が

 **出先でPalmをハードリセットして、データを消してしまいました。防止策はありますか？**

 大切にしている情報を失うのは本当に困りますね。私もハードリセットに遭い、途方に暮れたことがありました。パソコンがあればHotSyncで情報を復元できますが、その時は出先であり、メモリーカードにバックアップもとっておらず頭を抱えてしまいました。

それまでもメモリーカードへのバックアップソフトの制作を試しては、その都度利用をやめていたのですが、この事故を契機に自分が必要とするソフトを作ってみました。私がバックアップソフトの利用をやめたのは「時間がかかるため、頻繁に行えない」「バックアップ中はほかの操作ができない」「夜中にバックアップをとるよう設定したら、フェータルエラーが出て、朝に電池が切れていた」から。これらを解決したのが、重要なPIMの情報だけを確実に頻繁、迅速にバックアップする「PowerGUARD Lite」とバックアップ中にもほかの作業を行える「PowerGUARD Cool」です。データベースについての知識は必要となりますが、大事なデータを安全に守るためにもぜひ一度お試しください。

何年もの期間をかけて進められてきましたが、いよいよ今年中には別会社となるようです。Palm OSを開発する会社は「Palm Source」社に、デバイスを製造する会社は「palm One」社と、それぞれ「Palm」という言葉を含む名前になります。今後「Palm」というブランド名は両社が共同で管理しますが、同ブランドを使うのはPalm OSのみになりそうです。これによりPalm Zire、Palm TungstenシリーズはpalmOne Zire、palm One Tungstenとなるでしょう。'98年のPalm III以来5年以上の歴史を持つPalmブランドのデバイスはPalm Tungsten E、Tungsten T3、Zire 21が最後となりそうです。コレクションとしても大切だなあと感じます。でも、初のpalmOneブランドも大事だったりするんですよ(笑)。

## 質問大募集 !!

「Palmの達人」では、達人山田氏に答えてほしい疑問や質問を募集しています。ご応募は氏名(ペンネーム)、性別、年齢、使用機種、電子メールアドレスを明記のうえ、次の宛先まで電子メールでお送りください。

メール宛先  
palm-magazine@ml.ascii.co.jp  
標題(Subject)に「Palmの達人」と明記のこと



# 外部メモリーカードへの アクセスをマスターする

丸山 弘詩 / 藤井 稔也 (FocV Project) 文

最近のPalmデバイスでは、外部メモリーカードが扱えることが当たり前となってきた。そこで今回は、「VFSマネージャ」の役割と、外部メモリーのアクセス方法を解説する。

## 外部メモリーへ アクセスしてみよう

普及し始めた頃のPalmデバイスは、そのアーキテクチャー構成のシンプルさが際立ったものであったが、さまざまなライセンスが参入し、通信モジュールやカメラ、外部メモリーが標準搭載され始め、今では米マイクロソフト社のPocket PCとさほど変わらない程度まで機能が増加してきている。多機能化に伴うコスト増によって、販売価格が上昇傾向にあることは残念であるが、外部メモリーや通信機能など、一度使うと手放せなくなることは、すでに経験済だろう。そこで今回は、Palm OS 4から標準サポートとなっているメモリーカードのアクセス方法を解説しよう。

## メモリーカードの種類

メモリーカードといってもさまざまな種類が存在する。なじみ深いものではCF (Compact Flash)カードやスマートメディ

ア、最近規格化されたものでは、「xD-Picture Card」というメモリーカードがあるが、Palm OSでサポートされているのは、Palm TungstenシリーズではSD (Secure Digital)カード(写真1)、CLIEシリーズではメモリスティック(写真2)と、各ライセンスによって採用カードはさまざまである。こういった採用カードの違いは、ユーザー間でのデータのやり取りには問題が生じてしまうのだが、プログラミングインターフェースに関しては、OSとして統一が図られているので、アプリケーションは物理メディアを意識することなく動作するようになっている。これは「VFSマネージャ」のおかげである。

## VFSマネージャとは 何か？

VFSとはVirtual File Systemの略であり、パソコンのハードディスクやCD-ROMのようなファイルシステムを、Palm

OSに実装したものといいいい。VFS実装前は、Palm OSではデータベースが唯一のデータ形式であったが、VFSにより、テキストファイルやさまざまなバイナリーデータを処理することも可能となった。

もちろん、このファイルシステムはメモリーカード上に構築され、ディレクトリー構造はあらかじめ規定されている。例えば、ランチャーから参照できるアプリケーションは、/PALM/Launcherに格納されており、各アプリケーションのデータは、/PALM/Programs以下に個別のディレクトリーとして存在する。また、画像データは/DCIMに、オーディオデータは/AUDIOに格納されることになっている。

## VFSのアクセス方法

VFSが管理するファイルシステムへのアクセス方法は、パソコンのファイルシステムへのアクセス方法を知っていれば、



写真1 写真のPalm Tungsten Cのほかm500、100シリーズもSDカードに対応している



写真2 CLIEシリーズは、メモリスティックに対応。最新機種はメモリスティック Proをサポート

その理解は容易であろう。基本的には、最初にファイルをオープンして、リード/ライトを行い、使い終わったあとはクローズすることになる。このときに使用するAPIは、VFSFileOpen()、VFSFileRead()、VFSFileWrite()、VFSFileClose()である。このほかにも、VFSFileDelete()やVFSFileCreate()など、必要なAPIが揃っている。ファイルは、ディレクトリーを含むNULLで終わる255バイト以内の文字列で一意に指定される。日本語版Palm OSの場合、文字列は、基本的にはCP932と呼ばれるShift JISコードでエンコードされているのだが、残念ながらPalm OS 4では一部の漢字コードが利用できないバグが存在している。許されるのであれば、ファイルを指定する文字列は、ASCIIコードを使用することをお勧めする。

### ギアアイコン VFSマネージャがあるかどうかのチェック

VFSマネージャを使用する前に、ターゲットのPalm OSデバイスにVFSマネージャが存在することをチェックする必要がある。これには「フィーチャマネージャ」を使用する。リスト1のようにvfsFtrIDVersionを取得することで判断できる。

### ギアアイコン マウントされたボリュームの取得

VFSマネージャを使用するには、まず挿入されているカードのボリュームリファレンス番号を取得する必要がある。これはVFSFileOpen()で要求されるので、必ず取得しなければならない。リスト2に

```
Boolean hasVFSManager(void)
{
    UInt32 version;

    if (FtrGet(sysFileCVFSMgr, vfsFtrIDVersion, &version))
        return false;
    else
        return true;
}
```

リスト1

```
Boolean getFirstVolumeRefNum(UInt16 * volRefNum)
{
    UInt32 volIterator;
    UInt16 refNum;
    Err err;

    volIterator = expIteratorStart;
    for(;;) {
        // マウントされているボリュームを取得する
        err = VFSVolumeEnumerate(&refNum, &volIterator);
        if (err == errNone) {
            if (volIterator != vfsIteratorStop) {
                return true;
            }
            *volRefNum = refNum;
            return true;
        }
        else if (err == expErrEnumerationEmpty){
            return true;
        }
        else {
            return false;
        }
    }
}
```

リスト2

```
// ファイルをオープンする
StrCopy(path, "/DCIM/xxxx.jpg");
err = VFSFileOpen(volRefNum, path, vfsModeRead, &file);
if (err != errNone) {
    return;
}
// ファイルサイズを取得する
VFSFileSize(file, &fileSize);
// ファイルをクローズする
VFSFileClose(file);
```

リスト3

その方法を示す。この中でVFSVolumeEnumerate()がその中核となっている。なお、VFSは複数のメディアを扱うことができるが、この関数では最初に取得したボリュームを返すようになっている。

### ギアアイコン ファイルのオープンとクローズ

メモリーカード上のファイルのオープン

にはVFSFileOpen()を使用する。第1引数はボリュームリファレンス番号、第2引数はファイル名、第3引数にはオープンモードを、そして第4引数にファイルリファレンス番号へのポインターを指定する。ファイルオープン後のVFS関数には、このファイルリファレンス番号が重要となる。例えば、ファイルサイズを取得する関数であるVFSFileSize()では、第1引数にこのファイルリファレンス番号

column

CLIE NXシリーズには、CFカードスロットが搭載されている。NX70Vが発売された当初は通信カード専用のものであったが、2世代目として発売されたNX73VやNX80Vでは、CFメモリーカードにもアクセスできるようになっている(写真3)。既存のアプリケーションではそのまま動作せず、プログラマ的に変更する必要がある。具体的には、メモリーカードのボリュームリファレンス番号を取得したあとに、VFSVolumeInfo()を呼び出して得られるmediaType情報でCFカードかどうか分かるようになっている。詳細に関しては、「Sony SDK OS5」<sup>[\*1]</sup>に含まれている「Programmers' Companion for Sony CLIE」を参照してほしい。



写真3 CLIE NX70Vでは通信カードのみの対応だったCFカードスロット。NX73V、NX80Vではメモリーカードにも対応したが、対応アプリケーションは、辞書やCLIE Mailといったテキスト系ソフトのみ

[\*1]「Sony SDK OS5」の入手先は「『クリエ』デベロッパーサイト」(http://www.jp.sonymstyle.com/Clie-dev/)

を指定することになる(リスト3)。同様にファイルのクローズでもVFSFileClose()を使用することになる。

## どのようなアプリケーションを作るか

VFSを使用したアプリケーションで最も簡単なものはファイル管理ソフトであろう。しかし、実際問題として、すでに多数のアプリケーションが公開されており、あらためて作るには、いまひとつ楽しみがない。そこで、ソニー製のカメラ搭載デバイス専用となってしまうのだが、今回は、カメラで撮影したJPEG画像に手を加えたものをセーブできるアプリケーションを考えてみた。もちろん、加工した画像はメールに添付して送信することもできるし、メモリーカード経由でパソコンに持っていくことも簡単である(図1、2)。

## JPEGライブラリー

CLIEシリーズでは、Palm OS 4の時代からJPEGを扱う独自のライブラリーが提供されている。このライブラリーを利用するには、リスト4のように、最初にライブラリーをロードする必要がある。ロードしたあとに、jpegUtilLibOpen()でオープンしJPEGライブラリーの関数を使用する。ここで注意しなければならないのは、このJPEGライブラリーがVFSマネージャの上に構築されていることである。

そのため、このライブラリーを利用するには、VFSFileOpen()でファイルリファレンス番号を取得し、これを引数に与える必要がある。今回使用するJPEGライブラリーのAPIは、JPEGファイルの情報を取得するjpegUtilLibGetJpegInfo()、ファイルシステム上のJPEGデータをPalm OSのビットマップ形式に変換するjpegUtilLibDecodeImageToBmp()、逆の処理を行うjpegUtilLibEncodeImageFromBmp()の3つである。ここではAPIの詳細な使い方に関して解説はしないが、添付のソースコードを読んでもらえば理解できると思う。もちろんJPEGライブラリーを構成するAPIはほかにも存在する。しかし、注意しなくてはならないのは、jpegUtilLibDecodeImageToWindow()のように未実装のAPIも残っているということである。このあたりの情報は、「Programmer's Companion for Sony CLIE」を参照しながら、各デバイスで試していくしかないだろう。

VFSマネージャによるファイル管理ソフト

JPEGデータをメモリーカードから取り出すには、まず簡単なファイル管理ソフトを作る必要がある。内蔵カメラで撮影したJPEGファイルに対応しさえすればいいので、/DCIM/100MSDCF以下にアクセスできればいいのだが、もっと汎用性を持たせてディレクトリーの移動も可能にしてみた。ここでは、ポップアップとリストを利用したユーザーインターフェースで構成した。リストはファイルとフォルダーのアイコンを表示させている。リスト上のフォルダーをダブルタップすることにより、下の階層に移動でき、ポップアップで上の階層に戻るようになっている(図3)。

## リストにディレクトリー情報を設定する方法

ファイル管理ソフトの構造すべてを解説するわけにはいかないのだから、ここでは根幹となる処理に関してのみ説明する。ファイル管理ソフトの機能として必要な

```
err = SysLibFind(sonySysLibNameJpegUtil, refnum);
if (err) {
    err = SysLibLoad(sonySysFileTJpegUtilLib,
                    sonySysFileCJpegUtilLib, refnum);
}
jpegUtilLibOpen(refnum);
version = jpegUtilLibGetLibAPIVersion(refnum);
VFSFileOpen(pd.volRefNum, pathname, vfsModeReadWrite, &fileRef);
jpegUtilLibGetJpegInfo(refnum, fileRef, NULL,
                        &height, &width, &thumbnail, &jpegDetail);
FreeJpegDetailInfo(&jpegDetail);
VFSFileClose(fileRef);
jpegUtilLibClose(refnum);
```

リスト4

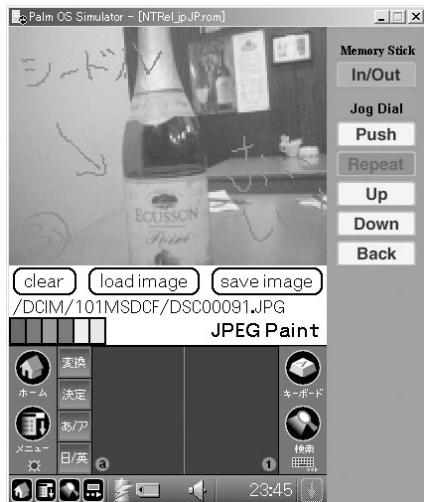


図1 今回作成するアプリケーションを使用した例



図2 画像に手を加えた結果を保存することもできる

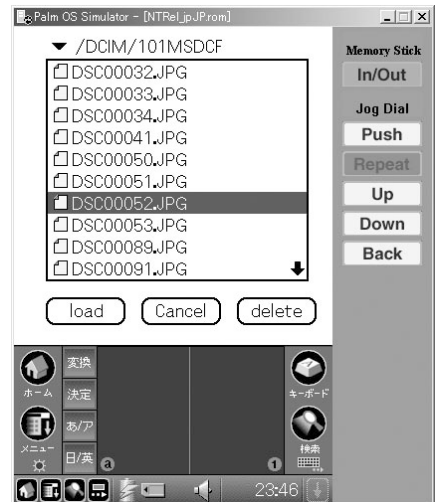


図3 ファイルとフォルダーのアイコンをリスト表示した例

ことは、あるディレクトリーの構成をVFSマネージャの関数を使って調べることだ。ここで重要なAPIはVFSDirEntryEnumerate()である。これを使いディレクトリー内のファイルを順次取り出して、ディレクトリーかファイルかという情報、ファイル名などを取得できる。この情報を基にリストに与える項目を作るわけである。

ここでも処理は、VFSFileOpen()とVFSFileClose()で囲まれていることに注意してほしい。この2つのAPIは必ず対で利用される。ファイルのクローズを忘れてしまうと、アプリケーションを使用している間にフェータルエラーが発生するという、非常にデバッグが困難な状況に陥ってしまうので、この2つのAPIは必ず1つの関数内で記述しよう(リスト5)。



### 落書きルーチンの作成

JPEGのデータを画像として表示できたあとは、その画像を対象に「お絵かき」ができるようにする。この落書きを担当するルーチンでは、イベントループのプログラミングを理解する必要がある。イベントループはいろいろな事象、つまりイベントの発生を待って処理を行うループのことである。Palm OSでのお絵かきで処理する必要があるイベントは、penDownEvent、penMoveEvent、penUpEventの3つである。

まず、penDownEventイベントで、ペンが押されたことと、押された座標をグローバル変数に格納する。次に発生するpenMoveEventイベントで、グローバル変数に記憶している座標と現在の座標との間に、線を引くことができる。ペンがデジタイザから離れた瞬間に発生するpenUpEventで最後の区間を描画できる。ここでも同一の処理を行い、最後の区間に線を引く。また、WinSetForeColorRGB()を指定すると、自由に色を指定することも可能だ(リスト6)。

ファイルシステムに絡んだプログラミングは、UNIXやウィンドウズなどではごく一般的だ。しかし、Palm OSプログラミングから開発に入った人には、VFSは難しく感じたかもしれない。今までデータベ

```

Int16 setFileList(Int16 * type, char * path) {
    Err err;
    FileRef dir;
    FileInfoType info;
    UInt32 iterator;
    char filename[256];
    Int16 i;

    // リファレンスの取得
    if (!getFirstVolumeRefNum(&pd.volRefNum))
        return -1;

    // ディレクトリーの場合は何もしない
    if (!isDirectory(pd.volRefNum, path))
        return -1;

    // ファイルリストをクリアする
    for (i = 0; i < pd.fileNum; i++) {
        MemPtrFree(pd.fileP[i]);
        pd.fileP[i] = 0;
    }
    pd.fileNum = 0;

    // ファイル(ディレクトリー)をオープンする
    err = VFSFileOpen(pd.volRefNum, path, vfsModeRead, &dir);

    info.nameP = filename;
    info.nameBufLen = 256;
    iterator = expIteratorStart;
    for (i = 0; i < MAXFILES; ) {
        // エントリーを取出す
        err = VFSDirEntryEnumerate(dir, &iterator, &info);
        if (err == expErrEnumerationEmpty)
            break;
        else if (err != errNone)
            break;
        else if (err == errNone) {
            pd.fileP[i] = MemPtrNew(StrLen(filename) + 1);
            if (info.attributes & vfsFileAttrDirectory)
                pd.type[i] = TYPE_DIR;
            else
                pd.type[i] = TYPE_OTHER;
            StrCopy(pd.fileP[i], filename);
            i++;
            if (iterator == expIteratorStop)
                break;
        }
        // ファイル(ディレクトリー)のクローズ
        VFSFileClose(dir);
        return i;
    }
}

```

リスト5

```

case penDownEvent: // ペンダウンの処理
    // フラグのセット
    pendown = true;
    // 現在のペン座標をストアする
    prev.x = eventP->screenX;
    prev.y = eventP->screenY;
    break;
case penMoveEvent: // ペンムーブの処理
    if (pendown) {
        // 以前の座標と現在の座標間に線を引く
        WinPaintLine(prev.x, prev.y,
            eventP->screenX, eventP->screenY);
        // 現在のペン座標をストアする
        prev.x = eventP->screenX;
        prev.y = eventP->screenY;
    }
    break;
case penUpEvent: // ペンアップの処理
    if (pendown) {
        // 以前の座標と現在の座標間に線を引く
        WinPaintLine(prev.x, prev.y, eventP->screenX, eventP->screenY);
        // フラグのセット
        pendown = false;
    }
    break;

```

リスト6

ス(Palm OSの)という特殊な構造に慣れているという理由で避けるのではなく、逆にメモリーカードのプログラミングを介し

て、一般的なUNIXやウィンドウズ、マックOSでのプログラミングを擬似的に体験してみるのも面白いのではないだろうか。

## 待望される超高性能PDA

飯吉 透

▶低機能・薄利多売では  
生き残れない

民間調査会社ガートナー社の発表によれば、今年第2四半期の全世界におけるPDAの売り上げは、昨年の同時期に比べ7.3パーセント下落し、マーケットシェアは、売り上げ台数ベースで、Palm陣営が51.4パーセント、Pocket PC陣営が35.9パーセントだった。年々マーケットシェアを伸ばしているPocket PC陣営に追い上げられつつも、Palm陣営は現時点では、何とかトップシェアの座を守っているという形だ。しかし売上高ベースでみると、Pocket PC陣営は、すでにPalm陣営を抜いている。つまり極端に言えば、Palm陣営は、より安価なPDAを数多く売ること、売り上げ台数を稼いでいるのだ。

これはPalm陣営の将来にとって、決して明るい材料ではない。本コラムでも度々書いてきたように、携帯電話とPDAの境界が次第に曖昧になってくるにつれ、「PDAの存在理由」が問われ始めている。すでにほとんどの携帯電話は(特に日本では)簡易PDAとしての機能を備えている。より安価で比較的低機能のPDAは、高機能化を続ける携帯電話との戦いで「最前線」に送り込まれており、その旗色は悪い。日本では、いまやこのような安価で低機能のPDAは見放されつつあり、それが相次ぐPalmメーカーの日本市場からの撤退(もしくは事業縮小)という形に表れている。もし、このままPalmマシンの低価格・低機能化が進めば、そう遠くない将来、間違いなくPDA市場は消滅するだろう。

## ▶求められる

## 次世代PDAのコンセプト

このような中で、PDAが生き残るための道はあるのだろうか。私は、そのためのヒントとなる成功例のひとつとして、iPod

が挙げられると思う。周知の通り、iPodは、「高級デジタルミュージックプレーヤー」だ。ほかの競合製品と比べると、その値段(日本では、3万6800~5万9800円)は、決して安くはない。それでもiPodが世界的なヒット商品になっているのは、その洗練された使い勝手の良さや高機能に対し、「それだけの金を払う価値がある」と人々が考えているからだ。ウォークマン、携帯CDプレーヤー、MDプレーヤーなど、これまでの携帯ミュージックプレーヤーの歴史を振り返れば、その時々最新の・最人気機種が、瞬間に他のメーカーにコピーされ、「どんぐりの背比べ」状態になっていたのに対し、iPodはその発売以来、着実に進化し続け、競合相手を寄せ付けることなくここまで来ている。

Palm陣営そしてPDA業界全体が今後生き残れるかどうかは、iPodのような「高価だが高機能で圧倒的な人気を誇る」PDA製品を送り出し続けることによって、どれだけ携帯電話との差別化を図れるか、にかかっている。このような観点から見ると、シャープのSL-C700やCLIE PEG-UX50が、同じような「超小型ラップトップ」的なフォームで登場したのも、あながち偶然ではないように思える。この2機種は、単にPDAのフォームファクターのバリエーションを増やすという目的以上に、今後のPDAの「決定打」となる新しい形を模索するために生み出されたに違いない。

SL-C700やCLIE PEG-UX50の売り込み文句のひとつとして、「ワープロやプレゼンテーション、インターネットだけを使うなら、重いノートPCを持ち歩くよりも、これ一台をポケットに入れておけば用が足りる」というのがあった。しかし、例えば洗練されたビジネスプレゼンテーションをするのに、マルチメディアやアニメーションを

フルに活用できない現在のPDAは、明らかに力不足だ。「超小型の代用PC」を目指すのであれば、画面表示能力や処理スピード、そしてアプリケーションのさらなる改善が望まれる。

CLIE PEG-UX50は、無線LANとBluetoothを内蔵しつつも、ほかの通信モジュール用のスロットが用意されていないという点で、非常に挑戦的な製品だ。特に欧米と違って、Bluetooth内蔵の携帯電話が普及していない日本においては、UX50は、「無線LANによる高速インターネット通信の利用を前提としたPDA」ということになる。「快適なWebブラウジングや大きなファイルのやり取りや表示ができない」という弱点を持つ小型携帯電話の対極に位置付けよう、という戦略だ。こうなってくると、逆に高速インターネット通信の利点を生かし、「無線インターネット電話機能」を持たせることだって可能だ。携帯電話が通話やデータ通信の量に応じて課金されるのに対し、無線LANを利用した「無料電話(さらには、無料ビデオ電話)」が登場すれば、これはPDAに新たな可能性をもたらすことになる。

結局、Palmの父とも言えるジェフ・ホーキンスが、Palmを開発した際の「シンプルなパーソナルオーガナイザー」というコンセプトに基づいて作られたPDAの時代は、いま幕を閉じつつある。彼が率いてきたHandspring社の終焉も、その意味では象徴的な出来事だと言えるだろう。新たなPDA界のビジョナリーの登場が待望される。

## 著者紹介

飯吉 透(いひよし・とおる)

米国カーネギー財団上級研究員・知識メディア研究所ディレクター。学術博士Ph.D.(教育システム学)。コンピューター文化や教育とテクノロジーに関する著書、連載、講演など多数。シリコンバレー在住

# 基本ソフトの1・2・3

## 第2回 アドレス

「アドレス」に蓄積した大切な情報を、素早く検索するための工夫やパソコンで活用する方法などを紹介します。

文 ドクター-yashimac/八島 伸之 <http://worpaholic.com/>

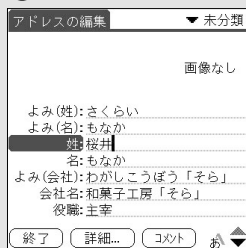
本記事では主にCLIE T600Cと付属のPalm Desktop 4.0.1を使用しています。

### 1. 新しいアドレスを作成する

最初に覚えておきたいのが、アドレスの登録方法。各項目に入力し切れない情報はコメントとして記録する。登録したアドレスはカテゴリーや名前の「よみ」によって簡単に検索することが可能だ。

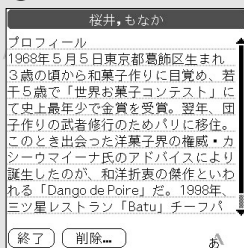
Palm

#### ① 「新規」ボタンで詳細を入力



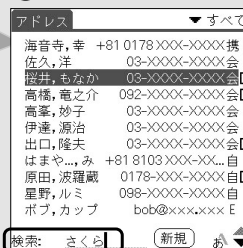
アドレスを起動後、「新規」ボタンをタップして各項目を入力する。姓名などを漢字で入力すると、「よみ」は自動的にかなで登録される

#### ② 補足情報はコメント欄に記入



そのほかの情報は①で「コメント」ボタンをタップして入力。するとアドレスの一覧画面で右端にアイコンが付く。タップすれば編集モードに

#### ③ よみがなで検索をする



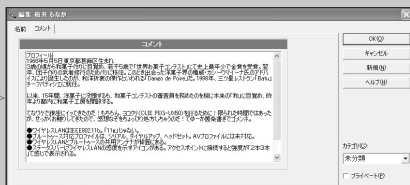
検索対象となるのは姓の「よみ」だけ。1文字入力することに該当するアドレスが絞り込まれる。インクリメンタルサーチ機能を採用している

#### ① 「新規アドレス」で詳細を入力



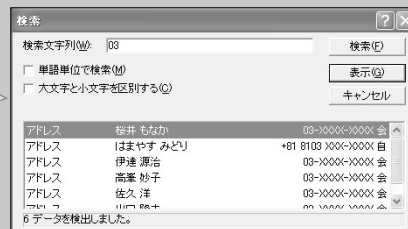
左側のランチャーバーで「アドレス」アイコンをクリックして、ウィンドウ内の表示をアドレスに切り替える。続いて、画面下部の「新規アドレス」ボタンを押して、開いたウィンドウで各項目に情報を入力していく

#### ② コメントタブに切り替える



①の「名前」タブで入力できない内容は、「コメント」タブをクリックして、画面を切り替えて入力する。最大で全角2048文字まで入力することが可能。最後に「OK」ボタンをクリックする

#### ③ 任意の文字列でも検索できる



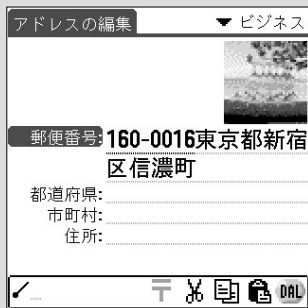
アドレス一覧画面の「アドレスの検索」欄は、アドレスを姓で検索。メニューの「検索」は姓以外でも検索可能

Palm Desktop

### column パワーアップソフト

「住所はわかるが郵便番号がわからない」「住所が長くて入力するのが面倒」といった悩みを解決してくれるパームウェアが「〒検索」だ。全国約12万件の郵便番号データベースを基に住所と郵便番号の相互検索ができ、特に住所を入力するときに威力を発揮する。一方、標準のアドレス参照機能を拡張し、姓以外のキーワードでアドレスを検索できるのが「Call Lookup DA」だ。検索結果の中から項目を選んで貼り付けが行える。

〒検索  
 宿 福本修仁 <http://www.umap.net/>



住所を入力するときに便利。郵便番号を範囲選択して、コマンドバーの「〒」アイコンをタップすれば、郵便番号の住所が自動的に挿入される

Call Lookup DA  
 宿 Koichi TERADA <http://www001.upp.so-net.ne.jp/kterada/>



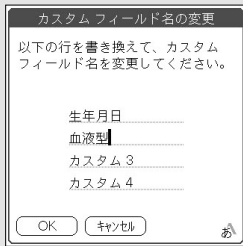
文字列にカーソルを合わせて起動すると、ヒットしたアドレスがリストアップされる。挿入したいアドレスと電話番号を選んで「挿入」ボタンをタップする

## 2. 表示方法をカスタマイズする

Palm

誕生日など、標準では用意されていない項目を記録したり、よく参照するアドレスを一覧画面に表示できれば使いやすさも増す。また、個人情報が漏れないように、セキュリティ面も万全にしよう。

### ① カスタムフィールド名を変える

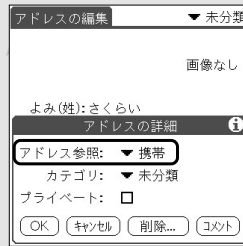


以下の行を書き換えて、カスタムフィールド名を変更してください。

生年月日  
血液型  
カスタム 3  
カスタム 4

OK キャンセル

### ② 一覧画面の表示内容を変える



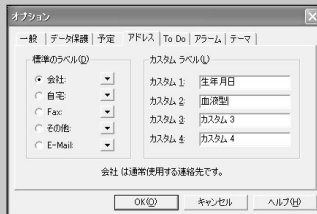
アドレス一覧画面で表示する連絡先は変更できる。編集画面で「詳細」ボタンをタップし、「アドレス参照」リストで表示する項目を選ぶ

### ③ 秘密のアドレスを保護する



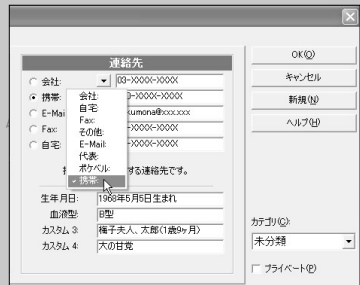
②で「プライベート」にチェックを付けたら、アドレス一覧画面の「オプション」メニューにある「データ保護」の表示設定が有効になる

### ① カスタムラベルを変更しよう



「ツール」メニューの「オプション」にある「アドレス」タブで、カスタムラベル名を変更できる。カスタムラベルはPalm デバイスのカスタムフィールドと同義

### ② 名刺以外のアドレスを送る



アドレスをダブルクリックして編集画面を開き、アドレス一覧画面で表示したい連絡先のボタンにチェックをつける。項目名は「」をクリックして選択

### ③ 秘密のアドレスを表示しない



Palm の「データ保護」でパスワードを設定した場合、②で「プライベート」にチェックしたアドレスは、非表示やマスク表示を解除するためにパスワードの入力が必要

Palm Desktop

## 3. アドレスで送信する

Palm

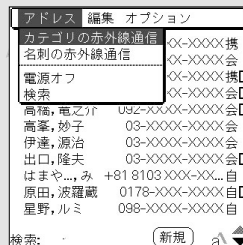
入力したアドレスは、Palm 同士なら赤外線でも交換できるし、Palm Desktop ではメールに添付して送ることもできる。最新のPalm Desktop ならエクセルへの転送も簡単だ。

### ① 自分の名刺を赤外線でする



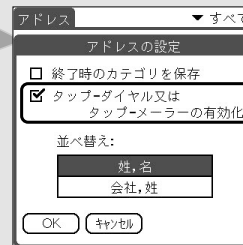
「アドレス」メニューの「名刺に設定」を選択すると、名刺として設定される。名刺を赤外線送信するには、アドレスボタンを押し続ける

### ② 名刺以外のアドレスを送る



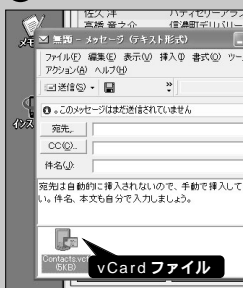
アドレスを赤外線でするには、「アドレス」メニューの「アドレスの赤外線通信」を選択する。アドレス一覧画面ではカテゴリごと送れる

### ③ アドレスからメールを作成



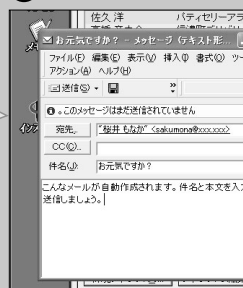
CLIE NX70V などで「オプション」メニューの「設定」で左図のようにすると、アドレスのタップだけで宛先入りのCLIE Mail を作れる

### ① vCard ファイル付きのメールを作る



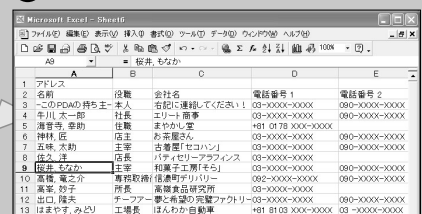
アドレスを右クリックして、メニューから「vCard」として転送」を選ぶと、vCard形式のアドレスを添付したメールを作成できる

### ② アドレスからメールを作成する



メールアドレスが登録してあるアドレスを右クリックして「電子メール」を選択すると、そのメールアドレス宛ての新規メールを作成できる

### ③ エクセルやワードにデータを渡す





CLIE UX50ではCFカード型PHS端末が使えない。確かに物理的に装着しては利用できないが、PHSカード対応の旧機種を以前使っていたなら、間接的な利用は可能だ。そのために必要なソフトが「BtRDR」だ。

文 難波茂広 イラスト ヒロ・コジマ

## 今回のミッション

# Palmデバイスを モデムアダプターにする「BtRDR」 BtRDR

(基本情報)

作者 今関弘明  
動作環境 Palm OS 4.0以上、Bluetooth機能および  
インターネット接続できる機種  
種別 版

URL <http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>

(注意)

本ソフトは、版のため、動作環境が整っている機種であっても、通信機器同士の相性など完全に対応しているわけではなく、トラブルが発生するケースも考えられる。これらのことを踏まえ、活用する際には自己責任で同ソフトを利用しよう。

CLIE UX50でAirH"が  
使えるようになる? **ここが気になる**

## 「BtRDR」とは 何ができるパームウェア?

「BtRDR」は、Palmデバイスの各機種で利用できる2つの通信ポートを直結し、ほかのデバイスから直結したポートを利用できるようにするパームウェアだ。通信ポートとは、シリアルポートや赤外線ポート、Bluetooth、CLIE NXシリーズの通信カードスロットなどのこと。これらのうち、Bluetoothと赤外線のほかのデバイスとの接続に使い、シリアルポートや通信カードスロットでインターネットへ接続する。具体的な使い方としては、例えば、CLIE NXシリーズでBluetoothと通信カードスロットの2つの通信ポートを直結し、UX50などのマシンからBluetooth経由でNX70Vの通信カードスロットを利用するといったイメージとなる。

しかし、誰もがいくつかの疑問を感じるのではないだろうか。その最たるものが「通信するために2台持ち歩く必要があるのか?」ということだろう。また、仮に2台持ち歩くとしても「通信できる機種があるなら、それで通信すればいいのでは?」と感じた人もいるかもしれない。これにはいくつか理由がある。

まず、CLIEでは新機種ほど通信ソフトの動作環境が改善されており、同じPalm OS 5搭

載マシンでも基本的に新しいマシンほどインターネットの利用は快適だ。特に、UX50やNX80Vなどでは本体の作業メモリーが従来の4MBから7~8MBに増量されており、「NetFront」でWebを閲覧するときに「ページのサイズが大きいの表示できない」などのエラーが発生して表示できない問題も改善されている。これなら、以前の機種で通信するより、その通信環境を生かして新機種でWebブラウジングする意味も大きい。

また、メールを送信/返信するときも、同じマシンでアドレス情報を管理していればアドレス参照機能で入力する手間も省ける。データを複数のマシンで同一に管理するのはなかなか難しい。それなら、データだけは1台のマシンに集約し、以前の機種は「通信アダプター」として余生を送らせてやったほうが、トラブルも未然に防げるだろう。

また、さまざまなメリットも受けられる。例えば、子機側はBluetoothか赤外線を利用するため、通信時にケーブル接続は不要だ。コネクタ形状を気にせず、買い替えたときにもすぐに対応できる。もちろん、(株)ガワラスコム(B-Port II)やソニー(株)の「BTANWP」など、専用Bluetoothモデムアダプターのほうが何かと便利だが価格はやや高めで、

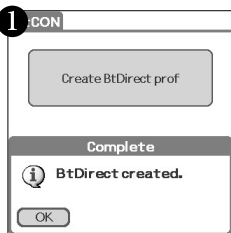
コストアップとして無視できない(B-Port IIでの設定方法は70ページを参照)。BtRDRなら、ほぼ同じことを追加投資なく実現でき、しかも古いマシンにもうひと花咲かせてやることもできるのだ。

## 親機・子機の設定手順と BtRDRの使い方

今回は、MS Bluetoothモジュール(PEGASUS B1)を装着したNX70Vを親機、UX50を子機として、Bluetooth経由で親機に装着したAirH"を利用するケースを紹介する。

まず、親機には「BtRDR.prc」を、子機には「BtCON.prc」をそれぞれHotSyncなどでインストールする。「環境設定」にある「Bluetooth」で双方のBluetooth機能をオンにし、親機は「本体の検出を有効にする」を「はい」に設定。子機では登録済みデバイスからデバイスを探し、親機となるNX70Vとパスキーを交換して、あらかじめ登録済みデバイスに親機を追加しておく。次に子機でBtCONを起動し「Create BtDirect prof」をタップすると、Bluetoothデバイスの探索が開始するので、探索終了後に親機を選択。すると、親機の情報が登録された「BtDirect」という名称の接続設定が新規作成される。子機からBtRDRを利用して通信するときは、この「BtDirect」を接続

## 子機側の設定



BtCONを起動し「Create BtDirect prof」をタップ。Bluetoothデバイスの探索終了後に親機を選択



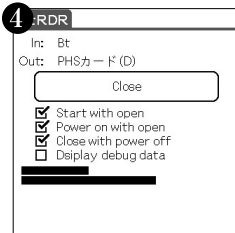
親機を選択すると、親機の情報が登録された「BtDirect」という名称の接続設定が新規作成される



親機で準備した通信方式に適した所定の接続先の設定を行う。電話番号の指定は、ハイフンなどを適宜追加し16文字以上にする



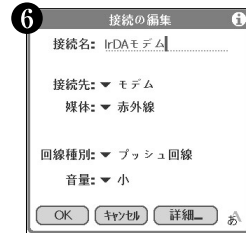
## 親機側の設定



BiRDRを起動し、「In」側は子機と接続する通信手段を、「Out」側は親機がインターネットに接続に利用する接続設定を指定



親子間の接続に赤外線通信を用いるときは、「In」側を「Any」とし、右側のプルダウンメニューから「赤外線」を選択する



画面中央の「Open」ボタンをタップすると、In側、Out側で指定されたポートが開き、子機からの接続を待機する状態となる

設定として選択し、親機で準備した通信方式に適した所定の接続先の設定を行っておく。なお、電話番号を指定するときは、ハイフンなどを適宜追加し16文字以上とし、ダイヤルするタイミングをずらす必要がある。これは利用するPHSカードに関係なく必要な作業だ。

次に親機側の準備を行う。親機となるNX70Vには、対応するCFカード型AirH"端末とPEGA-MSB1を装着し、それぞれを利用できる状態にしておく。今回は標準で接続設定が用意されているCFカード型AirH"を利用するが、接続設定が用意されていない通信手段でインターネットに接続するとき(例えば、親機がPalm m505のように通信機器の接続設定がプリセットされていない場合は、あらかじめ作成しておく。準備ができたらBiRDRを起動し、「In」側は子機と接続する通信手段を、「Out」側は親機がインターネットに接続するときに利用する接続設定を指定する。今回の組み合わせでは「In」側は「Bt」を指定し、「Out」側は「PHSカード(D)」を選択する。なお、親子間の接続に赤外線通信を用いるときは、

「In」側を「Any」に、右側のプルダウンメニューで「赤外線」を選ぶ。

ここまでできたら、「Open」ボタンをタップすれば、In側、Out側で指定されたポートがオープンされて子機からの接続を待機する状態となる。子機から回線接続の操作を行ってやれば、親機を介しての通信が開始され、インターネットに接続できるようになる。同様に子機で回線切断操作をすると、親機の回線が切断されポートも開放される。

ただし、いくつか注意する点も.....

しかし、運用上には注意することがある。一番気になるのは親機のバッテリーの持ちが悪いことだ。CLIE NX70Vを親機とし、Bluetooth経由でPHSの64kbps通信を利用した場合、連続1時間程度しかバッテリーが持たなかった。メインで使う子機側のバッテリーが残っていても、親機のバッテリーが切れれば通信できないが、バッテリーが消耗したときは、親機・子機の双方の充電が不可欠で、短時間で充電を済ませるにはACアダプターを

2セット持ち歩くなどの工夫が必要だ。

また、BiRDRのIn側やOut側、子機の機種組み合わせは非常に多く、すべての組み合わせで動作するわけではないようだ。筆者が確認した限りでは、親機・子機のそれぞれにPEGA-MSB1を装着してBluetooth経由で通信を行う組み合わせでは機能しなかった。また、BiRDRのIn側を赤外線とし、Out側でインターフェースコネクタを試用する通信機器(通信アダプター、モバイルコミュニケーションアダプターなど)を使う組み合わせも仕様上動作しないようだ。

とはいえ、現行機種の中でも、TG50やUX50、TJ25といった新機種はCFカード型データ通信カードには対応しない(あるいは、オプションで対応)ので、これらの機種で利用すれば通信環境を大きく改善できる。無線LANメインだがたまにはPHSカードも使いたいUX50ユーザーや、NXシリーズから軽量薄型のTJ25に乗り換えたいというユーザーにはお勧めしたいソフトといえるだろう。

調査結果 使える度★★★★



## ホットスポット定点観測

### JR西日本がエキLANスポットを提供開始

JR東日本、JR東海に続き、JR西日本が駅で無線LANによるインターネット接続実験「エキLANスポット」をスタートした。期間は2003年10月1日～2004年3月14日の予定で、実験参加プロバイダーは、@nifty、OCN、ODN、So-net、T-comの5つ。近日中にBIGLOBE、b-mobileなど6つのISP会員も利用可能となる予定だ。

基本的には、先行するJR2社の実験スタイルを踏襲しているが、これ以外に無線LANサービス専門のフレッツ・スポット(NTT西日本提供)やホットスポット(NTTコミュニケーションズ提供)が当初より実験に参加していることは新しい試みだ。両社は、10月現在で500を超える自前のスポットを提供しており、今後も増加傾向にある。しかし、提供場所は

飲食店やホテルが中心。ある程度の数のスポットを提供するサービスが公共スペースでも利用できれば、既存の有料サービスの魅力を高めることができるという側面もある。

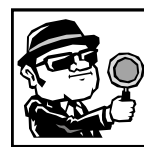
ちなみに、CLIE NX70V+PEGA-WL110、UX50では、問題なく利用できた。

(参考)エキLANスポット

http://www.jr-odekake.net/ekilan/



ログインページ。CLIEでは、アクセスポイントに接続した後Webブラウザを起動し、ログインページでユーザーID/パスワードを入力



## モバイル豆知識

### ウィンドウズの共有フォルダーにアクセスできる「SmbMate」

「SmbMate」は、ウィンドウズのネットワーク上にある共有フォルダーにアクセスするソフト。アクセスした共有フォルダーに保存されているファイルをメモリーカード上の任意のディレクトリーに移動/コピーしたり、共有フォルダーからファイルの削除、新規フォルダーの作成が可能だ。また、その逆にメモリーカード上のファイルを共有フォルダーに移動/コピーすることも可能である。無線LAN対応のPalmデバイスなら、HotSyncやUSB接続をしなくてもネットワーク経由でパソコンとファイルをやり取りできる。

SmbMate  
作者: Murad Kababayev  
種別: フリーウェア  
http://www.slunecnice.cz/product/SmbMate/

# Palm なんでも相談所

モノクロからカラーまで魅力的なモデルが出揃った Palm デバイス。周辺機器もますます充実し、使い道は広がるばかりだ。当然、使いこなす過程でさまざまな疑問やトラブルが生じるだろう。本コーナーでは、Palm にかかわる問題の解決に役立つ情報を提供していく。

✕ 落合 徹

## Q ATOK の推測変換の確定履歴を編集したい

過去に確定した単語を変換候補として表示する、ATOK の推測変換機能。誤って確定してしまった単語を候補から削除する手段が欲しい

### A 「確定履歴編集」を使えば 思いのままに編集できる

CLIE には、日本語変換ソフトの「ATOK」が付属している。この ATOK には変換して確定した単語を記憶して、それ以降は最初の文字を入力しただけで変換候補として表示する「推測変換機能」が搭載されている(図1)。パソコンに比べて文字の入力に手間がかかる Palm では、とても便利な機能だ。だが、誤って確定してしまった単語も推測変換の候補として表示されてしまう欠点がある。これらの単語を変換候補から削除しようと思っても、そのような機能は残念ながら ATOK には備わっていない。

そこで、「確定履歴編集」(<http://www.5f.biglobe.ne.jp/T-Pilot/>、フリーウェア)を使ってみよう。起動すると、Palm に記録されている変換候補の単語がリストアップされる。削除したい単語にチェックを付けて、「削除」ボタンをタップすれば候補から取り除かれる(図2)。このほかに、確定履歴の全体をバックアップ/リストアする機能も付いている。ATOK を使って日本語を入力しているユーザーは、インストールしておこう。



図1 ATOKには推測変換機能が搭載されており、ユーザーが過去に変換を確定した単語は、頭文字を入力するだけで変換候補として表示される

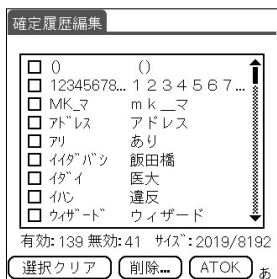


図2 「確定履歴編集」を使って履歴を削除やリストアするときは、ATOK をオフにする必要がある。ATOK の設定画面は、確定履歴編集から呼び出せる

## Q 文字列を選択したあとすぐにコピーやカットをしたい

文字列を選択してコピー&ペーストをしようとする、タップミスをして選択した部分が解除されてしまうことがある

### A 「Snap! Clip」を使えば、文字の 選択後に1タップでコピーできる

Palm のような小さな液晶画面ではボタンやメニューなどの各パーツが大きくないので、慌てているときなどは特に、コピーなどの操作をタップミスしてしまうことが多い。また、画面をまたぐような長い文字列を選択しようとする、画面のスクロールを伴うために、うまく選択できないことがある。

そこで、対応機種は Palm OS 5 以上を搭載した Palm デバイスに限られるが、「Snap! Clip」(<http://andmore.jp/mobile/>、フリーウェア)を使うとこのような問題を解決できる(図1)。Palm の画面で文字列を選択した状態にすると、自動的にコマンドバーが現れるので、バー上にあるコピーアイコンをタップすればコピーが完了する(図2)。もちろん、ハサミのアイコンを選択すればカットを実行できる。Snap! Clip を使うことによって、文字列を選択したあとにメニューやコマンドバーを呼び出す操作が省けるので、そのぶん操作ミスを防げる。シンプルな機能のソフトだが、使ってみるとその便利さが実感できるはずだ。



図1 「Snap! Clip」を起動したら、機能を有効(ON)にしよう。「Auto...」を「Yes」にすると、ソフトリセットしたあと自動的に「ON」になる




図2 Snap! Clip を使うと、文字列を選択するだけでコマンドバーが現れる。わざわざメニューバーやコマンドバーを呼び出す必要がなくなる

**Q** **パソコン上で選択した文字列を簡単な操作でPalmに転送したい**  
 パソコンでWebサイトを閲覧していると、Palmにメモしたくなる文章が出てくる。こんなときに簡単に切り出す方法はないだろうか。

**A** **選択した文字をメモかDOCファイルにできる「おにぎり」が便利だ**

パソコンには選択可能な文字列として表示されているのに、それをPalmにコピーしようとすると、思いのほか面倒な手順を踏まなければならない。文字列をコピーし、Palm Desktopを起動してメモ帳を開き、新規メモを1つ追加して文字列をペーストし、それからHotSyncを実行 といった具合だ。Palmにメールの受信環境を構築していれば、パソコンからメールで送るという方法もある。この方法ならば画像を添付することも可能だ。しかし、Palmでネットワークに接続したり、メールを受信したあとテキストをメモ帳などに移す手間を考えると、やはり手取り早い方法とはいえないだろう。

そこで、単純にパソコン上で選択した文字列をPalmに転送するのであれば、「おにぎり」(  <http://www.vega21.com/>、フリーウェア)が便利だ( 図 1、2 )。パソコン側に常駐させて使うソフトで、設定したキー( 初期設定は「Ctrl」キー + スペースキー )を押すと、選択した状態にある文字列をメモ帳のデータかDOCファイルにしてくれる。あとはHotSyncを行うだけで、それらがPalmに転送される仕組みだ。本記事の執筆時点ではウィンドウズ版のみが公開されているが、マック版も開発中とのこと。

Webサイトに限らず、作成した資料の一部分や、Palmには入っていないが今日だけ必要なアドレスデータなど、パソコンから手早く持ち出せたら便利、といった情報は多いもの。おにぎりはHotSyncできる環境を前提にしたソフトだが、とても簡単に文字列の転送を行える。気になる情報を見つけたらさっとPalmに転送して、Palmの活用の幅を広げてみよう。



図1 タスクバー上のアイコンを右クリックして各種設定を行う。設定項はわかりやすく表示されているので、特にとまどうことはないだろう

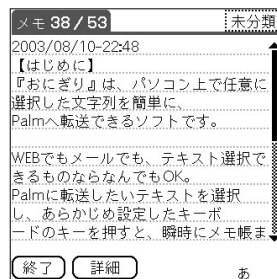






図2 メモ帳のデータとして転送したところ。切り出した日時や選択した文字列から、自動的にタイトルを付けられる。操作時に入力することも可能

**Q** **指定した書式でタイムスタンプを打ちたい**  
 報告書の下書きにPalmのメモ帳を使っている。その際、日付や時刻を書き込む必要があるのだが、簡単な操作で入力する方法はないだろうか

**A** **ショートカットを使おう。さらに機能を求めるなら「dysDA」もお勧め**

報告書や日記などを書く場合、とりあえず下書きや箇条書きで済ませることも多い。しかしそんなときでも、日付や時刻の情報は不可欠だ。急いで書きつけることが多いだけに、少しでも入力の手間を省きたい。そこで、Palmの時計機能を利用したタイムスタンプの出番となる。

タイムスタンプは、Palmのショートカット機能に標準で用意されている。ショートカットとは、記号(  )に続けて文字を入力すると、その文字に対応づけされた文字列を入力できるもの。タイムスタンプはショートカットの特殊な例で、「 ds」と入力すると現在の日付を、「 dts」だと時刻付きの日付を入力できるようになっている。

しかし、ショートカットは標準で使える強みこそあるものの、決まった書式のタイムスタンプしか打てない。そこで、DAソフトの「dysDA」(  <http://www46.tok2.com/home/fit/>、フリーウェア)を使ってみよう( 図 1、2 )。年、月、日、時、分、秒、曜日の中から選んだ項目と、スラッシュ( / )やハイフン( - )などの記号を自由に組み合わせたタイムスタンプを打つことができる。年を2桁で表記したり、12 / 24時制の選択や、月や日などが1桁の場合に十の位を0として表示するなど、細かい設定が可能。タイムスタンプの書式は5種類まで保存できる。使用するときは、必要な場面でdysDAを呼び出して、登録した5種の中から入力したいスタンプを選ぶ。スタンプを選択するには画面上のボタンをタップするか、さらに素早く入力したいときは対応するハードボタンを押せばいい。

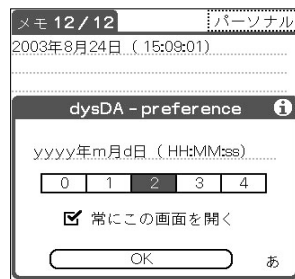


図1 タイムスタンプの書式を細かく設定できる。日時を指定する文字は対応する数字に置き換えられ、それ以外はそのまま出力される



図2 DA画面の右上の「i」をタップするとヒントが表示される。書式の指定例の一覧を、詳しい説明とともに閲覧できるので参考にしよう

# 用語事典

文/片山 哲也

Palmを使っていると、長年パソコンを使っているユーザーでも聞き慣れない用語が数多く出てくる。ところが、「パソコン用語事典」へのPalm用語の掲載は少ない。そこで、このコーナーではPalm独特の用語をわかりやすく解説しよう。

## Handheld Engine

ソニー㈱がCLIE専用開発したアプリケーションプロセッサで、CLIE UX50に搭載されている。CPU単体ではなく、DSPや4個の16MビットDRAM、「2D-GE」(2Dグラフィックエンジン)、各種インターフェースコントローラーなどを一体化している(写真)。

中心となるCPUは、英ARM社の「ARM9」アーキテクチャーをベースにしており、これはCLIE NZ90やNX70が搭載する米インテル社のCPU・PXA250がベースとしている「ARM10」の1世代前にあたる。ただし、ARM9とARM10の違いはプロセスルールの違いや、高クロック数における動作サポートの有無程度なので、大きな性能上の差があるわけではない。

Handheld Engineの大きな特徴は、実行中のアプリケーションに合わせて、CPUの動作クロック数を8MHzから120MHzの間で0.5MHz単位で変えられる点だ。さらに電圧制御機能である「DVFM」(Dynamic Voltage and Frequency Management)によって、内部電圧をCPUの動作クロック数に応じて、1.2ボルトから1.6ボルトまで5ミリボルト単位でコントロールできる。これらの機能によって、

CLIE UX50のバッテリーは歴代のCLIEにおいて小容量でありながらも、非常に長い動作時間を実現している。

また、最大クロック数をPXA250と比較した場合、Handheld Engineは半分程度の123MHzしかない。それにもかかわらずHandheld Engineのほうが滑らかに動画を再生できるのは、4個の16メガビットのDRAMが128ビットのメモリーバスでCPUと接続されて広い帯域幅を確保しているため、高速なデータ転送を行えるからだ。

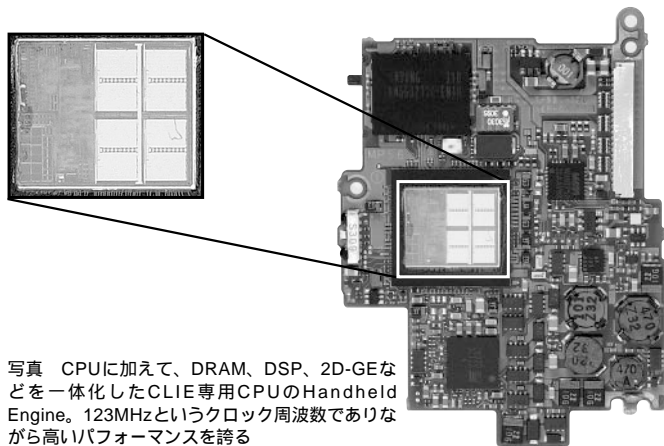


写真 CPUに加えて、DRAM、DSP、2D-GEなどを一体化したCLIE専用CPUのHandheld Engine。123MHzというクロック周波数でありながら高いパフォーマンスを誇る

## マグネシウム合金

Palmデバイスのボディーにはこれまでアルミニウム合金やマグネシウム合金が使われてきたが、CLIE UX50では初めて内部シャーシを含めたすべての部分でマグネシウム合金が採用された。

マグネシウムはアルミニウムよりも軽くて強い特性をもつ金属で、比重はアルミニウムの3分の2、チタンの3分の1、鉄の4分の1以下しかなく、実用金属の中では最も軽い。また、地球を構成する地殻物質で8番目に豊富な元素であり、資源量が非常に多いので、将来にわたって枯渇する心配もない。単価も非常に安く、石油から作るプラスチックと同等だと言われている。さらに、リサイクル性が非常に高く、回収されたマグネシウムをリサイクルするのに必要なエネルギー量は、新地金を作る場合の4パーセント程度とされており、環境に配慮する時代の流れにも合致している。

マグネシウムは古くから自動車部品、航空機部品などに使われてきたが、一般的にはあまりなじみのない材料だった。しかし、'97年にソニー㈱のノートパソコン「VAIO」シリーズで採用されて以来、各社のノートパソコンや携帯電話、PDA、ポータブルオーディオな

どで広く利用されるようになった(写真)。軽くて強いだけでなく、電磁シールド性が非常に高いという特徴があるため、外装はエンジニアリングプラスチックでも、内部ではマグネシウム合金がシールド材として使われていることも多い。マグネシウムは単体で利用されることはほとんどなく、金属部品を作る場合には、アルミニウムや亜鉛と組み合わせたマグネシウム合金が使われる。ノートパソコンやPDAに使われているマグネシウム合金は「AZ91D」と呼ばれるもので、マグネシウムが90パーセント、アルミニウムが9パーセント、亜鉛が1パーセントで構成されている。



写真 強度に富み、軽量のマグネシウム合金は、ノートパソコンやPDAには最適な素材。また電磁シールド性に優れるため、携帯電話やポータブルオーディオなどにも使われる

# グラフィックエンジン

グラフィックエンジンは、「グラフィックアクセラレーター」や「ビデオチップ」とも呼ばれており、CPUに代わって画面描画を専門に行うチップを指す。グラフィックエンジンを搭載していない場合は、CPUが通常の処理に加えて画面の描画も行うため、全体の処理速度が低下してしまう。そこで、グラフィックエンジンを利用して画面描画の処理をCPUから切り離すことによって、CPUの負荷を減らし、システム全体のパフォーマンスを向上させられる。現在のパソコンでは2Dと3Dの描画がすべてCPUから切り離されており、CPU以上の集積度をもった高性能なビデオチップが搭載されている。

Palmデバイスでは、これまでCPUがすべての画面描画機能を担っていた。モノクロ液晶画面であればそれほど問題にならなかったが、画面のカラー化に伴ってCPUにかかる負荷が大きくなり、全体のパフォーマンスに影響が出るようになった。そこで、CLIE UX50はCPUであるHandheld Engineに、Palmデバイスとしては初めてグラフィックエンジン「2D-GE」を搭載した。2D-GEは単体では2Dグラフィックにしか対応していないが、アプリケーションと組み合わせることで、擬似的に3D描画が可能になる。3Dランチャー「CLIE 3D Launcher」もこの機能を利用して描かれている。



図 Handheld Engineに内蔵されたグラフィックエンジン「2D-GE」を使用したランチャー「CLIE 3D Launcher」。今後は2D-GEを利用したゲームなどが期待される

# メモリーバス

CPUとメモリー(DRAM)の間でデータをやり取りするための伝送路。CPUの動作クロック数やメモリーのアクセス速度と並んで、システム全体のパフォーマンスを決定する重要な要素となっている。CPUとDRAMの間で1回に転送できるデータ量を「メモリーバス帯域」、または「最大データ転送量」と呼ぶ。

バス(bus)は、CPUやメモリー、周辺機器などの間で情報をやり取りするために利用され、CPU内部の接続を「内部バス」、CPUとメモリーやディスクを接続するものを「外部バス」、CPUと拡張スロットを接続するものを「拡張バス」と呼ぶ。一般的なパソコンでは、CPUとメモリーは外部バスで接続されるために帯域はそれほど広くないが、CLIE UX50に搭載されたHandheld Engineでは、CPUと4個の16メガビットのDRAMが128ビットの内部バスで接続されている。このため、メモリーバス帯域は合計で最大7.68ギガバイト/秒に達し、これはパソコン以上の数値である。このため、Handheld Engineは、CLIE NZ90などに搭載されたCPUのおよそ半分のクロック数(123MHz)でありながら、高速な動作が可能になっている。

## HotSync

Palmデバイスとパソコンでデータのシンクロナイズを行うための機構。2回目以降のHotSyncでは、変更されたデータだけがシンクロナイズされるため、短時間で作業が終了する。

## PalmPowered

Palm OSを採用したデバイスに付けられるロゴ。

## ROM

Palm OSのシステム、ソフトが搭載されている場所。Palm、ソニー側、HandEra、IBMのPalmデバイスは書き換え可能になっており、システムのアップデートが可能だ。Palm m100 / 105やハンドスプリング側のVisorシリーズは書き換え不可能なマスクROMのため、システムのバージョンアップはできない。

## SDカード

松下電器産業㈱、サンディスク㈱、㈱東芝の3社が提唱したメモリーデバイスで、「SD」とは「Secure Digital」の略称。著作権保護機能を持つ。Palm m500 / 505が採用している。

## USB

パソコンと周辺機器を接続するための規格。現在のUSB 1.1規格では通信速度が最大12Mbpsとなっている。PalmデバイスのクレードルにはUSBタイプとシリアルタイプがある。USB接続を標準でサポートしている機種では、シリアル接続より高速でHotSyncできる。

## カテゴリー

アドレスやメモなどのデータをジャンルに分類して管理する仕組み。カテゴリーはユーザーが任意に作成できる。

## グラフィティ

Palmデバイスが標準で用意する文字入力の方法。ひと筆書きのようなアルファベットや数字を使って文字入力を行う。

## 赤外線

すべてのPalmデバイスには赤外線ポートが用意されており、赤外線を使ってデバイス同士でデータやソフトなどを交換することができる。また、赤外線HotSyncすることも可能。

## ハードウェアボタン

Palmデバイスには、電源ボタン、上下スクロールボタン、4つのアプリケーションボタンが用意されている。アプリケーションボタンを押せば、電源オフの状態から即座に起動し、目的のソフトに素早くアクセスすることができる。

## ランチャー

Palmのソフトを起動するもので、Home(ホーム)と呼ばれる。カテゴリー分けや表示方法の選択が可能。さまざまな置き換えソフトもある。

## リチウムイオンポリマー充電電池

Palm m500やm505、ソニー側のN700Cが採用した次世代のリチウムイオン充電電池。従来の液状の「電解液+金属外装」という組み合わせに対して、「ゲル状の電解液+ラミネートフィルム外装」になったことで軽量化、および形状の自由度が向上している。重量当たりの出力は10パーセント程度向上する。

## Bluetooth

無線通信技術の規格。2.45GHz帯の電波を利用し、10メートル程度の範囲内にある機器同士で通信できる。通信速度は最高1Mbps。IEEE802.11bなどに比べて消費電力が少ない。CLIE NZ90 / TG50 / UX50やTungsten Tシリーズ / Cなどに内蔵されているほか、メモリースティックやSDIOのBluetoothモジュールもある。

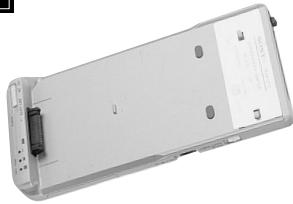
## IEEE802.11b

無線LANの規格の1つ。2.4GHz帯の電波を使用し、100メートル程度の距離にある機器間で通信を行える。通信速度は最高11Mbps。最近では駅や喫茶店などに対応アクセスポイントが設置されており、CLIE UX50などの無線LAN内蔵モデルを使えば、ワイヤレスで高速なインターネットを楽しめる。

# 周辺機器カタログ

Net Work

**CF型 PHS 用通信アダプター**  
(PEGA-CF70)



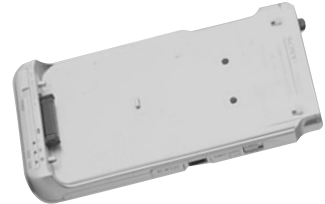
ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス(生産終了)  
 対応機種: CLIE NRシリーズ  
 CLIE NRシリーズでコンパクトフラッシュ型PHSを利用可能にする通信アダプター。リチウムイオンポリマー充電電池を内蔵する

**モバイルコミュニケーションアダプター**  
(PEGA-MA15)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス(¥1万2800円)  
 対応機種: CLIE NR / T / SJ / NXシリーズ、TG50、TJ25  
 CLIE NR / Tシリーズと携帯電話およびPHSを接続し、ネットワークアクセスを可能にする通信アダプター。ケーブルは別売り

**CF型 PHS 用通信アダプター**  
(PEGA-CF61)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス(¥1万4800円)  
 対応機種: CLIE T / SJシリーズ  
 CF型PHS用アダプター。サポートする通信カードはP-in Comp@ctなど。電源オフのとき、ミニキーボードなどを併用可能

**Bluetooth モジュール**  
(PEGA-MSB1)



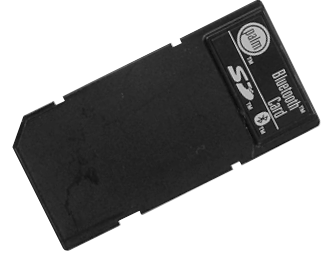
ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス(¥1万9800円)  
 対応機種: CLIE T / NR / SJ / NX / Nシリーズ(Palm OS 4.1以上)  
 メモリースティックスロットに差し込み、Bluetooth技術によるワイヤレス通信を可能にする

**Bluetooth アダプター**  
(PEGA-BT700)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス(生産終了)  
 対応機種: CLIE N / Sシリーズ  
 Bluetoothアダプター。Bluetoothを搭載したパソコンや携帯電話とワイヤレス通信を行い、HotSyncやインターネット接続が可能

**Palm Bluetooth カード**



パーム コンピューティング㈱  
<http://www.palm-japan.com/>  
 ¥1万9800円  
 対応機種: m130 / 500 / 505 / 515  
 SDカードスロットに差し込み、Bluetooth技術によるワイヤレス通信を可能にする。サイズは、幅24×高さ49×奥行き2.4ミリ

**コミュニケーションカードアダプター**



㈱ハギワラスコム  
<http://www.hscjpn.co.jp/>  
 オープンプライス(¥1万1500円)  
 対応機種: m130 / 500 / 505 / 515、WorkPad c505  
 CF型PHS用アダプター。AirH<sup>+</sup>、P-in Comp@ctなどに対応。単4形乾電池2本で作動し、標準通信速度は32Kbps

**Guyver**



シーエフ・カンパニー㈱  
<http://www.cfcompany.co.jp/>  
 オープンプライス(¥2万4800円)  
 対応機種: m130 / 500 / 505 / 515、Tungsten T  
 PCMCIA Type スロットを搭載したバッテリー内蔵型カードアダプター。PCカードアダプターを介してCF型カードも使用可能

**SnapConnect 500**



㈱アイ・オー・データ機器  
<http://www.iodata.co.jp/>  
 ¥1万6500円(生産終了)  
 対応機種: m500 / 505 / 515  
 m500シリーズでデータ通信を実現する接続アダプター。デジタル携帯電話、feel H<sup>+</sup>、H<sup>+</sup>、PHS、cdmaOneなどに対応

**モバイルコミュニケーションアダプター**  
(HPD-SCCP)



㈱ハギワラスコム  
<http://www.hscjpn.co.jp/>  
 オープンプライス(¥1万1800円)  
 対応機種: CLIE Nシリーズ  
 CLIEでCF型PHSを使用するためのアダプター。C@rdH<sup>+</sup>64petit、P-in m@ster、P-in Comp@ctに対応し、最高64Kbpsの通信を実現

**モバイルコミュニケーションアダプター**  
(PEGA-MA700)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス(生産終了)  
 対応機種: CLIE Nシリーズ  
 PDC(デジタル携帯電話)、H<sup>+</sup>、PHS、cdmaOneなどに対応した接続アダプター。4種類のケーブルを用意する

**iTAX-irDA**



加賀電子㈱  
<http://www.taxan.co.jp/>  
 オープンプライス(¥7800円)  
 対応機種: 全機種  
 ㈱NTTドコモの携帯電話に装着して、赤外線によるインターネット接続や電子名刺の交換などの通信を可能にする

**Key Board**

**コンパクトキーボード**  
(PEGA-KB100)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( ¥1万3000円 )  
 対応機種: CLIE T / NR / SJ / NXシリーズ、TG50、TJ25  
 フルサイズキーボードと同じキー配列の2つ折り型キーボード。電源は不要。キーボードのDCインジャックを通してCLIEを充電できる

**ミニキーボード**  
(PEGA-KB20)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( ¥4980円 )  
 対応機種: CLIE T / SJシリーズ  
 QWERTY配列の携帯型キーボード。4つのアプリケーションボタンのほか、ホームなどのシルクボタンもキーとして配列されている

**Wing Board for CLIE**



プリンストンテクノロジー㈱  
<http://www.princeton.co.jp/>  
 オープンプライス( ¥9800円 )  
 対応機種: CLIE TG50 / NX / T / SJ / NR各シリーズ  
 広げるとB5サイズのノートパソコンと同じくらいのキーボードサイズになる。ショートカットの設定も可能。重さ200グラム

**Accessory for**

**ワイヤレスLANカード**  
(PEGA-WL110)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>  
 オープンプライス( ¥1万4800円 )  
 対応機種: CLIE NXシリーズ、NZ90  
 CFスロット付きのCLIEで無線LANに接続するためのCFカード(Type )。ネットワーク上のパソコンと無線でHotSyncが可能

**スピーカークレドール**  
(PEGA-SPC1000K)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( ¥9800円 )  
 CLIE NXシリーズ、TG50  
 スピーカー内蔵のUSBクレドール。CLIE T / NRシリーズでは、ヘッドホンジャックと接続して音楽再生が可能(接続コードは別売)

**バッテリーアダプター**  
(PEGA-BC10)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( ¥3800円 )  
 対応機種: CLIE T / NR / NX / SJシリーズ、TG50、TJ25  
 単3形乾電池4本でCLIEを充電するアダプター。アルカリ乾電池、ニッケル水素電池、ニッケド充電電池に対応する

**オーディオアダプター**  
(PEGA-SA500)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( 生産終了 )  
 対応機種: CLIE N600C / Sシリーズ  
 音楽再生機能を搭載しないCLIE用のオーディオアダプター。MP3形式の音楽データに対応。ヘッドホン、専用リモコンが付属する

**オーディオアダプター**  
(PEGA-SA10)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( 生産終了 )  
 対応機種: CLIE Tシリーズ、SJ30  
 音楽のリスニングを可能にするオーディオアダプター。MP3形式の音楽データに対応する。ヘッドホン、リモコンが付属

**ゲームコントローラー**  
(PEGA-GC10)



ソニーマーケティング㈱  
<http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( ¥3900円 )  
 対応機種: CLIE T / NR / NX / SJシリーズ、TG50  
 CLIE用ゲームコントローラー。ドライバーの設定で、各ボタンにハードキーを割り当てられる。機セガのゲーム「コラムス」が付属

**カメラモジュール**  
(PEGA-MSC1)



ソニーマーケティング㈱ <http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( 生産終了 )  
 対応機種: CLIE N(N700Cは要OS 4.1アップグレード) / T / SJシリーズ、NR70  
 メモリースティックスロット用カメラモジュール。10万画素CMOSイメージセンサーを搭載。画像を「CLIE Mail」に添付できる

**カーバッテリーアダプター**  
(PEGA-DC10)



ソニーマーケティング㈱ <http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( ¥4900円 )  
 対応機種: CLIE T / NR / NX / SJシリーズ、UX50、TG50、NZ90、TJ25  
 車のシガーライターソケットを使ってCLIEを充電するためのアダプター。USBクレドールや通信アダプターに接続することも可能

**GPSモジュール**  
(PEGA-MSG1)



ソニーマーケティング㈱ <http://www.sony.co.jp/CLIE/>  
 オープンプライス( 生産終了 )  
 対応機種: CLIE N / T / NR / NX / SJシリーズ、NZ90、TG50  
 デジタルマップ上に現在位置などの情報を表示できるGPSモジュール。経度や緯度、目的地までの直線方向の表示なども可能

# Palm デバイスカタログ

ソニー(株)

http://www.sony.co.jp/CLIE/

## CLIE PEG-TJ25

☑ オープンブライズ (興 1万 9800円)

**CPBW**

手帳としての機能に特化したシンプルなもの。ハードボタンの中央にセンタージョグダイヤルと左右ボタンを配置した

厚さ 11.9ミリ/重さ 140グラム

Palm OS 5.2.1 日本語版 | LMXLアプリケーション・プロセッサ  
グラフィティ-2 搭載 | Decuma Japanese 搭載

## CLIE PEG-UX50

☑ オープンブライズ (興 6万 9800円)

**CPBW**

ソニーが独自開発したCPUにより、滑らかな動画再生やアイコンの立体描画を実現。省電力性能も向上した

厚さ 17.9ミリ(クロ-スタイル時)/重さ 175グラム

Palm OS 5.2 日本語版 | ソニー Handheld Engine  
Bluetooth 内蔵 | ワイヤレスLAN 内蔵

## CLIE PEG-NX80V

☑ オープンブライズ (興 5万 9800円)

**CPBW**

「Decuma Japanese」は漢字から記号まで手書き入力が可能。開閉式CFスロットはCFメモリーカードに対応する

厚さ 21.8ミリ(クロ-スタイル時)/重さ 235グラム

Palm OS 5.0 日本語版 | XScale PXA263 200MHz  
RAM容量32MB | 130万画素デジタルカメラ

## CLIE PEG-NX73V

☑ オープンブライズ (興 4万 9800円)

**CPBW**

NX80Vと比べてRAM容量(16MB)やデジカメの画素数(31万画素)が少ないことを除けば、スペックはほぼ同じ

厚さ 21.8ミリ(クロ-スタイル時)/重さ 230グラム

Palm OS 5.0 日本語版 | XScale PXA263 200MHz  
31万画素デジタルカメラ

## CLIE PEG-TG50

☑ オープンブライズ (興 3万 9800円)

**CPBW**

Tシリーズのデザインを継承したキーボード搭載のPalm OS 5デバイス。ボイスレコーダーを内蔵し、ボタン1つで音声録音が可能

厚さ 16.2ミリ/重さ 184グラム

Palm OS 5.0 日本語版 | XScale PXA250 200MHz  
音楽再生機能 | Bluetooth 機能

## CLIE PEG-SJ33

☑ オープンブライズ (興 2万 9800円)

**CPBW**

SJシリーズの2代目モデル。CPUやRAM容量などの基本仕様は初代SJ30と変わらないが、音楽再生機能が追加搭載された

厚さ 22ミリ/重さ 172グラム

Palm OS 4.1 日本語版 | DragonBall Super VZ 66MHz  
音楽再生機能

## CLIE PEG-NZ90

☑ オープンブライズ (興 7万 9800円)

**IBW**

200万画素デジタルカメラ(フラッシュ付き)とリム-バブルバッテリー、FeliCa(非接触ICカード)リーダー機能を搭載

厚さ 22.2ミリ(クロ-スタイル時)/重さ 283グラム

Palm OS 5.0 日本語版 | XScale PXA250 200MHz  
通信用CFスロット(Type ) | Bluetooth 機能

## CLIE PEG-NX70V

☑ オープンブライズ

**CPBW**

CLIE初のPalm OS 5デバイス。有効画素数31万の回転式デジタルカメラを搭載。Movie Player形式で動画を記録できる

厚さ 23.5ミリ(クロ-スタイル時)/重さ 220グラム

Palm OS 5.0 日本語版 | XScale PXA250 200MHz  
通信用CFスロット(Type ) | 31万画素デジタルカメラ

## CLIE PEG-NX60

☑ オープンブライズ

**CPBW**

デジカメを搭載しない場合は、CLIE NX70Vと同スペック。別売のワイヤレスLANカードや、CF型PHSカードで通信が可能

厚さ 23.5ミリ(クロ-スタイル時)/重さ 220グラム

Palm OS 5.0 日本語版 | XScale PXA250 200MHz  
通信用CFスロット(Type )

## CLIE PEG-SJ30

☑ オープンブライズ

**IBW**

Tシリーズよりも高さが14ミリ小さくなった。本体のスペックはT600Cとほぼ同じ。HotSyncクレードルは別売

厚さ 16.8ミリ/重さ 139グラム

Palm OS 4.1 日本語版 | DragonBall VZ 33MHz  
高さ104ミリはCLIE 最小

## CLIE PEG-T650C

☑ オープンブライズ

**CPBW**

CLIE T600に音楽再生機能を追加したモデル。さらに高速なCPU(DragonBall Super VZ 66MHz)を搭載

厚さ 12.5ミリ/重さ 140グラム

Palm OS 4.1 日本語版 | DragonBall Super VZ 66MHz  
音楽再生機能

## CLIE PEG-NR70/70V

☑ オープンブライズ

**CPBW**

デジカメ機能(10万画素CMOS) DragonBall Super VZ 66MHz、回転式の縦型ワイド液晶、キーボードを搭載する

厚さ 16.7ミリ/重さ 200グラム

Palm OS 4.1 日本語版 | DragonBall Super VZ 66MHz  
音楽再生機能 | 10万画素デジタルカメラ(70Vのみ)



モノクロ16階調	リチウムイオンバッテリー	ウィンドウズ対応
カラー液晶	リチウムポリマーバッテリー	ウィンドウズ マック両対応
	単4乾電池	

## CLIE PEG-T600C

オープンブライズ



厚さ12.5ミリ、重さ138グラムとカラー機種の中では、最も薄型で軽量。高解像度で6万5536色表示が可能

厚さ12.5ミリ / 重さ138グラム

Palm OS 4.1 日本語版 DragonBall VZ 33MHz

## CLIE PEG-T400

オープンブライズ



厚さ9.9ミリは日本語モデルの中では最も薄い。モノクロデバイス初の解像度320 x 320ドットを実現した

厚さ9.9ミリ / 重さ122グラム

Palm OS 4.1 日本語版 DragonBall VZ 33MHz

## CLIE PEG-N750C

オープンブライズ



Palm OS 4.1とATRAC3 / MP3音楽再生機能を搭載したNシリーズのハイエンド機。ハイレゾ画面、6万5536色表示が可能

厚さ16.8ミリ / 重さ160グラム

日本語版 Palm OS 4.1 DragonBall VZ 33MHz

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
CLIE PEG-TJ25	Palm OS 5.2.1 日本語版 I.MXLアプリケーション・プロセッサ 320 x 320ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) 16MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット( Pro対応)	リチウムイオンポリマーバッテリー 約10日間 ネオンブルーなど全6色 / アルミ	HotSyncケーブル( USB ) ソフトカバー、ACアダプター スタイラス、ハンドストラップ	Decuma Japanese、Data Import ATOK for CLIE P200SC CLIE Mail、CLIE Viewer
CLIE PEG-UX50	Palm OS 5.2 日本語版 ソニー Handheld Engine 480 x 320ドット / 6万5536色	64MB( NANDフラッシュメモリー ) 32MB( SDRAM ) / eDRAM( 8MB ) メモリースティックスロット( Pro対応)	リチウムイオンポリマーバッテリー 約14日間 ウォータースルパー / マグネシウム	充電クレードル、USBケーブル、 伸縮スタイラス、 ハンドストラップ	Decuma Japanese、Movie Player Picstel Viewer for CLIE、Voice Recorder Macromedia Flash Player 5
CLIE PEG-NX80V	Palm OS 5.0 日本語版 XScale PXA263( 200MHz ) 320 x 480ドット / 6万5536色	32MB( DRAM ) / 32MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット( Pro対応) CFカードスロット( Type II )	リチウムイオンポリマーバッテリー 約14日間 シルバー / マグネシウム	HotSyncクレードル( USB ) リモートコントローラー、ステレオヘッドホン ハンドストラップ、スタイラス	Decuma Japanese、Data Import Picstel Viewer for CLIE、Voice Recorder Macromedia Flash Player 5
CLIE PEG-NX73V	Palm OS 5.0 日本語版 XScale PXA263( 200MHz ) 320 x 480ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) / 32MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット( Pro対応) CFカードスロット( Type II )	リチウムイオンポリマーバッテリー 約14日間 ブラック / マグネシウム	HotSyncクレードル( USB ) リモートコントローラー、ステレオヘッドホン ハンドストラップ、スタイラス	Decuma Japanese、Data Import Picstel Viewer for CLIE、Voice Recorder Macromedia Flash Player 5
CLIE PEG-TG50	Palm OS 5.0 日本語版 XScale PXA250( 200MHz ) 320 x 320ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) 16MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約11日間 シルバー / アルミ	HotSyncクレードル( USB )、ACアダプター、 スタイラス、ハンドストラップ	CLIE Viewer、Audio Player、 Picstel Viewer for CLIE、Voice Recorder、 Macromedia Flash Player 5
CLIE PEG-SJ33	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall Super VZ( 66MHz ) 320 x 320ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) 8MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約17日間 パーラーシルパー / プラスチック	HotSyncケーブル( USB )、ACアダプター、 スタイラス、ステレオヘッドホン、 通信 / プラグアダプターアタッチメント	Audio Player、Sound Utility、 Sonic Stage、Sound Converter、 Documents To Go 5 Standard Edition
CLIE PEG-NZ90	Palm OS 5.0 日本語版 XScale PXA250( 200MHz ) 320 x 480ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) / 16MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット 適応CFカードスロット( Type II )	リチウムイオンポリマーバッテリー 約10日間 ブラック / マグネシウム	HotSyncクレードル( USB )、ステレオヘッドホン、 USBケーブル( HotSync用、プリンター接続用 ) ビデオ出力ケーブル、バッテリーパック	CLIE Camera S、Edy Viewer、SFCard Viewer、 Picstel Viewer for CLIE、Remote Camera、 Image Upload Utility、ImageStation Library
CLIE PEG-NX70V	Palm OS 5.0 日本語版 XScale PXA250( 200MHz ) 320 x 480ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) / 16MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット 適応CFカードスロット( Type II )	リチウムイオンポリマーバッテリー 約10日間 サテンシルパー / マグネシウム	HotSyncクレードル( USB )、ACアダプター、 スタイラス、ステレオヘッドホン、 リモートコントローラー、ハンドストラップ	CLIE Camera、CLIE Memo、CLIE Viewer、 Macromedia Flash Player 5、 Voice Recorder、CLIE Files、NetFront for CLIE
CLIE PEG-SJ30	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall VZ( 33MHz ) 320 x 320ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) 8MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット	リチウムイオンバッテリー 約12日間 パーラーシルパー / アルミ	HotSyncケーブル( USB )、ACアダプター、 スタイラス、ソフトカバー、 通信 / プラグアダプターアタッチメント	Palm Desktop 日本語版( ウィンドウズ版 ) Documents To Go、ATOK、Kinoma Player、 Pook、Pook用コンテンツ( お試し版 )
CLIE PEG-T650C	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall Super VZ( 66MHz ) 320 x 320ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) 8MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約10日 シルパー / アルミ	HotSyncクレードル( USB )、ACアダプター、 スタイラス、ステレオヘッドホン、 リモートコントローラー	Palm Desktop 日本語版( ウィンドウズ版 ) Documents To Go、Audio Player、 SonicStage LE、ATOK、Xiino、Xiino Cruiser
CLIE PEG-NR70/70V	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall Super VZ( 66MHz ) 320 x 480ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) 10MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約10日 サテンシルパー / マグネシウム	HotSyncクレードル( USB )、ACアダプター、 スタイラス、ステレオヘッドホン、 リモートコントローラー	Palm Desktop 日本語版( ウィンドウズ版 ) Documents To Go、Audio Player、 SonicStage LE、ATOK、Xiino、Xiino Cruiser
CLIE PEG-T600C	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall VZ( 33MHz ) 320 x 320ドット / 6万5536色	16MB( DRAM ) 8MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約12日 / ロイヤルブルー サテンシルパー / アルミ	HotSyncクレードル( USB )、ACアダプター、 ソフトカバー、スタイラス、 ACコード	Palm Desktop 日本語版( ウィンドウズ版 ) Documents To Go、Remote Commander、 PictureGear Pocket、CLIE Paint、Sound Utility
CLIE PEG-T400	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall VZ( 33MHz ) 320 x 320ドット / モノクロ16階調	8MB( DRAM ) 8MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 / サテンシルパー リミテッドブラック / アルミ	HotSyncクレードル( USB )、ACアダプター、 ソフトカバー、スタイラス、 ACコード	Palm Desktop 日本語版( ウィンドウズ版 ) Documents To Go、Remote Commander、 PictureGear Pocket、CLIE Paint、Sound Utility
CLIE PEG-N750C	日本語版 Palm OS 4.1 Motorola DragonBall VZ( 33MHz ) 320 x 320ドット / ( 6万5000色 )	8MB( DRAM ) 8MB( フラッシュROM ) メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 サテンシルパー / アルミ	HotSyncクレードル( USB )、ACアダプター、 ヘッドホン、リモートコントローラー、 ソフトカバー、トップカバー、スタイラス	Palm Desktop 日本語版( ウィンドウズ版 ) Audio Player、PictureGear Pocket、 Memory Stick Gate、ATOK Pocket

# Palm デバイスカタログ

パーム コンピューティング(株)

http://www.palm-japan.com/

 <p><b>Palm m130</b> 価格 オープンプライス</p> <p>SD / MMC スロット、ユニバーサルコネクタ、カラー液晶を搭載、Palm OS 4.1 のコンシューマーモデル</p> <p>厚さ 22 ミリ 重さ 153.1 グラム</p> <p>Palm OS 4.1 日本語版 ユニバーサルコネクタ</p>	 <p><b>Palm m515</b> 価格 オープンプライス</p> <p>m505 をベースに、メモリーが 16MB に増量され、液晶画面はより明るくなった。ATOK for Palm などが付属</p> <p>厚さ 13 ミリ 重さ 139 グラム</p> <p>Palm OS 4.1 日本語版 ユニバーサルコネクタ</p>	 <p><b>Palm m505</b> 価格 オープンプライス</p> <p>カラー液晶を搭載した厚さ 13 ミリのスリムな Palm デバイス。Palm OS 4.0 を搭載し、パソコンとは USB で接続</p> <p>厚さ 13 ミリ 重さ 139 グラム</p> <p>Palm OS 4.0 日本語版 ユニバーサルコネクタ</p>	 <p><b>Palm m500</b> 価格 オープンプライス</p> <p>基本仕様は m505 と同じだが、液晶ディスプレイにモノクロ 16 階調を採用。本体重量は 113 グラムと軽量</p> <p>厚さ 10 ミリ 重さ 113 グラム</p> <p>Palm OS 4.0 日本語版 ユニバーサルコネクタ</p>
 <p><b>Palm Vx</b> 価格 1 万 2800 円</p> <p>モノクロ液晶の厚さわずか 10 ミリの薄型機種。Palm OS 3.5 を搭載し、付属のクレードルはシリアル接続</p> <p>厚さ 10 ミリ 重さ 113 グラム</p> <p>Palm OS 3.5 日本語版 DragonBall EZ 20MHz</p>	 <p><b>Palm IIIc</b> 価格 1 万 2800 円</p> <p>シリアル端子はロングセラー機種だったシリーズと共通なので、オプションで販売されている周辺機器の数が豊富</p> <p>厚さ 17 ミリ 重さ 193 グラム</p> <p>Palm OS 3.5.1 日本語版 DragonBall EZ 20MHz</p>	 <p><b>Palm m105</b> 価格 9800 円 (キャンペーンプライス)</p> <p>基本的な仕様は m100 と同等だが、内蔵メモリーが 8 MB になり、別売りだったクレードルが標準で付属する</p> <p>厚さ 18 ミリ 重さ 137 グラム</p> <p>Palm OS 3.5.1 日本語版 DragonBall EZ 16MHz</p>	 <p><b>Palm m100</b> 価格 4900 円 (キャンペーンプライス)</p> <p>ポデーは、樹脂製で液晶ディスプレイを保護するカバー付き。フェイスプレートの交換でカスタマイズが可能</p> <p>厚さ 18 ミリ 重さ 137 グラム</p> <p>Palm OS 3.5 日本語版 DragonBall EZ 16MHz</p>

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
Palm m130	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 x 160 ドット 反射型 TFT カラー液晶 (5万 8621 色)	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) SD/MMC カードスロット	リチウムイオンバッテリー 約 1 週間 シルバー & 紺のツートン プラスチック	HotSync クレードル (USB、充電機能付き) スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) Pocket Mirror、極楽ひら、 MGI Photosuite Mobile、 Document To Go 4 日本語版
Palm m515	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 x 160 ドット 反射型 TFT カラー液晶 (6万 5000 色)	16MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) SD/MMC カードスロット	リチウムポリマーバッテリー 2 週間 メタリックシルバー アルミ	HotSync クレードル (USB、充電機能付き) スタイラスペン、保護カバー	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) ATOK for Palm、Pocket Mirror、 MGI Photosuite Mobile、MultiMail SE、 Documents To Go 4 日本語版
Palm m505	Palm OS 4.0 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 x 160 ドット 反射型 TFT カラー液晶 (6万 5000 色)	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) SD/MMC カードスロット	リチウムポリマーバッテリー 4 週間 メタリックシルバー アルミ	HotSync クレードル (USB、充電機能付き) スタイラスペン、保護カバー	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) ATOK for Palm、Pocket Mirror、 MGI Photosuite Mobile、Pocket Mirror、 Document To Go 4 日本語版
Palm m500	Palm OS 4.0 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 x 160 ドット モノクロ 16 階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) SD/MMC カードスロット	リチウムポリマーバッテリー 4 週間 メタリックシルバー アルミ	HotSync クレードル (USB、充電機能付き) スタイラスペン、保護カバー	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) 手書きメモ、クロック、MultiMail SE、 MGI Photosuite Mobile、Pocket Mirror、 Document To Go 4 日本語版
Palm Vx	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (20MHz) 160 x 160 ドット モノクロ 16 階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM)	リチウムイオンバッテリー 約 2 週間 シルバー アルミ	HotSync クレードル (充電器兼用) 革製カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版)
Palm IIIc	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (20MHz) 160 x 160 ドット 256 色カラー	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM)	リチウムイオンバッテリー 約 2 週間 ブラック プラスチック	HotSync クレードル (充電器兼用) カバー、スタイラスペン、 マック用シリアルアダプター	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) Album To Go、Chroma Gammon (ともに英語版)
Palm m105	Palm OS 3.5.1 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160 x 160 ドット モノクロ 16 階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM)	単 4 形乾電池 x 2 本 約 2 カ月 ブラック プラスチック	HotSync クレードル、スタイラスペン、 マック用シリアルアダプター、	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) 手書きメモ、クロック
Palm m100	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160 x 160 ドット モノクロ 16 階調	2MB (RAM) 4MB (フラッシュROM)	単 4 形乾電池 x 2 本 約 2 カ月 ブラック プラスチック	HotSync ケーブル、スタイラスペン、 マック用シリアルアダプター、	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) 手書きメモ、クロック

モノクロ16階調	リチウムイオンバッテリー	ウィンドウズ対応
カラー液晶	リチウムポリマーバッテリー	ウィンドウズ、マック両対応
	単4乾電池	

# HANDSPRING(株)

## Visor Edge

☐ オープンブライズ



「エッジコネクタ」と呼ばれる拡張端子を採用し、高い拡張性を残しつつ、厚さわずか11ミリを実現した

厚さ11ミリ  
重さ136グラム

Palm OS 3.5.2H  
日本語版

「エッジコネクタ」を搭載

## Visor Prism

☐ オープンブライズ



Visorシリーズ唯一のカラー液晶搭載モデル。最大解像度160×160ドット、6万5536色の表示が可能

厚さ20ミリ  
重さ196グラム

Palm OS 3.5.2H  
日本語版

カラー液晶

## Visor Platinum

☐ オープンブライズ



33MHzの高速CPUでモノクロ画面を駆動するため、高速な画面表示が可能。USB接続のクレードルが付属

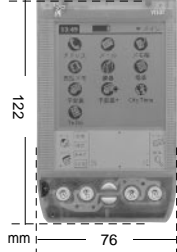
厚さ18ミリ  
重さ153グラム

Palm OS 3.5.2H  
日本語版

DragonBall VZ  
33MHz

## Visor Deluxe

☐ オープンブライズ



カラフルな5色のスケルトンボディーから選べるのが特徴。低価格でありながら8MBのメモリーを搭載する

厚さ18ミリ  
重さ153グラム

Palm OS 3.1 H2  
日本語版

5色のボディーカラー

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
Visor Edge	Palm OS 3.5.2H 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 × 160 ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) エッジコネクタ	リチウムイオンバッテリー 約4週間 / メタリックシルバー、 メタリックブルー、 メタリックレッド / アルミ	HotSyncクレードル(USB、充電機能付き) メタルフリップカバー、スプリングボードスロット、 メタルスタイラスペン、 ACアダプター、エッジコネクタアダ	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版、マック版)、 ATOK Pocket、PalmScape、PalmScape Mail、 Handspring Photo Album
Visor Prism	Palm OS 3.5.2H 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 × 160 ドット 透過型TFTカラー液晶(6万5536色)	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) スプリングボードスロット	リチウムイオンバッテリー 約2週間 コバルトブルー プラスチック	HotSyncクレードル(USB、充電機能付き) レザーケース、スタイラスペン、 ACアダプター	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版、マック版)、 ATOK Pocket、PalmScape、PalmScape Mail、 Handspring Photo Album
Visor Platinum	Palm OS 3.5.2H 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 × 160 ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) スプリングボードスロット	単4形乾電池 × 2本 約2カ月 メタリックシルバー プラスチック	HotSyncクレードル(USB) レザーケース、スタイラスペン、 スナップカバー、スリッパケース	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版、マック版)、 ATOK Pocket、PalmScape、PalmScape Mail、 Handspring Photo Album
Visor Deluxe	Palm OS 3.1 H2 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160 × 160 ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) スプリングボードスロット	単4形乾電池 × 2本 約2カ月 / アイス、グラファイト、 ブルー、グリーン、オレンジ / プラスチック	HotSyncクレードル(USB) カバー、ソフトケース、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版、マック版)

# 日本アイ・ビー・エム(株)

<http://www-6.ibm.com/jp/pc/workpad/>

# / (株)アスク

<http://www.ask-corp.co.jp/>

## WorkPad c505 (8602-70J)

☐ オープンブライズ



Palm OS 4.0搭載。SD / MMC カードスロット、6万5536色表示と基本仕様はPalm m505と同等

厚さ13ミリ  
重さ139グラム

Palm OS 4.0  
日本語版

DragonBall VZ  
33MHz

## WorkPad c3 (8602-50J)

☐ オープンブライズ



Palm OS 3.5搭載。モノクロ16階調表示、リチウムイオンバッテリー内蔵など基本仕様はPalm Vxと同等

厚さ11.5ミリ  
重さ119グラム

Palm OS 3.5  
日本語版

DragonBall EZ  
20MHz

## WorkPad (8602-31J)

☐ オープンブライズ



本体にPHSモジュールを内蔵、付属の通信ソフトをインストールするだけで、インターネットが使用できる

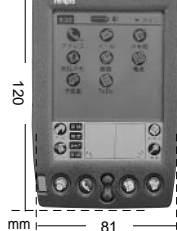
厚さ18ミリ  
重さ182グラム

Palm OS 3.1  
日本語版

PHSモジュール内蔵

## TRGpro

☐ オープンブライズ



CFカードスロットを搭載しているので、マイクロドライブやP-in Comp@ctを使用することが可能

厚さ20ミリ  
重さ166グラム

Palm OS 3.51  
日本語版

DragonBall EZ  
16MHz

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
WorkPad c505 (8602-70J) (日本アイ・ビー・エム株)	Palm OS 4.0 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 × 160 ドット 反射型TFTカラー液晶(6万5000色)	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) SD / MMC カードスロット	リチウムポリマーバッテリー 約2週間 ブラック アルミ	HotSyncクレードル(充電器兼用) ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版、 Satellite Forms ランタイムモジュール、 Intellisync for IBM WorkPad
WorkPad c3 (8602-50J) (日本アイ・ビー・エム株)	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (20MHz) 160 × 160 ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM)	リチウムイオンバッテリー 約2週間 ブラック アルミ	HotSyncクレードル(充電器兼用) ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Lotus EasySync(ノート用) PalmScape for WorkPad、英和・和英辞書、 Jotmail for WorkPad
WorkPad (8602-31J) (日本アイ・ビー・エム株)	Palm OS 3.1 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160 × 160 ドット モノクロ16階調	4MB (RAM) 2MB (フラッシュROM)	単4形乾電池 × 2本 約2週間 ブラック プラスチック	PHSユニット内蔵、 HotSyncクレードル(充電器兼用)、 ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Lotus EasySync(ノート用) PalmScape for WorkPad、英和・和英辞書、 Jotmail for WorkPad、MultiMail for WorkPad
TRGpro (株)アスク	Palm OS 3.5.1 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160 × 160 ドット / モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) CFカードスロット	単4形乾電池 × 2本 約2カ月 グレー / プラスチック	HotSyncクレードル(シリアル) フリップカバー、スタイラス	Palm Desktop 英語版、 CFPro、CFBackup、FlashPro